

国立国語研究所学術情報リポジトリ

待遇表現の実態：松江24時間調査資料から

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-06-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001294

待遇表現の実態

—松江24時間調査資料から—

1971

国立国語研究所

待遇表現の実態

—松江24時間調査資料から—

1971

国立国語研究所

刊行のことば

国立国語研究所は、昭和38年度に島根県松江市において「国民各層の言語生活の実態調査」を行なった。この調査の目的は、市民の各層がどのような言語生活を営んでいるか、また、言語生活についてどのような問題を持ち、どのような意識を持っているかを調べることであった。

松江調査では、特に市民の話しことばを中心をおき、性別、年代、学歴、職業、居住経歴等から見たいくつかの層における言語使用の実態を種々の観点から調査した。その一つとして、いわゆる「24時間調査」を一市民の家庭において実施し、午前6時から午後10時の間、その家庭において行われたすべての会話を録音して、その文字化資料を作成した。

松江調査で重点的に採り上げた事がらの一つに、待遇表現に関する種々の言い方がどんな場面にどのように選択されるかという問題があった。本書は、24時間調査で得られた文字化資料をもとに、各種の待遇表現の現われ方について分析したものの、一部の報告である。

もちろん、この報告によって、松江市民の待遇表現の実態のすべてが明らかになったわけではない。しかし、実際の会話における例を分析したという点に、この調査研究の一つの特徴があると考えられる。

もう一つの特徴は、資料の処理に電子計算機を利用したことであろう。本研究所では、書きことば資料としては、新聞の語彙調査はじめ電子計算機を利用した調査研究を実施し、すでにいくつかの成果を公表してきたが、話しことば資料の処理という点では、本報告書における調査研究が最初の仕事である。処理計画立案の段階において分析方法の検討に不徹底な点などがあったため、電子計算機による処理が十分に利用されていない感もあるが、話しことば研究における一つの試みという意味で、将来のさらに進んだ研究方法の開発に役立つことができれば幸いである。

本報告書の執筆にあたっては、分析に関する部分は第四研究部第一資料研究室 南不二男、処理に関する部分は、松木昭（当時、同室員。昭和42年4月

1日 東京教育大学に転出)が、それぞれ担当した。

おわりに、特に私生活をわざらわすことの多い調査に長時間にわたって協力してくださった松江市の落合春雄氏の家族の方々に厚く御礼申しあげる。

昭和46年3月

国立国語研究所長

岩淵 悅太郎

目 次

刊行のことば

0.	総説	1
0.1.	〔この報告書の意図・性格〕	1
0.2.	松江調査のあらまし	1
0.3.	24時間調査について	4
	位置・目的　　調査実施の概要　　調査対象	
	資料の種類・性格	
0.4.	分析と資料の処理	13
	分析について　　電算機による処理について	
0.5.	凡例	25
1.	分析	30
1.0.	待遇表現関係要素粗描	30
1.1.	談話	33
	談話の認定　　談話の分類　　談話の実例　　談話数と文数	
1.2.	参加者の種類と談話の種類	42
	参加者の種類と communication 上の function　　参加者	
	の種類とことばの調子　　参加者の種類と話題	
1.3.	談話の種類とていねい表現	46
	communication 上の function とていねい表現　　ことば	
	の調子とていねい表現　　話題とていねい表現	
1.4.	談話の種類と尊敬表現	52
	communication 上の function と尊敬表現　　ことばの調	
	子と尊敬表現　　話題と尊敬表現	
1.5.	談話の種類と要求表現	57
	communication 上の function と要求表現　　ことばの調	
	子と要求表現　　話題と要求表現	

1.6. 呼び名	62
communication 上の function と呼び名 ことばの調子	
と呼び名 話題と呼び名	
1.7. 今後の問題	72
談話について 待遇表現の分析について 資料の処理と	
の関係	
2. 処理	82
2.1. 〔処理の目的〕	82
2.2. 65 MATSUE PLT (プログラム・ライブラリー・テープ)	82
2.3. 処理の実際	83
文の段階 文節の段階 形態素の段階	
2.4. 今後の問題	104
3. 付録	106
3.1. 参加者の組と談話数, 文数	106
3.2. 談話の種類と待遇表現関係要素	118
3.3. OUTPUT の例	127
3.4. 松江調査関係文献	223
3.5. 索引	225
3.6. Summary	230

0. 総説

0.1. 国立国語研究所は、昭和38年度に、島根県松江市で「国民各層の言語生活の実態調査」(以下、「松江調査」と呼ぶ)を実施した。本書は、その調査の一部をなす、いわゆる「24時間調査」によって得られた資料の処理と分析の報告である。

松江調査は、いろいろの年齢、学歴、居住経歴、職業に属する一般市民が、日常どんな言語生活をいとなんんでいるか、また言語生活についてどのような問題を持ち、どんな意識を持っているか、の実態を、話すことばに重点をおきながら明らかにしようという意図のもとに計画された。その計画の中には、いろいろな条件のもとにおける、各種の表現の使い分け——たとえば、いろいろな段階の待遇表現の使い分けとか、方言的表現と標準語的表現の使い分けなど——の実態を明らかにすることが含まれていた。この報告で扱うところからは、もっぱらその面に関するものである。

本書における分析については、おもに南不二男、処理とくにコンピュータによる資料の処理については、おもに松本昭が、それぞれ担当した。執筆の分担はつぎのとおりである。

0. 総説

0.1.	0.2.	0.3.	0.4.1.	0.5.	南
0.4.2.					松本

1. 分析	南
-------	-------	---

2. 処理	松本
-------	-------	----

3. 付録	松本, 南
-------	-------	-------

なお、この仕事の初期の段階で、コンピュータによる処理プログラム作成のために、山本武氏（当時日本ビジネスコンサルタント社員、同社より国語研究所に出向）の援助をあおいだ。また、研究補助員沢田さち子、益子芳江、アルバイタ安田悦子、小田久子が仕事を助けた。

0.2. 松江調査のあらまし。

注1)

松江調査は、以下のような各種の調査からなるものであった。

調査項目

(1) 言語生活の構造に関する調査

- a 一般市民の言語行動の内容。 b 市民の言語生活に対する意識。
- c 個人が一日の言語行動に費やす時間。

(2) 種々の条件（相手、話題、場所など）による、ことばの使い分けに関する調査

- a 家庭の内部あるいは外部における言語行動の変容。 b 市民各層における呼び名の使い方の変容。 c 東京語の敬語、松江方言の敬語に対する市民の意識。なお、付帯調査として、d 手紙文の中における敬語の使い方、e 外来語の浸透状況についても調べた。

(3) 言語環境に関する調査

- a 市民の言語的環境（市街地の看板・掲示、ラジオ・テレビ・地方新聞・広報紙・通達・チラシ広告など、図書館・貸本屋の利用状況、文房具等の利用状況など）。 b 市民のコミュニケーション的環境（交通圈、商業圏、人口動態）

調査実施の概要

(1) 準備調査（昭和38年7月1日～7月6日）

- a 基礎抽出の準備。 b 松江方言の体系記述。 c 生徒調査のプリ・テスト。 d 言語環境調査。 e 交通圈調査。

(2) 概観調査

① 基礎調査（質問紙調査。昭和38年10月1日～10月8日）

〔調査事項〕 調査票A：市民一日の言語行動の種類、きまり文句のあいさつ、外来語の理解度。 調査票B：場面や相手による敬語の使い分け。 調査票A、B共通：新聞・雑誌・手紙・電話の利用度、言語生活および方言と共に語に関する意識。

〔調査対象〕 住民登録票に基づき、旧市域および上乃木町・浜乃木町・古志原町地区に住む15歳～69歳の市民1,887人を選んで、調査表を届け、1,414通を回収した。（抽出比1/25、回収率74.9%）

② 市民調査（面接調査。昭和38年11月26日～12月3日）

〔調査事項〕 主として場面による敬語の使い分け。

〔調査対象〕 基礎調査票で回収できた1,414人の中から、さらに男女、年齢、居住経歴によって220人を選び、所員8人と島根大学学生6人が面接調査した。

③ 生徒調査（集合調査。昭和38年10月2日～10月5日）

〔調査事項〕 家庭内の言語生活の実態および意識。外来語の理解度。

〔調査対象〕 市内小学校3校（各校とも、5年生2学級ずつ）、市内中学校5校（各校とも2年生、うち4校は2学級ずつ、1校は1学級）、市内高等学校3校（各校とも3年生、うち2校は2学級ずつ、1校は1学級）。

④ 主婦調査（面接調査。昭和38年11月26日～12月4日）

〔調査事項〕 生徒調査の場合同じ。

〔調査対象〕 生徒調査の家族構成の記載に基づき、しゅうとまたはしゅうとめと同居する主婦90人（俸給生活者、商業、農業の各層にまたがるよう考慮）を選び、所員4人によって面接調査をした。

⑤ 婦人学級調査（集合調査。昭和38年11月30日）

〔調査事項〕 生徒調査、主婦調査同じ。

〔調査対象〕 持田婦人学級（62人）。

⑥ P T A調査（集合調査。昭和38年11月27日、12月2日）

〔調査事項〕 生徒調査・主婦調査・婦人学級調査同じ。なお、この調査に付随して「手紙文の敬語調査」も実施した。

〔調査対象〕 島根大学付属中学校P T A（39人）、松江市立第四中学校P T A（42人）。

（3）事例調査

① 24時間調査（昭和38年11月29日）

松江市生えぬきの家族よりなる一家族を選び、その家族および訪問者の言語行動を一日じゅう観察し、記録した。観察・録音は、午前6時から午後10時までの16時間。実施の詳細については、0.3.参照。

② 継続観察調査（昭和38年11月30日～12月1日）

24時間調査を補うものとして、毎日1～2時間ずつ、違った時間帯で何日間か継続的に観察し、記録した。調査対象は、デパート店員（21歳女。延べ5時間）、古書籍商（35歳男。延べ4時間）、高級公務員（53歳男。延べ3.5時間）の3人。

③ 裏づけ調査（昭和39年3月12日～16日）

市民調査の結果、疑問の残る点、さらに細かく調べたい点などを、松江市生えぬきの各年齢層の市民数人について面接調査をした。

これらの調査は、林大（委員長）、齋賀秀夫（幹事）のほか、石綿敏雄、柴田武、林四郎、松本昭、南不二男、渡辺友左よりなる調査委員会が、その企画・実施にあたった。（24時間調査実施の時には、さらに高田正治が参加した）

また、個々の調査の結果については、何人かの委員がすでに発表したものがある。それらについては、「松江調査関係文献」の項（p. 223, 224）を参照していただきたい。

0.3. 24時間調査について。

0.3.1. 位置・目的。上にあげた各種の調査のうちで、おもな部分をしめる、(2)の概観調査は、質問紙に対する書き込み、または面接調査によるものであった。つまり、この方法は、調査対象となった市民各個人の内省に頼るものである。

調査方法としては、このような調査対象各個人の意識を調べるやり方のほかに、言語行動が実際に現れる現場をおさえるやり方も考えられる。(3)の事例調査はそれであり、24時間調査はその一つであった。

この事例調査によって、われわれは、概観調査で得られた結果を実例によって裏づけることもできるし、また、その結果を訂正することもできるはずである。24時間調査について、われわれが期待したのは、

- a 方言的表現と標準語的表現の使い分け
- b 待遇表現の各種の段階における言い方の使い分け
- c あいさつ

d 呼び名

e 家庭内の言語生活（とくに家族間の会話——だれとだれがよく話すか、話さないかなど）

などの実態であった。これらの諸点のうち、とくに a, b, c, d は、概観調査のうちの①基礎調査、②市民調査の結果の裏づけと訂正のために役立つと考えてよいであろう。また、e は、③生徒調査、⑤婦人学級調査、⑥P T A 調査などの結果に関係させて扱うことも可能と思われる。また、記録された会話の中には、^{注2)} ④主婦調査の問題に関する話題を含むものもあった。

最初の予定では、調査対象にえらんだ家庭の主婦の言語行動だけの観察と記録に重点をおくはずであった。しかし、結果としては、他の家族や訪問者の発話もほとんど記録することができた。分量が多くなったために、ある程度正確さを減じた部分もあるが、一方では、上にのべたような、いろいろな問題に關係のある資料が得られた。

また、この資料は、いうまでもなく何人かの話し手と聞き手による、実際の発話の記録である。個々の切りはなされた文ではなく、一つづきのまとまった会話をいくつか含んでいる。それで、一種の会話の文章の研究のための資料として使うことができると考えられる。この観点からの資料の分析は、待遇表現の使い分けや、方言的表現と標準語的表現の使い分けの問題とも密接な関係がある。

本書では、資料処理の関係で、16時間分の資料全部の分析はできなかった。扱ったのは半分の約8時間分（午前6時から午後2時まで）にとどまった。他の事例調査、すなわち継続観察調査の資料は、その整理が済んでいないので、使うことができなかった。

松江調査以前に行なわれた24時間調査としては、福島県白河市で行なわれたもの（昭和24年）と山形県鶴岡市で行なわれたもの（昭和25年）^{注3)} とがある。これらの調査は、以下にあげることがらに重点をおいていた。

(1) 一日じゅうの言語量。

話題の数、文の数、文節の数。

言語量の時刻別分布。

一日のことなり語数。

(2) よく使われることば。

語と文節の使用度数。

よく使われる語の個人的相違。

(3) 一日のうちどのくらい読み書きするか。(鶴岡ではラジオ聴取の状況も)

(4) 話しことばの文の長さ。(鶴岡では文節の長さも)

つまり、白河、鶴岡の調査のばあいは、一日じゅうの言語量、語、文節の使用度数、文、文節の長さなど言語の量的な面に重点がおかれている。それに対して、松江調査では、もちろん量的な面も当然扱われるけれども、中心はことば——とくに待遇表現——の使い分けの実態という、いわば質的な面にある。また、調査対象となった発話者も、白河4名、鶴岡3名であったが、松江のばあいは29名にのぼる(同居家族5名、訪問者24名)。記録の方法も、白河、鶴岡の時は、手書きまたは一部録音機併用であったが、松江では、全面的に録音機にたよった。以上のように、この松江での24時間調査は、それ以前の二つの調査とは、いろいろの点で違っている。

0.3.2. 調査実施の概要。調査を行なった日時、場所は次の通りである。

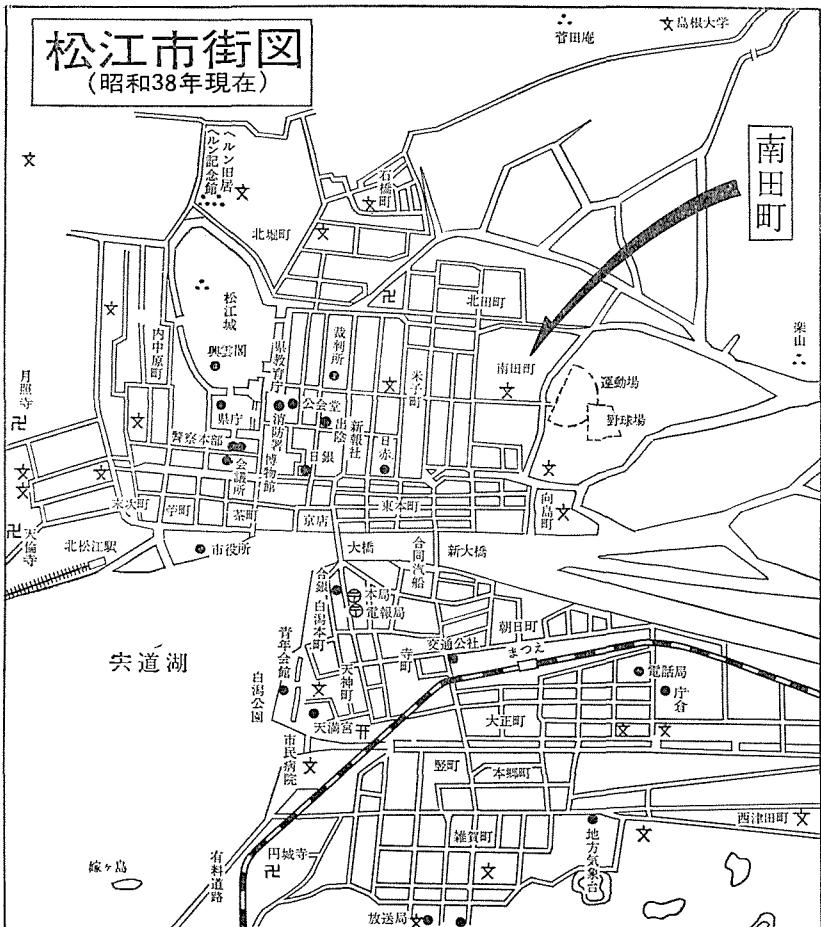
昭和38年11月29日午前6時から午後10時まで(約16時間)。

松江市南田町127番地、落合春雄氏宅。^{みなみだ}南田町は、松江市旧市域の中心からやや東によったところにある。住宅地域である。(次ページ地図参照)

当日は、録音機2台を置き、交互に使った。マイクロフォンは同時に3個使用し、会話がいちばん多く行なわれると思われる、茶の間、台所に配置した。

調査員は2人1組となって、録音テープのとりかえ、音量の調整などにあたり、また、発話者の行動について適宜メモした。1組1時間半ないし2時間で交代した。調査員、録音機などは、家族や訪問者に見えないようにして、できるだけ発話者に影響をあたえないよう注意をはらった。また、録音時間中は、家族と調査員の会話を禁じた。しかし、一部調査員の不注意により、また、やむをえない事情によって、家族と調査員の間に会話が生じたばあいが、ほんのわずかあった。

録音テープは、大きさ7インチ、速さ9.5センチ/秒で、のべ10本。実際に



は、うらおもてを使ったので、6本で足りた。

当日、落合氏宅で行なわれた会話のほとんどは記録されたといってよい。ただし、家族が外出したばあいの発話は記録できなかった。近所、たとえば、隣家とか近くの商店に、家族、とくに主婦が、外出した際の記録のために、携帯用録音機を用意したが、実際にはほとんど役に立たなかった。ワイヤレスマイクロフォンを使用すれば、この種の発話もある程度は記録できたはずである。そのほか、テープのかけかえの際の不手際で、数分間録音もれができた箇所がある。

録音状態は、ふつうの日本家屋で、日常そのままの状態で録音したのであるから、きわめて良好であったとはいえない。しかし、そのような条件のもとでは、まずいい方であったというべきであろう。茶の間および台所の茶の間に近い部分で行なわれた会話、とくに発話者が坐って話しているばあいのものは、ほぼ完全に記録されている。茶の間の隣りのへやでの会話は、一般に聞き取りがむずかしいものが多かった。台所の出口あたりのものも、やや聞きにくい。

0.3.3. 調査対象。その発話が記録された発話者は、全資料においては、5人の同居家族および訪問者24人である。この報告書で扱う範囲内では、同居家族5人、訪問者16人である。以下に、報告書で扱う範囲の発話者をあげる。（敬称略）

同居家族

落合寿美子	主婦	明治37年生	旧高女卒	
落合春雄	主人	明治38年生	高小卒	漁業
落合八千代子	三女	昭和11年生	高校卒	事務所勤務
落合恵友	長男	昭和17年生	高校卒	会社勤務
神門幸子	主人の妹1	大正7年生		病院勤務

訪問者

新聞配達

落合徳三	主婦の兄	明治35年生	旧中卒	会社勤務
野菜売りの婦人1		30歳台？	市内西尾町から	
落合てい	主婦の母 <small>注4)</small>	明治19年生	女子師範卒	
野菜売りの婦人2		60歳台？	市内朝倉町から	

洋服屋店員

郵便配達

奥村節子	落合氏長女	昭和5年生	旧高女卒	八束郡島根村加賀に住む
------	-------	-------	------	-------------

山内某

30歳～40歳？

山陰合同銀行員

福島登

20歳台？

高校卒

富士銀行員

村上某

近所の奥さん

60歳台

金津某

40歳台？（女性）

温灸師

蒲生八重子

主人の妹2

明治45年生

落合家の隣りに住む

クリーニング屋1

寺本某

主婦の友人

主婦と同年輩

旧高女卒

クリーニング屋2

以上の発話者の、資料に現われた行動を、時間を追って簡単に示す。

- 6時 主婦（落合寿美子）すでに起床。
- 6時15分 主人（落合春雄）起床。主婦と話。
- 6時35分 長男（落合恵友）起床。主人の妹₁（神門幸子）起床。
- 6時50分 新聞配達来る。主人、主婦、主人の妹₁の間で雑談。
- 7時 主人、朝食を食べずに外出。
- 7時すぎ 三女（落合八千代子）起床。主人以外の家族の朝食、出勤準備など。
- 8時すぎ 主婦の兄（落合徳三）、花を持って来る。主婦、三女と数分話して帰る。三女、長男、主人の妹₁あいついで出勤。
- 8時30分すぎ 野菜売りの婦人₁来る。主婦、二三の野菜を買う。しばらくして帰る。
- 8時55分 主婦の母（落合てい）来る。へやに上って、主婦と、家族、親戚のうわさ、その他の世間話。
- 9時55分 野菜売りの婦人₂来る。へやに上る。主婦、主婦の母を相手に、大根、かぶの話、漬物の話、世間話などをする。
- 10時20分 野菜売りの婦人₂帰る。洋服屋の店員来て、用件だけで帰る。
- 10時30分 郵便配達来る。長女（奥村節子）来る。へやに上って、主婦、主婦の母と話をはじめる。
- 10時33分 山陰合同銀行員（山内某）来る。へやに上って、主人の帰りを待つ。主人、漁でとれた魚を持って帰宅。しばらくして、富士銀行員（福島登）来る。山陰合同銀行員、用件をすませて帰る。主人、主婦の母、富士銀行員の間で雑談。
- 10時56分 近所の奥さん（村上某）、ちょっと来て帰る。
- 11時24分 富士銀行員帰る。このあと、主人、主婦、主婦の母、長女で、魚のよりわけをしながら雑談。

12時35分	温灸師（金津某）来て、へやに上る。（主人に温灸をするため）
12時55分	主人の妹 ₂ （蒲生八重子）来る。魚のよりわけに参加。 主婦の母、長女と話す。昼食はじまる。 ^{注5)}
13時24分	クリーニング屋 ₁ 来て、用件だけで帰る。温灸師、治療をすませて、話に仲間入りする。
13時32分	主婦の友人（寺本某）、女学校の同窓会名簿のことで来る。主婦、長女としばらく話して帰る。
13時50分	クリーニング屋 ₂ 来る。温灸師帰る。そのあと、主人、主婦、主婦の母、長女、主人の妹 ₂ の間で雑談。

0.3.4. 資料の種類・性格。この調査の結果から作られた資料には、次の種類のものがある。

(1) 録音資料

録音時間：約16時間（午前6時から午後10時まで）

録音テープの大きさ：7インチ

速度：9.5 cm/秒

原テープ：6本（表6本分、裏4本分）

コピー テープ：10本（表のみ）

(2) 文字化資料

録音資料は調査後文字化した。文字化資料には次の三種のものがある。

- a 音声表記テキスト。録音資料を聞きながら文字化した、最初のテキストである。

分量：16時間分全部

表記：国際音声字母による簡略表記。ただし、テープ（片面）二本分（午後5時15分ごろから午後8時30分ごろまで）はカタカナ表記。

付加情報：話し手、文にあたる部分の切れ目、文節にあたる部分の切れ目。

- b 音韻表記テキスト。理論的に言えば、aのあとに来る第二次的テキストである。aのテキストは、そのときそのときの発話の音声上の形に

近い表記なので、同じことばでも表記が違うことがよくある。この b のテクストの方は、一応の音韻論的解釈をへた形にしてあるので、ことばの形が一定している。ことばの形が一定しているということからいえば、次の c にあげる形態音韻表記テクストの方がさらに一定している。しかし、c のテクストは、書かれた面では実際のことばの形に遠い。

分量：約 8 時間分（録音テープ片面 5 本分）

表記：音韻表記（原則として国際音声字母使用）

付加情報：文番号、話し手：聞き手コード（これはさらに、次の情報を含む。同居家族／訪問者の別、個人番号、性別、詳細は 0.5 参照）、文の切れ目、文の種類（三種。普通文、疑問文、中断文）、文節の切れ目。

c 形態音韻表記テクスト。理論的に言えば、第三次資料である。ことばを形態素に分析し、それを形態音素で表わしてある。これは、直接には、コンピュータに input して処理するために作ったテクストである。実際の作業の過程では、a のテクストからすぐこの c のテクストを作り、そのあとで c から b のテクストを作った。音韻化規則によって、この c の形態音韻表記テクストを、b の音韻表記テクストに転写することが可能だったからである。また、それを前提として、形態音韻論的分析を行なった。

分量：約 8 時間分（録音テープ片面 5 本分）

表記：形態音韻表記（HITAC 3010 の 64 文字コード使用）

付加情報：文番号（b の場合と同じ）、話し手：聞き手コード（b の場合と同じ）、文の切れ目（b の場合と同じ）、文の種類（b の場合と同じ）、文節の切れ目（b の場合と同じ）、形態素の切れ目。

以上三種のテクストのうち、b、c のテクストが全体の約半分しかないのは、主として担当者（南）の非能率による。

これらの資料が、松江市民の言語生活の実態をよく代表しているものであるかどうかについては、かなり問題がある。

第一に、調査対象にえらんだ家庭が、松江市民の一種の平均的な生活に近いものであるかどうか、ということである。その点では、あまり平均的であるとは言えないかもしない。職業の漁業は、松江市の中でもきわめて少ない職業だからである。^{注6)}しかし、あえてここをえらんだのは、この種の調査は、被調査者に大きな犠牲を強いるものであって、落合家のような自発的な協力は、他に期待できるかどうか、疑問だからであった。

第二に、これは必然的に、一つの家庭における、一日の記録が、言語生活——たとえそれを話すことばの面だけに局限してみても——のすべての分野をおおうものであるとは言い切れない。おそらくそれは不可能である。だから、この記録だけをもって、すべての分野における実例を得るための資料とすることはできない。しかし、上述のように、当日は偶然わりに多くの訪問者にめぐまれて、いろいろな種類の発話を記録することはできた。

第三に、被調査者がこの調査を意識するために、ふだんとは違った点がいくつか言語行動の上に現われたのではないか、ということである。前にもべたように、調査員や録音機類を目につかぬようにして、出来るだけ影響をおよぼすことを避けたが、すでに調査が行なわれていることを知っている被調査者にその影響を全然なくすることは不可能なことである。ただ、それをわずかな程度にとどめることは出来たと考えられる。また、訪問者の多くは、調査が行なわれていることを知らなかった。調査のことをまえもって知っていたのは、同居家族の全部5人と、訪問者の中では、主婦の兄、主婦の母、長女、主人の妹₂の4人であったと思われる。すなわち、同居家族、訪問者あわせて21人のうち、9人が調査を知っており、12人は知らなかったということになる。

第四に、とくに文字化資料についての問題がある。録音資料の文字化のためには、「準備調査」における「松江方言の体系記述」が役立った。しかし、録音状態不良のための聞き取り困難、あるいは松江方言についての知識不足のためのことばの認識困難が原因となって、文字化できなかつた部分がすくなくある。また、文字化してあってもまちがっている箇所もすくなくないと想像される。^{注7)}なおまた、二組以上の会話が行なわれている際には、聞き取りがむずかしい方の組の会話を一定時間無視して文字化しなかつた場合もある。

以上の諸点から考えて、この記録が完全な資料であるとは言いにくい。相当程度までは、言語生活の実態を反映しているとは考えられるが、具体的ないくつかの点について、それぞれその信頼できる程度を客観的に示すことは出来ない。

4.4. 分析と資料の処理。

4.4.1. 分析について。

この報告書における分析の一般的な目的は、まず、待遇表現にもっぱら関係していると考えられるいくつかの言語要素と、それらの要素の選択を規定しているいくつかの条件を明らかにすることである。

ここで問題にする言語要素は、いわゆる「ていねい表現」「尊敬表現」「要求表現」および呼び名に関係したものに限る。取り扱う具体的な形は、多くの場合、形態素または形態素の連続である。

資料に現われているこれらの要素には、方言的な形のものもあるし、標準語的な形のものもある。たとえば、GOZAINS と GOZAIMAS <いずれも「ございます」にあたる>, NASAINS と NASAIMAS <いずれも「なさいます」にあたる>, RAE と RARE <いずれも「られる」にあたる>など。また、あらたまつた形のものも、それほどあらたまつた形でないものも現われている。たとえば、ANATA <あなた> と ANTA <あんた>, (...te) kudasaimase <(...して) 下さいませ> と (...te) cloodai <(...して) ちょうだい>。研究の目的いかんによっては、これらは厳密に区別して扱わなければならないだろう(たとえば、その方言の文法体系の記述など)。しかし、ここでは、それらの混在状態そのものが分析の対象となる。各種の条件のもとでの、各種の要素の選択の実態を明らかにすることが目的だからである。

要素の選択を規定する条件の種類についてはいろいろの観点がありうる。たとえば、言語体系内のものと言語体系外のものとを区別するのも一つの見方である。標準語では、いわゆる連体修飾語の中の述語の部分に「ます」が現われることがすくない傾向がある。さらに、たとえば「…ながら」という句の中には「ます」は絶対に現われることが出来ない (*手ヲフリマシナガラ走リマシ

タとは言えない。手ヲフリナガラ走リマシタは言える)。このような制約は、まったく言語体系内部の事情によるものである。それに対して、性別、年代、社会的地位(階級)、学歴などの違いがもしくつかの要素の選択に関係があるならば、それらは一応言語体系外の条件とみなすことが出来るかもしれない。たとえば、女性は「あなた」「ございます」を男性にくらべて多く使うとか、若い世代の女性は男に対する呼び名に「…君」の形を用いることがあるが、古い世代の女性にはそれがない、といったようなことなどはそれに関係のある現象であろう。しかし、これらの諸条件も、言語要素の選択に関係している限り言語的な存在であると主張する考え方もありうる。この際、言語的か言語的でないかという区別それ自身はそれほど重要でないかもしれない。重要なのは、どんな条件がどんな要素の選択にどのように関係しているか、ということである。ただ、上に例としてあげた、連体修飾語やある種の従属句の構造にもっぱら関係したもの、いわばせまい意味での言語体系内部のことがらが条件になっているものと、一方性別とか社会的な階層といった、一応言語をはなれても存在しうることがらが条件になっているものとの違い(また両者の間にはいろいろな段階のものがあることが想像されるが)は認めなければならないであろう。

条件の種類については、とくに、せまい意味での言語体系の外のことがらが条件になっているものについては、別の見方もありうると思われる。それは、いわば固定的(または絶対的)な条件と、臨時の(または相対的)な条件との区別である。たとえば、性別、年代(相手との相対的な年代の違いを問題にしない場合の)、学歴、職業、出身地などは、一応話し手にとっては動かすことの出来ない固定的(絶対的)なことがらである。それに対して、そのときそのときの話の相手とのいろいろな関係(相対的な年代の違い、みうちかみうちでないか、主人側か客側かなど)、そのときそのときの話の持っている communication の上での function、またはそのときそのときの話題などが、いろいろな言語要素の選択に関係しているならば、それらはいわば臨時の(相対的)な条件と見ることが出来るであろう。

松江調査における、24時間調査以外のいくつかの調査では、どちらかというと固定的(絶対的)な条件を問題にしたものが多い。^{注8)}それに対して、ここでも

っぱら問題にしようとするのは臨時の（相対的）条件といろいろな要素の現われとの関係である。

それぞれの要素の選択についての臨時の（相対的）な各種の条件を明らかにするためには、問題の要素の現われる具体的な言語表現およびその周辺のいろいろな事実を分析する必要があると思われる。ところで、言語（要素）の具体的な現われは、多くの場合、大きいにしろ小さいにしろ、ひとまとまりの文章（discourse）の形をとるのがふつうである。従って、ここで問題にするような条件を明らかにするためにはまず文章およびその周辺のいろいろな事実に何らかの意味での分析を加える必要があると思われる。さらにまた、文章の構造それ自身にも、ひとつひとつの言語要素（文、単語、形態素あるいは音素など）^{注9)}の現われを規定する条件が見出されるのではないかと予想される。

言語表現を文章の形で見るためには、もちろんある程度の長さを持ったテクストが資料として必要である。その点に、ここで扱う資料の、この種の研究のための有利さがあると考えてよいと思われる。ここでの分析は、そのようなテクストにおける文章を通して見られる、いくつかの条件と待遇表現関係の諸要素の現われとの関係を見ることに重点をおいた。

待遇表現関係の諸要素の現われについての分析を完全なものに近づけるためには、考え得るすべての条件（要素の選択に関する）およびそれによって起こる結果を明らかにすることと、それらの、条件——結果という組み合わせの、おたがいの間の関係、別のことばで言えば、個々の条件——結果という組み合わせの、全体的な要素の選択の過程における位置を明らかにすることが必要と思われる。すなわち、要素の選択の過程に関する全体的な体系を明らかにすることである。ところで、この報告書で取り上げるのは、あとでのべるように、ここで談話と呼ぶ、文章論上の一一種の仮定的な単位の種類とその談話に参加する話し手、聞き手との関係、および待遇表現関係の諸要素と談話の種類との関係である。ある談話に参加する話し手、聞き手のいかんは、その談話の型または種類の選択に関する条件の一部である可能性が大きい。また、談話の種類のいかんは、そこに現われる待遇表現関係の要素の選択に関する条件の一部である可能性も大きい。しかし、これだけが要素の選択に関する条件の全部である

かどうかについては問題がある。おそらく、資料における待遇表現関係の要素の選択に関する全体的な体系を作るには不十分ではないかと思われる。すなはち、すべての種類の条件はまだ分析されていないわけで、いわば質的に不十分である。一方にもう一つの問題がある。ここでは要素の現われ方を数の形で示す場合が多い。しかし、それは厳密な意味での統計学的な検討を経たものではない。一種の全数調査であるが、数の形ではっきりした結論を出すためには、理論的に検討が不十分、またしばしば量的にも不十分であると思われる。加えて、資料そのものにいくつかの問題があることは前にも述べた通りである(→0.3.2.)。以上のことから考えて、この報告書の内容は、資料における待遇表現関係の要素の現われの実態を十分分析した結果とは言い難い。にもかかわらず、それをあえて示すのは、ここで問題にするようなことがらの分析のための、一つの新しい観点を提出し、また、そうした観点から眺めた事実のいくつかを報告しようと考えるからである。

0.4.2. 電算機による処理について。

0.4.2.1. 本報告の分析研究のために、「65 MATSUE」と銘うたれて開発された、言語研究補助用のプログラムが利用された。

このプログラムの目的は、文・文節・形態素のごとく、三段階に分割されている文字化(ローマ字化)資料——本報告に即していえば、0.3.4. の②のc 「形態音韻表記テキスト」——を各段階ごとにその全レコードを磁気テープに記録(ファイル化)し、その上で必要な整理、分類、統計処理を行い、さらには、リクエストに応じて必要項目の選択および各項目に対する付加情報——時間帯、話し手、聞き手、文番号など——にもとづく分類、配列をおこなった上で、その結果を、高速印字機(ラインプリンター)で印字し、言語研究者の分析のために、すぐに役立つ形でそれぞれの段階の資料を提供することにある。

この「65 MATSUE」というプログラム名称は、その立案・着手された年度(昭和40年=1965年)と、それが松江調査の資料の分析を直接の目的として計画されたということを示すものであるが、松江資料以外のものであっても、それが三段階以下に分割されているローマ字化された資料であるならば、このプログラムを利用して処理することが可能である。また、付加情報も本報告の場

合のように、時間帯、文番号、話し手、聞き手というように固定して考える必要はない。資料の種類や分析の目的に応じて、巻数、ページ数、話題の分野別、文体別、等々、全く別の意味をもつコードをそれぞれの位置にあてはめて処理することも可能である。ただこのプログラムが、元来、多人数の話し手・聞き手による自然な発話・会話を録音したものをおとなかぎり忠実に文字化した資料を分析する目的で作られているため、もともと文書の形で存在する言語資料を分析する場合には、いさざか無駄な面のあることは否めないであろう。

以下、本報告の資料分析の場合に即した形でプログラムの概要を説明しておこう。(ゼネラル・フローチャート参照)

0.4.2.2.

I 文の段階

I—1 0.3.4. の (2) の c に示された、文番号、話し手：聞き手コード、文の種類などの付加情報をつけて、一文づつを一ブロックとする形でパンチされた紙テープ(原始入力テープ)を読みとり、形式上のエラーをチェックしながら磁気テープに書きこむもの。

——プログラム名称 65 MATSUE 1 ——

I—2 原始入力テープに存在したエラーの訂正・削除、および脱落のあった文の追加をし、各レコードに時間帯情報を挿入して、マスターファイル(磁気テープに記録されたもの)を作製するもの。配列順序は、文番号による。

——プログラム名称 65 MATSUE 2 ——

I—3 あとから追加して作製された原始入力テープにもとづく新らしいマスター テープができた場合、既存のマスターファイルと次に出来たマスター テープとを総合して、新マスターファイルを作るマージ・プログラム。配列順序は I—2 と同じ。——プログラム名称 65 MATSUE 3 ——

I—4 マスターファイルに収められたすべての文を、話し手、聞き手、時間帯の三つの key によって分類配列(ソート)した結果を印字するもの。(ソートは HITAC 3010 ソート・ルーチンを利用する。以下同様) この処理結果は、だれがだれと、どのように話し、また話さないかという、言語生活の実態(0.3.1. の e 参照)を、時間の流れの中に見ることに役立つもので

ある。

プログラム名称 65 MATSUE 5 —

Ⅰ 文節（長語）の段階

Ⅰ—1 「長語見出し立てプログラム」文段階のマスターファイルを入力として、そこにあるすべての文にふくまれる全文節（長語）の一つ一つを見出し語として、それをふくむ文および付加情報をつけたものを別の磁気テープに書きこむもの。 ——プログラム名称 65 MATSUE 6 —

☆ この磁気テープを入力として、見出し語をアルファベット順にソートすれば、文節（長語）段階のマスターファイルができる。このファイルは、文節を見出し語とし、その文節をふくむ文が付記されているカードを、アルファベット順に配列整理したものと同様の価値をもつ。同一語形を見出し語とするレコード群の内部は、更にその見出し語をふくむ文の番号順に配列されている。

Ⅰ—2 「度数つき長語リスト」の作製。文節（長語）単位でことなり語数、のべ語数の計算をし、各語について、出現度数のついた語彙表を作成する。最終ページには、全体のことなり語数と、のべ総語数とが示される。

——プログラム名称 65 MATSUE 8 —

Ⅰ—3 調べたい文節の語形（語数に制限なし）を指定すると、文節段階マスターファイルから、該当するものをえらび出し、それらの見出し語をふくむすべての文を、その話し手、聞き手、文番号などの情報をつけて印字・作表するもの。全文節について作表することも可能。

——プログラム名称 65 MATSUE 6 A —

Ⅰ—4 リクエストされた見出し語について、話し手、聞き手、文番号の順でソートした上で、その結果を、話し手—聞き手のことなりに応じて、用いられた見出し語とそれがあらわれた文の番号とを印字するもの。リクエストする見出し語の選定を工夫すれば、待遇表現の現われ方を規定する非言語的条件を考察する上で直接的に役立つ資料をうることができる。(0.4.1. 参照)

——プログラム名称 65 MATSUE 6 B —

Ⅲ 形態素（短語）の段階

Ⅲ—1 「短語見出し立てプログラム」文節段階マスターファイルを入力

とし、形態素（短語）を見出し語として、その形態素をふくむ文節、文、その他の付加情報をつけたレコードを、出現したすべての形態素について作製して、別の磁気テープに書きこむもの。

——プログラム名称 65 MATSUE 7 ——

☆ この磁気テープを入力として、見出し語のアルファベット順ソートを行えば、形態素（短語）段階のマスターファイルができる。このファイルは形態素を第一次の見出し語とし、それをふくむ文節を第二次の見出し語として、それらをふくむ文を付記してあるカードのストックと同様の価値をもつ。同一見出し語をもつレコード群の内部は、更にその形態素をふくむ文節のアルファベット順、更にその次は話し手、聞き手、文番号、という order で分類されている。

Ⅲ—2 「度数つき短語リスト」の作製。形態素（短語）単位で、ことなり語数、のべ語数を計算し、各形態素ごとの出現総度数およびその形態素をふくむ各文節の出現度数を示し、最後に全体の形態素のことなり語数、のべ語数を印字するもの。同時に、このリストと同内容の磁気テープを作製する。

——プログラム名称 65 MATSUE 90~91 ——

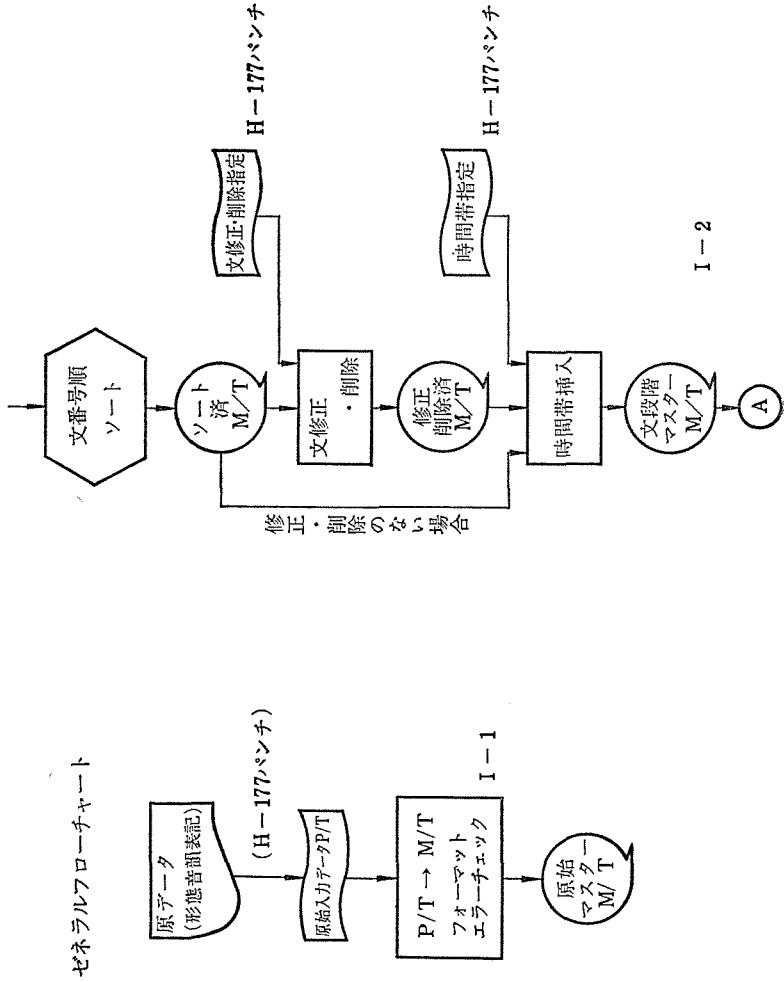
Ⅲ—3 「リクエストによる度数つき短語リスト」の作製。上記（Ⅲ—2）の短語リストを実際に印字すると極めて膨大なものとなるので、実際には調べたい形態素についてのみ作表させことが多い。その場合には、Ⅲ—2の印字開始直前の停止後に、印字をせずこのプログラムをよび出して処理を実行すれば、調べたい形態素についてだけ作表する。（語数制限なし）

——プログラム名称 65 MATSUE 9 A ——

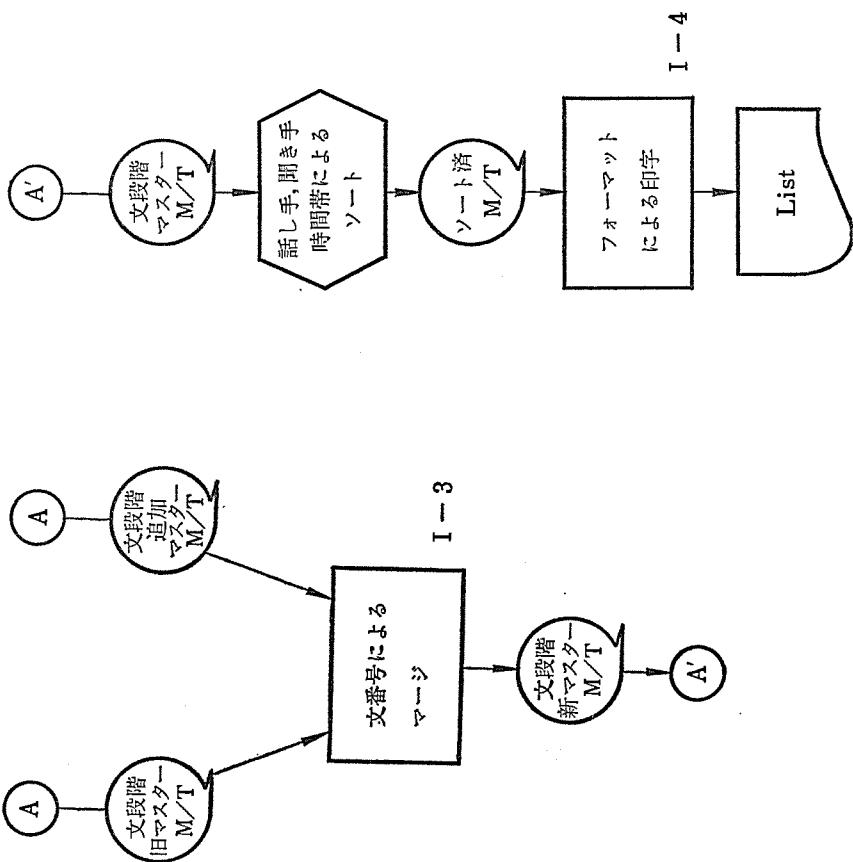
Ⅲ—4 リクエストされた、見出し語（形態素）とそれをふくむ文節のすべてを、さらにその文節をふくむ文に、話し手、聞き手、等の付加情報をつけた形で印字するもの。——プログラム名称 65 MATSUE 7 A ——

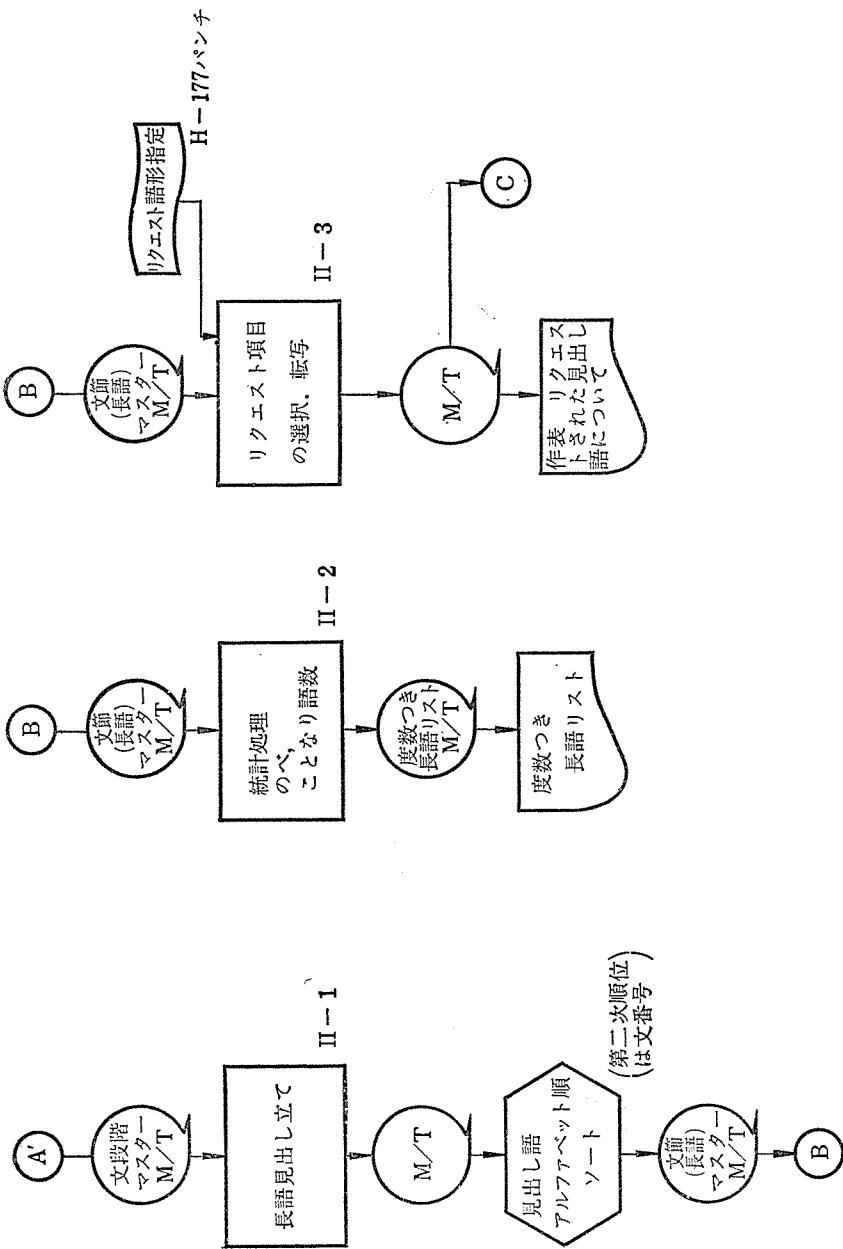
Ⅲ—5 リクエストされた形態素に関して、話し手、聞き手、形態素、文番号の順序でソートし、その結果を、同一の話し手について、聞き手の違いに応じて、どのように問題の形態素を使ったり、使わなかったりしているかを見ることができるよう、話し手、聞き手、形態素、その形態素をふくむ文

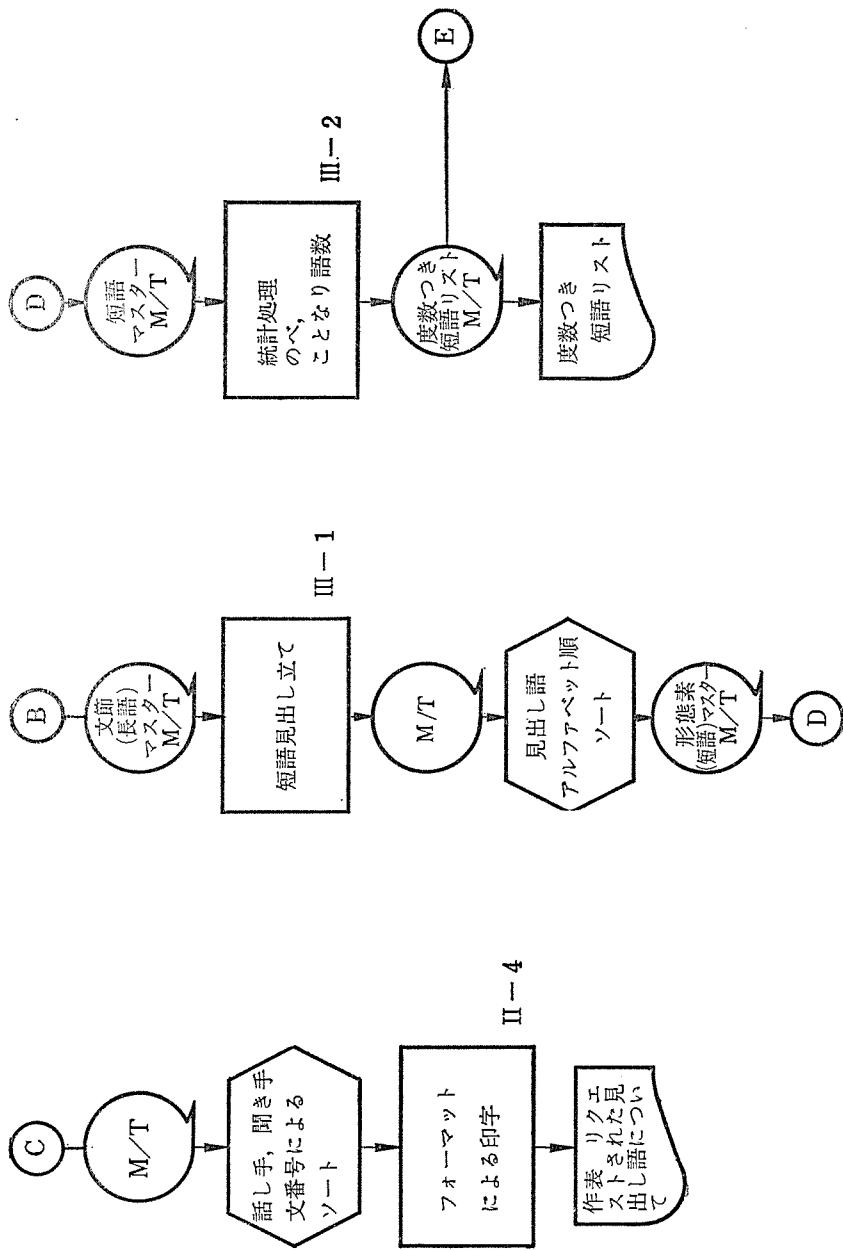
ゼネラル・フローチャート

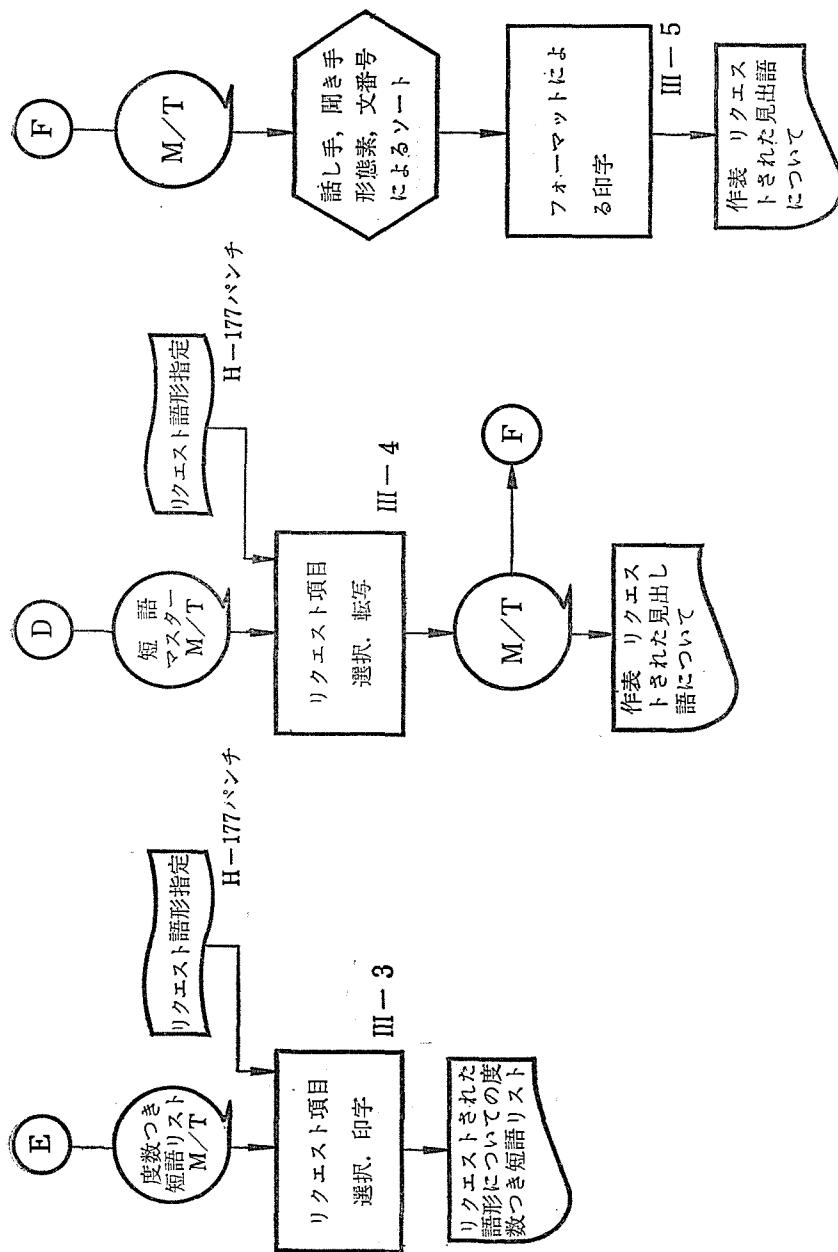


ソート順
 ①話し手、時間帯、聞き手
 ②時間帯、話し手、聞き手
 の二種類によつて
 印字される結果も二種類の
 リストが作製される。









④.5. 凡例。

(1) 話し手：聞き手コード

三けたよりなる。

第一けた 同居家族か訪問者かの区別

K 訪問者 (kyaku)

U 同居家族 (uchi no mono)

第二けた 発話者の番号

1～G (訪問者, 計16名)

1～5 (同居家族, 計5名)

Kのばい, コードを三けたにそろえるために, 10以上はアルファベットの大文字を使った。

第三けた 性別

F 女性

M 男性

K 1 M 新聞配達

K E M クリーニング屋1

K 2 M 落合徳三(U 1 F の兄)

K F F 寺本某(U 1 F の友人)

K 3 F 野菜売りの婦人1

K G M クリーニング屋2

K 4 F 落合てい(U 1 F の母)

K Z M 国語研究所員

K 5 F 野菜売りの婦人2

K 6 M 洋服屋店員

U 1 F 落合寿美子(主婦)

K 7 M 郵便配達

U 2 M 落合春雄(主人)

K 8 F 奥村節子(落合家長女)

U 3 F 落合八千代子(三女)

K 9 M 山内某(山陰合同銀行員)

U 4 M 落合恵友(長男)

K A M 福島登(富士銀行員)

U 5 F 神門幸子(U 2 M の妹)

K B F 村上某(近所の奥さん)

K C F 金津某(温灸師)

I N D 不明

K D F 蒲生八重子(U 2 M の妹)

(2) 形式の表記

形態素の表記 形態音韻表記(アルファベット大文字。HITAC 3010

の64文字コードにあたる)。たとえば, DES <です>, MAS <ます>, CJOODAI <ちょうどい>など。

形態素の連続の表記 音韻表記(主として, アルファベット小文字を使用)。たとえば, nasaimase (NASAIMAS, RE) <なさいませ>, nasai (NASAR, RE) <なさい>など。

形態素の表記は, 表現された形とは違っているばあいがある。たとえば, DAR <だ——いわゆる断定の助動詞>, TAR <た——いわゆる過去の助動詞>など。また, 一つの表記をもって二つ(以上)の形を代表していることもある。たとえば, RARE <られる>は「れる, られる」, TAR <た>は「た, だ」をそれぞれ示す。なお, 以下に, 二三の記号について説明を加えておく。

	形態音韻表記	音韻表記
促音(ッ)	Q	Q
撥音(ン)	N	N
長母音にあたる母音音素 の連続	VV(AA,OO,EE など) で表わす	vv (aa, oo, ee など) で表わす
ヤ行音, 拗音の半母音に あたるもの	J	j
形式不明の表記	(++++)	
発話なしの表記	SILENT	

(3) 形式の切れ目の表記

形態素の切れ目 コンピュータのコードとしては, - (マイナス)。たとえば, SICI-ZI-NO <七時の>, KU-RU-WA <来るわ>など。ただし, 本報告書の表記では原則として一の代りに - (ハイフン) を用いた。

文節の切れ目 スペース。たとえば, SO-NO HAQPA-WA <そのはっぱは>など。

文の切れ目 # #。たとえば, # HOO SOO. # <“ほうそう。”>

(4) 文の種類の表示

普 通 文	・ (ピリオド)。
疑 問 文	@ (アットマーク)。 0.3.4. の②の b の音韻表記テクストでは、 ?
中 断 文	; (セミコロン)。

(5) 文番号

7けた固定長の数字。第7けた目は補充用とする。従って1番は0000010,
150番は0001500のごとく表示される。

0000101は、10番と11番の中間に位置づけられる番号を示す。

HITAC 3010 の高速印字機で印字する場合、64文字モードで印字すると、ある種の記号は、実際には存在して電算機内では記憶されていても、全然印字されない。たとえば、'AAの' や、文の種類のうち、疑問文を示す@、中斷文であることを示す;などは印字されない。(その点は H-177 で印字する場合も同様である) そこで、電算機の記憶装置内に、実際に当該記号が存在するか否かを知るために、高速印字機の文字モード制御スイッチをきりかえて印字させることが多い。その場合、' はカ、@ はイ、; はエ、: はオ、% はセ、のように仮名文字にかえて印字される。

たとえば、'AA→カAA

.....'ANOO ZIDOOSJA ; →カANOO ZIDOOSJAエ

のごとくである。したがって、処理結果をよむ時には、との形に翻訳してよむことが必要である。(ただし、本報告書では、語形を示す場合には原則として'は省いた。もっとも、MAN'IN <満員>, PAN'JASAN <パン屋さん>などのような場合には残した)

注1 以下の記述は、昭和40年2月20日に、国語研究所が松江市で行なった、松江調査報告講演会の時の配布資料「松江調査の結果」による。

注2 たとえば、嫁、しゅうとの問題、家庭の中でだれがさいふを持つかなど。

注3 『言語生活の実態——白河市および付近の農村における——』(国研報告2, 1951),
『地域社会の言語生活——鶴岡における実態調査——』(国研報告5, 1953) 参照。なお、このほかに昭和27年に三重県上野市において実施した24時間調査が一例あるが、結果

は発表されていない。

注4 繼母。

注5 仕事や来客の関係で、みんなが揃って昼食をとったのではない。

注6 昭和35年10月1日現在で、松江市で漁業をいとなむとされている、15歳以上の就業者数は、男398名、女102名、計500名である（『新修松江市誌』、昭和37年、松江市役所発行による）。

注7 文字化の作業を native の者が行なうか、あるいは native の者があとで検査を行なうかすれば、文字化が不可能だった箇所、あるいはまちがって文字化した箇所をすくなくすることが出来たと思われる。しかし、実際にはそれは出来なかった。

注8 たとえば、付録（3.4.）の松江調査関係文献目録中の国立国語研究所1965b、林四郎1966など参照。

注9 最近のいわゆる computational linguistics の分野でも、文章の分析の重要性が注目されはじめたようである。たとえば、K. Krippendorff は、content analysis における approach のしかたとして、association models, discourse models および communication models の三種をあげている。そして、テクストに現われる有限の数の要素（たとえば語）の相互関係についての統計的な性格だけを問題にする第一の model より、文章（discourse）全体を考察の対象とする第二の model の方が、またさらに、話し手、聞き手間の伝達における相互作用まで取り扱うことを目的とする第三の model の方がもっと強力であるという意味のことを言っている（K. Krippendorff : Models of Messages : Three Prototypes, The Analysis of Communication, 1969）。これは、具体的なことばによる伝達における、どんな言語上の要素もたがいに切りはなされた存在でないこと、また具体的な言語行動そのものが、他の種の行動からまったく独立した存在ではないことなどを考えれば当然のことであろう。石綿敏雄の教示によると、G. Salton は、content analysis における情報検索について、統計的な手法を用いた方法と、人手によって作成したシソーラスを用いる方法によって、いくつかの実験をし、その間の比較をした。統計的な手法の中では、一語一語をばらばらにした状態で、リクエストのキーワードと store されているテクストのキーワードのマッチングをするよりも、単語の association を利用した方が効果的であった。ところで、さらに、これらの統計的な手法よりも、人手によるふつうのシソーラスを使った方がより効果的であったと、Salton は報告している（Gerard Salton : Automatic Content Analysis in Information Retrieval, The Analysis of Communication, 1969）。これも、テクスト全体についての総合的な情報が、どんな言語 data の処理の場合にも必要であるということを示す例の一つであろう。このことは、単に computational linguistics に限ったことではない。

また、最近の言語の意味の研究は、もっぱら単語（あるいは形態素）を考察の対象とする従来の行き方ばかりでなくて、文の中におけるいくつかの単語の結び付き（連語）、あるいは句または文全体に着目する傾向がだんだん一般的になってきているよう

である。たとえば、Herbert E. Brekle : Generative Satzsemantik und Transformationelle Syntax im System der Englischen Nominalkomposition (Wilhelm Fink Verlag, München, 1970), 石綿敏雄「言語の意味と言語情報処理」(『電子計算機による国語研究』国研報告31, 1968), 「言語の意味と言語情報処理」修正補記 (LDP <国語研究所電子計算機グループ月報別冊>, No. 1, 1968-5), 「構文解析自動化の研究 I——CL からの構文論の見通し」(『電子計算機による国語研究 II』国研報告34, 1969), Geoffrey N. Leech : Towards a Semantic Description of English (Longmans, London, 1969), 南不二男「文の意味についての二三のおぼえがき」(『国語研究』<国学院大学>, No. 24, 1967-12), On the Meaning of Sentences (Studies in General and Oriental Linguistics, 1970), 中野洋「言語情報処理における意味の把握についての一方策」(『計量国語学』No. 53, 1970-6) など。これもことばの意味(内容)を、さらに広い範囲の条件のもとで考えようとする傾向の現われの一つであろう。しかし、意味についての分析も、文を最大単位としているかぎり、それはそれなりの限界があるはずで、将来はさらに大きな単位を考察の対象にする必要があると思われる(この問題については、1.7.2. 参照)。

言語研究の対象を抽象的な *langue* の体系に限ることなく、具体的な表現(または言語行動)にも目を向けるべきだという意見は、はじめにあげたような application の観点からばかりでなくて、一般言語学の立場からもそれほどしばしばではないにしても説かれてきた。最近では、Eugenio Coseriuが、言語学を Saussure 流の *langue* の学と規定することはあまりにもせまい見方であること、言語研究のためにには言語行動の言語学(または言語行動の文法)が必要なことを主張している(E. Coseriu : Teoría del lenguaje y lingüística general 1967。この Coseriu の説は、石綿敏雄に教えられた)。ただし、ここで問題にする談話の種類(または型)は、たしかにより具体的な言語表現の型に対応するものではあるが、それ自身具体的なものか、あるいは抽象的な存在として考えるべきかは問題である。このようなことばの表現の型の選択(または、言語行動の型の選択とも言えるかもしれないが)の問題は、個々の言語要素の選択と同様、またはそれに先行して取り上げられなければならないことがらであると思われる。松江調査でも、基礎調査、生徒調査、主婦調査、婦人学級調査、PTA調査は、こうした言語行動の型に関する調査を含むものであった。これらの調査の結果の一部については、国立国語研究所1965 b, 林四郎1966参照。また、主婦調査などの結果について、さらにいろいろな言語行動(の型)の背後にある要因をさぐることを意図した分析もあった。渡辺友左1965, 1968参照。しかし、全体として見ると、松江調査が企画され、実施された段階では、こうした言語行動の型の現われ(またその背後の要因)から、個々の言語要素の現われにおよぶ、統一的な理論を作ろうとする志向は、まだはっきりしていなかったと言ってよい。

1. 分析

1.0. 待遇表現関係要素粗描。

資料に現われたかぎりの待遇表現関係の要素を概観しておくことにする。ただし、ここでは、いわゆるていねい表現、尊敬表現および要求表現に關係した要素だけについて見る。

(1) ていねい表現関係の要素

DES <です>

(…DE) GOZAIMAS <(…で) ございます>

(…DE) GOZAINS <(…で) ございます>

MAS <ます>

また、DAR <だ> もあわせて考察するばあいがある。DES と DAR についてはなお問題があるが、あとでふれる。

(2) 尊敬表現関係の要素

RARE <られる>

RAE <られる>

SAQSJAR <られる>

NAR <なさる>

NASAR <なさる>

NASAIMAS <なさいます>

NASAINS <なさいます>

(3) 要求表現関係の要素

nasaimase (NASAIMAS, RE) <…なさいませ>

nasainse (NASAINS, RE) <…なさいませ>

nasai (NASAR, RE) <…なさい>

nai (NAR, RE) <…なさい^{注1)}>

(…te) kudasaimase (KUDASAIMAS, RE) <(…て) 下さいませ>

(…te) kudasainse (KUDASAINS, RE) <(…て) 下さいませ>

(…te) kudasai (KUDASAR, RE) <(…て) 下さい>

(…te) cjooodai (CJOODAI) <(…て) ちょうだい>
(…te) gosinai (GOS, NAR, RE) <(…て) 下さい>
(…te) gosudawa (GOS, DAR, WA) <(…て) ちょうだい>
(動詞) dawa (DAR, WA) <…しなさい, …するといい, 例, tabeedawa=食べなさい, jakudawane=焼きなさい, 焼くといいよ>

以上の三つの種類の区別は絶対的なものではない。便宜上分けてあげただけであって、こまかく検討すると同じ種類としたものの中でも、違った性格を示すものもあり、また他の種類のものとある点では共通した特徴を持つものもある。たとえば、尊敬表現としたものなかで、NASAR, NASAIMAS, NASAINS は、ある点では RARE, RAE とはっきり違った特徴を持ち、ていねい表現とした諸要素に近い現われ方を示す。これらについての詳細は、あとでそれぞれの項でのべる。

上に示した形態素の分析には問題がある。たとえば、NASAIMAS は NASAR と MAS とにさらに分析すべきだという意見もあると思われる。

尊敬表現と要求表現にあげた、NASAR, NASAIMAS, NASAINS は、ここでは動詞に接尾したものだけを問題にしている。

要求表現については、() の中にそれぞれの形式を構成するおもな形態素を示した。

以上の要素の現われ方（このばあいは分布）を、つぎの図 (p. 32) に簡単にまとめて示す。問題の要素ばかりでなく、付隨して現われる要素のおもなものもあわせてあげた。

- (1) これらの要素（形態素）の現われる順序は、左から右 (I → VI)。
- (2) I, II … VI それぞれの同じ欄中の要素はたがいに排除的。ただし、II の MAS は、RARE, RAE または SAQSJAR のあとには現われることができる。
- (3) I の N と V はそれぞれ名詞と動詞（の語幹）。
- (4) II の a はていねい表現関係の要素。II の b は尊敬表現関係の要素。b・c は尊敬表現と要求表現に関係した要素。c は要求表現関係の要素で、要求表現に関係したばあいのみを問題にしている。

	I	II	III	IV	V	VI
N	a	DAR, DES, (...DE) GOZAIMAS (...DE) GOZAINS	.	WA G A	NA NAA	
V	b	RARE RAE SAQSJAR	MAS DAR ₂ DES ₂	JVV K A	NE NEE KEN	
	b · c	NAR NASAR NASAIMAS NASAINS			DOMO D E	NOO J O JA
	c	(...TE) GOS (...TE) GOS, NAR (gosinar-) (...TE) KUDASAR (...TE) KUDASAIMAS (...TE) KUDASAINS (...TE) CJOODAI		RE		

(5) II の DAR₁, DES₁ と III の DAR₂, DES₂ とは, 以下のような理由から区別した。^{注2)}

a DAR₁, DES₁ は, 名詞(または名詞に相当する句)のあとにしか現われないが, DAR₂, DES₂ は動詞のあとにも現われうる。(MAS をともなった動詞のあとにも現われうる)

b DAR₁, DES₁ と DAR₂, DES₂ とは, 一般的に言って共存可能である。

例:

korja zjootodesuda (DES₁, DAR₂) <これは上等です> (100690,

K 8 F : K 4 F)

miqcudatadesunee (DAR₁, DES₂) <三つだったですねえ>

(52340, KAM : K 4 F/U 2 M)

^{注3)} zjamudadakenne (DAR₁, DAR₂) <ジャムだからね> (107770,

KDF : K 8 F)

DES₁ と DES₂ の共存例は見つけていない。

c DAR₁, DES₁ には TAR <…た, 過去> がつくことができるが, DAR₂, DES₂ に TAR がついた例はない。また, DAR₂, DES₂ には JVV <う, よう, つまり「だら」「だろう」「でしょう」> がつきうるが, DAR₁, DES₁ にはつかない。

例 :

nanbodesitadarakane (DES₁, TAR, DAR₂, JVV) <いくつ
だったでしょうかね> (89000, K 4 F : KDF)

sendo tomaribandaqtadesjoo (DAR₁, TAR, DES₂, JVV)
<このまえ泊り番一宿直か一だったでしょう> (41150, K 8 F : U 1 F)

(6) Ⅲ, Ⅳ, Ⅴにわたる RE は, いわゆる命令形を作る形態素。つまりこの要素は, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴの諸要素とたがいに排除的な関係にある。

(7) Ⅳの JVV は <う, よう> にあたるもの。

(8) Ⅴの諸要素は, いわゆる終助詞または接続助詞にあたるもの。

(9) Ⅵの諸要素は, いわゆる間投助詞。

1.1. 談話。

1.1.0. ひとまとまりの文章を何らかの方法で分析することは, 単語とか形態素とかいった言語要素の現われを規定する何らかの条件を文章の中に見つけようとするばあいの前提の一つと考えられる。常識的に言えば, ひとまとまりの文章をいくつかの部分 (または構成要素) に分けることが必要になるのだろうが, そうした文章論上の構成要素的なもの (あるいはそれにあたる単位的なもの) としては, とくに書きことばについては, 一種の伝統的な概念が一般に使われてきている。部, 章, 節などはその代表的なものであろうし, また段落も

そうである。書きことば資料では、書き手が一定していることがふつうであるし、また、内容や書き手の態度などが何らかの点で首尾一貫した性格を持っているばかりが多いから、^{注4)} そうしたいくつかの種類の単位を設定することが比較的容易であるよう見える。それに対して、話しことば、とくに日常生活における会話では、たとえば、話し手——聞き手の関係が固定的でなく、いわば流動的であるし、話の内容（主題）、あるいはまた、その話の持っている communication 上における function とでも言うべきものが一定とは言いにく^{注5)} い。話しことば、とくに会話の、こうした文章論上の単位的なものを設定するについては、はっきり解決できない問題が現在のところいくつかあるように思われる。

1.1.1. 談話の認定。 資料に現われた全部の会話は、その形式上または内容上のいろいろな特徴から、それぞれひとまとまりになつたいくつかの部分に切ることができるとと思われる。それらの部分を、かりに「談話」と呼ぶことにした。それに対して、いくつかの談話のあつまり、または資料全体の談話のあつまりを、ここではかりに「会話」と呼んでおくことにする。

一つづきの会話をいくつかの談話（にあたる部分）に切るにあたっては、一応次のような基準によることにした。

1 形の上の特徴

- a その部分の前またはあとのはっきりしたポーズ
- b その部分自身内部の連續性（一つの談話にあたると考えられる、会話のある部分それ自身の中に、相当長い、はっきりしたポーズ——話の中斷——がないこと）

2 内容上の特徴

- a その談話（にあたる部分）に現われる各センテンス（にあたる発話）の話し手および聞き手（これを一括して談話の「参加者」と呼ぶ）が一定していること。もっとも、一部の参加者の途中からの参加または脱落はありうる。
- b その談話（にあたる部分）の、communication の上で function が一定していること。たとえば、あいさつ、用談、雑談、感情の直接^{注6)}

表現といったようなこと。

- c その談話（にあたる部分）の、ことばの調子が一定していること。たとえば、ふつうの調子、あらためり、くだけなど。もちろん、多少の変化はありうる。
- d その談話（にあたる部分）の話題の性格が一定していること。たとえば、日常生活に関することがら、世間話、他人のうわさなど。もちろん、多少の変化はありうる。

これらの基準はおおざっぱなものであって、それぞれこまかい点ではいくつか問題があることは言うまでもない。たとえば、かならずしもその前後にはっきりしたポーズが現われるとかぎらない。また、一つの談話の中のポーズについて、どの程度以上のものは問題にし、どの程度以下のものは無視する、といつたことについても、はっきりした客観的な基準をたてているわけではない。^{注7)} 内容上の特徴についてはなおさらである。形の上から言えばひとまとめの談話となると思われる部分が、たとえば、事務上の用談+世間話といった性格を持っているばかりもある。このように、こまかい問題はいくらでもあるけれども、それらはある程度まで無視して、ここでは、資料中の処理したかぎりの会話（文数 9,922）を、1,245 の談話に分けた。

1.1.2. 談話の分類。一つの談話は、最小のものは、一つの文からなる。これはたとえば、*joisjo* 〈よいしょ〉とか、*aa omosiroi* 〈ああ、おもしろい〉といった感情の直接的表現に多い。それに対して、長いものでは、一つの談話の文数が 211 におよぶものまである。これは、親せきについてのうわさ話で、参加者は 4 人である。

このようにして、資料中の 1,245 の談話にはいろいろの性格のものがあるから、これをいくつかの種類に分けることが可能であると思われる。そのためには、ここでは、かりに次の三つの点から考えることにした。

- a communication 上の function。あいさつ、用談、おしゃべりなど。
- b ことばの調子。ふつう、あらためり、くだけ、皮肉など。
- c 話題。日常生活に関することがら、事務用件、時事、他人のうわさなど。具体的には、それぞれの点についていくつかの特徴を考え、それぞれの特

徴に一けたのコードをあたえ、全体として三けたのコードで表わすようにした。

第1けた： communication 上の function	第2けた： ことばの調子	第3けた： 話題（おもな内容）
0 不明	0 不明	0 不明
1 ひとり	1 あらたまり	1 日常・身辺・家庭
2 あいさつ	2 くだけ	2 世間・時事
3 しらせ・用談	3 ふつう	3 事務・用事
4 おしゃべり	4 泣き	4 個人うわさ
5 遊び	5 おこり	5 感謝・賞讃
6 教え・さしづ	6 おしつけ	6 悪口・非難・不平
7 けんか	7 へりくだり	7 つくり話・うそ
8 思考	8 皮肉	8 感覚・感情
		9 きまり文句
		A 昔話

(1) communication 上の function。言語表現が実際の communicationにおいて果している役割りは単純でなく、いろいろのものがあると考えられる。たとえば、ふつう言うところのあいさつ（「こんにちは、ずいぶん寒くなりましたね」「それじゃまたね、バイバイ」など）と、何かのことがらについてのしらせ（「今度のごみ集めは火曜だそうですよ」「牛乳代 2,800 円おたてかえしておきました」など）とでは、明らかにその communication の上での function が違うと思われる。前者は人ととの一種の社会的な接觸に關係したもの（そのときそのときの接觸をはじめる、つづける、打ち切るなど）と思われるし、後者は何らかのことがらに関する情報を伝えることにもっぱら關係がある。そういういろいろな function（の違い）を説明するために、一応の仮説として上の表にあげたようないくつかの特徴を考えてみた。それについて簡単に説明を加える。

- 1 ひとり：聞かせることをめざした相手のない言語表現、たとえば、ひとりごと、感情の直接的表現におけるもの。
- 2 あいさつ：人ととの間の、そのときそのときの一種の社会的接觸に關係したもの。

- 3 しらせ・用談：何らかのことがらに関した、（言わば知的な）情報の伝達を目的にしたもの。
- 4 おしゃべり：何らかのことがらに関した伝達を行なってはいるが、目的はそれにあるのではなく、話すこと自身が目的、または話を続けることによって人と人との間の何らかの関係を維持することが目的であるもの。たとえば、世間話、他人のうわさなどにおけるもの。
- 5 遊び：ことばの表現そのものが何らかの意味での楽しみの対象となるもの。冗談、子どもの遊びのことば、言語遊戯などから文学（のある面）までも含む。
- 6 教え・さしづ：知的な情報の伝達という点では3と共通しているが、相手を話し手の意に従わせようとする性格がある。3の場合は、ただ話し手から相手に情報を中立的に伝えるだけである。
- 7 けんか：知的な情報の伝達というより感情的な性格の強い communication。相手を話し手の意に従わせようとする性格という点では6と共通しているように見えるが、こちらはその伝達が相互的である（6の場合は、原則として一方的）。
- 8 思考：思考活動におけることばの働き一般。

以上のはかに、いわゆる metalingual な働きとか、記録（あるいは情報の蓄積）といった function も考えることが可能なように思われるが、ここではあげなかった。なお、ここで使ったひとり、あいさつ、しらせ・用談などといったことばは、単にそれぞれの特徴の名まえとして使ったのであって、ふつうに言うところのあいさつならあいさつ、用談なら用談という種類の言語表現だけをさすものではない。上にあげたような特徴を持っていれば、たとえば常識的にはあいさつとは言わない言語表現でも2の function を持つと言うことができる。

(2) ことばの調子。言語表現の一種の形として現われた、常識のことばの調子と言ってよいと思われる面を、それだけ取り出したものである。厳密な考察をしたわけではないので、さらにこまかい分析を施す余地は大いにある。いわゆるイントネーション、強調、ポーズのおき方などの、いわば suprasegmental

tal な面にも関係していると思われるし、また、*segmental* な要素の発音のしかたに関係した面もあると思われる。また、話のはやさにも関係があるであろう。

- 1 あらたまり：いわゆる形式的な、かしこまったくの調子。あいさつななどに現われるもの。
- 2 くだけ：冗談、ごく親密な間での会話などに現われる、ふざけた調子。
- 3 ふつう：常識的に見て中立的だと思われる調子。
- 4 泣き：子どもが何かを訴える時のような調子、あるいは、おとながぐちをこぼす時のような調子。もちろん、ほんとうに泣くという行動をともなう必要はない。
- 5 おこり：けんか、叱責などの場合、また、不平・不満をもらすような時の調子。もちろん、これはそうした調子だけを問題にしているので、必ずしも話し手がおこっている場合だけとは限らない。^{注8)}
- 6 おしつけ：強調あるいは要求の調子の程度が、3(ふつう)よりも大きいと考えられるものをおしつけとした。
- 7 へりくだり：相手の顔色をうかがいながら、機嫌をとる時などの調子。おせじ、あやまりなどの場合、子どもをあやす時などに現われるもの。
- 8 皮肉：常識的に見て、皮肉あるいはからかいなどと考えられる表現に現われる調子。

(8) 話題。これは、あげ出したらきりがないかもしれないが、資料に出て来る限りのものをおおうことが出来そうに思われる項目をあげた。その選択、整理にはっきりした原理をたてたわけではない。それぞれについての説明は加えないが、8(感覚・感情)は、たとえば、「あっ、いたい!」「うん、こりゃうまい」「あらいやだ」といったような表現をその代表的なものとしてあげることが出来るだろう。9(きまり文句)はあいさつななどにおいてよく見られるもの、A(昔話)は、話し手の過去の経験を回顧するような内容のことで、いわゆる昔話(かちかち山、絵姿女房などのような)ではない。

談話の種類は、こうした三種の特徴に対応する三けたのコードの組み合わせで表わすわけである。たとえば、138は{ひとり、ふつう、感覚・感情}で、資

料中の例でいえば、aa omosiroi <ああ、おもしろい>などがこれにはいる。219は{あいさつ、あらたまり、きまり文句}であって、多くの訪問者のあいさつはこれにはいる。331は{しらせ・用談、ふつう、日常・身辺・家庭}である。家族どうしの間の家事に関する談話などはこれにはいる。434は{おしゃべり、ふつう、他人うわさ}ということになる。親せきのだれかれについてのうわさを内容にした雑談などはこれである。

1.1.3. 談話の実例。以下に資料中の実例をすこしあげる。

- 0011190 ————— : ————— # SILENT. #
01250 0011200 K 3 F : I N D / U 1 F # maa arigatoogozaimasu. #
0011210 U 1 F : K 3 F # ohajoogozaimasu. #
0011220 K 3 F : I N D # (+++). #
01260 0011230 U 1 F : K 3 F # aa ? #
0011240 K 3 F : U 1 F # daikoN (+++)ka ? #
0011241 K 3 F : U 1 F # daikoNwa arimasu (+++). #
0011250 U 1 F : K 3 F # ija arukedo hatakeni arude ima cjoode
naiwa. #
0011260 K 3 F : U 1 F # hoNnara naNka hokano mono
(+++) . #
0011270 U 1 F : K 3 F # ara iiga iiga. #
0011271 U 1 F : K 3 F # sore aNta soNna ; #
0011280 K 3 F : U 1 F # sumimaseNne cjoQto (+++). #
0011290 U 1 F : K 3 F # (+++) aNta ikeNwane. #
0011291 U 1 F : K 3 F # aNta soNna ; #
0011300 K 3 F : I N D # (+++). #
0011310 U 1 F : K 3 F # are maa soo aa. #
0011320 ————— : ————— # SILENT. #
0011330 K 3 F : U 1 F # kore (+++) cuketedemo tabete kuda-
sai kjabecu. #
0011340 U 1 F : K 3 F # aa ? #
0011341 U 1 F : K 3 F # ara maa (+++). #
(中略)
01280 0011450 U 1 F : K 3 F # okaasaN dogedesuka ? #
0011460 K 3 F : U 1 F # arigatogozaimasu. #
0011461 K 3 F : U 1 F # anoo joo joo gozaimasu (+++). #
0011470 U 1 F : K 3 F # mada denasaajani naraNnee. #

0011480	K 3 F : U 1 F	# hee mazu hujuni naQtekara (++++)- cjoita hooga ii (+++). #
0011490	U 1 F : K 3 F	# sogedesjoonee. #
0011500	K 3 F : U 1 F	# mata raineNno haruni (+++) mata demasukeN onegaisimasu. #
0011510	U 1 F : K 3 F	# odaizini nasarana ikeNnee. #
0011520	K 3 F : U 1 F	# arigatoogozaimasu. #
(中略)		
01290	0011751	U 1 F : K 3 F # jaaja doomo. #
	0011760	K 3 F : U 1 F # doomo. #
	0011770	U 1 F : K 3 F # arigatoogozaimasita. #

- a 上の例は音韻表記テキストである。
 - b 各行の左に、ところどころにある五けたの数字は談話番号。これは資料のはじめから、談話に通し番号をつけた。次の文番号についても同様である。
 - c 各行のはじめの七けたの数字は文番号。
 - d K 3 F, U 1 Fは参加者を示すコード (\rightarrow 0.5.)。: の左は話し手、右は聞き手を表わす。INDは話し手または聞き手が不明であることを表わす。
 - e # は文の境目。
 - f (+ + + +) は不明の部分。

上にあげた例は、次の四つの談話よりなる。

談話番号	範 囲	
01250	0011200, 0011210	219 {あいさつ, あらたまり, きまり文句}
01260	0011230～0011341	331 {しらせ・用談, ふつう, 日常・身辺・家庭}
01280	0011450～0011520	411 {おしゃべり, あらたまり, 日常・身辺・家庭}
01290	0011751, 0011760	219 {あいさつ, あらたまり, きまり文句}

1.1.4. 談話数と文数。次に、処理した限りの資料に現われた談話の種類と、それぞれの種類における談話数と文数とをあげておく。

第1表

談話の種類	談 話 数	文 数	談話の種類	談 話 数	文 数
000	3	3	422	2	32
020	1	1	430	19	48
030	208	290	431	173	1,997
031	6	9	432	58	1,507
032	1	1	433	1	5
			434	85	2,320
121	3	3	43A	13	198
128	1	1	481	1	1
130	95	98			
131	5	6	0**	219	304
132	1	1	1**	157	161
138	52	52	2**	132	744
			3**	362	2,465
211	5	11	4**	375	6,248
214	1	16			
215	2	12	*0*	3	3
219	29	289	*1*	38	337
221	1	5	*2*	40	213
229	2	8	*3*	1,163	9,368
231	67	284	*8*	1	1
234	8	61			
235	1	9	**0	329	444
239	16	49	**1	625	4,692
			**2	63	1,571
321	8	32	**3	16	177
330	3	4	**4	96	2,420
331	333	2,204	**5	3	21
332	1	30	**6	53	53
333	15	172	**7	47	346
334	2	23	**8	13	198
411	1	9	総計	1,245	9,922
421	22	131			

上の表で、0**, 1***...4** は、communication 上の function のコードだけを示す。同様にして、*0*, *1*...*8* はことばの調子、**0, **1...**A は話題の、それぞれのコードだけを示す。

1.2. 参加者の種類と談話の種類。

1.2.0. 参加者のいかんによって、それぞれの種類の談話の現われ方がずいぶん違う場合がある。ある種の参加者の組には、ある種類の談話が比較的多く現われるが、他の種類の談話はすくないということがある。談話の種類と待遇表現関係の諸要素の現われとの関係を見る前に、そうした参加者の種類と談話の種類との関係を見ておくことにする。そのために、ここでは参加者を、まず、

非親せき (省略記号：非シ)

親せき (省略記号：シ)

同居家族 (省略記号：ウ)

^{注10)}に分け、さらにそのおののの組み合わせによって分類した。すなわち、

非親せき・非親せき (非シ・非シ)

非親せき・親せき (非シ・シ)

非親せき・同居家族 (非シ・ウ)

非親せき・親せき・同居家族 (非シ・シ・ウ)

親せき・親せき (シ・シ)

親せき・同居家族 (シ・ウ)

同居家族・同居家族 (ウ・ウ)

上にあげたような、参加者の組み合わせの別による、各種類の談話の現われ方の程度を知るために、次のような方法をとった。まず、参加者の組を、上記のように、非シ・非シ、非シ・シ、非シ・ウ、非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウ、ウ・ウの七つのグループにまとめる。次に、この参加者の組の七つのグループそれぞれの全文数と資料全体のべ文数との比率によって、各種類の談話の、それぞれの全文数を比例配分すれば、参加者の組のグループごとの、各種類の談話の一種の理論的な文数を知ることが出来る。それと、実際に現われた文数とを比較すれば、参加者の組のグループごとの、各種類の談話の現われの特色が知られる。^{注11)}ただし、ここでは、前にあげた、communication 上の function、ことばの調子および話題という三つの種類の特徴の組み合わせではなく、それぞれの種類の特徴について、べつべつに現われ方を見ることにした（三

つの特徴の組み合わせについての現われ方は、付録 3.1. 参照)。なお、ここで問題にする談話（および文）は、第一にその参加者が複数で組を作っているもの、第二にその参加者の種類がはっきりしているものに限る。従って、ここでは資料における全部の談話（および文）をあげるわけではない。

1.2.1. communication 上の function。 参加者の組のグループの別による communication 上の function の種類の現われ方は、次の第 2 表の通りである。表の同一欄中の、左側の数字は実際の文数、右側は理論文数。理論文数で 1 未満の値のものはあげなかった。（これらは、以下の各表とも同様）

第 2 表

	0**	1**	2**	3**	4**
非シ・非シ	0 —	0 —	0 —	0 1.0	4 2.5
非シ・シ	0 15.2	0 8.1	42 37.2	208 123.3	253 312.4
非シ・ウ	0 21.2	0 11.3	197 52.1	287 172.6	193 437.4
非シ・シ・ウ	0 51.5	0 27.4	295 126.5	207 419.1	1,175 1,062.2
シ・シ	0 21.2	0 11.3	21 52.1	37 172.6	630 437.4
シ・ウ	0 151.5	0 80.5	156 372.0	1,175 1,232.0	3,679 3,124.0
ウ・ウ	0 27.3	0 14.5	33 67.0	548 221.9	314 562.3
不 明	0	0	0	3	0

数のすくない非シ・非シは別として、まず、2**（あいさつ）について見ると、非シのはいったグループで実際の文数が多くなっているのが目につく。理論文数より相当多いものもあるし（非シ・ウ、非シ・シ・ウ）、そうでないものもあるが（非シ・シ）、すくなくとも理論文数よりすくないものはない。^{注12)} それに対して、非シのはいらぬグループ、すなわちシ・シ、シ・ウ、ウ・ウでは逆に実際の文数がすくない。あいさつが、みうちでない外からの訪問者が来た場合に多く起こるのは当然かもしれない。3**（しらせ・用談）については、実際の文数が非シ・シ、非シ・ウ、ウ・ウで多くなり、非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウですくなくなっている。これは、非親せきの訪問者は、おそらく何かの用があってたずねて来ること、また同居家族どうしの間では日常生活、家事などについての談話が多く行なわれることを示すものかもしれない。4**（おしゃべり）では、非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウで実際の文数が多く、非シ・シ、

非シ・ウ、ウ・ウですくない。すなわち、3**の場合とちょうど逆の傾向を見せている。親せきどうしの組み合わせ、あるいは親せきと同居家族との組み合わせでは、特別の用事のないおしゃべりが多く起こるようである。

1.2.2. ことばの調子。参加者の組のグループの別による、ことばの調子の種類の現われ方は、次の第3表の通りである。

第3表

	0	*1*	*2*	*3*	*8*
非シ・非シ	0 ——	0 ——	0 ——	4 3.7	0 ——
非シ・シ	0 ——	33 16.9	1 10.7	469 468.4	0 ——
非シ・ウ	0 ——	99 23.6	7 14.9	571 655.7	0 ——
非シ・シ・ウ	0 ——	141 57.3	78 36.2	1,458 1,592.4	0 ——
シ・シ	0 ——	3 23.6	20 14.9	665 655.7	0 ——
シ・ウ	0 1.5	61 168.5	95 106.5	4,853 4,683.5	1 ——
ウ・ウ	0 ——	0 30.3	7 19.2	888 843.0	0 ——
不明	0	0	0	3	0

めだつと思われる点は、*1*（あらたまり）が非シ・シ、非シ・ウ、非シ・シ・ウ、つまり非シを含むグループで多く、シ・シ、シ・ウ、ウ・ウ、つまり非シを含まないグループですくないことであろう。これはもちろん、前に見た2**（あいさつ）の現われと関係がある。*2*（くだけ）が非シ・シ・ウですこし多くなっているが、これは4**（おしゃべり）にともなって現われたものである。*3*（ふつう）については、各グループともこれといった特色はない。

1.2.3. 話題。参加者の組のグループの別による、話題の種類の現われ方は、次の第4表の通りである。やや目につく点だけを拾い上げる。**1（日常・身辺・家庭）が多いのは、やはりウ・ウである。また、非シ・シにも多い。^{注13)} **2（世間・時事）は非シ・シ・ウに多く、非シ・シ、非シ・ウ、シ・シですくない。シ・ウ、ウ・ウでは、こここの限りではすくなくないようである。**3（事務・用事）はやはり非シ・ウで多い。**4（個人うわさ）はシ・シ、シ・ウで多く、非シ・シ、非シ・ウ、非シ・シ・ウですくない。ウ・ウでも案外すくない。わりにはっきりした傾向を見せるのは、**9（きまり文句）であって、非シ・ウ、非シ・シ・ウで多く現われる。これはあいさつと関係がある。

第4表

	**0	**1	**2	**3	
非シ・非シ	0 —	0 1.9	4 —	0 —	
非シ・シ	6 22.2	353 234.6	13 78.5	0 8.9	
非シ・ウ	23 31.1	331 328.4	34 109.9	141 12.4	
非シ・シ・ウ	2 75.5	711 797.6	502 266.9	36 30.1	
シ・シ	0 31.1	202 328.4	18 109.9	0 12.4	
シ・ウ	19 222.0	2,414 2,346.0	831 785.0	0 88.5	
ウ・ウ	2 40.0	660 422.3	167 141.3	0 15.9	
不明	0	3	0	0	
	**4	**5	**8	**9	**A
	0 1.0	0 —	0 —	0 —	0 —
	76 121.0	0 1.1	0 2.7	10 17.3	45 9.9
	40 169.4	0 1.5	0 3.7	108 24.2	0 13.9
	134 411.4	0 3.6	0 9.0	150 58.8	142 33.7
	463 169.4	0 1.5	0 3.7	5 24.2	0 13.9
	1,654 1,210.0	21 10.5	0 26.5	60 173.0	11 99.0
	53 217.8	0 1.9	0 4.8	13 31.1	0 17.8
	0	0	0	0	0

1.2.4.まとめ。今まで見て來たところから、参加者の種類と談話の種類との関係について、次のようないくつかの点をあげることが出来そうに思われる。

(1) 非シ（を含むグループ）と、シまたはウ（を含むグループ）との違いがいくつかの点で見られる。たとえば、2**（あいさつ）およびそれにもなって*1*（あらたまり）、**9（きまり文句）が前者に多く、後者にすくないこと。また、3**（しらせ・用談）も前者に多い（非シ・シ・ウを除く）。一方、4**（おしゃべり）、**1（日常・身辺・家庭）、**4（個人うわさ）が後者に多く、前者にすくない。このような事実は、みうちか、みうちでないかの違いが談話の種類の選択に相当関係があることを示唆していると言えそうである。

(2) シ・シ、シ・ウの組み合わせは、一つの特徴を持つようである。それは、この組み合わせを含むグループ、すなわち非シ・シ・ウ、シ・シ、シ・ウで4**が他とくらべて多いことである。また、3**がすくなくなっている。

(3) 同じみうちの参加者のグループでも、親せきのはいったグループ（シ・

シ，シ・ウ）と，同居家族だけのグループ（ウ・ウ）では違いがありそうである。(2)あげたように，シ・シ，シ・ウでは4**が多く，3**がすくないが，ウ・ウではその逆に3**が多く，4**がすくない。この点では，ウ・ウはむしろ，みうちでない参加者のはいった非シ・シ，非シ・ウと共通した性格を示している。また，話題についても，たとえば**4がすくない点などで，ウ・ウは，むしろ，非シ・シ，非シ・ウ，非シ・シ・ウと共通した性格を示している。

以上，ここでは参加者を非親せき，親せき，同居家族にわけて見た場合に注意されるいくつかの点をあげたわけだが，参加者を別の観点から分類して，それによって談話の種類の現われを考えることも，可能あるいは必要なではないかと考えられる。たとえば，非親せきの来訪者と家族との関係をさらにくわしく分けるとか，同じ同居家族でも一日中うちにいる者と，勤めなどで外に出る者とに分けるなど。あるいは，ここでいうところの固定的（絶対的）条件を考慮に入れて，性別，（絶対的）年代，職業，学歴，居住経歴などを問題にすることも考えられる。

以下，ここで問題にした談話の種類を手がかりにして，それらと各種の待遇表現関係の要素の現われとの関係を見ることにする。

1.3. 談話の種類とていねい表現。

1.3.0. ここでは，談話の種類と，学校文法でいうところの「ていねい語」にあたる諸要素の現われ方との関係について見る。問題にするていねい表現関係の要素は，DES^{注14)}〈です〉，MAS〈ます〉，GOZAIMAS〈ございます〉，GOZAINS〈ございます〉の四つである。なお，これらのていねい表現関係の要素の現われに関連させて，DAR〈だ〉についても見ることにする。

ある種類の談話にある要素が多く現われているか，それほど多く現われていないかの見当をつけるために，次の方法をとった。すなわち，各種類の談話のそれぞれの文数と資料全体ののべ文数との比を求め，その比率によって，問題の要素の全度数を比例配分し，それをそれぞれの種類の談話における，問題の要素の理論度数とする。それと実際の度数とをくらべる。このやり方は，談話の文数についてとったものと基本的には同じである。しかし，今度の場合は問

題があるように思われる。問題の要素（形態素）の全度数を比例配分するというのならば、資料全体における全形態素のべ度数と、各種類の談話における全形態素の度数との比による方がよいのではないかと思われる。しかし、今の場合、全形態素のべ度数が、資料全体についても、各種類の談話におけるものについても、わかっていないので、そのやり方をとることが出来なかった。そういうわけで、一種の approximation として文の度数の比によることにした。これは、他の待遇表現、すなわち尊敬表現、要求表現、呼び名についても同様である。また、談話の種類については、communication 上の function、ことばの調子、話題という三つの特徴の組み合わせではなく、前の 1.2. の場合と同様、それぞれの種類の特徴についてべつべつに現われ方を見ることにした。これはあとの尊敬表現、要求表現、呼び名についても同様である（三つの種類の特徴の組み合わせについての現われ方は付録 3.2. 参照）。

1.3.1. communication 上の function といねい表現。

communication 上の function の種類による、ていねい表現関係の各要素の現われ方は、次の第 5 表の通りである。

第 5 表

	D E S		M A S		GOZAIMAS		GOZAINS	
0**	8	14.8	8	15.0	0	1.2	0	—
1**	0	9.9	0	10.0	0	—	0	—
2**	33	34.5	113	34.9	18	2.9	0	1.4
3**	101	123.3	135	124.8	13	10.3	9	5.0
4**	351	310.6	243	314.4	10	25.8	11	12.6
?	3		0		0		0	

DES と MAS は、その現われ方にいくらかの違いがあるようである。すなわち、MAS は 2** (あいさつ) が多く、4** (おしゃべり) ですくなめであるのに対して、DES にはこれといった特徴はなさそうである。4** でやや多めのようだが、それが意味があるかどうかはわからない。GOZAIMAS と GOZAINS は数がすくないので、はっきりしたことは言えない。ただし、この限りでは、GOZAIMAS は 2** に多いのに、GOZAINS はむしろ、3** (しらせ・用談)、4** に集中している。

1.3.2. ことばの調子とていねい表現。

ことばの調子の種類による、ていねい表現関係の各要素の現われ方は、次の第6表の通りである。

第6表

	D E S		M A S		G O Z A I M A S		G O Z A I N S	
0	0	—	0	—	0	—	0	—
1	12	14.8	75	15.0	18	1.2	0	—
2	16	9.9	8	10.0	3	—	0	—
3	465	463.4	416	469.1	20	38.5	20	18.8
8	0	—	0	—	0	—	0	—
?	3		0		0		0	

やはり、DES と MAS との間にいくらかの違いが見られる。すなわち、*1*（あらたまり）で MAS が多いのに対し、DES はそこでは多くない。DES の現われ方には、全体的にこれといってめだつ点はないようだ。GOZAIMAS と GOZAINS については、こここの限りではやや違いが見られないでもない。すなわち、GOZAIMAS の方は *1* に比較的多く現われているのに對して、GOZAINS はすべて *3*（ふつう）である。

1.3.3. 話題とていねい表現。

話題の種類による、ていねい表現関係の各要素の現われ方は、次の第7表の通りである

第7表

	D E S		M A S		G O Z A I M A S		G O Z A I N S	
**0	10	19.7	7	20.0	0	1.6	0	—
**1	224	231.7	257	234.5	20	19.3	16	9.4
**2	90	78.9	55	79.8	1	6.6	3	3.2
**3	16	9.9	16	10.0	2	—	0	—
**4	118	118.3	80	119.8	2	9.8	1	4.8
**5	2	—	3	—	1	—	0	—
**8	0	4.9	0	5.0	0	—	0	—
**9	15	14.8	70	15.0	14	1.2	0	—
**A	18	9.9	11	10.0	1	—	0	—
?	3		0		0		0	

DES と MAS との間の違いが **9 (きまり文句) に見られる。MAS が多く現われている。DES は全体としてここでもこれといっためだった点はない。GOZAIMAS と GOZAINS についても、こここの限りでは **9 に違いがありそうに見える。GOZAIMAS は **9 に比較的多いが、GOZAINS が現われたのは、**1 (日常・身辺・家庭) に16例のほか、**2 (世間・時事)、**4 (個人うわさ) だけで、**9 にはなかった。

1.3.4. まとめ。

以上の三つの点から考えると、同じていねい表現関係の要素といってもその現われ方にある程度の違いがありそうなことがわかる。とくに、DES と MAS は、2** (あいさつ) およびそれにともなうと考えられことばの調子——*1* (あらたまり) など——や、話題——**9 (きまり文句) ——で、比較的めだつ違いを示した。これは、あいさつのきまり文句に MAS が DES よりも多く使われているということがあるのかもしれないし、また DES と MAS との文法的な (あるいは意味上の) 性格の違いも関係しているかもしれない。これから研究課題の一つであろう。もし、こここの DES と MAS についての結果が偶然でないならば、MAS は、ていねいさの程度あるいは形式的であることについての程度において DES より上と考えられる。それに対して DES は中立的で、ふつうの文体に多く現われるものと言ってよさそうである。

GOZAIMAS と GOZAINS との間にも何らかの違いがありそうである。前者が 2**, *1*, **9 に比較的多く、後者が 3** (しらせ・用談), 4** (おしゃべり), *3* (ふつう), **1 (日常・身辺・家庭) などに現われているという傾向がもし偶然の結果でなかつたならば、ひょっとしたら標準語形と方言形の違いにもとづく、ていねいさあるいは形式的であることについての程度の違いによるものかもしれない (つまり、前者があらたまつた形、後者はふつうの形)。なお、これについては、尊敬表現の NASAIMAS と NASAINS について参照。(→1.4.4.)

1.3.5. 補い。

- (1) DAR 〈だ〉について簡単にあげる。第8表の通りである。communication 上の function, ことばの調子、話題をまとめて示す。

第8表

0**	11	26.9	**0	18	35.9
1**	0	17.9	**1	386	421.6
2**	11	62.8	**2	206	143.5
3**	157	224.3	**3	5	17.9
4**	716	565.1	**4	265	215.3
			**5	0	—
0	0	—	**8	0	9.0
1	6	26.9	**9	4	26.9
2	23	17.9	**A	11	17.9
3	865	843.2	?	2	
8	1	—			

communication 上の function については、2** (あいさつ), 3** (しゃせ・用談), とくに 2** ですくなく, 4** (おしゃべり) で多い傾向を示す。ことばの調子では, *1* (あらたまり) ですくない。話題では, **9 (きまり文句) ですくなく, **2 (世間・時事), **4 (個人うわさ) でやや多い。以上の傾向は, 大ざっぱに言って, MAS と逆の性格を持っていると言えそうである。もし, 前の 1.3.4. でのべたように, ていねいさあるいは形式的であることの程度に関して DES が中立的であるとするならば, MAS は DES の上, DAR は DES の下に位置するものと言うことが出来るかもしれない。

(2) 話し手, 聞き手の組み合わせとていねい表現。ていねい表現にとって, 話し手と聞き手の関係が重要な条件になるということは, 従来からよく言われていることだが, たしかに実際の現われ方を見ると, 話し手と聞き手の組み合わせのいかんによっていろいろな違いが見られるようである。ここでは, その例として資料の中から話し手と聞き手がそれぞれひとりずつの組（たとえば, K8F:U1F とか U1F:U2M などといった）を55組えらび, それらの組のすべての発話における DES, MAS, GOZAIMAS, GOZAINS の現われをあげる。

なお, 話し手, 聞き手間の関係について, 以下にあげるようないくつかの特徴を仮定して, それによって上の諸要素の現われを見ることにした。

客側, 主人側の関係 :

- a 客（側の立場）から主人側へ
- b 主人（側の立場）から客側へ
- c 客どうし
- d 家族どうし

この場合、主人側というのは、さきにあげたここでいう同居家族のメンバーだけとは限らない。訪問者でも（とくに親せき）、さきに来ていてあとから訪問者を迎える位置（一種の社会的位置）にあれば、主人側として扱う。

年齢の関係：

- e 年少者から年長者へ
- f 年長者から年少者へ
- g (ほぼ) 同年者どうし

みうちか、みうちでないかの関係：

- h 互にみうちでない者どうし
- i 互にみうちである者どうし

第9表

	D E S		M A S		GOZAIMAS		GOZAINS	
a	124	117.9	144	112.0	14	9.2	9	4.8
b	204	164.2	195	156.0	18	12.9	6	6.6
c	79	96.8	55	92.0	1	7.6	2	3.9
d	14	42.1	6	40.0	0	3.3	0	1.7
e	276	172.6	230	164.0	15	13.5	9	7.0
f	115	197.9	136	188.0	15	15.5	6	8.0
g	30	50.5	34	48.0	3	4.0	2	2.0
h	220	113.7	248	108.0	29	8.9	14	4.6
i	201	307.3	152	292.0	4	24.1	3	12.4

各欄の左側は実際の度数、右側はそれぞれの特徴における文数と総文数との比によって、それぞれの要素のここにおける限りのベ度数を比例配分して出した理論度数。

客側、主人側の関係に関する特徴の場合は、客側から主人側へおよび主人側から客側への組み合わせにおいて、ていねい表現関係の要素の現われ方が多い。

傾向にあるようである。それに対して、客どうしではむしろすくない傾向を示し、さらに家族どうしでもすくない（これは当然かもしだぬ）。年齢に関係した特徴では、年少者から年長者への組み合わせで多く、年長者から年少者への組み合わせでなくない。同年者どうしはあまりはっきりしないが、どちらかというとすくなめらしい。みうちかみうちでないかでは、みうちでない者どうしで多く、みうちどうしではすくない、という違いがはっきりしている。このような結果は、われわれの常識から予想されるところとかけはなれていないようである。

1.4. 談話の種類と尊敬表現。

1.4.0. 談話の種類と、学校文法でいうところの「尊敬語」にあたる諸要素の現われ方との関係について見る。問題にする尊敬表現関係の要素は、RARE <られる>, RAE <られる>, SAQSJAR <「られる」に近いか?>, NAR <なさる>, NASAR <なさる>, NASAIMAS <なさいます>, NASAINS <なさいます> の七つである。なお、以下では、比較的数の多い、RARE, NAR, NASAR と、数のすくない、SAQSJAR, NASAIMAS, NASAINS とを別にして見ていくことにする。

1.4.1. communication 上の function と尊敬表現。

communication 上の function の種類による、尊敬表現関係の各要素の現われ方は、次ページの第10表(1, 2)の通りである。

はじめに、RARE, NAR および NASAR について見ると、RARE が 2** (あいさつ), 3** (しらせ・用談) ですくなく、4** (おしゃべり) で多い傾向を示すのに対し、NASAR が逆にどちらかというと、2**, 3** で多く、4** ですくないのが目につく。NAR の現われ方には、これといった特別な点はないように見える。数のすくない、RAE, SAQSJAR, NASAIMAS および NASAINS については、RAE, SAQSJAR が 4** に集まっている、RARE に似た傾向を示すのに対して、NASAIMAS は 2**, NASAINS は 3** に集まる。もちろん数がすくないから決定的なことは言えない。

第10表の1

△/○	RARE	NAR	NASAR
0**	0 6.0	1 1.6	0 1.8
1**	0 4.0	1 1.1	0 1.2
2**	3 14.1	6 3.8	18 4.2
3**	14 50.3	16 13.5	23 15.0
4**	180 126.6	30 34.0	18 37.8
?	4	0	1

第10表の2

△/○	RAE	SAQSJAR	NASAIMAS	NASAINS
0**	0 —	0 —	0 —	0 —
1**	0 —	0 —	0 —	0 —
2**	0 —	1 —	8 —	2 1.1
3**	0 2.8	0 2.3	1 2.5	12 3.8
4**	11 6.9	7 5.7	1 6.3	1 9.5
?	0	1	0	0

1.4.2. ことばの調子と尊敬表現。

ことばの調子の種類による、尊敬表現関係の各要素の現われ方は、次の第11表(1, 2)の通りである。

第11表の1

△/○	RARE	NAR	NASAR
0	0 —	0 —	0 —
1	0 6.0	2 1.6	2 1.8
2	3 4.0	4 1.1	1 1.2
3	194 188.9	48 50.8	56 56.4
8	0 —	0 —	0 —
?	4	0	1

第11表の2

△/○	RAE	SAQSJAR	NASAIMAS	NASAINS
0	0 —	0 —	0 —	0 —
1	0 —	0 —	5 —	0 —
2	0 —	4 —	0 —	0 —
3	11 10.3	4 8.5	5 9.4	15 14.1
8	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0	1	0	0

ことばの調子の種類との関係については、上の表に見られる通り、あまりめだつ点はない。ただ、NASAIMAS が *1* (あらたまり) にある程度多いことが注意をひく程度である。

1.4.3. 話題と尊敬表現。

話題の種類による、尊敬表現関係の各要素の現われ方は、次の第12表(1, 2)の通りである。

第12表の1

	R A R E		N A R		N A S A R	
**0	1	8.0	0	2.2	0	2.4
**1	53	94.5	40	25.4	51	28.2
**2	17	32.2	2	8.6	1	9.6
**3	1	4.0	0	1.1	1	1.2
**4	123	48.2	10	13.0	4	14.4
**5	0	—	0	—	0	—
**8	0	2.0	0	—	0	—
**9	1	6.0	2	1.6	2	1.8
**A	1	4.0	0	1.1	0	1.2
?	4	—	0	—	1	—

第12表の2

	R A E	S A Q S J A R	N A S A I M A S	N A S A I N S
**0	0 —	0 —	0 —	0 —
**1	0 5.2	4 4.2	4 4.7	14 7.1
**2	0 1.8	1 1.4	1 1.6	0 2.4
**3	0 —	0 —	0 —	0 —
**4	11 2.6	3 2.2	0 2.4	1 3.6
**5	0 —	0 —	0 —	0 —
**8	0 —	0 —	0 —	0 —
**9	0 —	0 —	5 —	0 —
**A	0 —	0 —	0 —	0 —
?	0	1	0	0

RARE, NAR, NASAR については、RARE と NASAR がここでも大ざっぱに言って逆の傾向を示している。すなわち、RARE は **1 (日常・身辺・家庭) ですくなく、**4 (個人うわさ) で多いのに対して、NASAR は **1

で多く、**4 でなくない。NAR は**1 に多く、この点については NASAR に近い傾向を示している。数のすくない方では、RAE が**4 に集中して、RARE に似た性格を示す。SAQSJAR にはとくにめだつ点はないようである。NASAIMAS, NASAINS では、前者が**9 (きまり文句) にある程度多く見られ、後者は**1 に集まっている。

1.4.4. まとめ。

はじめに、RARE と NASAR がいろいろな点で違った性格を示すことが注意される。communication 上の function の 2** (あいさつ), 3** (しらせ・用談), 4** (おしゃべり), 話題の**1 (日常・身辺・家庭), **4 (個人うわざ) について、それぞれ逆の傾向を示すことは上に見て来た通りである。数のすくない方のものでも、RAE はやはり RARE に近いようである。NASAIMAS と NASAINS はどちらかというと NASAR に似た現われ方である。このようなことから考えると、ここで尊敬表現としてあげた諸要素は大きく二つのグループに分れるのではないかと想像される。一つは RARE と RAE、他の一つは、NASAR, NASAIMAS, NASAINS。NAR は両者の中間か、ひょっとしたら後者に近いのかもしれない。SAQSJAR についてもわからない。

なお、NASAIMAS と NASAINS との間にも、こまかく見ると、違いがありそうである。そして、その違いは、ていねい表現における GOZAIMAS と GOZAINS の違いと平行的なもののように思われる。communication 上の function、ことばの調子、話題について、それぞれの要素が比較的多く現われているものを+で示すと下のようになる。(土は多くもすくなくもないもの)

	NASAIMAS	NASAINS	GOZAIMAS	GOZAINS
2**	+		+	
3**		+		+
1	+		+	
3		±		+
**1		+		+
**9	+		+	

1.4.5. 補い。

尊敬表現と関係者。ここで関係者というのは、ある尊敬表現をうける立場にある人物のことである。ほとんどの場合、問題の尊敬表現関係の要素がついている述語の表わす動作または状態の主（動作主）である。この関係者が、その話し手にとって目の前にいる相手（聞き手）であるか、または話し手から（同時にまた聞き手からも）離れたところにいる第三者であるかということについて、尊敬表現関係の要素によって相当いちじるしい違いが見られる。

第13表

	RARE	RAE	SAQSJAR	NAR	NASAR	NASAIMAS	NASAAINS
相手	7	0	5	38	54	10	12
第三者	194	11	4	20	6	0	1
?	0	0	0	1	0	0	2

RARE, RAE は、第三者について使われた場合が圧倒的に多い。それに対して、NASAR, NASAIMAS, NASAAINS では、相手について使われた場合が多い。NAR は両者の中間的な性格を示す。SAQSJAR も、数がすくないから断定は出来ないが、この数字の限りでは中間的である。以上のことは、前の 1.4.4. で談話の種類による現われ方から考えた、二つのグループの区別と一致する。NASAR, NASAIMAS, NASAAINS, とくにあの二者はある点でいねい表現に關係のある性格を持っているように見えるが（→1.4.4），それは、ここで見たように相手（聞き手）について使われる場合が多いことがその一つの原因かもしれない。また、ここに見られる事実は、尊敬表現の内容（意味）上の特徴として、関係者の扱い方に二種類のものがあるのではないか、つまり、一つは関係者をいわば「そと」の者として扱い、他はいわば「うち」の者として扱う、といった二種類のものがあるのではないか、ということを示唆するものである。

ついでに、関係者が第三者の場合、どのような種類の人間であるかを、次にあげておく。

第14表

	RARE	RAE	SAQSJAR	NAR	NASAR	NASAINS
世間一般	18	0	0	0	1	1
他人(または知人?)	67	0	0	6	2	0
親せき	80	9	4	4	2	0
親せき(または知人?)	11	0	0	0	0	0
話し手の家族	6	2	0	5	0	0
相手の家族	0	0	0	0	1	0
その他	6	0	0	1	0	0
?	0	0	0	4	0	0

1.5. 談話の種類と要求表現。

1.5.0. 談話の種類と要求表現関係の諸要素の現われ方を見る。問題にする要求表現関係の言語形式は次の通りである。nasaimase (NASAIMAS, RE) <(なさいませ>, nasainse (NASAINS, RE) <(なさいませ>, nasai (NASAR, RE) <(なさい>, nai (NAR, RE) <(なさい>, (...te) kudasaimase (KUDASAIMAS, RE) <((…して) 下さいませ>, (...te) kudasainse (KUDASAINS, RE) <((…して) 下さいませ>, (...te) kudasai (KUDASAR, RE) <((…して) 下さい>, (...te) cjooodai (CJOODAI) <((…して) ちょうどいい>, (...te) gosinai (GOS, NAR, RE) <((…して) 下さい>, (...te) gosudawa (GOS, DAR, WA) <((…して) ちょうどいいぐらいにあたるか?>, (動詞) dawa (DAR, WA) <…しなさい, …するといい>。

1.5.1. communication 上の function と要求表現。

communication 上の function の種類による、要求表現関係の各要素の現われ方は、次の第15表の通りである。

全体的に数がすくないから断定的なことは言えないが、一般に要求表現は2** (あいさつ) と3** (しらせ・用談) に多く、4** (おしゃべり) にはすくない傾向があるようである。個々の言語形式について見ると、2**に多いもの—nasaimase, 3**に多いもの—nai, dawa, 2**と3**両方に多いもの—nasai, kudasai, cjooodai がある。2**の場合は、席をすすめたり、茶菓をすすめたりする時のものが多いと想像される。3**については、家庭内のこと

第15表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase	
0**	0 ——	0 ——	0 1.2	0 ——	0 ——	
1**	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
2**	8 ——	1 ——	16 2.8	2 1.1	0 ——	
3**	1 2.3	0 ——	17 10	7 3.8	1 ——	
4**	0 5.7	0 ——	6 25.2	5 9.5	0 ——	
?	0	0	1	1	0	
	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
0	15 ——	2.1	12 1.6	3 ——	0 ——	2 ——
1	11 ——	7.5	9 5.8	2 1.3	2 ——	10 3.3
0	4 ——	18.9	1 14.5	0 3.2	0 1.3	1 8.2
0	0	1	0	0	0	0

ごました用事に関して要求表現がしばしば現われることを示すものかもしれない。以上の傾向は、われわれの常識から考えるところとあまりへだたりはないようと思われる。

1.5.2. ことばの調子と要求表現。

第16表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase	
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
1	5 ——	0 ——	1 1.2	0 ——	0 ——	
2	0 ——	0 ——	1 ——	0 ——	0 ——	
3	4 8.5	1 ——	37 37.6	14 14.1	1 ——	
4	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
?	0	0	1	1	0	
	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
0	1 ——	0 ——	2 ——	0 ——	0 ——	0 ——
0	3 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1	26 28.2	22 21.6	3 4.7	2 1.9	13 12.2	
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
0	0	1	0	0	0	0

ことばの調子の種類による、要求表現関係の各要素の現われは、前ページの第16表の通りである。

nasaimase が *1* (あらたまり) にある程度多いほかは、みな *3* (ふつう) に集まっているが、これも理論度数よりとくに多いわけではない。

1.5.3. 話題と要求表現。

話題の種類による、要求表現関係の各要素の現われ方は、次の第17表の通りである。

第17表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase	
**0	0 ——	0 ——	0 1.6	0 ——	0 ——	
**1	4 4.2	1 ——	37 18.8	13 7.1	1 ——	
**2	0 1.4	0 ——	0 6.4	1 2.4	0 ——	
**3	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
**4	0 2.2	0 ——	0 9.6	0 3.6	0 ——	
**5	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
**8	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
**9	5 ——	0 ——	2 1.2	0 ——	0 ——	
**A	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
?	0	0	1	1	0	

	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
0 ——	0 1.2	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1 ——	26 14.1	22 10.8	3 2.4	2 ——	13 6.1	
0 ——	1 4.8	0 3.7	0 ——	0 ——	0 ——	0 2.1
0 ——	2 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
0 ——	0 7.2	0 5.5	0 1.2	0 ——	0 ——	0 3.1
0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
0 ——	1 ——	0 ——	2 ——	0 ——	0 ——	
0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	
0	0	1	0	0	0	0

nasaimase が **9 (きまり文句) にある程度多いほかは、**1 (日常・身辺・家庭) に集まっている。とくに、nasai, nai, kudasai, cjoodai, dawa がそうである。それに対して、**2 (世間・時事) とか **4 (個人うわさ) ではなくない。

1.5.4. まとめ。

もちろん断定は出来ないが、こここの結果の限りでは、談話の種類と要求表現の現われとの関係はわりにはっきりした性格を見せてているように見える。communication 上の function や話題についての現われ方から考えられるように、要求表現——とくに日常生活の会話における要求表現は、多くの場合、人と人との一種の社会的な接觸に関するもの——2**（あいさつ）におけるような——とか、日常生活における具体的ないろいろなものごとに関して、相手に何らかの具体的な行動を求める事——3**（しらせ・用談）、**1（日常・身辺・家庭）におけるものとかに関しておこるものようである。それに対して、発話の時点において目の前に具体的に現われることがらを直接問題にすることがすぐないところの、4**（おしゃべり）、**2（世間・時事）、**4（個人うわさ）では、要求表現がおこることもすぐないのであろう。このような、目の前の具体的なものごとを直接問題にしているか、そうでないかといふ違いは、談話の分析の上でも、また、待遇表現そのものの分析の上でも、注目してよい一つの点であるように思われる。

1.5.5. 補い。

要求表現では、さきのていねい表現の場合と同じように、話し手と聞き手の間の（直接的）関係が問題となると思うので、ていねい表現の時に見た、話し手と聞き手の間の関係についてのいろいろな特徴をここでも使い、それぞれの特徴における要求表現関係の諸要素の現われを見ておくことにした（→1.3.5.）。話し手、聞き手の組も、やはりていねい表現の場合と同じ55組である。（第18表）

- | | |
|------------------|------------------|
| a (客側の立場から主人側へ) | b (主人側の立場から客側へ) |
| c (客どうし) | d (家族どうし) |
| e (年少者から年長者へ) | f (年長者から年少者へ) |
| g (ほぼ同年者どうし) | i (互にみうちである者どうし) |
| h (互にみうちでない者どうし) | |

各欄の左側は実際の度数、右側はそれぞれの特徴における文数と総文数との比によって、それぞれの要素のここにおける限りのベ度数を比例配分して出した理論度数。

第18表

	nasaimase	nasaiNse	nasai	nai	kudasaimase	
a	1 1.7	0 ——	15 10.1	4 2.8	1 ——	
b	5 2.4	1 ——	14 14.0	3 3.9	0 ——	
c	0 1.4	0 ——	5 8.3	1 2.3	0 ——	
d	0 ——	0 ——	2 3.6	2 1.0	0 ——	
e	4 2.5	0 ——	17 14.8	6 4.1	1 ——	
f	2 2.8	0 ——	9 16.9	2 4.7	0 ——	
g	0 ——	1 ——	10 4.3	2 1.2	0 ——	
h	6 1.6	1 ——	13 9.7	2 2.7	1 ——	
i	0 4.4	0 ——	23 26.3	8 7.3	0 ——	
	kudasaiNse	kudasai	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
0 ——	5 7.6	5 6.2	0 1.4	0 ——	3 3.1	
1 ——	20 10.5	15 8.6	4 2.0	1 ——	0 4.3	
0 ——	2 6.2	1 5.1	1 1.2	0 ——	3 2.5	
0 ——	0 2.7	1 2.2	0 ——	0 ——	5 1.1	
0 ——	12 11.1	4 9.0	1 2.1	0 ——	6 4.5	
1 ——	10 12.7	10 10.3	3 2.4	1 ——	3 5.2	
0 ——	5 3.2	8 2.6	1 ——	0 ——	2 1.3	
1 ——	12 7.3	6 5.9	2 1.4	0 ——	0 3.0	
0 ——	15 19.7	16 16.1	3 3.7	1 ——	11 8.0	

それぞれの要素の度数もすくないし、ていねい表現の場合ほど現われ方にについての性格がはっきりしていないように見える。客側か主人側かという関係については、b（主人側から客側へ）に、kudasai, cjoodai（また nasaimase も）がわりに現われる傾向がありそうなのは、あいさつなどで、席や茶菓をすすめたりする時などに出て来るものかと思われる。年齢の関係に関しては、同年者どうしの間にいくつかの種類のものが比較的多く現われていること（多いというほどでもないが）、みうちかみうちでないかについては、dawa がみうちどうしに集まっていることぐらいが目につくことがらであろう。

1.6. 呼び名。

1.6.0. 呼び名については、以下にあげる範囲の言語形式を問題にする。（それぞれの言語形式のあとに（ ）内の数字は現われた度数を示す）

(1) 人名

a 姓+名

HASIMOTO RJJUTAROO (2) ETOO TOSIJA (2) JA-
SUDA ZENGOROO (1) KAWASIMA HACUKO (1) NA-
KAJAMA MASA (1)

b 姓

GAMOO (10) HUNAGOSI (2) AOKI (2) INOUE (1)
ISIKAWA (2) JAMAZAKI (1) OCIAI (1) OZUWARUDO
(4) UCIDA (2) URABE (1) WATANABE (1) KAWA-
SIMA (1) KANBA (3) KANDO (3) KAZITA (5) KE-
NEDII (1) MOCIDA (5) NAKAMURA (3) RUBII (1)
SAKURAI (2) TAKESITA (3) TOMITA (1) TOMO-
CIKA (1)

c 名

HIROKO (2) HUMI (1) AKIRA (7) ICIROO (6) JOOKO
(6) KIMIE (2) KUNIO (1) MINORU (2) REEKO (3)
SACIKO (1) TOKUSUKE (1) TOSIKO (3)

d 姓+名+SAN

HUZHARA MOTOME-SAN (1) ENDOO KAEMON-SAN
(1) JASUDA ZENBEI-SAN (1) OCIAI TEE-SAN (1)
UEDA MOTOKAKU-SAN (1) NAKAJAMA MASA-SAN
(2) SENGOKU KOOTAROO-SAN (2) TANAKA ZIROO-
SAN (1)

なお、姓+名の略称に SAN をつけたものが一例あった。

UEKAKU-SAN (=UEDA MOTOKAKU) (1)

e 姓+SAN

HARA-SAN (1) HATA-SAN (2) HINO-SAN (1) HOSO-
DA-SAN (1) AMANO-SAN (1) ETOO-SAN (2) IWATA-
SAN (1) IKEDA-SAN (2) INOUE-SAN (1) JAMAUCI-
SAN (1) JAMASAKI-SAN (1) JASUDA-SAN (2) OCI-
AI-SAN (3) OKANO-SAN (3) OOHASI-SAN (1) OOSA-
WA-SAN (1) UENO-SAN (6) WATANABE-SAN (1) KA-
WASIMA-SAN (1) KANBA-SAN (1) KANDA-SAN (2)
KANDO-SAN (2) KENEDII-SAN (4) MACUBARA-SAN
(MACUHARA-SAN を含む) (2) MACUMOTO-SAN (2) MACU-
SITA-SAN (2) MACUZAKI-SAN (2) NAGATANI-SAN (1)
NAKAMURA-SAN (3) NOMURA-SAN (2) NORO-SAN
(3) SAKURAI-SAN (8) SENGE-SAN (2) TAKESITA-
SAN (4) TAMURA-SAN (2) TERAMOTO-SAN (3)

f ^{注15)}名+SAN

HACUKO-SAN (2) HIROSI-SAN (1) HUMI-SAN (7)
HUMIKO-SAN (1) HUZIKO-SAN (1) AKI-SAN (1) JA-
CIJKO-SAN (3) JOOKO-SAN (2) KEEKO-SAN ^{注16)}(?) (1)
KEIBOO-SAN (2) KEN-SAN (1) KUMA-SAN (1) KU-
MAHARU-SAN (1) MASA-SAN (1) MASAE-SAN (3)
MINO-SAN (1) MOTOME-SAN (2) NOBOO-SAN (2)
REEKO-SAN (3) SECUKO-SAN (3) SIN'ICI-SAN (1)
SIZU-SAN (1) SJOO-SAN (1) SJOOKO-SAN (1) SUMI-
SAN (2) SUMIKO-SAN (5) TOMI-SAN (1) TOSI-SAN
(2) TOSIKO-SAN (1)

g 名+CJAN

JOOKO-CJAN (2) REEKO-CJAN (1) TOSIJUKI-CJAN (?)
(1)

h 名(略称)+CJAN

CII-CJAN (1) HIRO-CJAN (5) IQ-CJAN (1) JAKO-CJAN

- (1) JAQ-CJAN (13) KEN-CJAN (4) KIMI-CJAN (1)
 MINO-CJAN (1) MIQ-CJAN (注¹⁷) (2) SEQ-CJAN (4)
 TOKU-CJAN (6)
- (2) 親族称呼
 a 親族称呼そのまま
 O-BABA (4) O-ZIZI (1) PAPA (10)
 b 親族称呼+SAN
 BAA-SAN (1) O-BAA-SAN (6) O-KAA-SAN (11) O-
 NEE-SAN (1) O-NII-SAN (1) O-TOO-SAN (9) O-ZII-
 SAN (3) OBA-SAN (28) OKU-SAN (27) OZI-SAN (4)
 NEE-SAN (2) NII-SAN (2) PAPA-SAN (1)
 c 親族称呼+CJAN
 O-BAA-CJAN (84) O-KAA-CJAN (71) O-TOO-CJAN (38)
 O-ZII-CJAN (5) OBA-CJAN (6) KAA-CJAN (1) TOO-
 CJAN (1)
 d 名+親族称呼+SAN
 CIKAKO-OBA-SAN (1) SACIKO-OBA-SAN (1)
- (3) 代名詞
 a 代名詞そのまま
 BOKU (3) BOKU-TACI (1) UCI (23) UCI-JACI (4)
 UCI-RA (6) UCI-RACI (4) WASI (12) WASI-RA (1)
 WATASI (140) WATASI-JACI (4) WATASI-RA (2) WA-
 TASI-TACI (1) WATAKUSI (1) ANATA (1) ANTA (212)
 ANTA-GATA (3) ANTA-JACI (1) OMAI (17) OMAI-
 JACI (1) DONATA (2)
 b 代名詞+SAN
 A-NO-SAN (1) OMAI-SAN (24) OMAI-SAN-JACI (1)
 DARE-SAN (2)
- (4) その他に、以下にあげるような CAN, HAN, SAMA がついたものが

あるが、それらはここでは扱わなかった。

JAMANOUQ-CAN (10) JAMAUQ-CAN (1) SJUIQ-CAN (4)
 OQ-CAN (5) O-TOQ-CAN (1) OZIQ-CAN (3)
 BABA-HAN (1) MOCIDA-SJOO-HAN (1) MOCIDA-SJOO-KO-HAN (1)
 SIN'ICI-HAN (1) SJOO-HAN (1) SJOOKO-HAN (3)
 IKEDA-HAN (1)
 O-BABA-SAMA (1) O-KAA-SAMA (1)

1. 6. 1. communication 上の function と呼び名。

communication 上の function の種類による、各種の呼び名の現われ方は、以下にあげる第19表および第20表の通りである。人名、親族称呼関係のものと、代名詞関係のものを別々にして見ることにする。これは以下同様。

第19表

	姓+名だけ	姓だけ	名だけ	姓+名+SAN	姓+SAN	名+SAN	姓+名(略)+SAN
0**	0 ——	0 1.7	0 1.1	0 ——	1 2.3	0 1.6	0 ——
1**	0 ——	0 1.1	0 ——	0 ——	0 1.5	0 1.1	0 ——
2**	0 ——	1 3.9	0 2.5	0 ——	3 5.4	0 3.8	0 ——
3**	0 1.8	2 14.0	0 8.8	0 2.5	10 19.3	12 13.5	0 ——
4**	7 4.4	53 35.3	35 22.1	10 6.3	63 48.5	42 34.0	1 ——
?	0	0	0	0	0	0	0

	名+CJAN	名(略)+CJAN	親族称呼だけ	親族称呼+SAN	親族称呼+CJAN	名+親族称呼+SAN
0**	0 ——	0 1.2	0 ——	1 2.9	6 6.2	0 ——
1**	0 ——	0 ——	0 ——	0 1.9	0 4.1	0 ——
2**	0 ——	2 2.7	0 1.8	22 6.7	23 14.4	0 ——
3**	0 1.0	17 9.8	9 6.3	10 24.0	81 51.5	0 ——
4**	4 2.5	20 24.6	16 15.8	63 60.5	93 129.8	2 1.3
?	0	0	0	0	3	0

非常に大ざっぱに言って二つのグループに分れるようと思われる。一つは4** (おしゃべり) に多いもの、他の一つは2** (あいさつ) または3** (しゃせ・用談) に多いもの。前者としては、姓+名だけ、姓だけ、名だけ、姓+名+SAN、姓+SAN、名+SANなどをあげることが出来る。後者としては、名(略)+CJAN、親族称呼+SAN、親族称呼+CJANをあげることが出来よ

う。前者のグループにはいるものには、おそらく談話の話題となった人物の名まえが多いと想像される。それに対して、後者は談話の参加者（またはその場所に居合わせた人も？）をさすことが多いのではないか。

第20表

	BOKU	U C I	WASI	WATASI	WATAKUSI	ANATA
0**	0 ——	1 1.4	0 ——	5 4.4	0 ——	0 ——
1**	0 ——	0 ——	0 ——	0 2.9	0 ——	0 ——
2**	0 ——	3 3.3	1 ——	12 10.3	0 ——	1 ——
3**	2 1.0	11 11.8	9 3.3	43 36.8	0 ——	0 ——
4**	2 2.5	32 29.6	3 8.2	84 92.6	1 ——	0 ——
?	0	0	0	3	0	0

	ANTA	OMAI	DONATA	OMAISAN	ANOSAN	DARESAN
0**	6 6.5	1 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1**	0 4.3	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
2**	31 15.1	0 1.3	0 ——	2 1.8	0 ——	0 ——
3**	90 54.0	8 4.5	1 ——	4 6.3	0 ——	0 ——
4**	86 136.1	8 11.3	1 1.3	19 15.8	1 ——	2 1.3
?	3	1	0	0	0	0

どちらかというと、3**（まだあるものは2**も）に多く、4**でそれほど多くない傾向を示すようである。たとえば、ANTAは2**, 3**で多く、その他 WASI, WATASI, OMAIが3**でいくらか多いように見える。つまり、代名詞関係の呼び名は、前の人名関係のものの第二のグループ、名（略）+CJAN, 親族称呼+SAN, 親族称呼+CJANに近い性格を持っていると言えるかもしれない。

1.6.2. ことばの調子と呼び名。

ことばの調子の種類による、各種の呼び名の現われ方は、以下にあげる第21表および第22表の通りである。

人名、親族称呼関係では、別にこれといってめだつ現われ方のものはないようである。しいてあげれば、親族称呼+SANが*1*（あらたまり）と*2*（くだけ）でやや多いように見えることだが、これも、なにしろ数がすくないから確かなことはわからない。

第21表

	姓+名だけ	姓だけ	名だけ	姓+名+ SAN	姓+SAN	名+SAN	姓+名(略) +SAN
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1	0 ——	0 1.7	0 1.1	0 ——	1 2.3	0 1.6	0 ——
2	0 ——	0 1.1	0 ——	0 ——	2 1.5	0 1.1	0 ——
3	7 6.6	56 52.6	35 32.9	10 9.4	74 72.4	54 50.8	1 ——
8	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
?	0	0	0	0	0	0	0
	名+CJAN	名(略)+ CJAN	親族称呼 だけ	親族称呼 + SAN	親族称呼 +CJAN	名+親族 称呼+SAN	
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1	0 ——	0 1.2	0 ——	6 2.9	4 6.2	0 ——	0 ——
2	0 ——	1 ——	1 ——	6 1.9	8 4.1	0 ——	0 ——
3	4 3.8	38 36.7	24 23.5	84 90.2	191 193.6	2 1.9	
8	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
?	0	0	0	0	3	0	0

第22表

	BOKU	U C I	W A S I	WATASI	WATAKUSI	ANATA
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1	0 ——	1 1.4	0 ——	4 4.4	0 ——	1 ——
2	0 ——	3 ——	1 ——	3 2.9	0 ——	0 ——
3	4 3.8	43 44.2	12 12.2	137 138.2	1 ——	0 ——
8	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
?	0	0	0	3	0	0
	ANTA	OMA I	DONATA	OMAISAN	ANOSAN	DARESAN
0	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
1	11 6.5	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
2	8 4.3	5 ——	0 ——	1 ——	0 ——	0 ——
3	194 203.0	12 16.9	2 1.9	24 23.5	1 ——	2 1.9
8	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
?	3	1	0	0	0	0

代名詞についても、とくに注意すべきものはなさそうである。が、ANTAだけが*1*で多い(*2*でも)のが注意される。

1.6.3. 話題と呼び名。

話題の種類による、各種の呼び名の現われ方は、以下にあげる第23表および

第24表(1,2)の通りである。

第23表

	姓+名だけ	姓だけ	名だけ	姓+名+SAN	姓+SAN	名+SAN	姓+名(略)+SAN
**0	0 ——	0 2.2	0 1.4	0 ——	1 3.1	1 2.2	0 ——
**1	0 3.3	11 26.3	8 16.5	0 4.7	15 36.2	14 25.4	0 ——
**2	3 1.1	19 9.0	3 5.6	6 1.6	27 12.3	1 8.6	1 ——
**3	0 ——	0 1.1	0 ——	0 ——	2 1.5	0 1.1	0 ——
**4	3 1.7	25 13.4	24 8.4	2 2.4	30 18.5	38 13.0	0 ——
**5	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
**8	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
**9	0 ——	0 1.7	0 1.1	0 ——	1 2.3	0 1.6	0 ——
**A	1 ——	1 1.1	0 ——	2 ——	1 1.5	0 1.1	0 ——
?	0	0	0	0	0	0	0
	名+CJAN	名(略)+CJAN	親族称呼だけ	親族称呼+SAN	親族称呼+CJAN	名+親族称呼+SAN	
**0	0 ——	0 1.6	0 1.0	2 3.8	6 8.2	0 ——	
**1	1 1.9	27 18.3	11 11.8	45 45.1	148 96.8	1 ——	
**2	0 ——	0 6.2	0 4.0	3 15.4	27 33.0	0 ——	
**3	0 ——	0 ——	0 ——	0 1.9	2 4.1	0 ——	
**4	3 1.0	11 9.4	14 6.0	42 23.0	13 49.4	1 ——	
**5	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	1 ——	0 ——	
**8	0 ——	0 ——	0 ——	0 1.0	0 2.1	0 ——	
**9	0 ——	0 1.2	0 ——	4 2.9	3 6.2	0 ——	
**A	0 ——	1 ——	0 ——	0 1.9	3 4.1	0 ——	
?	0	0	0	0	3	0	

第24表の1

	BOKU	U C I	W A S I	WATASI	WATAKUSI	ANATA
**0	0 ——	2 1.9	0 ——	4 5.9	0 ——	0 ——
**1	0 1.9	27 22.1	9 6.1	77 69.1	0 ——	0 ——
**2	2 ——	15 7.5	1 2.1	13 23.5	0 ——	0 ——
**3	2 ——	0 ——	3 ——	2 2.9	0 ——	0 ——
**4	0 1.0	3 11.3	0 3.1	43 35.3	0 ——	0 ——
**5	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——	0 ——
**8	0 ——	0 ——	0 ——	0 1.5	0 ——	0 ——
**9	0 ——	0 1.4	0 ——	2 4.4	0 ——	1 ——
**A	0 ——	0 ——	0 ——	3 2.9	1 ——	0 ——
?	0	0	0	3	0	0

第24表の2

	ANTA	OMA I	DONATA	OMAISAN	ANOSAN	DARESAN
**0	4 8.6	1 —	0 —	1 1.0	0 —	0 —
**1	157 101.5	14 8.5	1 —	16 11.8	0 —	0 —
**2	11 34.6	0 2.9	0 —	6 4.0	0 —	0 —
**3	5 4.3	0 —	0 —	1 —	0 —	2 —
**4	20 51.8	2 4.3	1 —	1 6.0	1 —	0 —
**5	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
**8	0 2.2	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
**9	12 6.5	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
**A	4 4.3	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
?	3	1	0	0	0	0

人名、親族称呼関係には、1.6.1 の場合と似た二つのグループが認められそうである。一つは **4 (個人うわさ) が比較的多いもの、姓だけ、名だけ、姓+SAN、名+SAN。他の一つは **1 (日常・身辺・家庭) が多いもの、名(略)+CJAN と親族称呼+CJAN。ただし、親族称呼+SAN は、communication 上の function では名(略)+CJAN、親族称呼+CJAN と同じグループに属したが、ここでは **4 が多く、むしろはじめの方のグループに属する。これは、その話題の特徴の違いから考えて当然かもしだれない。

代名詞関係には、どちらかというと **1 が多いものが多く、人名、親族称呼関係の場合の、名(略)+CJAN や親族称呼+CJAN と似た傾向を示す。この点も、communication 上の function の場合と似ている。ただ、ANTA が **9 (きまり文句) にある程度多いことが注意をひく。

1.6.4. まとめ。

いろいろな点から見て、呼び名のいくつかの要素は二つのグループに分れるようと思われる。一つは、人名、親族称呼関係の中の、姓+名だけ、姓だけ、名だけ、姓+名+SAN、姓+SAN、名+SAN である。communication 上の function としては 4** (おしゃべり) に多く、話題については **4 (個人うわさ) に多かった。他の一つは、人名、親族称呼関係の中では、名(略)+CJAN、親族称呼+CJAN、それから代名詞関係の要素のいくつかである。これらは、communication 上の function では、2** (あいさつ)、3** (し

らせ・用談)に多く、話題では**1(日常・身辺・家庭)に多かった。また、親族称呼+SANは、communication上のfunctionについては第二のグループに近い傾向を見せるが、話題については第一のグループにはいるものようである。この二つのグループの違いについては、要求表現のところでふれた、目の前の具体的なものごとを直接問題にしているか、そうでないかという内容上の違いに関係があるかもしれない。(→1.5.4.)

もう一つ、ANTAに関する問題がある。このANTAは他の諸要素とはやや変った性格を持っているように思われる。すなわち、communication上のfunctionについては2**に比較的多く、ことばの調子では*1*(あらたまり)、話題では**9(きまり文句)においてすぐなくない(一方、3**や**1にも現われているけれども)。つまり、ANTAは一方では日常生活に関する、ふつうの調子の談話にも現われるけれども、他の方ではあいさつ——しかもあらたまつた、きまり文句の——にも現われるようである。これは、ANTAを使うことが、あいさつの一種の型(の一部)をなすことを示すものかもしれない。注18)そしてこの点は、標準語における意識とはすこし違うかもしれない。

1.6.5. 補い。

(1) 呼び名と関係者。ここで関係者というのは、ある呼び名によって名ざされる立場にある人物のことである。この関係者は、話し手または聞き手のこともあるし、また第三者である場合もある。その現われ方は、それぞれの呼び名によって違う。ここでは、人名、親族称呼関係のものについてだけあげる。代名詞関係のものは、話し手または聞き手か、あるいは第三者かの区別がはっきりしているからあげない。

第25表

	姓+名 だけ	姓だけ	名だけ	姓+名 + SAN	姓+ SAN	名+ SAN	姓+名 (略)+ SAN	名+ CJAN	名(略) + CJAN	親族称 呼だけ	親族称 呼+ SAN	親族称 呼+ CJAN	名+親族 称呼+ SAN
話し手または聞き手	—	—	—	1	3	3	—	—	11	9	29	171	—
第三者	7	56	35	9	74	51	1	4	28	25	65	33	2
?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—

人名を使った呼び名が、名(略)+CJANをのぞき、第三者に集中している。

これに対して、親族称呼+CJAN の大多数が（話し手または）聞き手に集まっている。名(略)+CJAN、親族称呼だけ、親族称呼+SAN は、第三者をさす場合が多いが、話し手または聞き手にもある程度まで使われていて、いわば中間的な性格を示す。こうした現われ方は、非常に大きっぽに言って、前に述べた、二つのグループの別に対応するものと見ることが出来そうである。

つぎに、人名、親族称呼関係のものが第三者を名ざしている場合、どのような種類の人間について、どのような呼び名が使われているかをあげておく。

第26表

	姓+名だけ	姓だけ	名だけ	姓+名+SAN	姓+SAN	名+SAN	姓+名(略)+SAN	名+CJAN	名(略)+CJAN	親族称呼だけ	親族称呼+SAN	親族称呼+CJAN	名+親族称呼+SAN
	6(5)	12(6)	—	8(6)	17(7)	1(1)	1(1)	—	—	—	1(1)	—	—
知名人	6(5)	12(6)	—	8(6)	17(7)	1(1)	1(1)	—	—	—	1(1)	—	—
知人・他人	1(1)	15(9)	—	—	55(27)	5(3)	—	—	—	—	19(5)	—	—
みうち（話し手、聞き手共通）	—	28(10)	6(4)	1(1)	2(2)	36(20)	—	—	18(8)	16(3)	31(9)	27(5)	1(1)
話し手みうち	—	1(1)	28(9)	—	—	3(3)	—	1(1)	6(2)	—	3(1)	3(2)	—
聞き手みうち	—	—	1(1)	—	—	5(4)	—	2(2)	2(2)	—	6(5)	3(2)	—
その他	—	—	—	—	—	1(1)	—	1(1)	2(1)	—	5(2)	—	1(1)

表中の（ ）外の数字は実際の度数、（ ）内の数字はことなり数。

(2) 呼び名と尊敬表現。どんな種類の呼び名と、どんな尊敬表現関係の要素が一つの文中に共存するかを見た結果を下にあげる。各種の呼び名の中で、尊敬表現関係の要素との共存例があるものだけをあげた。また、それぞれの呼び名の関係者が、尊敬表現関係の要素がついている動詞の動作主である場合だけをあげた。

第27表

	姓だけ	姓+SAN	名+SAN	親族称呼だけ	親族称呼+SAN	親族称呼+CJAN	名+親族称呼+SAN	ANTA
RARE	3	4	4	5	7	1	1	—
SAQSJAR	—	—	—	1	—	—	—	—
NAR	—	1	—	—	1	11	—	9
NASAR	—	1	—	1	1	10	—	8
NASAIMAS	—	—	—	—	1	—	—	—

例がすくないので断定的なことは言えないが、RARE と共存することの多いグループと、NAR および NASAR と共存することの多いグループとの区別がありそうである。前者は、姓だけ、人名または親族称呼に SAN をつけたものおよび親族称呼だけであり、後者は、親族称呼+CJAN および ANTA である。この区別は、今までいくつかの観点から見て来た、呼び名の二つのグループの別、および尊敬表現関係の要素におけるたとえば、RARE と NASAR その他のものとの違いに、大体対応していると言うことが出来ると思われる。

1.7. 今後の問題。

1.7.0. 今まで、各種類の談話の、参加者の種類との関係から見た現われ方、また待遇表現関係の要素の、談話の種類との関係から見た現われ方を、あまり体系的にではなくあげてきた。一般に実例の数がすくないので、どの点についてもあまり断定的なことが言えないのはもちろんである。にもかかわらず、これかららの研究との関連において、いくつかの点を問題にすることが出来ると思うので、以下それらについて簡単にのべておくことにする。

1.7.1. 談話について。

今まで見えてきたように、参加者の種類と各種の談話の現われ方との間の関係、また談話の種類と各種の待遇表現関係の要素の現われとの間の関係には、いくつかの特徴が見出されるように思われる。その点でここに仮定した談話と呼ぶ一種の文章論上の単位は、待遇表現関係の諸要素の現われについての分析に一つの手がかりを提供するものであると考えてよさそうである。しかし、いくつかの具体的な点については、さらに検討を加えなければならない。

第一に、前にものべたように、ここで問題にしてきた談話という一種の文章論上の単位は、その切り方についても、またその種類の認め方についても、主観的な判断に頼る面が多い。そのような分析の根拠をみつけるためには、あるいはまた、そのような分析の結果を改めるためには、ここで見た待遇表現関係の要素に限らず、その他の種類の言語要素がどのように現われているかを見る必要があると思われる（ここで言語要素というのは、形態素あるいは単語だけでなく、一方では従属句、文およびそれらに付随したいくつかの要素、他の一

方では、音声上、あるいは書きことばならば表記上の要素までも含む)。また、ここで談話の種類を区別するためのめじるしとして使った三種類の特徴——communication 上の function, ことばの調子, 話題——およびその個々の特徴について再検討しなければならないのはいうまでもない。たとえば、ここでいうことばの調子の種類を通して見た場合、待遇表現関係の要素の現われ方にあまりはっきりした傾向が見られないことが、他の二種の特徴にくらべて多かったような気がする。もっと検討して考え直す余地があると思われる。

第二に、談話という単位を仮定したのは、単にそれだけにとどまるものではなく、さらにその概念を使ってここでいう「会話」の構造を分析することを前提にしたものである。そして、具体的な談話の現われ方を見ると、会話の構造にもいろいろな型があるのでないかと想像される。たとえば、談話の実例として、1.1.3. にあげた、K3F(野菜売りの婦人1)とU1F(落合家主婦)との間の会話は、次のような四種の談話の連続からなる。すなわち、219{あいさつ, あらたまり, きまり文句}, 331{しらせ・用談, ふつう, 日常・身辺・家庭}, 411{おしゃべり, あらたまり, 日常・身辺・家庭}, 219{あいさつ, あらたまり, きまり文句}。はじめに2** (あいさつ)があり、次に3** (しらせ・用談)が来て、それが終ると4** (おしゃべり)になる。そしてふたたび2** (あいさつ)で終る。これは、常識的に考えられる会話の一つの典型であろう。このような型のものを一方に考えるならば、他方また別の型のものもありうると考えられる。たとえば、2**抜きで、いきなり3**になるとか、3**はなくて、いろいろな4**が続くとか、あるいはまた、1** (ひとり)に終始するとか。どのような会話の型があるか、また、それらがどのような条件のもとに現われるかを明らかにする必要がある。

1.7.2. 待遇表現の分析について。

これについても、いくつかの問題があると思われるが、そのうちの二つの点にだけふれておきたい。

第一は、待遇表現関係の要素の現われに関する条件についての考え方である。前に見たように、談話の種類によって待遇表現の要素の現われ方に違いが見られた。たとえば、2** (あいさつ)には、ていねい表現の諸要素(全部ではな

いが）が多く現われるようであった。そして、2**は、たがいにみうちでない参加者の組のグループ（非シ・シ、非シ・ウ）に多く現われるようであった。このような場合、何がていねい表現（の要素）の選択についての条件になっているかを考えるについては、いろいろ問題がありそうに思われる。たとえば、参加者についての、いわば「非みうち」という特徴の存在が2**という談話の種類（または型）の選択の条件（の一つ）となり、2**の存在はていねい表現の要素の選択の条件（の一つ）となる、というような一種のヒエラルヒー的論理を作ることは簡単に出来るであろうが、それがはたして問題の諸要素の現われ方をよく説明することになるかどうかは疑問である。たとえば、参加者の組のグループのすべてについて、2**でのていねい表現関係の要素の現われ方が一様であるかどうかという問題がある。また、ていねい表現は他の種の談話、3**（しらせ・用語）や4**（おしゃべり）などでも現われているのであるから、そのような談話での現われ方はどうかという問題もある。こうした点を明らかにするためには、各種類の談話における、参加者の組（のグループ）ごとの待遇表現の各要素の現われを調べるべきであった。この報告書の限りでは、そこまで調べていない。松江市民の言語行動を見たり聞いたりした限りでは、そのあいさつは、どんな場合でもわりにていねいな感じがする。すなわち、どんな話し手、聞き手の組み合わせでも、ていねい表現関係の要素の現われ方は多いのではないかと想像される。しかし、それを客観的に証拠だてることは今のところ出来ない。

なお、条件に関してもう一つの問題をあげることが出来ると思う。それは、前の**1.7.1.**で問題にしたような、談話によって構成される会話の構造に関するものである。会話の構造にいくつかの型があるとするならば、そのような会話の構造上の型もまた、待遇表現関係の要素の現われ方に関係した条件の一つになる可能性があるのではないかと想像される。たとえば、前に見たように、ていねい表現関係の要素は、2**に多く現われる傾向がある。ところで、ひとつづきの会話において、2**の現われる位置は、常識的な考え方からするならば、**1.7.1.**にあげた例のように、会話のはじめとおわりの部分である場合が多いのではないかと想像される。もしそうであるならば、ていねい表現関係の要

素は会話のはじめとおわりの部分で多くなり、中ほどの、いわばなかみの話の部分では現われ方がすくなくなる、というのが一種の平均的な型ということになる（その代り、なかみの話の部分が3**（しらせ・用談）だったら要求表現が多くなり、4**（おしゃべり）だったら尊敬表現の RARE などが多くなる、ということもありうるかもしれない）。そして、このほかにも、もしいくつかの会話の型があるとするならば、特定の話し手と聞き手の組における待遇表現関係の要素の現われ方を問題にする場合には、まず、その組にどういう型の会話が起こるか、を明らかにしておく必要があると考えられる。このように考察の対象をここでいう会話にまでひろげると、談話の種類についての問題のように考えられたものが、そうではなくて会話の型の問題として考えるべきものになるかもしれない。この可能性も考えておく必要があるだろう。

第二に、各種の待遇表現の内容（意味）の分析についての問題がある。一般的に言って、いわゆる待遇表現の内容は、その種類ごとにまとまつた、単純な性格を持っているものではなく、いわばいろいろな内容上の特徴が複合したものであるように思われる。たとえば、前に尊敬表現に二つのグループの別——RARE, RAE などに対する NASAR, NASAIMAS など——があることを見たが、この中の第二のグループはいくつかの点でていねい表現に近い性格を示した。このことは、第二のグループのものは、何らかの点でていねい表現と共に共通した内容を持っていること、そして同時に第一のグループとも共通した別の内容も持っていることを示唆する。また一方、尊敬表現の第一、第二のグループの別に対応した呼び名関係の要素の区別もあるようである（談話の種類による現われ方、また文の中での共存関係などから）。これまた、それぞれ共通した内容を持っているのではないかと想像される。

ところで、このようないくつかの要素に共通した内容上の特徴のあり方については、さらに考えるべき点がいくつかあるようと思われる。たとえば、尊敬表現関係の各要素は、その中の一つが文中のある位置に現われると、他のものはもちろんその位置に同時に現われることは出来ないし (mutually exclusive)，また隣り合った位置にも現われることは出来ない。にもかかわらず（むしろ、そのゆえにと言うべき？），それらはある（いくつかの）内容上の特徴

を共通して持っているように思われる。たとえば、ある動作の動作主、つまりここでいう関係者をふつうの扱い方よりも何らかの意味で上のものとして扱う、といったようなものなどはその一つである。対立する特徴についてもそうであって、尊敬表現関係の各要素のうち、RARE, RAEなどは話し手、聞き手の目の前にいない関係者、NASAR, NASAIMASなどは話し手の目の前にいる関係者（聞き手）をそれぞれ問題にするが、このような対立も、たがいに排除的な現われ方をするいくつかの要素の間において認められるものである。以上のような内容上の特徴のあり方は、一種の paradigmatic なあり方と言うことが出来るのではないかと思う。

それに対して、たとえば、RARE がある種の呼び名のグループと、また NASAR が他の種の呼び名のグループと、それぞれ何らかの内容上の特徴を共有するとするならば、こうした特徴のあり方は、いわば syntagmatic なあり方と言うことが出来ると思う。そして、ある特徴をこのようしなからで共有すると考えられるいくつかの要素の現われ方と談話の種類との間にも何らかの関係があることから考えると、こうした syntagmatic なあり方における内容上の特徴は一つの文の範囲にとどまらず、談話（またはさらに会話）全体にわたる、あるいはひろがっている、と考えるべきかもしれない。

待遇表現関係の要素の現われに十分な説明を与えるためには、こうした内容上の特徴の一つ一つを明らかにしていかなければならないと思うが、ここではまだそれが出来なかった。

1.7.3. 資料の処理との関係。

第一に、テキストについて。前に述べた通り、三種のテキストを作った。すなわち、a 音声表記テキスト、b 音韻表記テキスト、c 形態音韻表記テキスト。このうち、a は録音からの最初の文字化資料として必然的に作られたものである。また c はコンピュータでの処理のために必要であった。ただ bだけが、実際上の存在理由が他の二者にくらべてくくないように見えるかもしれない。理論的には、一応形態音韻論的分析は音韻論的分析のあとに来る考え方なので、その点では、c のテキストを作るためには b のテキストを完成しておくことが必要であった。また実際面においても、形態音韻表記はわれわれが常識的に考

えるところのことばの形と離れた点が多いので、とくに文章の形における資料の処理——たとえば談話の分類など——には音韻表記テクストの方が便利であった。一方、音声表記テクストは、そのときそのときの発話をいわゆる broad notation でうつしたものだから、「同じことば」に対応するいくつかの発話（断片）が違った表記で書かれていることがすくなくない。その点音韻表記テクストの方は、形がより一定している。これも音韻表記テクストの利点の一つと言ってよいと思われる。ただ同語異語の判別については、形態音韻表記テクストの方がすぐれていることは否定できない（これも完全なものではないが）。以上のようなことから考えると、やはり上記の三種類のテクストの作成は必要であったと言うべきだろう。

なお、形態音韻論の体系についてある程度の見通しが出来れば、そして個別の具体的な発話（断片）について、それがどういうことばであるかという認識が出来れば、音声表記テクストからいきなり形態音韻表記テクストを作ることも可能である。実際の作業ではその手順をとり、別にたてた音韻化規則（この報告書では具体的にあげることをしないが）によって、形態音韻表記テクストから音韻表記テクストを作るという、逆の順序をふんだ。これまた前に述べた通りである。

ところで、テクストにおける、待遇表現関係の要素に関連した問題としては、たとえば、ある種の要素がないということをどう表わすかという問題がある。積極的に存在する要素は、もちろんみななんらかの形で表記してある。ところが、ある要素の現われ方を調べる場合には、その要素が積極的に存在する場合と同様、その要素が現われうる位置に、その要素がないということを調べることが必要な場合がしばしばある。たとえば、ここではていねい表現の DES, MAS など、あるいは尊敬表現の RARE, NASAR などが積極的に現われている場合のみを、各種類の談話について見た。しかし、これは、それらが現われうる条件のもとで現われていない場合も調査して比較する必要があるのではないかと思われる。積極的な要素のないところにも何か positive な記号を与えることを工夫すべきであった。そのためには、まず研究対象たる資料についての、十分にして、当を得た言語学的分析が前提となることはいうまでもない。

第二に、談話の処理について。コンピュータによる一応の処理計画をたてる前に、分析についての十分な考察をあらかじめ行なうことが出来なかつたので、資料の処理のうち、談話に関した部分はすべて人手によつた。談話関係の情報（たとえば、談話番号五けた、談話の種類のコード三けた）をあとから付け加えて、それによってコンピュータによる再処理を施すことは比較的容易に行なえたはずなので、もしそれを実行したならば、相当の時間と労力を省くことが出来たと考えられる。また、考察の範囲ももっとひろげることが出来たのではないかと想像される（たとえば、待遇表現関係の要素に限らず、各種類の談話における語彙一般の現われ方など）。このようなわけで、2.4. にものべるよう、分析についての考察の不徹底のため、コンピュータによる処理を十分活用できなかつたうらみが残る。しかしながら考えると、一般論として、このような研究においては、分析の過程において新しい観点や仮説が出て来るのがふつうなのであるから、一応の分析案に従つた処理計画作成のあとでも、そうした新しい観点なり仮説なりに対処できるような、一種の柔軟性を持つた処理システムを開発することが、こうした研究のためには必要なのではないかと考えられる。

注1 意味から言えば、関東方言などの行キナヨ、食べナヨという言い方のへナヨ程度のものか。

注2 以下にあげる諸点は、もっぱら形の上の違いである。内容（意味）上の違いについてはふれなかつたが；大ざっぱに言って DAR_1 , DES_1 の方がより「ことがら」的であるのに対し、 DAR_2 , DES_2 の方はより「陳述的」である。前者はことがらの認定（identification）に関係し、後者はそれに対する話し手の態度に関係すると言うべきか。ただし、この場合、話し手というのは正確ではないかも知れない。筆者（南）は、それについて以前「自分」ということばを使ったことがある（南「文の意味についての二三のおぼえがき」国語研究〈国学院大学〉No. 24, 1967-12 参照）。

注3 これはひょっとしたら聞き取りの誤りで、zjamudarakeNne の可能性もある。

注4 書きことば全般についてみると、必ずしもいつも簡単に事がかたづくとは思えない。たとえば、手紙、メモの類など。また、文学作品でも常識的な取り扱いでは処理できないものもあるだろう。逆に、話しことばでも、いわゆる独話（講演、発表、テープルスピーチなど）は、会話にくらべて取り扱いが楽かもしれない。

注5 会話において、話し手と聞き手が交代する（たとえばA「おはよう、Bちゃん」B「あらびっくりした。どちらへお出かけ？」）ことは、ごくふつうことだが、ある

(ひとかたまりの)会話に、途中から新しい発話者が参加したり、また、はじめにしゃべっていた人物が脱落したり、ということもありうる。さらに同じ発話者の組による会話でも、内容(主題)が変化したり、またその話の communication 上の function が違うものになったりすることもある(たとえば、あいさつから用談へ、用談から雑談へなど)。

注6 ここで communication 上の function と呼ぶことがらについては、さらにいろいろな点で検討が必要だと思われる。

第一に、すべての種類の言語表現(ある言語社会においてありうるすべての種類の言語表現)をおおうことが出来るよう、いくつかの function を考えなければならないが、ここにあげたものだけで十分かどうかもちろん疑問である。verbal communication の function については、Roman Jakobson の考えがある。Jakobson はまず、verbal communication を成り立たせる要素として、次の六つのものを考えた。addresser, addressee, contact, context, message, code。そして、それらのそれぞれに対応する(というよりも、それぞれにもっぱら関係がある、というべきか)、六つのことばによる communication の function を考えた。すなわち、emotive, conative, phatic, referential, poetic, metalingual。(R. Jakobson : Linguistics and Poetics, Style in Language, pp. 350~377, 1960) この考えは、ことばによる communication の基本的な働きをよく説明することが出来ると思うのだが、しかしこれだけで、現代社会におけることばの働きを説明しきれるかどうかはわからない。

第二に、それぞれの function の特徴の分析についても、まだ問題がありそうなことである。今ここにあげた、あいさつ、しらせ・用談、おしゃべりなどといった特徴(の名まえというべき?)は、まだ実際の表現(の型)そのものに近い。もうすこし抽象的ないくつかの特徴を取り出すことも可能ではないかと思われる。たとえば、一方的/交互的、具体的な内容あり/具体的な内容なし、はじめ/つづけ/うちきり、ほんとう/まねなどなど。

第三に、それらの function のありかたについての問題がある。ここでは、それぞれの談話について、一種類の function しか認めなかつたが、実際には、一つの談話(と呼ばれる会話の一部分)がいくつかの function を持つ場合がすくなくない——というよりも、表現されたことば(またはそのある部分)には、いくつかの違った function が重なつてあるのがその本来的なあり方なのではないかと想像される。たとえば、ここでいうあいさつとしらせと遊び。このいくつかの function の重なりは、ある程度の長さを持った一つの談話においてばかりでなく、極端な場合には一つの文または一つの単語よりなる談話においてさえ認められるのではないかと思われる。たとえば、「アブナイッ!」には「しらせ+ひとり」といった、常識的に見れば矛盾した特徴の共存さえ考えられるのではないか。

第四に、この function のありかたはいわゆる言語体系そのものとも密接な関係があると思われる。言語の体系における要素の間の一つの重要な関係は、言語記号(ま

たはその何らかの特徴) の対立 (opposition) である。たとえばこの対立の関係も、その言語表現の function のいかんによって変って来るのではないかと想像される。音韻的対立 (あるいはそう解釈されるところの、もととなる音声上の対立) については、ふつうは具体的な表現の段階における感情的側面を排除して考える。原則として、いわゆる「知的意義の分化に役立つ」ところの形の上の差異が問題とされる (有坂秀世『音韻論』1959, p. 3など)。たしかに、音韻体系についてそのような定義のもとに分析を進めることは可能であるし、またそれがその言語 (または方言) の音相の重要な部分を説明していることについては、疑いをいれないと思う。しかし、それには、表現上 (あるいは communication 上) のある function のもとにおいてという条件がついていることも否定できないと思う (たとえば「知的情報の伝達」というような)。ある条件のもとでは問題にならなかった (あるいは問題にすることが出来なかつた) 対立が、他のある条件のもとでは問題になる (あるいは問題にすることが出来る) ことはありうると思われる。たとえば、名古屋方言では、「甘い」「悪い」などの一種の強調した言い方として、それぞれ [am?mæe] [war?ryi] といった形が現われる ([m?] [r?]) で、それぞれ声門の緊張をともなつた [m] [r] を表わす)。これらの例において、[m] [r] の前に [m?] [r?] があるかないかは、「知的情報の伝達」という function をもし考へるならば、そしてその条件のもとでという限りにおいては問題にならない。しかし、たとえば「相手に対する訴えかけ」とでもいった function を仮定すれば、その条件のもとでは [m?] [r?] の有無 (別のことばで言えば [m?] / ゼロ、[r?] / ゼロといった対立) は無視できない問題となろう。Jakobson は、英語の [big] と、それを強調した形の [bi:g] との間の違いは、ちょうどチョコ語の [vi] <you> と [vi:] <knows> との違いのように、慣習的な、コード化された言語的な特徴 (coded linguistic feature) である。しかし、後者の違いが音韻的なものであるのに対し、前者は emotive な function に關係したものである、としている。そしてこうした emotive な違いを非言語的なものだとする、Sol Saporta の考えを批判している (Jakobson : Linguistics and Poetics, p. 354)。言語表現における emotive な面に關したことがらを linguistic なものであるとする、Jakobson の意見は正当なものだと思うが、ただそれを言語体系の中にどのように位置づけるかについては、さらによく検討する必要があると思う。ここで問題にしたようなことがらを、いわゆる音韻体系 (内のことがら) ではないと主張することはもちろん可能であるが (前にも述べた通り、定義の問題だから)、しかしうにかくそれらも言語的事実以外の何ものでもないということは明らかである。

注 7 ポーズに關係した問題については、一応次の方針によって処理した。

- a ポーズがなくても、communication 上の function、ことばの調子、あるいは話題に大きな違いが認められる場合には、別の談話と認めた。
- b ある程度のポーズがあっても、それがとくに長い中断でなければ、そして参加者が変らず、communication 上の function、ことばの調子、話題に大きな違

いが認められない場合には、一つづきの談話と認めた。

注8 たとえば、ここでいう「教え・さしつ」の時に必ず「おこり」の調子をともなう個人がいる。また、学会での発表などに対する質問に「おこり」の調子をともなう個人もいる。

注9 処理した資料に、ここにあげた全部の種類の特徴、およびその組み合わせが現われているわけではない。

注10 非親せきあるいは親せきというものは、調査した家庭の家族にとって、親せきか親せきでないかということである。

注11 このやり方については、林四郎が国語研究所の新聞語彙調査の結果の分析にとった方法に示唆をうけたところが大きい。林四郎「新聞語彙調査の概略と語彙分析法試案」(『電子計算機による国語研究』国研報告31, 1968) 参照。

注12 これは、非シ・シの間のあいさつが、多くの場合ウを含むグループ、つまり非シ・シ・ウで行なわれたためではないかと想像される。

注13 たまたま K 4F と K 5F との間の会話が長かったためと思われる。

注14 ここでは、前の 1.0. であげた DES₁ と DES₂ および DAR₁ と DAR₂ はそれぞれ区別していない。

注15 ここに 名+SAN として扱ったものの中には、名(略称)+SAN、または愛称的なもの +SAN も含まれている。たとえば、MINO-SAN, KEIBOO-SAN など。

注16 一応 KEEKO-SAN として出したが、語形は未確認である。

注17 これまた未確認。

注18 標準語的意識からすると、ANTA を使えば、あまりていねいでない、あるいはくだけた感じをともなうのがふつうではないか。

2. 処理

2.1. 本報告の分析のためにおこなわれた処理のうちで、最も重要なものは、いうまでもなく、

○音声資料を文字化すること、○文に分割し、分析に必要な付加情報を設定して、それぞれの文につけること、○文を、文節、形態素に分割すること、○文を「談話」としてまとめ、それらを類別すること、○分析に必要な要素（文節或いは形態素）を選定し、リクエストに応じて電算機がうち出した処理結果について、必要な後処理を加えてそれを考察すること……

などであるが、それらはすべて言語学者としての人間（具体的には両個人）がおこなった。本篇で扱うのは、0.4.2.において、その概略を示した、主として電算機によっておこなわれる処理の実際についてである。

これらの処理は、もし人間がやれば、大変な労力と時間とを要するものではあるが、内容的にはまったく補助的なものである。またこの処理用のプログラムは、その構想の点からいっても、プログラミングの手法の点からいっても、特に目新らしい特徴をもつものではない。むしろ極めてプリミティブなものといえよう。にもかかわらず、敢て一篇を設けて、処理の実際を示すのは、主として啓蒙的な——言語研究に電算機を利用する一つのあり方を具体的な形で知ってもらうという——意図によるものである。

2.2. 65 MATSUE PLT (プログラム・ライブラリー・テープ)。

上記名称の PLT (磁気テープ) には、以下のプログラムが収められている。

- | | | | |
|----|-----------|-----|----------------|
| 1) | 65 MATSUE | 1 | [処理段階 I—1 に使用] |
| 2) | 同 | 2 | [" I—2 "] |
| 3) | 同 | 3 | [" I—3 "] |
| 4) | 同 | 5 | [" I—4 "] |
| 5) | 同 | 6 | [" II—1 "] |
| 6) | 同 | 6 A | [" II—3 "] |
| 7) | 同 | 6 B | [" II—4 "] |

8)	65 MATSUE	7	[処理段階 III-1 に使用]
9)	同	7 A	[" III-4 "]
10)	同	7 B	[" III-5 "]
11)	同	8	[" II-2 "]
12)	同	90	[" III-2 "]
13)	同	91	[" III-2 "]
14)	同	9 A	[" III-3 "]
15)	ABSTRACT		※
16)	TAPE-FILE-MAINTENANCE		※
17)	TAPE-PRINT-SELECTIVE-64		※
18)	同	-96	※
19)	TAPE-SORT-40		※

1) から 14) までが、新たに作成したもので、15) 以下※印のプログラムは、H-3010 のサービスルーチンをそのまま転用したものである。0.4.2.2. でのべた、各段階の処理、及びその処理結果 (OUTPUT) を記録する磁気テープの保守、その他の作業をする場合には、この PLT を使用する。なお、これら各ルーチンのソース・プログラムはすべて H-3010 のアッセンブリー・ランゲイジによって書かれたものである。従って、以下の各節で、特に指摘するプログラム内部のノーマル及びエラーホルト以外のホルトについては、H-3010 アッセンブリーシステムのオペレーションマニュアル 第二章 第二節 オブジェクト実行時の操作方法 に従って処理する。(たとえば、入出力 M/T のラベルチェック、あるいは、テープ交換など)

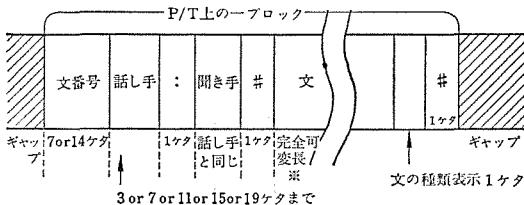
2.3. 処理の実際。

2.3.1. 文の段階。

0) 原始入力テープ P/T の形式について 次ページの図参照

○一文を一ブロック (ギャップにかこまれた部分) にパンチする。

※一応文の長さは完全可変長となっているが、電算機処理の能率を考慮し、実際には、文の部分にパンチされうる上限のケタ数を、535 ケタ



と設定した。万一、一文の長さが上限ケタ数をこえるものが存在した場合には、文番号のチェインニングを利用して処理することが可能である。本報告で扱ったデータ中には、上限ケタ数をこえるものは存在していない。

○話し手、聞き手はそれぞれ5人まで、各人の記号の間に／(スラント)を插入して表記される。たとえば、U1F/U3M/K1Mのように。従って1人のときは3ケタ、2人では7ケタとなり、最大5人のときは19ケタとなる。

○話し手と聞き手の間には：(コロン) 1ケタが入る。

○文番号は7ケタの数字によって示されるが、次のような場合には14ケタとすることもある。たとえば、一人の発話中に(文が完結する前に)別の人気が発話しはじめて前の発話が一時中断されたような場合に、

00011700001190 話し手：聞き手 #.....#

0001180 話し手：聞き手 #.....#

0001190 話し手：聞き手 #.....#

のごとくして、本来 0001170 と 0001190 の文が、一連であり、0001180 の文に中断されたことを示す。

○また発話中に、他の人の発話が重複する場合には、

0001120 話し手：聞き手 #.....／0001130／.....#

0001130 話し手：聞き手 #.....#

のごとく、重複しはじめた部分に、／(スラント)でかこんで、重複した発話の該当する文の番号を記入しておき、その内容は、その／でかこまれた番号ではじまるブロックにパンチする。(なお、文の途中に插入される

／0001130／のごときもの、さらに文節のきれ目のスペース、形態素の切
目のマイナス記号等も、すべて文部分のケタ数に算入される)

《実例》

0024610 K5F : K4F#KABU-'O-NE-A /0024620/'AGE-NI 'ANO
kabu'onea 'ageni 'ano
HA-'O NAKA-GA-WA-NI SIK-¥I-OB- TE- (+++) / 0024630/
ha'o nakaga'wani siite(++)
(++) SUTE-¥I-OB-TE 'ANOO (+++)-N(NO) TOKO-DE
(++) sutete 'anoo (+++)N tokode
DENDENMUSI (+++) /0024640/ SUTE-¥I-OB-TE MOTO-I
deNdeNmusi (+++) sutete motoi
MOCIR-¥I-MAS-RU-(+++).#
mociimasu (+++)
0024620 K4F : K5F#HUN.#
huN
0024630 K4F : K5F#HUN.#
huN
0024640 K4F : K5F#HAN HAN.#
haN haN
0024650 K4F : K5F#HUN.#
huN
0024660 K5F : K4F#SO-GE SI(SU)-¥I-OB-TE (+++) TOR-¥I-
soge site (+++) toqe
OB-TE CUKE-(+++).#
cuke (+++)

○下の小文字は音韻表記テクストによる。(以下同様)

○入力テープ P/T は、数十本に及ぶ量となるので、各一本一本の紙テー
プ末尾には、+ (プラス) を 5つ連続してパンチしたブロックをおき、
入力テープが更につづくことを示す。

○入力テープが終わった段階で、最後に E/F ブロックをよみこんで I-
1 段階の処理をおわらせる。(E/F は end of file の意で 1 ケタの機
械コード)

1) I-1 65 MATSUE 1 の実行 ラン1

(イ) 機器の配置

入力 P/T 紙テープリーダー (原始入力 P/T)

出力 M/T デッキ1番, 2番

PLT デッキ6番, ラインプリンター 96文字モード

(ロ) ノーマル・ホルト

i N. 9, A・Bとも 9999, ラン終了。

ii N. 5, A・Bとも 5555, ラインプリンター 印字

インプットデュエタ ツイカ リスタート

入力紙テープ交換し、リスタートする。

(v) エラー・ホルト

プログラム独自のエラー・ホルトなし。

○ P/T 上に、形式上のミスのある場合には、ラインプリンターが、

各行の先頭に、それぞれ、

ハツワバンゴウエラア ××××

ハナシテランシンボルエラア ×××

ハナシテランジンインオバア ×××

キキテランシンボルエラア ×××

キキテランジンインオバア ×××

のごとく印字し、そのあと××××の位置に、ミスのあったブロックの先頭40ヶタを印字し、そのブロックの内容はM/Tにかきこまづに次のブロックの処理にうつる。

○このラインプリンターの指示、および人間の目による校正の結果に
もとづき、I—2の修正指定の入力紙テープを作製する。

(e) 出力 M/T の形式

○1 バッチ 5 レコード、1 レコード最大 600 ケタ（実際は、この段階では592ヶタ。あとで時間帯指定 8 ケタが入って600ヶタとなる）

○レコードの形式

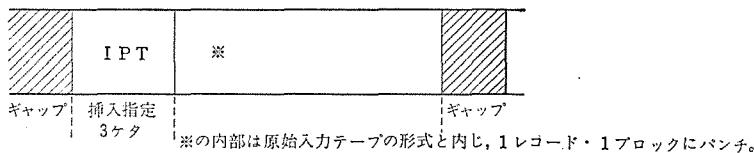
文番号 (7ヶタ)	文番号 (7ヶタ)	話し手 (19ヶタ)	聞き手 (19ヶタ)		#	文 (可変長最大535ヶタ)		#	E/ i
				(文の種類) 1ヶタ				(文の種類) 1ヶタ	

○文番号、話し手、聞き手の不要部分には0が入って、固定したヶタ数をみたしている。(E/iはend of itemの意で1ヶタの機械コード)

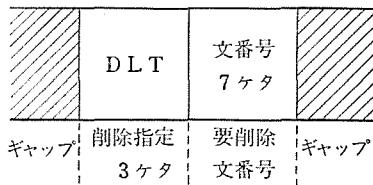
○ラベル 65 MATSUE

2) I—2 実行前のソート ラン2

- 入力 M/T ラン1の出力
 - key 文番号14ヶタ
 - 出力 M/T ラベルは入力と同じ, 65 MATSUE
- 3) I—2 65 MATSUE 2の実行 ラン3
- (イ) 機器の配置
- 入力 M/T デッキ2番 (ラン2ソートの出力 M/T)
- P/T 修正指定パラメータテープ, 時間帯指定パラメータテープ
- 出力 M/T デッキ3番 (修正がある場合は, これが更に中間入力となり, デッキ4番が最終出力となる。修正を行わない場合は, 3番がそのまま最終出力となる。)
- PLT デッキ6番 ラインプリンター 96文字モード
- (ロ) 修正指定 P/T の形式について
- 補充・修正の場合



○削除の場合



- パラメータは修正, 削除をとわず, 文番号の上昇順 (番号の若いものを先) に配列してパンチする。
- 指定終了は, FIN 3ヶタのブロックによって示す。(時間帯指定 P/T の末尾と同じ。同図参照)
- (ハ) 時間帯指定 P/T の形式について

* 時間帯		文番号(1)		文番号(2)		* 時間帯		文番号(1)		文番号(2)		FIN	
ギ ヤ ッ ブ	ア リ ス タ ク 1ケタ	8ケタ	7ケタ	マ イ ナ ス	7ケタ	1	8	7	1	7	7	P/T終了 指定	ギ ヤ ッ ブ

指定方式

○時間帯 08000829 (8時から8時29分)

12301259 (12時30分から12時59分)

○文番号 0001010-0002050 (101番から205番まで)

○実 例 * 073007590006380-0008730

* 080008290008740-0010710

* 083008590010720-0013300

⋮

FIN

(=) ノーマル・ホルト

(ラン開始直後)

i N. 6, A. 6666, ラインプリンターの印字

データシユウセイアルトキハ Bレジスタ 0001 ニセット シュウ

セイデータセット リスタートセヨ

データシユウセイナシハ ソノママリスタートセヨ

に従いリスタートする。

(データ修正ある場合)

ii N. 5, A・Bとも 5555 で停止。ラインプリンターの印字

シュウセイオワリ

ジカンタイパラメータ セット リスタートセヨ

に従いリスタートする。

iii N. 0, A・B とも 0000 でラン終了。

(+) エラー・ホルト

(データ修正の段階)

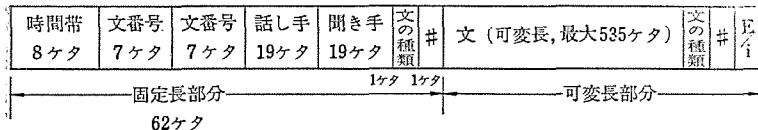
i N. 4, A・B とも 4444, ラインプリンターの印字

シェウセイパラメータ エラ [パラメータの内容先頭 44 ケタ分印字] テイセイゴリストアトセヨ
(時間帯插入の段階)

- ii N. 1, A. 1111, ラインプリンター印字
ジカンタイシティパラメータ エラ [パラメータの先頭 44 ケタ分印字] パラメータティイセイゴ リスタートセヨ
- iii N. 1, A. 1111, ラインプリンター印字
ジカンタイミシテイ データ アリ [M/T の該当レコードの先頭 44 ケタ分印字] パラメータ テイセイゴ リスタートセヨ

以上すべて、ラインプリンター印字の指示どおり、パラメータ P/T を修正して再開する。

- (イ) 65 MATSUE 2 の出力 M/T (文段階マスター ファイル) の形式
- 1 バッチ 5 レコード、1 レコード最大 600 ケタの可変長
 - レコード形式



○ラベル 65 MATSUE

4) I-3 65 MATSUE 3 の実行 (マージ)

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番 (既存の文段階マスター テープ)

入力 M/T デッキ 2 番 (新しい文段階マスター テープ)

出力 M/T デッキ 3 番, 4 番,

PLT デッキ 6 番, ラインプリンター 96 文字モード

(ロ) データの形式

入力、出力ともに 3) の (イ) 65 MATSUE 2 の出力 M/T の形式

と同じ。

(イ) ノーマル・ホルト

○ N. 0, A・B とも 0000, ラン終了。

(エ) エラー・ホルト

○ N. 1, A・B とも 0001 で停止, ラインプリンターの印字

センテンスバンゴウ ジュウフク ×××××××

(×××……は14ケタのセンテンスバンゴウを示す数字)

このエラーは、新しいマスター・テープ作製段階の原始入力紙テープにミスがないかぎり起りえないものである。ミスの度合に応じて、ランを中止して、データ補正の上再開する。

このほか、プログラム上には、エラー・ホルトが、N. 2, N. 3, N. 4 の3種類が用意されているが、いずれも論理的機械ミスで、すべてをリセットした上でランを再スタートさせる。正常のオペレーションの場合には起らないはずのものである。

◎ I—4 65 MATSUE 5 実行前のソート 2種類 (ラン4) と、
65 MATSUE 5 の実行 (ラン5) については、本報告書の内容には直接関係がないので、省略する。

2.3.2. 文節の段階

1) I—1 65 MATSUE 6 の実行 ラン1

(ア) 機器の配置

入力 M/T デッキ1番 (文段階マスター・テープ)

出力 M/T デッキ2番, 3番

PLT デッキ6番 ラインプリンター 64文字モード

(ラン2のソートに備えて ワーク・テープを4番, 5番にセットしておくとよい。)

(イ) ノーマル・ホルト

○ N. 0, B. 0000, 命令のロケーション B620, ラン終了。

(エ) エラー・ホルト

なし。プログラム上には、間接アドレス用の場所として、ロケーション

ン B620 のあとに N. 1 のホルトが設けられているが処理の実行には無関係である。従って、このプログラム実行中に起る、N. 1, N. 2, N. 3 等のホルトは、入力、出力テープのラベルチェック、又はテープ交換に関わるものである。(H 3010・アセンブリ・システムのオペレーション 2章2節Ⅳ FCP 表示 参照)

(2) 出力 M/T の形式

○ 1 バッチ 5 レコード、1 レコード最大 700 ケタの可変長

○ レコード形式

文節見出し語 (100ケタ)	付加情報 (62ケタ)	文(可変長最大 535ケタ)	(文 の 種 類)	#	E/i
-------------------	----------------	-------------------	--------------------	---	-----

i 文節見出し語の 100 ケタに満たない部分は全部スペースとなってい
る。

ii 付加情報 62 ケタは、文段階マスターファイルの 固定長部分と一致
する。

iii 文節見出し語として取り出された文中の該当語句の部分には × × × の記号が代りに挿入されている。(以下、作表印字の場合もすべて同様である)

○ ラベル 65 M-CHOG

2) 文節(長語)段階マスターファイル作成のソート ラン 2

○ ラン 1 の出力 M/T を入力とし、レコード先頭の文節(長語) 20 ケタを第 1 key、文番号 14 ケタを第 2 key としてソート実行

○ この出力 M/T のラベルは、ラン 1 の出力と同様、65 M-CHOG とする。

3) II-2 · 65 MATSUE 8 の実行 ラン 3

(1) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番、2 番、(ラン 2 の出力 M/T 文節段階マスター テープ)

出力・中間入力 M/T デッキ 3 番、(長語リスト・テープ 度数表を

印字する場合は入力テープとなる)

PLT デッキ 6番, ラインプリンター 64文字モード

(d) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 1, A・Bとも 0001, 機器配置その他確認の上そのままリストアート。(もしすでに長語リスト M/T が出来あがつており、作表だけをしたい場合には、長語リスト M/T を3番デッキにセットした上、Pレジスタに A230 をセットしてリストアートさせる。)

ii N. 2, A・Bともに 0002, 長語リスト M/T 完成。ラインプリンターによる作表が必要な場合には、そのままリストアート。

iii N. 0, A・Bともに 0000, ラン終了。

(e) エラー・ホルト

○ N. 3, A・Bともに 0003, 正常な操作においては起りえないエラーであるので、3番デッキをマニュアルでリワインドした上、Pレジスタに A230 をセットしてリストアートすると、ノーマル・ホルトの ii にもどるので、そのままスタートさせる。

(f) 出力 M/T (長語リスト M/T) の形式

○ 1 バッチ 10 レコード、1 レコード 110 ケタ 固定長

○ レコード形式

文節 (長語) 見出し語 (100ケタ)	出現度数 (9ケタ)	e/i
-------------------------	---------------	-----

i 見出し語が 100 ケタに満たない場合、残余の部分はすべてスペースとなっている。

ii 出現度数は、10億以下と想定しており、有効ケタ数が 9 ケタに満たない場合には、その部分に 0 がならべられている。

○ ラベル CHOGLIST

(g) 作表の形式

○ heading 65 M CHOGO LIST

○1ページ 25項目、1行おき、各行左端に見出し語、その右端にその語の出現度数（有効桁数以上はゼロサプレスしてある）を印字する。

○最終ページ

KOTONARIGOSU ××××××

NOBEGOSU ××××××

×××…はゼロサプレスされた数字。

4) II-3 65 MATSUE 6 A の実行 ラン4

(1) 機器の配置

入力：P/T 紙テープリーダー（リクエスト指定紙テープ）

：M/T デッキ1番、2番（ラン2の出力 M/T 文節マスター テープ）

中間出力・中間入力 M/T デッキ3番（印字段階から入力となる。）

全文節について作表印字したい場合には、ラン2の出力 M/T を最初からデッキ3番にセットする。）

PLT デッキ6番 ラインプリンター 64文字モード

(2) リクエスト指定紙テープの形式

○1語形、1ブロックの形式でパンチする。リクエスト終了の記号としては、FIN 3ヶタをパンチしたブロックをもってこれにあてる。

○ラン3 で作製された 長語リストを参照して、確実に存在する語形のみを、アルファベット順に配列してパンチすることが望ましいが、ある種の語形の有無を確認する為に、このプログラムを利用することも可能である。また、場合によっては、まったくランダムに配列した形でリクエストしても、対応できるようにプログラムはつくられているが、その場合は、処理時間が長びく。

(3) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000

○普通の場合は、(1)の配置を確認の上、そのままリスタートする。

○全文節について作表印字する場合は、文節マスターファイルを3番デ

ッキにセットしてあることを確認のうえ、Pレジスタに E910 をセットしてスタートする。

○またすでに中間出力 M/T が出来ている場合にも、それを 3 番デッキにセットし、Pレジスタに E910 をセットしてスタートする。

ii N. 0, A. 0002, 命令のロケーション E900, 中間出力 M/T 完成。直ちに作表したい場合は、そのままリスタート。

iii N. 0, A・B とも 0000, 命令のロケーション F290, ラン終了。

(e) エラー・ホルト

i N. 1, A. 0000, ラインプリンタ 印字

FILE1 FINISHED

もしリクエスト紙テープにパンチミスがないとすれば、リクエストする文節が正しくアルファベット順に配列されていない場合である。そのままリスタートすると、入力 M/T がリワインドされ、その先頭から現在検索中の文節をサーチする。それでも当該文節が見出されない場合には、

ii N. 1, A. 0000, ラインプリンタ 印字

THERE IS NO WORD # (P/T にパンチされている当該語形) でホルトする。この場合は、リクエスト指定 P/T の当該ブロックを訂正または抹消の上、すべての M/T をリワインドし、P/T を紙テープリーダーにセットしなおして、Pレジスタ E650 から処理を再開する。

(作表・印字の段階)

iii N. 7, A・B ともに 0000, 正常な操作においては、起りえないエラーであるので、ラインプリンターの貢送りをし、メモリをクリアした上、プログラムを再ロードして、ノーマル・ホルトの i から、Pレジスタに E880 をセットしてリスタートすると、3 番デッキがリワインドされ、ノーマル・ホルトの ii となるので、そのままリスタートする。

(f) 出力 M/T の形式

○バッチ形式、レコード形式とともに 65 MATSUE 6 の出力 M/T の形式と同じ。

○ラベルは、65 M-WORK

(e) 作表の形式 次表参照

○1 ページ 30行

見出し文節 A			(見出し語該当部分)
話し手	聞き手	文番号	
			1. 文.....×××

話し手	聞き手	文番号	1. 文.....×××
話し手	聞き手	文番号	1. 文.....×××
見出し文節 B			
話し手	聞き手	文番号	1. 文.....×××

5) II-4 実行前のソート ラン5

○入力 M/T ラン4の出力 又は、文節段階マスターファイル

○第1 key 話し手19ヶタ、第2 key 聞き手19ヶタ、第3 key 文節
見出し語の先頭36ヶタ、第4 key 文番号14ヶタ

○出力 M/T ラベル 65 M 6 BINP

6) II-4 65 MATSUE 6 B の実行 ラン6

(f) 機器の配置

入力 M/T デッキ1番 (ラン5の出力)

出力 ラインプリンター 作表印字 64文字モード

PLT デッキ6番

(g) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000, 機器配置確認後,
そのままスタート。

ii N. 0, A・B とも 0000, 命令のロケーション A720, ラン終了。

(h) エラー・ホルト

○ N. 2, A. 0000, は正常な操作の下では起りえないものなので、メモリをクリアの上、プログラムを再ロードして最初からやりなおす。

(=) 作表の形式、次表参照。

○ 1 ページ 30行

話し手	聞き手	
見出し語 A		文番号.....
" B		文番号.....
		文番号.....
見出し語 C		文番号.....
" D		文番号.....
話し手	聞き手	
見出し語 A		文番号.....
" D		文番号.....

2.3.3. 形態素段階

1) Ⅲ-1 65 MATSUE 7 の実行 ラン1

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1番, 2番 (文節段階マスター・テープ)

出力 M/T デッキ 3番, 4番

PLT デッキ 6番, ラインプリンター 64文字モード

(ロ) ノーマル・ホルト

○ N. 0, 命令のロケーション C320, ラン終了。

(ハ) エラー・ホルト

なし

(＝) 出力 M/T の形式

○ 1 パッチ 5 レコード, 1 レコード最大 720 ケタの可変長

○ レコード形式

形態素見出し語 (20ケタ)	文節見出し語 (100ケタ)	付加情報 (62ケタ)	文 (可変長最 大 535 ケタ)	(文 の 種 類)	#	E/i
-------------------	-------------------	----------------	----------------------	--------------------	---	-----

- i 形態素、文節見出し語の 20ヶタ、100ヶタに満たない部分はすべてスペースとなっている。なお形態素見出し語の末尾には必ず形態素切れ目符号の - (マイナス) がつけてある。
 - ii 形態素見出し語として取り出された、文節見出し語中の該当部分には、××- の記号が代りに挿入されている。(以下、作表印字の場合もすべて同様)
 - iii 付加情報以下の形式は、文節段階のラン1の出力 M/T の場合と一致する。
 - ラベル 65M-TANG
- 2) 形態素(短語)段階マスターファイル作製のソート ラン2
- 入力 M/T ラン1の出力
 - 第1key 形態素見出し語20ヶタ、第2key 文節見出し語先頭の20ヶタ、第3key 話し手19ヶタ、第4key 聞き手15ヶタ、第5key 文番号14ヶタ
 - 出力 M/T ラベル 65 M-TANG
- 3) Ⅲ-2 65 MATSUE 90~91 の実行 ラン3
- プログラム90~91は本来一つの処理を、プログラム作製上の便宜として二つにわけたものであるから、必ず連続ランとして実行する。

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ1番、2番(形態素段階マスターファイル)
中間出力・入力 M/T デッキ3番(WORK FILE)
出力 M/T デッキ4番、5番(短語リスト)
PLT デッキ6番 ラインプリンター 64文字モード

(ロ) ノーマル・ホルト

3番デッキのワーク・ファイルに書きこみおわると、1・2・3番デッキの各テープをリワインドして、

- i N. 0, A・B ともに 0000 でホルトし、プログラム 91 をロードする。そのままリスタートすると、
- ii N. 0, A・B ともに 0007 でホルト。機器配置確認のうえ、そ

のままリスタート。

iii N. 1, A・B ともに 0000, 短語リスト M/T 完成。短語リスト全表を印字したい場合には、そのままリスタート。

iv N. 0, A・B ともに 0000, ラン終了。

(v) エラー・ホルト

機械ミスによる論理的エラー以外のホルトなし。

i N. 7, A. 0000 又は 5080, B. 0000 又は 5184

メモリーをクリアした上、65 MATSUE 91 プログラムを再ロードして、再開する。

ii N. 7, A・B ともに 0007

メモリーをクリアした上 65 MATSUE 91 プログラムを再ロードし、ノーマル・ホルト ii から、4・5番デッキをリワインド、ラインプリンターをページ送りの上、Pレジスタに H470 をセットしてリスタートする。

(vi) 中間出力・入力 M/T (WORK FILE) の形式

○1 バッチ 30 レコード、1 レコード 121 ケタ固定長

○レコードの形式

形態素見出し語 (20ケタ)	文節見出し語 (100ケタ)	E/i
-------------------	-------------------	-----

形態素見出し語 20 ケタ、文節見出し語 100 ケタ内の形は、2・3・3

・1) の(vi)のレコード形式の説明 i, ii に同じ。

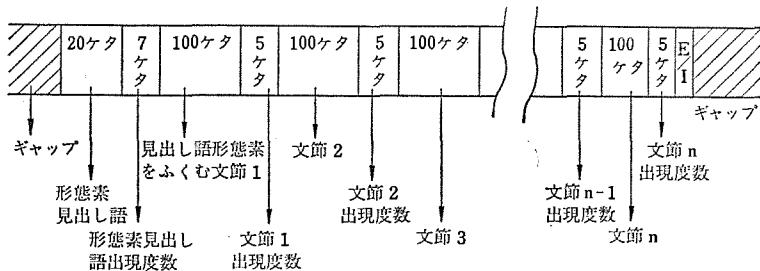
○ラベル WORKFILE

(vii) 出力 M/T (短語リスト) の形式

○1 バッチ 1 レコード、最大 9898 ケタの可変長

○レコードの形式 次ページの図参照

○1 レコード中の文節種類数 n は 94 個を最大とする。同一形態素をふくむ文節の種類の数が万一 94 をこえる場合は、最初の 94 種類の文節を 1 レコードとし、それ以下は次のレコードにおさめられる。レコード先頭の形態素出現度数は、そのレコード中にある文節の出現度数を合計



したものであるから、94文節をこえる用例をもつ形態素の総出現度数は、作表後のあと処理で合計して出すことになる。

○ラベル TANGLIST

(イ) 作表の形式 次表参照

○1 ページ 25行

○ heading 65 M - TANGO - LIST

○見出し語がとり出された文節中の該当部分には、××— 3ヶタの記号が插入されている。

形態素見出し語 A	A		見出し語出現度数
	Aをふくむ	文節 1	
形態素見出し語 B	文節 2		文節 1 出現度数 文節 2 出現度数
	文節 n-1		文節 n-1 出現度数 文節 n 出現度数
形態素見出し語 B	文節 n		見出し語出現度数
	Bをふくむ	文節 1	
⋮		⋮	

(最終ページ)

KOTONARIGOSU	出現形態素ことなり語数
NOBEGOSU	出現形態素のべ語数

4) III-3 65 MATSUE 9 A の実行 ラン 4

(イ) 機器の配置

入力 : P/T 紙テープリーダー (リクエスト指定紙テープ)
: M/T デッキ 1番 (ラン 3 の出力 M/T, 短語リスト)
出力 ラインプリンター 64 文字モード
PLT デッキ 6番

(d) リクエスト指定紙テープの形式

- 1 語形, 1 ブロックの形式でパンチし, リクエスト終了の記号としては, FIN 3 ケタをパンチしたブロックをもってこれにあてる。
- 各形態素の末尾には, 形態素切れ目符号としての - (マイナス) 1 ケタを加えておく。
- リクエストする形態素はアルファベット順に配列されていることが望ましい。ランダムに配列してあると, 処理時間が長びく。

(e) ノーマル・ホルト

- N. 0, A. 0000, 命令のロケーション C440, ラン終了。

(f) エラー・ホルト

- i N. 1, A・B ともに 0000, ラインプリンター印字

FILE1 EINISHED

もしリクエスト紙テープにパンチミスがないとすれば, リクエストする形態素の配列順が正しくアルファベット順になっていない場合である。そのままリスタートすると, 1番デッキがリワインドされ, 短語リスト M/T の最初から問題の形態素見出し語がサーチされる。それでも当該語形が見出されない場合には,

- ii N. 1, A・B とも 0000 でラインプリンターの印字が, THERE IS NO WORD # (該当語形) で, 1番デッキがリワインドされてホルトする。その場合は, Pレジスターに C340 をセットしリスタートすると, リクエスト P/T の次のブロックが読みこまれ, ランが継続される。

- iii N. 7, A・B とも 0000, 正常な操作においては起りえないエラーなので, メモリーをクリアした上, プログラムを再ロードして再開する。

(b) 作表の形式

○ 1 ページ 30行

○ heading がなく、最終ページに、全体のことなり語数、のべ語数の表示がない点をのぞき、ラン3の作表と同じ形式である。

5) III-4 65 MATSUE 7A の実行 ラン5

(1) 機器の配置

入力 : P/T 紙テープリーダー (リクエスト指定紙テープ)

: M/T デッキ 1番, 2番 (ラン2の出力 M/T 形態素段階マスター テープ)

中間出力・入力 M/T デッキ 3番 (印字段階からの入力。ワーク・ファイル)

出力 ラインプリンター 64文字モード

PLT デッキ 6番

(c) リクエスト指定紙テープの形式

ラン4の(c)に同じ。

(d) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000, 機器の配置を確認してそのままリストアート。もし全見出し語について作表したい場合には、形態素段階マスター テープを最初から3番デッキにセットし、Pレジスタに F230 をセットしてスタートする。

ii N. 0, A. 0002, B. 0000, 中間出力 (WORK FILE) 完成。
直ちに作表したい場合にはそのままリストアート。

iii N. 0, A・B とも 0000, ラン終了。

(e) エラー・ホルト

i N. 1, A・B とも 0000, ラインプリンタ 印字
FILE 1 FINISHED の場合は、4) の(e)の場合と同様、そのままリストアート。

ii N. 1, A・B とも 0000, ラインプリンタ 印字

THERE IS NO WORD # (当該見出し語)

この場合は、リクエスト指定 P/T の当該 ブロックを訂正または抹消の上、すべての M/T をリワインドし、P/T を紙テープリー^ダーにセットしなおして P レジスターに E970 をセットし、処理を再開する。

(作表印字の段階)

iii N. 7, A・B とも 0000, 正常な操作においておこりえないエラーなので、メモリーをクリアし、プログラムを再ロードし、ノーマル・ホルトの i から、P レジスタに F230 をセットしてスタートする。

④ 中間出力・入力 M/T の形式

ブロック形式、レコード形式とも入力 M/T のそれと同じ。

⑤ 作表の形式 次表参照

○1 ページ 30行

○文節中の形態素見出し語該当部分には ××一、文中の見出し語をふくむ文節該当部分には ××× の記号が插入されている。

形態素A見出し語			
<u>A見出し語をふくむ文節1</u>			
話し手	聞き手	文番号	文 (文節1をふくむ) (文つづき)
話し手	聞き手	文番号	文 (文節1をふくむ)
<u>A見出し語をふくむ文節2</u>			
話し手	聞き手	文番号	文 (文節2をふくむ) (文つづき)
話し手	聞き手	文番号	文 (文節2をふくむ)
⋮	⋮	⋮	⋮
形態素X見出し語			
<u>X見出し語をふくむ文節1</u>			
話し手	聞き手	文番号	文 (文節1をふくむ)
話し手	聞き手	文番号	文 (文節n-1をふくむ)
話し手	聞き手	文番号	文 (文節nをふくむ)

6) III-5 実行前のソート ラン 6

○入力 M/T ラン 5 の出力 (全形態素について実行したい場合には,
形態素段階マスターファイル)

○第 1 key 話し手19ヶタ, 第 2 key 聞き手19ヶタ, 第 3 key 形態
素見出し語20ヶタ, 第 4 key 文番号14ヶタ。

○出力 M/T ラベル 65M7BINP

7) III-5 65 MATSUE 7B の実行 ラン 7

(イ) 機器の配置

入力 M/T デッキ 1 番 (ラン 6 の出力 M/T)

出力 ラインプリンター 作表印字 64文字モード

PLT デッキ 6 番

(ロ) ノーマル・ホルト

i (ラン開始直後) N. 0, A. 0001, B. 0000, 機器配置確認のう
え, そのままリスタート。

ii N. 0, A・B とも 0000, ラン終了。

(ハ) エラー・ホルト

○ N. 2, A. 0000, 正常な操作の下では起りえないものなので, メモ
リをクリアーの上, プログラムを再ロードして最初からやりなおす。

(ヘ) 作表の形式 次ページの表参照

○ 1 ページ 30行

○ 文節中の形態素見出し語該当部分には ××- の記号が插入されて
いる。

話し手A	聞き手B
形態素 a	
<u>a をふくむ文節 1</u>	<u>文節 1 をふくむ文番号</u>
" 2	" 2 "
" 3	" 3 "
形態素 x	
<u>x をふくむ文節 1</u>	<u>文節 1 をふくむ文番号</u>
⋮	⋮

話し手A	聞き手C
形態素 a	
<u>a をふくむ文節 1</u>	<u>文節 1 をふくむ文番号</u>
⋮	⋮
形態素 c	
<u>c をふくむ文節 1</u>	<u>文節 1 をふくむ文番号</u>
⋮	⋮

2.4. 今後の問題。

以上の記述は、現存する 65 MATSUE PLT のプログラムをそのまま使用しただけの形のものであるが、現在までに、国研その他において開発されたプログラムの手法やアイデアをとり入れて、もっと便利なものに修正することは容易である。

たとえば、Ⅲ—4 (65MATSUE 7 A), Ⅱ—3 (65MATSUE 6 A) などにおいて、KWIC (Key Word in Context) のアイデア・手法を取り入れ、センテンス中の見出し語 (形態素) をふくむ文節の存在する場所を表中の一定位置に固定し、それに先行する形式や、後続する形式をもソート key の一項として考慮するならば、表全体がはるかに見やすくなるだけではなく、その当該形式と前後して出やすい形式についての考察もしやすくなるはずである。

また、I—2 (65MATSUE 2)において、時間帯コードのかわりに、この報告書でおもに問題にした「談話」に関する情報、すなわち談話番号と談話の種類に関するコードを插入することは可能であった。そして別に新しいプログ

ラムをいくつか追加開発することによって、1. 分析における談話に関する考察 자체をもっと容易におこなえたはずだし、さらにここで仮定した談話という概念および、その種類についての、実験的な検証も可能となつたはずである。

一応の処理方法完成以前に分析についての十分な考察をすることが出来なかつたので、ここで扱つたかぎりの資料については、コンピュータによる処理をいろいろな面で活用できなかつたうらみがある。しかし、上に述べたような点について、処理方法の改良、開発をはかれれば、今後のこの種の研究に役立つ可能性は大いにあると考えられる。

3. 付 錄

3.1. 参加者の組と談話数、文数。

以下にあげる表は、参加者の組ごとの談話数と文数を示す。各欄の左の数字は談話数、右の数字は文数である。なお、communication 上の function 0** (不明)、1** (ひとり) のものはあげなかった。

第25表の1, 2 (あいさつ)

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
非シ・非シ										
K 9 M, K AM										
非シ・シ										
K 4 F, K 5 F										
K 4 F, K 9 M	2	5	1	16						
K 4 F, K AM					1	3				
K 4 F, KCF										
K 8 F, K 9 M					1	2				
K 8 F, K AM					1	2				
K 8 F, KCF										
K 8 F, KFF								1	1	
KCF, KDF					1	3				
K 4 F, K 8 F, K 9 M	1	2								
K 4 F, K 9 M, K AM										
K 8 F, KCF, KDF										
非シ・ウ										
K 3 F, U 1 F					3	6				
K 5 F, U 1 F								7	23	
K 6 M, U 1 F					1	3				2 2
K 7 M, U 1 F										1 2
K 9 M, U 1 F								2	5	
K 9 M, U 2 M					2	9				
KAM, U 2 M					1	6				
KCF, U 1 F								6	12	
KCF, U 2 M								3	15	
KEM, U 1 F					1	3				
KFF, U 1 F					2	28		5	18	
K 1 M, U 1 F, U 2 M										1 4

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
K 9 M, K A M U 2 M						3	16			
K 9 M, U 1 F, U 2 M			1	3					1	3
K A M, U 1 F, U 2 M										
K C F, U 1 F, U 2 M			1	32						
K G M, U 1 F, U 2 M									1	7
非シ・シ・ウ										
K 4 F, K 5 F, U 1 F			3	52		3	28			
K 4 F, K 9 M, U 1 F			1	14		1	3	1	23	1
K 4 F, K 9 M, U 2 M	1	1								
K 4 F, K A M, U 1 F										
K 4 F, K A M, U 2 M										
K 8 F, K 9 M, U 1 F							1	3		
K 8 F, K 9 M, U 2 M										
K 8 F, K A M, U 2 M										
K 8 F, K B F, U 1 F			1	12						
K 8 F, K C F, U 1 F							4	22		
K 8 F, K C F, U 2 M			1	4						
K 8 F, K F F, U 1 F							2	13		
K 4 F, K 8 F, K 9 M, U 2 M										
K 4 F, K 8 F, K A M, U 2 M										
K 4 F, K 8 F, K C F, U 2 M							1	8		
K 4 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M				1	16					
K 8 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M										

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M				1 7						
K 8 F, KBF, U 1 F, U 2 M							1 13			
K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M							2 7			
K 8 F, KGM, U 1 F, U 2 M									1 7	
K 4 F, K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M				1 4			1 24			
K 4 F, K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M				1 22						
K 4 F, K 8 F, KZM, U 1 F, U 2 M										
K 4 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M										
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M				1 9						
シ・シ										
K 4 F, K 8 F							3 6			
K 4 F, KDF	1 3					1 5	4 6			
K 8 F, KDF							1 1			
K 4 F, K 8 F, KDF										
シ・ウ										
K 2 M, U 1 F							1 13			
K 2 M, U 3 F						1 3				
K 4 F, U 1 F		1 8	1 16				3 13			
K 4 F, U 2 M		1 4					1 3			
K 8 F, U 1 F							1 3			
K 8 F, U 2 M							1 1			
KDF, U 1 F							4 9			
K 4 F, K 8 F, U 1 F				1 33	1 5		3 12			
K 4 F, K 8 F, U 2 M									1 2	

	211	214	215	219	221	229	231	234	235	239
K 4 F, KDF, U 1 F										1 4
K 4 F, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, KDF, U 1 F										
K 8 F, KDF, U 2 M										
K 8 F, U 1 F, U 2 M									1 2	
K 4 F, K 8 F, KDF, U 1 F							1 5			
K 4 F, K 8 F, U 1 F, U 2 M							1 5			
K 8 F, KDF U 1 F, U 2 M										
K 4 F, K 8 F, KDF, U 1 F U 2 M						1 6				
ウ・ウ										
U 1 F, U 2 M									1 2	
U 1 F, U 3 F							1 13		1 2	
U 1 F, U 4 M							1 1		1 2	
U 1 F, U 5 F							1 6			
U 3 F, U 5 F										
U 1 F, U 2 M, U 4 M										
U 1 F, U 2 M, U 5 F										
U 1 F, U 3 F, U 4 M										
U 1 F, U 3 F, U 5 F										
U 1 F, U 4 M, U 5 F									1 4	
U 1 F, U 3 F, U 4 M, U 5 F									1 3	

第25表の2, 3(しらせ・用談)

	321	330	331	332	333	334
非シ・非シ K 9 M, KAM						
非シ・シ K 4 F, K 5 F			3 208			
K 4 F, K 9 M						
K 4 F, KAM						
K 4 F, KCF						
K 8 F, K 9 M						
K 8 F, KAM						
K 8 F, KCF						
K 8 F, KFF						
KCF, KDF						
K 4 F, K 8 F, K 9 M						
K 4 F, K 9 M, KAM						
K 8 F, KCF, KDF						
非シ・ウ						
K 3 F, U 1 F			3 45			
K 5 F, U 1 F			2 22			
K 6 M, U 1 F			1 23			
K 7 M, U 1 F						
K 9 M, U 1 F						
K 9 M, U 2 M	1	4			2 16	
KAM, U 2 M					3 30	
KCF, U 1 F			2 5		3 32	
KCF, U 2 M			3 13			
KEM, U 1 F						
KFF, U 1 F						
K 1 M, U 1 F, U 2 M					2 35	
K 9 M, KAM, U 2 M						
K 9 M, U 1 F U 2 M			1 3			
KAM, U 1 F, U 2 M					2 21	
KCF, U 1 F, U 2 M			3 31			

	321	330	331	332	333	334
K GM, U 1 F, U 2 M			1 5		2 2	
非シ・シ・ウ						
K 4 F, K 5 F, U 1 F			3 135			
K 4 F, K 9 M, U 1 F						
K 4 F, K 9 M, U 2 M						
K 4 F, KAM, U 1 F						
K 4 F, KAM, U 2 M						
K 8 F, K 9 M, U 1 F	1	1	1 12			
K 8 F, K 9 M, U 2 M						
K 8 F, KAM, U 2 M						
K 8 F, KBF, U 1 F						
K 8 F, KCF, U 1 F			1 2			
K 8 F, KCF, U 2 M			1 3			
K 8 F, KFF, U 1 F			1 7		1 36	
K 4 F, K 8 F, K 9 M, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, KAM, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, KCF, U 2 M						
K 4 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M	1	1				
K 8 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M						
K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M						
K 8 F, KBF, U 1 F, U 2 M						
K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M						
K 8 F, KGM, U 1 F, U 2 M						

	321	330	331	332	333	334
K 4 F, K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F						
K 4 F, K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, KZM, U 1 F, U 2 M			1 10			
K 4 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M						
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M						
シ・シ						
K 4 F, K 8 F			2 4			
K 4 F, KDF						
K 8 F, KDF			4 18			
K 4 F, K 8 F, KDF			2 15			
シ・ウ						
K 2 M, U 1 F						
K 2 M, U 3 F						
K 4 F, U 1 F			22 146			
K 4 F, U 2 M			3 6			
K 8 F, U 1 F	1 2		78 293			
K 8 F, U 2 M	3 11		14 44			
KDF, U 1 F			3 11			
K 4 F, K 8 F, U 1 F			5 64			
K 4 F, K 8 F, U 2 M			5 26			
K 4 F, KDF, U 1 F						
K 4 F, U 1 F, U 2 M			1 7			
K 8 F, KDF, U 1 F			6 58			
K 8 F, KDF, U 2 M			3 12			

	321	330	331	332	333	334
K 8 F, U 1 F, U 2 M	2	13		33	184	
K 4 F, K 8 F, KDF, U 1 F				2	17	
K 4 F, K 8 F, U 1 F, U 2 M	1	2		25	249	
K 8 F, KDF, U 1 F, U 2 M				1	5	
K 4 F, K 8 F, KDF, U 1 F, U 2 M				1	2	
ウ・ウ						
U 1 F, U 2 M				45	259	
U 1 F, U 3 F			1	10	27	
U 1 F, U 4 M				12	50	
U 1 F, U 5 F				7	29	
U 3 F, U 5 F				3	23	
U 1 F, U 2 M, U 4 M				1	2	
U 1 F, U 2 M, U 5 F				4	56	1
U 1 F, U 3 F, U 4 M						30
U 1 F, U 3 F, U 5 F				1	9	
U 1 F, U 4 M, U 5 F				8	58	
U 1 F, U 3 F, U 4 M, U 5 F				1	2	
				1	1	

第25表の3, 4(おしゃべり)

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
非シ・非シ						1 4				
K 9 M, KAM					2 25					
非シ・シ				1 6	1 19 2 8					
K 4 F, K 5 F					5 12 3 5					
K 4 F, K 9 M									6 45	
K 4 F, KAM										
K 4 F, KCF										
K 8 F, K 9 M										
K 8 F, KAM										
K 8 F, KCF					10 31				1 50	
K 8 F, KFF									1 10	
KCF, KDF	1 1				1 1					
K 4 F, K 8 F, K 9 M					1 5					
K 4 F, K 9 M, KAM										
K 8 F, KCF, KDF					2 35					
非シ・ウ										
K 3 F, U 1 F	1 9									
K 5 F, U 1 F					1 5					
K 6 M, U 1 F										
K 7 M, U 1 F										
K 9 M, U 1 F										
K 9 M, U 2 M										
KAM, U 2 M					7 8		1 15			
KCF, U 1 F						2 19	1 5			
KCF, U 2 M					1 3 2 19					
KEM, U 1 F										
KFF, U 1 F					1 2 6 31					
K 1 M, U 1 F U 2 M								4 40		
K 9 M, KAM, U 2 M	1 3									
K 9 M, U 1 F, U 2 M										
KAM, U 1 F, U 2 M										
KCF, U 1 F U 2 M										

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
KGM, U 1 F, U 2 M										
非シ・シ・ウ										
K 4 F, K 5 F, U 1 F				14 232	2 59			1 14		
K 4 F, K 9 M, U 1 F					2 23					
K 4 F, K 9 M, U 2 M								1 7		
K 4 F, KAM, U 1 F									1 64	
K 4 F, KAM, U 2 M						1 22		1 3	5 78	
K 8 F, K 9 M, U 1 F				1 4						
K 8 F, K 9 M, U 2 M	1 7									
K 8 F, KAM, U 2 M	1 21									
K 8 F, KBF, U 1 F										
K 8 F, KCF, U 1 F	1 2				1 6					
K 8 F, KCF, U 2 M	2 9				1 2					
K 8 F, KFF, U 1 F					3 86					
K 4 F, K 8 F, K 9 M, U 2 M		1 9								
K 4 F, K 8 F, KAM, U 2 M		1 23				3 195				
K 4 F, K 8 F, KCF, U 2 M										
K 4 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M									1 22	
K 8 F, K 9 M, U 1 F, U 2 M									1 27	
K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, KBF, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, KCF, U 1 F, U 2 M	1 7				1 16					
K 8 F, KGM, U 1 F, U 2 M										

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
K 4 F, K 8 F, KAM, U 1 F, U 2 M					2	171				
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F					1	14 1	23			
K 4 F, K 8 F, KCF, U 1 F U 2 M					1	23				
K 4 F, K 8 F, KZM, U 1 F, U 2 M										
K 4 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M					1	6				
K 4 F, K 8 F, KCF, KDF, U 1 F, U 2 M										
シ・シ										
K 4 F, K 8 F	1	7			4	26 1	13		2	19
K 4 F, KDF	1	2			1	22			18	418
K 8 F, KDF	2	6			2	28			2	14
K 4 F, K 8 F, KDF					3	58 1	5		2	12
シ・ウ										
K 2 M, U 1 F					1	2				
K 2 M, U 3 F										
K 4 F, U 1 F					16	288 5	135		16	515
K 4 F, U 2 M					6	31			1	12
K 8 F, U 1 F	1	7		3	7	17 71 4	15		2	15
K 8 F, U 2 M	2	15		3	7	5 20 2	31			
KDF, U 1 F					1	12				
K 4 F, K 8 F, U 1 F	1	13			9	133 3	101		3	66
K 4 F, K 8 F, U 2 M					7	101 3	60		3	68
K 4 F, KDF, U 1 F					1	9			1	11
K 4 F, U 1 F, U 2 M										
K 8 F, KDF, U 1 F					2	107			1	27
K 8 F, KDF, U 2 M									1	1

	411	421	422	430	431	432	433	434	43A	481
K 8 F, U 1 F, U 2 M				1 4	2 26	1 20		3 19		
K 4 F, K 8 F, KDF, U 1 F					2 15	2 40		6 477		
K 4 F, K 8 F, U 1 F, U 2 M	2 18			1 15	186	10 429		7 373	1 11	
K 8 F, KDF, U 1 F, U 2 M	1 4				2 54					
K 4 F, K 8 F, KDF, U 1 F, U 2 M	1 2				1 72			1 48	.	
ウ・ウ										
U 1 F, U 2 M	2 7				3 10					
U 1 F, U 3 F					3 15			1 2		
U 1 F, U 4 M										
U 1 F, U 5 F					1 7			1 13		
U 3 F, U 5 F					3 17	4 58		3 24		
U 1 F, U 2 M, U 4 M										
U 1 F, U 2 M, U 5 F					2 42	3 63				
U 1 F, U 3 F, U 4 M										
U 1 F, U 3 F U 5 F					4 26	1 16		1 14		
U 1 F, U 4 M U 5 F										
U 1 F, U 3 F, U 4 M, U 5 F										

3.2. 談話の種類と待遇表現関係要素。

以下の各表は、三種類の特徴の組み合わせによる談話の種類と、それぞれの待遇表現関係の要素の現われ方を示す。

3.2.1. ていねい表現関係。

第26表

DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS	DAR
000				
020				
030	8	7		11
031		1		
032				
121				
128				
130				
131				
132				
138				
211		1		1
214		7	2	1
215	1	2	1	
219	10	64	14	4
221		1		
229		1		
231	14	29	1	5
234	2	2		
235	1	1		
239	5	5		
321	2	1	1	1
330				
331	78	117	10	9
332				143
333	16	16	2	6
334	5	1		4
				3

	DES	MAS	GOZAIMAS	GOZAINS	DAR
411	1	1	1		
421	10	3	2		18
422	4	2			4
430	2				7
431	119	103	5	7	217
432	86	53	1	3	196
433					1
434	111	70		1	261
43A	18	11	1		11
481					1
?	3				2

3.2.2. 尊敬表現關係。

第 27 表

	RARE	NAR	NASAR	RAE	SAQSJAR	NASAIMAS	NASAINS
000							
020							
030							
031		1					
032							
121		1					
128							
130							
131							
132							
138							
211							
214							
215							
219		2	1			5	
221		1			1		
229			1				
231	2	3	15			3	1
234	.		1				
235							
239	1						

	RARE	NAR	NASAR	RAE	SAQSJAR	NASAIMAS	NASAINS
321							
330							
331	13	16	21			1	12
332			1				
333	1		1				
334			1				
411			1				
421	2	2			3		
422	1						
430	1						
431	36	16	14				1
432	16	2	1		1	1	
433							
434	123	10	2	11	3		
43A	1						
481							
?	4		1		1		

3.2.3. 要求表現關係。

第 28 表

	nasaimase	nasainse	nasai	nai	kudasaimase	kudasainse	kudasa	cjoodai	gosinai	gosudawa	dawa
000											
020											
030											
031											
032											
121											
128											
130											
131											
132											
138											
211											
214											
215											
219											
221											
229											
231											
234											
235											
239											

3.2.4. 呼び名関係。

第29表の1

姓+名 だ け	姓だけ	名だけ	姓+名 + SAN	姓+ SAN	名 + SAN	姓+名 (略) + SAN	名(略) + CJAN	姓族称 呼だけ	姓族称呼 + SAN	姓族称呼 + CJAN	姓族称呼 + SAN	名+姓 族称 呼+ SAN
000												
020												
030												
031												
032												
121												
128												
129												
130												
131												
132												
138												
211												
214												
215												
219												
221												
229												
231												
234												
235												

	姓+名 だけ け	姓だけ 姓だけ	姓+名 だけ SAN	姓+名 だけ SAN	姓 + SAN	姓+名 + SAN	姓+名 + SAN	名(略) + CJAN	名 + CJAN	名(略) + CJAN	名 + CJAN	親族称呼 + SAN	親族称呼 + SAN	親族称呼 + SAN	親族称呼 + SAN	名+親族 + SAN
239																
321																
330																
331		2														
332																
333																
334																
411																
421																
422																
430																
431																
432	3	8	8	8	7	1	1	1	8	2	2	1	1	1	4	1
433	3	19	3	3	6	25	1					16	46	26	26	
434	3	25	24	2	28	35		3	11	14	38	13	3	3	1	
43A	1	1	1	2	1			1								
481																3

第29表の2

	BOKU	UCI	WASI	WATASI	WATAKUSI	ANATA	ANTA	OMAI	DONATA	OMAISAN	ANOSAN	DARESAN
000												
020												
030		1			4							
031					1							
032												
121												
128												
130												
131												
132												
138												
211												
214						2						
215												
219						2						
221						1						
229												
231						2	1	6				
234								1				
235										17	2	
239												1

	BOKU	UCI	WASI	WATASI	WATAKUSI	ANATA	ANTA	OMAI	DONATA	OMAISAN	ANOSAN	DARESAN
321			1	1				4	1		1	
330		11	5	40				79	7	1	3	
331	2			3	2			1				
332								5				
333								1				
334												
411												
421		3		1				4				
422												
430			1									
431		11	2	27				51	2		1	
432	2	15	1	13				10			10	
433											6	
434		2		40				17	2		1	
43A				3				4			1	
481				3				3		1		
	?											

2

3.3. OUTPUT の例。

3.3.1. 65 MATSUE 6A および 7A。

GOZAIMAS, GOZAINS (以上 6 A), DES, MAS, RAE, RARE (以上 7 A) についての処理結果を、ラインプリンタからの output の形のまま示す。0. 4. 2. 2. II-3, II-4, 2.3.2. 4) (カ), 2.3.3. 5) (カ) 参照。

(1) GOZAIMAS, GOZAINS

```

GOZA!MAS-#S- {****}
K9H          U2H
K4F          K9V
              3B1410000000 {****} XXX,#
              431600000000 BARA,500-DE XXX,#
K3F          U1F
K5F          K4F
              114610000000 5ANDO 5JO(01)-VVB 5JO(01)-VVB XXX {****},#
              239300000000 HA 5JORSI-VVB XXX,#
K4F          K5F
              232600000000 5IZUJU-DE 5J0(01)-VVB XXX,#
K5F          U2H
              248900000000 5A-REX 5J0(01)-VVB XXX HEEN,#
K6F          KAP
              305000000000 HANZUO-DE 5JO(01)-VVB XXX,#
U2H
              417600000000 5O-SE-5HA-SAHA-DE XXX,#
KBF          KBF
              449000000000 HA 5OKUSAN /0045000/ 5IRASJAR-IB(V1)-HAS-YI-CB*-TE XXX,#
KCF          KCF
              761200000000 HATA KURU*THU-DUR-VI-DE XXX,#
KFF          KFF
              9B6200000000 5EOKO-DE XXX,#
KFF          U1F
              992000000000 5ATJA 5J0(01)-VVB XXX DOOSE DA-OGI-NO {****},#
GOZA!MAS-#S- {****}

```

K5F	U1F	22370000000 HAI HAI 𠂇(𠂇)-VVB XXX.#
K5F	U1F/K4F	26620000000 𠂇-KAKU-SAN-DE XXX >008630 / SUH-YI-HASE{MAS}->YI->DAR-YI-> B-TAR #
KBF	KCF	94570000000 HAA TIHA BUSU-GA KAHOD-YI=OB-E (***+-) -HEE (***+-) XXX.#
GOZAIMAS-RU-DAR-OMO		
K5F	U1F/K4F	23042000000 SITA-DHA HAK-KYI=OB-TE->RT=RU-KEN 𠂇(𠂇)=VVB XXX.#
GOZAIMAS-RU-DE-A		
K5F	K4F	22660000000 XXX.#
GOZAIMAS-RU-DE-NEE	K5F	25700000000 ha-REN=ND GUE-KYI=OB-AR=NO 𠂇(𠂇)HARAKA-00t(VVB)-IE r00257 n/ 𠂇(𠂇)
K4F	KAH	48740000000 𠂇(𠂇)A 2-00UGANE=NO-HEE KOO KATHA-GA XXX r0046721 / KAZHAB TA-GA #
GOZAIMAS-RU-5A-NE		
K8F	KFF	97440000000 𠂇(𠂇)-VVB XXX.#
GOZAIMAS-RU-5KA		
K4F	KSF	28282000000 𠂇(𠂇)N SO-RE-GA J-O-QI)-VVB XXX.#
K8F	U2H	70560000000 𠂇(𠂇)N BIBI-TAR-RU* MON(KONO)-DE XXX.#
GOZAIMAS-RU-KA		
K9H	K4F	36910000000 TAA SCO-DE XXX HAI.#
GOZAIMAS-RU-KEN		
K5F	K4F	25270000000 HAI 𠂇(𠂇)-VVB XXX.#
U1F	K9H	37280000000 𠂇(𠂇)-JUCIVVB XXX HAI.#
GOZAIMAS-RU-KEN-NE		
KFF	KBF/U1F	98600000000 (**+-) XXX.#
GOZAIMAS-RU-KEN-NEE		
K5F	K4F	22730000000 HAA HAA DA-RE* 𠂇(𠂇)HARAKA-DE XXX.#
GOZAIMAS-RU-NEE		
K4F	K9H	39860000000 𠂇(𠂇)N HON(HI-E-SAN) (**+-) /0398670 / XXX.#
GOZAIMAS-YI-CB-TAR		
K5F	U1F	?11100000000 (**+-) XXX.#

GOZAIIAS-YI=OB-TF-A			
K5F	U1F/K4F		
GOZAIIAS-YI=OB*-TAR			
K4F	U1F	211400000000 (**++) XXX,#	
	X,#	12100000000 MOO NHARIKAI-NI-NEE /0012110/ 51-1-KEDO HUR-YA-DE HUOINI -VVT XX	
K4F	K5F	28431000000 MIZKA-OBIVVB) XXX HADA HON.#	
K4F	K9H	3662000000 DE TAHEN HA DO-SODSIKI-NI-MO /0036830/ SICURE# SI(SU)-Y -OB-TE	
	NAKOTO-NI SUH-YI-HASE(HAS)-Y-N-DE /0036840/ XXX,#		
KBF	KFF	99240000000 GOKURQD-SAN-DE XXX,#	
KDF	KCF	101470000000 DI-I TENKI-OE /010148i/ XXX,#	
KCF	U1F	105520000000 SUM-YI-HASE(HAS)-Y-N-DE /0105530/ XXX,#	
GOZAIIAS-YI=OB*-TAR-GA-NE			
K4F	K5F	235500000000 HNN HJUO(B1)-VVT XXX /0023560/ HUUN,#	
GOZAIIAS-YI=OB*-TAR-HE			
KOF	KCF	101490000000 GOKURQD-SAN-DE XXX,#	
	GCZAIAS-YI=OB*-TE-A	351700000000 DOOHO O-HISASI-JUUB(VVB) XXX,#	
KBF	K4F		
GOZAIIAS-YI=OB*-TE-NEE			
U1F	K9H	352100000000 (**++) XXX (**++) #	
GOZAIHS-(****)			
K4F	K5F	225210000000 SUKOSI NOHO-1-HO-GA HJUO(B1)-VVT XXX,#	
K5F	K4F	251300000000 HAI HOOHO-I HON(HONO)-GA HJUO(B1)-VVT XXX,#	
GOZAIHS-RU			
K5F	U1F	226300000000 HARA SU-GE-N HJUO(B1)-VVT XXX,#	
K4F	K5F	237400000000 HJOO HJOKE TABE-YI-HASE(HAS)-Y-A-N-(****)-NEE 2 JUJUGO-KA /0 23750/	
	HAA NIIZJUU-DE HJUO(B1)-VVT XXX,#		
K5F	K4F	238710000000 HAI HJUROSI-VVT XXX,#	
K5F	K4F	245300000000 HOG(SO)-RE-DE (**++)-NI-HO-EE (**++)-HOOD-DENIC HJUO(B1)-VVT XXX,#	
K5F	K4F	251900000000 MOO GO-GOGGO)-DEMO SIC-Go((GOO)-DEMO n-0POSt-VVT XXX,#	
K4F	K5F	272600000000 DRNNNnJA MNH TOCI-GA SIMAR-YI-OB-TAR-GA HJUO(B1)-VVT XXX #0 HITO-GA	

GOZAINS-RU-{-{***}}		
K4F	K4F	24340000000 HAI DOHOSI-DHA DO-GE-DEHO DJO(HI)-VVB XXX /002435V HUTA 1(SU)-#
1-NASAI-S-YI-OB*-TE-KARA HUTA-NO NUNE-KARA, (+++) /002436V DANO S((SU))-YI-NASAINS-RU-TO ZUQ O {***+}	1 NAGARE-YI-HAS-RU, #	
K5F	K4F/U1F	27510000000 DIAOPARI* KANE KARI*-SI-OB-TAR HOO-GA DJO(HI)-VVB XXX, #
GOZAINS-RU-DAR-DCHD-HE-A		
K5F	U1F/K5F	26090000000 (+++) HOS-SI-OB-TAR-GA DJO(HI)-VVB XXX /002610V DAMA-MI GA /002
6.110/ (+++) NAHA-ZUKI(GUKE)-YI-NHA DHAKI-KARA CURE-YI-NAS-RU-DAR-KEN DAZI-DO-NE-A, #	GOZAINS-RU-DAR-KEN-NE-A	
K5F	K4F	21830000000 HONNNI KABU-GA NIRO-GA DJO(HI)-VVB XXX, #
GCZAINS-RU-GA		
K5F	U1F/K4F	23500000000 DINA (+++) KOTO-DA NA-1-DKA-TO /0023510/ DAHO HINO-SAN-# OKO-KAR
A X00 /0023520/ TOKU-I HAAR-YI-OB-TE MADHAR-Y-RARJAY)-NEE DJO(HI)-VVB XXX, #	GOZAINS-RU-DAHA	
K4F	K8F	81480000000 (+++)-DAR-KEN DJO(HI)-VVB XXX, #
GOZAINS-RU-KA		
K4F	K5F	26490000000 SG-NO NIRO-KO NIRO-KO-DHA DO-KO-DEHO DJUR-YI-0E-TE-DIRO-RU -NO-DE
	DJO(HI)-VVB XXX#	
GOZAINS-RU-KEN-HE-A		
K5F	K4F	25290000000 NIRO-GA DJO(HI)-VVB XXX, #
GOZAINS-RU-NE		
K4F	U2M	75300000000 DO-OC1-GA .DJO(HI)-VVB XXX#
GCZAINS-RU-HE-A		
K4F	U1F	96720000000 KO-KO-NO HADE-DHA /0026730/ NEKA-I BI-I GUNAR-NI NAR-YI-H S-YI-09
	*-TAR-DOHO /0096740/ DERA-00B(VVB) XXX, #	
GOZAINSE(GOZAINS)-YA-YVVB-NEE		
K4F	KAH	90030000000 HAA SO-RE*-AE(DHA) DJO(HI)-VVB XXX, #
		53690000000 SOO-DE XXX DN, #

(2) DES

DES-

KAH	U2H	*DO-QCI-XX-RU-KA 462600000000 {****} XXX-#
KCF	U2H	{****}-DAR-X1-OB-TAR-HON(KONO)-XX-RU-KEN 766600000000 KINOU KOTOZUKE-YI-HO / 00766900/ KINOU XXX-#
KPH	U2H	{****}-YI-OB-TE-JORI-RU-500-XX-RU-JD0 105300000000 HOO XXX-#
KCF	K8F	{****}-S00-XX-{****} 101440000000 XXX-#
KAH	U2H	{****}-XX-RU-DAR-MA-HE 463400000000 S0=NO HITO=HO XXX-#
KSF	K4F/U2F	{****}-XX-RU-{****} 227800000000 HAN XXX-#
KFF	U1F	{****}-XX-RU-GA 975200000000 HINNA SENKI XXX-#
KAH	KBF/U2F	{****}-XX-RU-GA-HEE 541700000000 S0=NO {****}=NEE KASE=YI-OB-TG SOS-Y-RE YI=OB-TEHO DA HEOTAE#
U2H	K4F	{****}-XX-RU-GA 505700000000 HON SO=REN=HOTOKA XXX-#

U1F	K4F	HO XXX DANTA.#	161200000000 {****} DANDO {****}-NEE /0016130/ NANI SI {SUS}-I-HAS-YI-OBK-TAR-DO
		{****}-XX-RU-KA	
KAH	KBF	KAH XXX #	454100000000 HAA XXX #
KCF	KBF	KCF XXX #	103200000000 XXX #
KDF	K4F	KDF SO-REK-DE ,DANDO {****}-NO 'DO-ZII-SAN XXX #	690700000000 SO-REK-DE ,DANDO {****}-NO 'DO-ZII-SAN XXX #
		{****}-XX-RU-KA-I-NEE	
KDF	K4F	KDF HAA-SUKO(KO)-NO {****} XXX #	965200000000 HAA-SUKO(KO)-NO {****} XXX #
		{****}-XX-RU-KA-NE-A	
KDF	K4F	KDF XXX #	940600000000 XXX #
		{****}-XX-RU-KAHA-NEE	
KAH	U2H	KAH HAA SJU(JB)D=RU {****}=HAA {****} XXX #	499000000000 HAA HAA SJU(JB)D=RU {****}=HAA {****} XXX #
		{****}-XX-RU-KEN-NEE	
KAH	K4F	KAH XXX #	487600000000 {****}-NO XXX #
KAH	KBF	KAH DEHBJO-BUKA(HUKA)-I XXX #	468400000000 {****} DEHBJO-BUKA(HUKA)-I XXX #
		{****}-XX-SU-NE-A	
KDF	K4F	KDF DARA HAA /0084630/ SD-REK-AT(HA) {****} /0084640/ HI-I XXX #	846200000000 DARA HAA /0084630/ SD-REK-AT(HA) {****} /0084640/ HI-I XXX #
		{****}-XX-RU-NE-TETE	
KDF	U5F/K8F/X4F	KDF KARA SJAU sjao(nlC)-PA1(HA) 'HAGE=YI=cB-{****} /0109200/	109100000000 SO-REK-KARA SJAU sjao(nlC)-PA1(HA) 'HAGE=YI=cB-{****} /0109200/
		{****}-XXX-HA-KA-Y1-OB-TAR-CA-NE-A	
KDF	K4F	KDF HE-GA HAJA-YA-N TO-NE #	109109210/ HE-GA HAJA-YA-N TO-NE #
		BEU-XX-RU-{****}	
KAH	U2H	KAH MO XXX #	969610000000 MO XXX #
		OKJOO-DHA SJABUNKA-I.#	506610000000 SO-REK-JAT(HA) HANOO RENGOO-KAI-NANKA-DHA XXX /00950670/ TAHNI=NO
BENR1#-XX-RU-DHA-HE-A	K4F	BENR1#-XX-RU-DHA-HE-A XXX #	121900000000 HONTO HANA-SA DAR-RUX-TO XXX #
U1F	KAH-U2M	KAH=NO-HAN-XX-Y1-OB*-TAR-KA-I-NE	464600000000 HAN=JHA HAN DO-HQ XXX #
U1F	CVNJO-I-XX-RU	CVNJO-I-XX-RU	

KAH	U2H/K4F 0-0052070/ CURE-RU-XX-RU-KA	520500000000 (***) "ZA1G0-DE-MO-NEE SONO H00 TOOHOKU H00 HKURIKU-NEE /005206
U1F	K4F CURETAI-1-XX-RU-GA	197000000000 (***) DANOO HUCUU-NO DAIKO-CURE-#-NI CIKEI-OB-TAR BNNN-#
K4F	K5F CURETAI-KAR-#-YI-OB-TAR-XX-RU-NEE	221400000000 KAZE-GA XXX-#
K4F	K5F CURETDAT-XX-RU-KA-NE	228800000000 BASI-GA XXX-#
K0F	KCF DA-REN-SAJ-XX-RU-KA	104530000000 ZJA ZANTA-(****) XXX-#
K9H	K8F DA-REN-XX-RU-KA	429000000000 XXX-#
K9H	K8F DA-REN-XX-RU-KA	429200000000 DA XXX-#
U1F	K4F DAIKON-XX-RU-(****)	142200000000 SA XXX (***) DHAKAR-YA-N-NE, #
K4F	K5F DAIKON-XX-RU-NEE	256800000000 DANOO DHATASI-N(NO) TOKA-A(DHA) XXX SJOGODIN-NO DAIKON, #
K4F	K5F DAIRJOO-XX-(****)	211900000000 DATA HATA DJOKER-NAR XXX, #
KCF	K4F DAIZJ008U-XX-RI-(****)	287900000000 DA TAIHEN NE(hi)-EK1) /00288000/ XXX, #
KAM	U2H/K4F DE-#-I-HASE(MAS)-#-Y-#-N-XX-#-I-OB-#-TAR	761610000000 XXX-#
K8F	K4F DO-GE-XX-RU	512500000000 HAA DICINDO G1NK00-NI (****) H00 XXX, #
U1F	K4F DO-GE-XX-RU-KA	964600000000 HINAJA XXX-#

KAH	K9H	42490000000 XXX SAIKIN#
U1F	K3F	11450000000 DOKKA-SAN XXX#
KBF	K4F	DO-GE-XX-RU-KA-NE
KDF	K4F	DO-GE-XX-RU-NE-A
KDF	K4F	DO-GE-XX-YI-OBIA-TAR-KA-NE
U1F	U2H	DO-KO-XX-RU-KA
KAH	K6F/U2H	K6F/U2H
KAH	U2H	DO-KO-XX-RU-KA-NE
KAH	K6F	DO-KO-XX-RU-KA
KDF	K5F	DO-OO-GURA(KURAI)-NAR-HON-XX-RU
K5F	K4F	GENKI-XX-RU-KA
KDF	K4F	GO-OO-GURA(KURAI)-NAR-HON-XX-RU
K5F	K4F	GO-KUROO-SAN-XX-YI-OBIA-TAR
U2H	KAH	GO-KUROO-SAN-XX-YI-OBIA-TAR
U2H	KGH	GO-KUROO-SAN-XX-YI-OBIA-TAR
U1F	KAH	GOCISOO-SAN-XX-YI-OBIA-TAR
KDF	U1F	GOCISOO-SAN-XX-YI-OBIA-TAR
K4F	U2H	B1-IE-A /0036510/ XXX.#
		GOCISOO-SAN-XX-YI-OBIA-TAR

K4F	U1F / U2H	406900000000 3AA XXX ;#
U1F	GUF,AI-XX-RU-DAR-KE#	
KBF		450100000000 5OKUSAN DIMA MATA KO-GE-NAR XXX {***} ;#
U1F	HACIZJUU-MABO-XX-RU-KA	
KDF	KAF	906700000000 HOO XXX ;#
KDF	HACIZJUU-SUGI-#1-XX-RU-{***}-NEE	
K4F	KAH	478600000000 3HATASI-DHA HOO XXX ;#
HAI PR RU-XX-RU		
KAH	U2H/K4F +1)-KURII XXX ;#	536200000000 HIRO-SA-KARA 3IN-#1-08-TARA /0053630 / HA KQ-KC-#A(DHA) {***} {**}
	HABHU-XX-RU-DHA-NE	
KAH	U2H/K4F/K8F	532000000000 {***} XXX ;#
	HAZIKU-RU-XX-RU-KEN-NEE	
KAH	U2H	518100000000 SO-RE-#-JAT(DHA) 3JAOPASI {***} SOROBAN XXX /0051820 / GINKOO-DHA *
	#	
	HAZ1HE-KUSA1-XY-RU-KA	
KAH	U2H/K4F 1-08-TAR-SOO-DES-RU-{***},#	512700000000 SJODDA-NO XXX HANKA /0051280 / TOR-YI-CUK-E-YI-SADHAG-YI-GA DAR-V
	H1-TORI*-XX-RU-KA	
KDF	KAF	922100000000 XXX ;#
	HITO-XX-RU-KA	
KAH	U2H	462600000000 {***} HONSJA-NO XXX ;#
	HITORI-XX-RU-DAR-KEN-NE	
U1F	KAF	170200000000 XXX SD-RE-#-DEMO HOO ;#
	HONTO-XX-RU-DHA-NEE	
KDF	KAF	912600000000 XXX ;#
	HONTO-XX-RU-#E-A	
KOF	KAF	913400000000 XXX ;#
	HOG-XX-RU-KA	
U1F	K9H	373600000009 NI-KAI-#D XXX ;#

Hōōšaku-Binbō-XX-RU	K4F/U1F	27190000000 HOOSAKU-(****) XXX, #
HU21-GINKOO-SAN-XX-RU-KA	K4F	45530000000 XXX-#
KAH	KAH	
HA-(****)-XX-RU-DHA-NAA	K4F	45100000000 HAA HA-HO HEN-NO TOSI-HINNI) NAR-RU-TO XXX /0045820/ HINA-SAN HJ00
KAH	KAH	
ZI-GA KAH-HAR-**-T-OB-T-E-10(h1)-*1-HAS-RU-DAR-KEN-NEE.#	K4F	
HA-GE-DAR-SOO-XX-RU-GA	K4F	25680000000 HUN HUN DAROO NOORI*H-GAKOO-GA XXX, #
HA-GE-XX-RU	K4F	
HA-GE-XX-RU-GA	K4F	28170000000 HUN S00 S00 S00 XXX, #
HA-GE-XX-RU-GA	K4F	24800000000 DINGUA XXX HUUN, #
HA-GE-XX-RU-GA	K4F	25150000000 HAI XXX, #
HA-GE-XX-RU-GA	K4F	90880000000 DIALA DAGE TAGE-NI-NEE NAKA-KARA NAKA-KARA .HORAN=**-OB-TARI=HANK
HA-SU-RU-TO (****) XXX KE /0090690/ DERNJO-DNA NA-1-KEN-NEE.#	K4F	
HA-GE-XX-RU-GA-NEE.	K4F	95820000000 XXX, #
HA-GE-XX-RU-DHA	K4F	27860000000 HAA XXX, #
HA-GE-XX-RU-DHA	K4F	76970000000 XXX, #
HA-GE-XX-RU-NEE	K4F	14710000000 XXX DNN, #
HA-GE-XX-RU-NEE	K4F	
HA-GE-XX-YI-OB-TAR-KA-1-NE	K4F	93070000000 HON(SON)-NA(NARA) /009380/ NJOPKA MANDO0 XXX, #
DF	KCF	
HA-RE-XX-RU-GA	K4F	10483000000 XXX, #
HA-RE-XX-RU-GA	K4F	27570000000 DIMA DONDON DONDON TAT-YI-HAS-RU-GA MINNA XXX, #
HA-RE-XX-RU-GA	K4F	

K3F	U1F 1720/ KIZAH-ÝI-(****),#	11700000000 NAA ZANO XXX /001174UV DA SO no-BUDU-NI-NE-A DIRER-ÝI-08-7E /001
KCF	U1F/K8F NAKA-XX-RU-DIR-DE-NE-A	102520000000 ½O-CJA XXX {****},#
K5F	K1F/U1F DANBAI-XX-RU-NE-A	21861000000 {****} ½UCI-NO ½JACU-ðNA HON=WAR XXX,#
KDF	K1F DANTAI-XX-(****)-NE	85310000000 HON(SDN)=NA(NARA) ½E(1)-E(1) XXX,#
KCF	U1H DAR-RU-SOO-XX-RU-(****)	76070000000 XXX {****},#
K9H	U1F DAR-ÝI-OB-TAR-HON(HON0)-XX-RU-NEE	37220000000 ½JANTO KAK-ÝI-OB-IE XXX,#
U1F	KPH DAR-ÝI-OB-TAR-DO-XX-RU-(****)	36920000000 {****} HINICI=HO ½IGSO-DE=HEE /0036930/ HAA '0036940/ ðERA=I KOT O=IA XXX,#
KAH	U1H/K4F DAR-ÝI-OB-TAR-DO-XX-RU-(****)	51270000000 ½JOCDAH-NO HAZIME-ðURAT=DES-RU-KA NANKA '0051280/ TOR-ÝI=DU=E# -SAHAG-ÝI-GA XXX,#
U1F	K1F DAR-ÝI-OB-TAR-XX-RU-KA	18480000000 GO=NO KHAI=ðNA DO=KO=DE XXX#,#
U1F	K1F DAR-ÝI-Ec(DNA)=HE(SU)=ÝA-N-XX-RU-ðNA	18460000000 KINOD=ðNA DO=KO=DE GO=NO KHAI=GA XXX#,#
KAH	U2H ðE(1)-E(1)-XX-RU-(****)	50481000000 ½IJA HOO :SO-RE=JAI(ðNA) HUSO=HO /0050490/ ðABUNA=I KOTC XXX,#
K4F	KAH ðE(1)-E(1)-X-X-RU-GA-HE	51930000000 ½IMA {****} ðURE 'TAKA-KU NASAR-ÝI=OB-TAR HOO=GA XXX:#
U1F	K6F/K4F ðE(1)-E(1)-X-X-RU-ðNA-NEE	62380000000 {****} MOBA-SAN=HO {****} XXX,#
K5F	K1F ðE(1)-E(1)-X-X-RU-ðNA-NEE	24770000000 XXX HAI,#

U1F	ME(n1)-E(1)-XX-RU-DA	IND	I KARA-I GUAI-DE XXX, #	299900000000 (***) / 0030000 / NO-SOZAI-NO (***) -DAH MANTA-N(ND) TOKO-MITA-N
U1F	ME(n1)-E(1)-XX-RU-DA	KAF	KAF	198700000000 DINHJA KA KARA-I-KEDO / 0019880 / HATA XXX, #
U1F	ME(n1)-E(1)-XX-RU-DA	KAF	KAF	199000000000 DAA SJOCJUO-T MIRIN-DE / 0029000 / NO-SATOO-HANRA DAA DA-GE-MI K
	AHH-ZAI CUKAN-YI-OB-TE NA-I-KEN			AHH-ZAI CUKAN-YI-OB-TE NA-I-KEN / 002010 / XXX HUN, #
	ME(n1)-E(1)-XX-RU-KEDO-NE-A			
U1F	ME(n1)-E(1)-XX-RU-KEDO-NE-A	KAF	KAF	297100000000 DA DAA Z-JUUGO-DAEN-NATA XXX, #
	ME(I-1-XX-(****))			
KCF	ME(I-1-XX-(****))	U1F/KOF	U1F/KOF	994700000000 NO-KASI XXX, #
	ME(I-1-XX-RU			
K4F	ME(I-1-XX-RU	KOF	KOF	240500000000 HAOPA-DHAA-XXX HUN HUN, #
KCF	ME(I-1-XX-RU	KOF	KOF	980800000000 (***) SENSEE-DHA BEIRIM-GA / 0080890 / XXX (****), #
U2H	ME(I-1-XX-RU	U1F	U1F	165100000000 KO-RE-K-DE XXX KO-RE-K-DE-NE, #
	ME(I-1-XX-RU-(****))			
KAH	ME(I-1-XX-RU-(****))	U2H	U2H	522100000000 JUDOSAKA-DE-HO (****) XXX, #
KCF	ME(I-1-XX-RU-(****))	KOF	KOF	977500000000 HAA XXX, #
KCF	ME(I-1-XX-RU-(****))	U1F	U1F	973500000000 (****) XXX, #
	ME(I-1-XX-RU-(****))-HE			
KDF/KOF	ME(I-1-XX-RU-(****))-HE	IND	IND	949200000000 XXX, #
	ME(I-1-XX-RU-DA-NE			
K8F	ME(I-1-XX-RU-DA-NE	KBF	KBF	451900000000 HA NOKUSAN XXX (****), #
K8F	ME(I-1-XX-RU-DA-NE	KCF	KCF	1003300000000 DINHJA XXX, #
	ME(I-1-XX-RU-DA-NE)			
U1F	ME(I-1-XX-RU-DA-NE)	KAF	KAF	154200000000 DARA HONSON)-DEHO DAA SAIKIN I-AGEH-NAR PEGANE-GA DAH-`I-HAS
	-RU-KEN XXX, #			
KDF	ME(I-1-XX-RU-DA-NE)	KAF	KAF	871100000000 XXX, #

K6F	KCF		78420000000 HONTO-NI-NEE XXX.#
K8F	KCF		97470000000 HAA XXX.#
U1F	K5F		26670000000 MAA DAIZI-GA XXX#
KCF	U1F		78970000000 HAA XXX.#
KFF	U1F		96020000000 SO-RE-A(HA) XXX.#
K8F	K4F		38940000000 HO-BAA-CJAN HO-GENKI-DE XXX.#
KCF	U1F/K6F		97660000000 XXX.#
U1F	K4F		30510000000 (***) HANOO TOKIDANI-DHA SO-RE-DE-A XXX#
KDF	K4F		84400000000 (***) REEKO-SAN-DHA XXX#
KDF	K4F		85651000000 (***) (***) GA-NE TAISITA (***) XXX.#
KAH	K8F		45720000000 (***) HO XXX#
KAH	U2M/K4F		53800000000 KAIZOKU-HA T00KJ00 XXX#
KCF	U2M		78151000000 TEGO S1(SU)-YI-OB-IE AGE-YA-NA XXX.#
K8F	KFF		97960000000 XXX.#
K5F	K4F		26330000000 XXX.#
U1F	K4F		19720000000 XXX.#

K5F	hINDJA-XX-¥1-OB-TAR-KA-I-IEE U1F	223300000000 HOMAI-SAN-TOKO-DHA DAIKO-HO XXX#
KDF	h105JO-XX-RU-KEN-NE-A K4F	858500000000 HAA HUCL-HO (****) TO XXX, #
	hIR-¥A-N-GURAI(KURA1)-XX-RU-DAR-HA-NE	
KCF	K8F-U1F	102930000000 MOO XXX, #
	hJANE-¥1-OB-TAR-XX-RU-(****)	
KAH	K8F	45680000000 MOB KO-RFP-HA(HHA) XXX, #
	hJANE-¥1-OB-TAR-XX-RU	
KAH	U2H	51720000000 HAA HUCL-DHA XXX, #
	hJAH-¥1-OB-TE-JORI-¥1-DB-TAR-XX-RU-DAR-D010	
KDF	K4F	83300000000 2150 H1QPAR-¥1-OB-TE-NEE H1QSJOKERWE-DE /0003310/ XXX, #
	hJASU-1-XX-RU-hJG	
J1F	K4F	19320000000 HAAUPARIK HJASAL-DHA XXX, #
	hUG(711)-KAR-¥1-OB-TAR-XX-RU-NE-A	
KDF	K4F	83750000000 HUUN /0083760/ SG-RE*-JAE(HHA) XXX, #
	hUG(711)-KAR-¥1-OB-TAR-XX-(n)-GA-HIE	
U1F	K5F	23430000000 XXX, #
	hUG(711)-KAR-¥1-OB-TAR-XX-(n)-DHA	
U1F	KCF	101731000000 (****) /0162740/ CJD010 HAA-((C)) (****)-N(H) HORA(H)-¥1-OB-TAR-KEN-KOSQ-
	HEE XXX, #	
	hUCB-RU-AY-RU-DHA	
U1F	K4F	55450000000 (****)-NQ TOK1-(****) XXX, #
	hUKEE-XX-(n)-DHA	
KCF	U2H	76350000000 (****) XXX, #
	hD-DEKAKE-¥1-XX-¥1-OB-K-TAR	
U1F	K4F	11830000000 HAA HAA XXX HAA .#
	hD-hJANE-¥1-DAR-S'D-O-XX-(n)-DE	
KFF	U1F	95870000000 KO-TOS1-hHA XXX, #
	hD-KO-SAN-XX-¥1-OB-K-TAR-DHA-NE-E	

K4F
 RG-TE-*u*AG-*x*X-*FU*-{+**+}
 922501000004. 𢃠𢃠𢃠𢃠𢃠 XXX, #

 KAH
 U2M
 /0051200/ MC HITORI /0051200/
 5192..*q*00000 CJQCKOO HANO GUKH-*x*-KDM-*y*-DEHO /0051200/ SI(SU)-*x*-OB-TE .{+**+}

KDF
 K4F
 /005120/ MC SUGU XXX, #
 932Q0000000 {+**+} {+**+}-*lQ* XXX {#}

KDF
 KCF
 95070000000 DO-BKA-CJAN-PA XXX {#}

KDF
 K4F
 n0BA-nSAH-XX-RU-*b*HA-NE
 10538000000 {+**+} XXX /0105390/ HAA, #
 * 9840;6000000 ZAA HANO MISO-CUKE-*y*-No CJQDJO {+**+} REE WEE {+**+}-NE-A /00198

Q1F
 K4F
 50/ XXX, #

n0ISI-1-XX-RU-DJO
 U2M
 KCF
 10150000000 XXX 𢃠 HAA DOO-CAN(SAH), #

U1F
 K4F
 944805000000 𢃠 nJZU-*g*A XXX {+**+}, #

KDF
 K4F
 n0ISI-1-XX-RU-NE-A
 106100000000 𢃠HN XXX, #

U1F
 K4F
 n0PAS-DE-XX-RU-DAR-HON(SONO)
 KDF
 104550000000 {+**+} XXX, #

KBF
 K4F
 n0RHA-No-KO-XX-RU-RHA-NE-A
 03180000000 𢃠N XXX, #

KDF
 K4F
 n0OKI-1-SQD-XX-RU-*b*HA
 K5F
 E 0027850/ XXX, #
 n0OKI-1-XX-RU-KEN-HEE
 K4F
 K5F
 -S00-DES-RU-*b*HA, #
 n0R-RU-X-X-RU

KAH
 U2M/K4F
 537601000000 So-RE*-Ni-NEE DANOO SIHIN-ZEE-GA HACIUE-*d*WA 100OKI-i-DES-RU-KEN=NE
 537601000000 So-RE*-At(*b*HA) {+**+} DOR-RU*-DES-RU HITORI* /0053770/ XXX, #
 KAH
 U2M/K4F
 27B310000000 So-RE*-Ni-NEE DANOO SIHIN-ZEE-GA HACIUE-*d*WA XXX /0027850/ 100OKI-i-DES-RU, #

KAH	KBF	カヒ-ヤ-OB-TAR-XX-RU-DHA	457400000000 ひ105JU-ニ. カヒ KONA1DA-HADE (****), #
U1F	KAH	ノ1OS-RU-XX-RU-KA	465610000000 ノ1OSJU-ニ. ノ1HA XXX/#
KCF	U2H	ハ1OS-KAR-ヤ-1-OB-TAR-XX-RU-DAR-KAH	767400000000 ハ1OSD0 (****) XXX, #
KBF	KCF	ハ1OTONASI-1-AR-ヤ-1-OB-TAR-XX-RU-ル. A	936800000000 ハ1OTONASI-1-AR-NO KO-ルHA, #
KEF	KCF	ハ1OTONASI-1-AR-ヤ-1-OB-TAR-XX-RU-ル. A	937970100000 ハ1A XXX, #
KPH	U2H	ハ1AKA-1-MON(HONO)-HAKASE-ヤ-1-XX-RU-ルHA-IE	426600000000 ハ1AKA-1-MON(HONO)-HAKASE-ヤ-1-XX-RU-ルHA-IE
KSF	KAF	ハ1AKA-1-XX-RU-ル. A	27410E000000 HA RON XXX ハ1-SUKO(KO)-ルHA-IE, #
KBF	KAH	ハ1AKA-1-XX-RU-ル. A	458300000000 HAA XXX, #
KPH	KAH	ハ1AKA-1-XX-RU-ル. A	456100000000 NAHAE-GA.CIGAH-ヤ-1-OB-TAR-DAR-KEN XXX, #
KBF	KAH	ハ1HARU-ヤ-1-XX-RU-ル. A	769400000000 NAKANAKA-TANTHA-1 (****) S19JOTO-ルHA-SAPU-1 HE-1I ハ1J-ヤ-1-XX-RU-ル. A
KCF	U2H	ハ1KE-ヤ-1-XX-RU-ル. A	1KE-ヤ-1-XX-RU-ル. A
KSF	KAF	カ1BU-XX-ヤ-1-OB-1-TAR-DHO	251308000000 DAITAI HA1 MA100 JUCI-1-NO KABU-DHA /00225390/ ハ1-GE-NI HAOPA-GA (++)
KBF	KAF	カ1BU-XX-1-OB-1-TAR-DHO	++/ XXX /0025400/ KU1TOSI-1-NO TOKUSU-JU-NAR-NANO-DES-RU-KEN-NE-A /0025410/ KE KODE IS(EU)-1 YA-NI-NONI KE DO-ヤ1OKO-1-TOKO KE DA1KO-1-DA1 KABU-NO HA-GA KE BOOBGO-1N KO-GE-N (****), #
KAH	U2H/KAF/KBF	カ1Bu-XY-TE-JDRT-RU-XX-RU-1 (****)	543300000000 SO-REN-KARA ハ1QOPQDO DANDORI-1-NO ハ1-1 HITO-DAR-TO-NE SONO MADE-NIN TOC1 XXX, #
U1F	KAH	カ1ER-ヤ-RARE-1-RU-SOO-XX-RU-DHA	159300000000 KJ00 XXX, #

KCF	U2M/K6F/U1F	797900000000 SENSE~HNA KJ00 XXX#
KAH	KOSIRANE~X1~OB~TE~JORD~RU4~XX~RU~GA.	533800000000 (**+) GORU~HU~NO RENSUU~Z~JOO /0053390/ XXX (**+) #
K4F	KOTO~XX~{***}	489600000000 HURU~I XXX /0048970/ NANZUJU~NEN~HO GO~ROKU~Z~JUU~HEN~HO HAE~NO
K5F	KOTO~XX~RU~DAR~KEN~NE K4F/U1F {***} /#027360/ MATA~DUAKA~I HONO~{***}#	273400000000 (**+) /027350/ HOKA~NO XXX (**+) GANAN~SI~CEU~YF~OB~TE MORAU~C
KDF	KOTO~XX~RU~DAR~KEN~NE K4F KOTO~XX~RU~DAR~NE	267800000000 HI~I XXX, #
K4F	K5F	274900000000 KEOKD~NAR XXX HORNI~NEE, #
U1F	K4F	305500000000 SO~RE~JAC~HNA SD~QE~WJAB~HNA /0030560/ NEET~HIA~E~I XXX, #
K9H	K4F NNASI~HISE~N(HO) NAKA~NI NOR~YI~MAS~RU~G~NEE	374400000000 HIDA~KANHAR~YI~OB~TE DI~I~MAS~RU~G~NEE /0037450/ (**+) HAA~HO NI~HJAR~Y~REH~E~HJUN(HD)~RU XXX~HINH, #
U1F	HACURI~XX~YI~OB~TAR~KA~NE~A K4F HAN~XX~YI~OB~TAR~GA	204100000000 DA~RE~CJODTO~HAZINE~XXX~NIKADHA~KA DANO~NAN~ZO~DE (**+) #
KDF	K4F	664500000000 (**+) /0088460/ XXX#
KFF	HI~OCU~CU~DAR~YI~OB~TAR~X~RU~NEE	955400000000 (**+) ZJUU~NEN~GURA~I~KURAI~XXX, #
KAH	K4F~U2H	523400000000 HIHE~GA SAN XXX, #
K6F	HIO~KA~XX~{***}	HIO~KA~XX~{***}
K8F	X4F~U2H	564000000000 MOO /0056510/ MOO~HUCU~KA XXX, #
K9F	U2M	569300000000 XXX (**+) #

K5F	HON(HONO)-XX-RU-DHO-HE-A	K4F	27730000000 HONNI MAA MAA BANTA-HO HOO-RACI-JAT(HNA) KAN(NANI)-DES-YI-CB*-TAR -DOMO /0027740/- HUCI-RACI-JAT(HNA) HONNI CIS-A XXX 0027750/ {****}.#
NON(HONO)-XX-RU-DHR-KEN-HEE		K4F	04990000000 HJAJA-NEE >0095000/ HAA /0095010/ DANOO {****}.# HJAJA-SAS(SASE)-YI -DBK-T-E KORAK-YY-OB-TAR XXX /0095020/ HJQ(HIC1)-PEK(HEN) HIK-YY-NA NIKE-YY-NA NOHO-RA-DAR-000 HA, #
KDF	HON(HONO)-XX-RU-DE-A	KFF	46030000000 HERA-I XXX, #
	HON(HONO)-XX-RU-HJA-NEE	KAHU2H	52220000000 HJASUDA-ZENBEI-SAN-{****} /0052230/ {****} XXX, #
	HON(HONO)-XX-RU-HJA-NE	K6F/U2H	54110000000 HJAJA SO-RE-*JAT(HNA)-NEE {****} SISU)-YI-OB-TAR XXX, #
	HON(HONO)-XX-YY-OB-K-TAR-KEN-NEE	KAH	60710000000 HJAJA HUKASI-HJA-NEE /0060720/ DANO KONO JUJUZ-JUUC(JUU) KO-RE HJAR-YY-OB-TE-JORI-YY-OB-TE-NEE /0060730/ 0060740/ DANO HOO HATO-HJA ZUQUO MOO JICIDANRKA SUH-RU-TO -HEE /0060750/ DANOO HOO HA HOO KEE TO-DANI-DO OUT-RU-TOKA-NEE /0060760/ NANTOKA SO-GJAN KOTO HJAR-YY 1-OB-TE-JOK-B-YY-OB-TE KE HONNI KEE BIBI-TARU* XXX /0060770/ MUKASI-DHA, #
	MOT-YY-SASE-YY-N-XX-RU-KEN-NEE	U2H	66740000000 KO-REMSIKA XXX, #
	NA-I-HON(HONO)-XX-RU-DE-NE-A	KBF	65810000000 TAISITA HJOO-GA XXX, #
	NA-I-XX-RU	K4F	18280000000 HAA HURA DINDA DA-RE-*-THA-NEE SJOCPARA-YY-{****} XXX {****}.#
		KAM	12M/K4F
		KDF	NA-I-XX-RU-{****}
		K4F	92880000000 HANDA DINA SG-GE-{****} SASCUKAE-YI XXX, #
		U1F	15130000000 HAA JUJUZ-THA-NEE DIMA-GOROKORO1 XXX, #
		K4F	02660000000 {****} SE-dHAA TAKA-I KOTO-XXX TAISITA-#

KAH	K8F	514300000000 SON-NAR KOTO XXX.#
KDF	K4F	845000000000 HANJO SO-RE-DAR-DHO-NEE /0086590/ KOKORO-GA-NE-A /0086600/ HANO
	Q	HATAKAKA-XE-REBA SO-CHAN KOTO XXX.#
NA-1-XX-RU-KA		
K8F	KFF	961400000000 HIGIBAN SAIGO-DA XXX.#
K8F	U2H	102550000000 NANCHAN) /0102660/ NAN(NANI)-DA XXX:#
KAM	U2H/K4F	521910000000 TOOKDOO-DAKE TOR-**-DTARA TSUJI-DORI * HE(?)=E(?)=DA XXX HICUBI
	SI-GENKDO-(****).#	
KAH	U2H/K4F/K8F	54700000000 HAA TAITEE-GA KARIW-XI-OB-TE TATE-XI-OB-TE-JOB-RU-DA XXX.#
KDF	K4F	873200000000 (****) HINA DO-UE KO-GE XXX:#
NA-1-XX-RU-KA-NE		
K8F	U1F	75510000000 HOO NAN-NEN-TE (****) ZUUM-NEN-TE HUN(GO-HA)-RU XITO XXX.#
NA-1-XX-RU-KEDD-NEE		
U1F	K4F	29620000000 HAA CIOOTD-NEE /0029650/ (****)-DHA 'XXX'-DNN:#
NA-1-XX-RU-KEN-NE		
KAH	U2M	50620000000 NOOGUOO-KAI (****) XXX:#
NA-1-XX-RU-NE-A		
KDF	K4F	926200000000 DO-GE KO-GE-TJE SHUN(GO-HA)-RU KOTO-DAA(DHA) XXX.#
NANA-ZUKECIKEF=XY=XX=RU-(****)	U1F	26160000000 XXX:#
NANA-ZUKECIKEF=XY=XX=RU-DHA=NE		
K5F	U1FK4F	26240000000 KEE JIHA HANJA-I-TOKO KEE HANJA-NI TABE-RU M(JACU-A(HA)) XXX.#
NAN-BJAKUCHI(AKII)-MAN-XX-RU-DAR-KEN-NE-4		
KDF	K4F	210630000000 XXX:#
NAN-DAI-XX-RU-GA		
KDF	K4F	89800000000 HAJA HAA HANO XXX:#
HAN-DAI-XY-OB*-TAR-GA		
KDF	K4F	96500000000 HANOO XXX:#
NAN-XX-RU-GA		
K5F	K5F	23780000000 HANOO XXX:HANO HATOZUREN~GA-NE DIHA HOO /0023790/ HADE-GA TIGAI-

U2H	NAN-XX-RU-DHA-NE KAH/K4F	507400000000 SO-NO KASIRA-TE nju(n)in)-RU MONO-DHA-NEE /0010750/ \$O-@EM-JA(tDH A) NANOG KONOQ XXX /0050760/ SENGOKU-KOOTARO-SAII, #
K4F	NAN-XX-RU-KA-NEE U2H/U1F/KBF	\$62900000000 KO-REK-DE XXX, #
K9H	NAN-XX-RU-KEN U2H	381400000000 HASAI-JA(tDH) HDO {***}-YI-HAS-RU-DE DANO:XXX {***} KI(KU)-YI -OB-TE-JOKH-YI-OB-TEHO nE(n)i-E(i)-TE nju(n)in)-RU KOTO-NI {***}, #
K9H	NAN-ZI-XX-RU-KA 41F	362500000000 nIHA XXX, #
K5F	NANCHANI)-XX-RU-DAR-YA-YVU((YVB)-KEN K4F	284400000000 {***} JAQPASI DANO TOCI-GA-NEE /0028450/ XXX, #
U1F	NANCHANI)-XX-RU-DHA K4F	>9831000000 {***} HA {***} KJOO-DHA HN {***}:SEG(SECU)-CJAN-MO DE-YI-OB-TE KU-RU: {***} /0029840/ XXX ZUU, #
K4F	NANCHANI)-XX-RU-KA KAH	392800000000 JAQPARI KAS-YI-ÜKKE-YI-DHA XXX nIHA-GORO(KO50)-DA(DHA) NINE-DJA -NANKA-DO TEIJOO-NI TOR-YI*-NASAR-(G(Y))-HAS-RU-KA#
KAH	KBF	<6790000000 XXX, #
U1F	K4F	300900000000 DUR-YI*-DAS-YI-TE DANO HATA XXX, #
U1F	NANCHANI)-XX-RU-KEN K4F	>13000000000 DENGEI-No XXX, #
K9H	U2F/KBF	>92300000000 nIHA DNASF-JA(tDH) GEGU-NI XXX {***}, #
K5F	NANCHANI)-X-YI-OB*-TAR-DOHO KAH/U1F	277300000000 HONNI MAHAA DANTA-HO HOO-RACI-JA(tDH) XXX /0027740/ DUCI-RACI- JA(tDH) HONNI CISAI MONMONOI-DES-RU-DAR-DONO-NE-A /0027750/ {***}, #
U2H	NANCHANI)-X-YI-OB*-TAR-DOHO KAH	42551000000 DA-RE DAHO {***} HIDE-YI-GS-TAR-GENA-DO-O-NEE /0042560/ NANO0 X xx {***} {***}-YI-OB-TAR-DOHO DA-RE NAN-DAI {***}-NO NAN-DAI {***}, #

K4F	NANBO-XX-RU-DAR-KEN-NEE K5F	22762000000 DÀN SÀN-MÌN-DÀA XXX /0022770/ HUUN, #
KDF	NANTOKA-XX-RU-KEN-NEE K4F	098400000000 (****)-HØ-NO HITO-GA DE-‡-RARE*-RU /0089850/ (****) XXX, #
U1F	K4F	172400000000 (****) XXX, #
K4F	KØH	394630000000 (****) KEE /0039490/ XXX /0039490/ ØAA, #
KDF	K4F	932400000000 (****) XXX, #
K4F	NUOG-JOO-KAI-XX-RU-(****)	50530000000 (****)-HEE TAJORE*-RU KIKEN-GA DAR-RU*-NO-DHA XXX, #
KAH	U2H	76560000000 (****) KJOO-DHA XXX, #
KCF	NUKU-‡-XX-RU-KARA U2H	21520000000 KANDO-SAN XXX, #
KCF	ROSU-XX-RU-KA U1F	96190000000 XXX, #
K5F	SAKAI-XX-RU-KEN KFF	76590000000 ÐINHJK XXX SOTO-DHA, #
K8F	SAHU-‡-XX-RU-GA KCF	SAN-NEN-XX-‡-OB*-TAR-N(HO)-DE-NEE U2H 56370000000 XXX, #
K8F	SAN-NEN-XX-‡-OB*-TAR-N(HO)-DE-NEE KAH	47590000000 SO-RE-KARA HAA DANOO (****) /0047600/ (****)-YI-OB-TE-NEE DANHA, I* GAKKOU KAÑHAR-‡I-OB-TE KURE-X-REGRE-‡TE KAÑHAR-‡I-OB*-TEMO ZJOGQROO XXX /0047610/ SO-RE-KARA-NEE ZJOSI-SIHAN-NO ÑICÍ-NEN-NI KAÑHAR-‡I*-HAS-YI-OB*-TAR-(****), #
KDF	SEÐHAA-ÐJAK-‡I-OB-TE-NEE K4F	SEÐHAA-ÐJAK-‡I-OB-TE-NEE 91370000000 NAN-DAI KAN-DAI /0091380/ TABE-YI-OB-TE-NEE ÑANOO XXX, #
KDF	SI(SU)-‡I-OB-TE-ÑORD-‡I-OB-TAR-XX-‡U-(****)	83220000000 (****) /0083230/ ÑANOO ÑA-RE* XXX GENDO KI (KU)-‡I-OB-TE-ÑORD-‡I-Ø

S1#G-XX-RU-KA-I-NE:#	K5F	K4F	23950000000 XXX, #
S1#NKE1-KA-HANNA-XX-RU-KA	KAH	U2H	46370000000 {+***} XXX-X#
SJ#0NS00-KWHA-#1N-XX-RU-KA	KFF	K8F	96090000000 HANTA-HO HANTA-HO XXX-X#
SO-GE-NA-R-{+***}-XX-RU-DH-NE-A	KDF	K4F	87890000000 DH DH XXX, #
SD-GE-XX-{+***})	KAN	U2H	41870000000 HAA XXX, #
SO-GE-XX-{+***})-KA	UIP	KCF	74810000000 HAA XXX, #
SO-GE-XX-RU	K5F	K5F	27460000000 HAN HAN HAN HAN HUUN. #
U1F	K5F	U1F	26560000000 XXX {+***}, #
U1F	KAH	KAH	16390000000 {+***} XXX, #
U2K	K6F	K6F	38061000000 HAI XXX, #
SO-GE-XX-RU-{+***})	K5F	K4F	252601020000 XXX, #
KCF	KAH	U2H	51350000000 HAA XXX, #
KCF	K4F	K4F	89700000000 HAA XXX, #
U1F	K4F	K4F	13130000000 HAA XXX, #
U1F	K9M	K9M	70130950000 HARA XXX, #
SO-GE-XX-RU-GA	KCF	U2H/KCF	28240000000 XXX, #
KCF-V1F-KB#	KBF	SO-GE-XX-RU-GA-NE	54460910000 HAA XXX, #
KBF	KCF	SO-GE-XX-RU-DH-NE	89209000000 HAA XXX, #

K8F	K6F	841100000000 DAA XXX (***+) /0094120/ H00.#
U1F	K4F	256200000000 DAA XXX.#
	S0-GE-XX-RU-DHA-NEE	
K0F	K4F	100440000000 HUUN XXX.#
	S0-GE-XX-rlU-KA	
K4F	K5F	240000000000 DAA XXX HUUN.#
K4F	K5F	241100000000 DAA /002120/ XXX HUUN.#
K4F	K5F	242600000000 DAA XXX.#
K4F	K5F	252020000000 DAA XXX HUUN.#
K4F	K5F	263700000000 HUUN HUN XXX.#
K5F	K4F	226100000000 HA&N XXX.#
K8F	K4F	390100000000 DNN XXX.#
K0F	K4F	314500000000 Da XXX.#
K0F	K4F	518800000000 XXX.#
K0F	K4F	920000000000 Da XXX.#
KFF	K4F	978200000000 XXX.#
KFF	U1F	960000000000 Ha XXX.#
U1F	I1D	304600000000 DNN XXX.#
U1F	K4F	126200000000 HUN HUN XXX.#
U1F	K4F	133700000000 DAA XXX.#
U1F	K4F	134100000000 DAA XXX.#
U1F	K4F	134900000000 DAA XXX.#
U1F	K4F	168100000000 Ha XXX.#
U1F	K4F	186100000000 Ha XXX.#
U1F	K4F	190200000000 DAA XXX HUUN.#
U1F	K4F	302300000000 DAA XXX /0030240/ HUUN #
U1F	K4F	661400000000 XXX.#
K5F		219200000000 DAA XXX.#
U1F	KFF	956000000000 DAA XXX.#
U2H	K9H	405810000000 Da XXX.#

U2H	KAH	53610000000 DARA /0053820/ XXX.#
KDF	KF	89200000000 DAAN XXX.#
U1F	KH	36360000000 DAA XXX.#
KDF	KF	09740000000 DAA XXX.#
SO-GE-XX-FLU-KA-(****)		
K4F	KF	24520003000 DAA XXX HUUN.#
KFF	KF	98020000000 DA XXX.#
U1F	KM	37390000000 DAA XXX.#
SO-GE-XX-FLU-KA-NE-A		
K5F	KF	26790030000 XXX {****} #
K8F	KF	43800000000 {****} XXX.#
KDF	KF	23790000000 DA XXX.#
KDF	KF	-3376 4000000 DA XXX.#
SO-GE-XX-FLU-NE-A		
U1F	KF	20120000000 .XXX.#
SO-GE-XX-z1-OB-TAR-KA		
K5F	KF	45570000000 DAA {****} HAA XXX.#
SO-GE-XX-z1-OB-TAR-KA-I-NE-A		
U1F	KF	21580000000 DAA XXX.#
SO-GE-XX-z1-OB*-TR-GENA-HE-A		
KDF	KF	68000000000 DAA XXX.#
SO-GE-XX-z1-OB*-TR-KA		
KFF	UF	98910000000 DA XXX.#
SO-GE-XX-z1-OB*-TR-KA-NE		
U1F	KF	20220000000 DAA XXX.#
SO-GE-XX-z1-OB*-TR-KA		
U1F	KF	22930000000 HUUN XXX.#
SO-GE-XX-HU		

K _{CF}	U _{EH}	763300000000 XXX, #
K _{4F}	S00-XX-RU-(****)	
K _{4F}	K _{5F}	280700000000 DNN MINNA XXX, #
K _{4F}	U2H/KAH	4700000000 HAA /0047000/ XXX, #
KAH	U2H	46590000000 XXX, #
U1F	K _{5F}	23070000000 XXX, #
	S00-XX-RU-GA-HEE	
K _{4F}	K _{5F}	27610000000 JAA XXX /0027620/ HUUN, #
	S00-XX-RU-DJO	
K _{4F}	K _{5F}	280400000000 .MINNA XXX, #
	S00-XX-RU-DHA	
K _{8F}	KFF	96320000000 HAA XXX, #
	S00-XX-RU-DHA-NE-A	
U1F	K _{4F}	15110000000 XXX, #
	S00-XX-RU-KA	
K _{4F}	K _{5F}	24020000000 HAA XXX, #
K _{4F}	K _{5F}	24500000000 DARA XXX HUUN, #
K _{4F}	K _{5F}	25090000000 HAN HAN JAA DAA /0025100/ XXX HUN HU., #
K _{4F}	K9H	36190000000 DAA XXX KAS-XI-DUKKE- $\ddot{\epsilon}$ -t-***), #
K _{4F}	K9H	39300000000 HAAN XXX /0039300/ HAAN, #
K _{4F}	K9H	40440000000 DAA XXX /0040450/ HUUN, #
K _{4F}	K9H	40500000000 DAA XXX, #
K _{4F}	KAH	45250000000 (*+*) JAA XXX, #
K _{4F}	KAH	48750000000 XXX, #
K _{4F}	KAH	48770000000 DAA XXX /0048780,0048790/ HUUN, #
K _{4F}	KAH	51260000000 DRRN XXX-#
K _{4F}	KAH	54220000000 DAA XXX, #
KGF	KAH	45590000000 DAA XXX, #
K9H	K8F	42840000000 DAA XXX, #
K9H	U4F	36330000000 XXX, #

KAH	K4F	#7790000000 HAA' XXX. #
KAH	U2H	13270~00000 HAA XXX. #
KDF	K4F	R9620000000 HARA XXX. #
U1F	K4F	*4480000000 XXX. #
U1F	K4F	15160~00000 HAA XXX HAN. #
U1F	K4F	17570000000 HAA XXX HAN. #
U1F	K4F	25950000000 HAA XXX HAA HAA. #
U1F	K4F	36170~00000 HAA DA HAA XXX. #
U1F	K4F	37370000000 HAA XXX. #
U1F	K9H	37A90000000 HAA XXX. #
U2H	K9H	43110~00000 {***} DOHO DAQ HA XXX HON(SON)-KARA. #
K8F	KAH	S00-XX-RU-KA-HE
KDF	K4F	15690000000 HAA XXX. #
K8F	KAH	S00-XX-YI-OBK-TAR-KA-NE-A
KDF	K4F	68430000000 HAA XXX. #
U1F	K5F	S00-XX-YI-OBK-TAR-KA
U1F	KCF	25420000000 HAA XXX HIUN. #
		SUKUNA-1-XX-RU-DIA
U1F	K4F	10173000000 XXX. #
U1F	K4F	15210~00000 HAN DOORO-GA KO-GAI-DAR-KEN DITATE HITO-SAN-YO NO-IDE-YI-GA XXX
	#	
U1F	K4F	P9940000000 HUSU-KAZKA-DNA TOR-YI-OB-TE DAR-RU-KEN-NEE {***}-KEN NIGA-HI-GA XXX
		SUB-YA-N-XX-RU-REF:
U1F	K3F	{***}-YI-HASE(HAS)-YA-HI-XX-YI-OBK-TAR-{***}
X5F	U1FK:#	15160~00000 HARA XXX. #
	#	
SUM-YI-HASE(HAS)-YA-HI-XX-YI-OBK-TAR-NE-A	KDF	26490~00000 HIROZIRO XXX. #
K8F	KDF	SUM-YI-HASE(HAS)-YA-N-XX-YI-OBK-TAR

K9H	U2H	43680000000 XXX, #
	SUM- YI -HASE (HAS)- Y A-N-XX- Y I-OB*-TAR-NEE	
KCF	U1F	105410000000 DJAA XXX HANTA-GA {***}, #
	SUM- YI -HASE (HAS)- Y A-N-XX- Y I-OB*-TAR	
KGH	U2H/U1F	103920000000 DOHO XXX, #
U1F	KCF	10617000000 XXX, #
	TAIHEN-XX-RU-NE-A	
KCF	U1F	105940000000 {***}-GA XXX, #
	TAIHEN-XX-RU-NEE	
K4F	KAH	49421000000 {***} XXX {***} HANJAKU /0049430/ {***}, #
	TAKASAGO-XX-RU-NEE	
KDF	K4F	ER170000000 KE MA XXX, #
	TAKUSAN-XX-RU	
K5F	K4F	24999000000 HAI GD-GOO HAR-Y-RJA XXX, #
K5F	U1F	28270000000 HQO XXX, #
	TAKUSAN-XX-RU-{***}	
U1F	K4F	20020000000 HOSTIE {***}-NO BUN-RHA-NEE /0020030/ {***} DAMA-MI-GA XXX, #
	TAR-YA-N-XX-RU-HHA	
KBF	U2H	56800000000 XXX, #
	TAT-RU-SOO-XX-RU-GA	
K4F	K5F	27200000000 DANO HUKO-NO HUO-DE DOO-DES-RU-KA HANOO GO-BUNKE-GA XXX, #
	TOKO-XX-RU	
KAM	K4F	48840000000 {***}-DO KITA-I {***} HIK-YI-QB(TAR) XXX, #
	TOHO-XX-RU-GA-NE	
KAM	K4F	48820000000 {***} HIZUMO HANOO {***}-DO DE-YI-OB-TE KITA-I HIK-YI-OB-TAR X
	TOHO-XX-RU-GA-NE	
U2H	KAH	41900000000 HINA MOO HIMA-HO /0041910/ SO-GE HIK-YI-OB-TE-QRBT-RU XXX /004192
	0.0041930/ {***} HODONI KEE MOO HAPUNAKU SI(SU) -YI-OB-TE-JORE-RU-MON(HMOND)-DAR-KEN, #	
	TOKUSUJU-NAR-(NO)-XX-RU-KEN-NE-A	

K5F	K4F	25360000000 DAITAI NAA HANOO SUCL-NO KARU-NAA /0025390/ カラス-ナ-ハ ++) KAGU-DES-XY-OB-~TAR-BONO /025409/ KO-TCSI-NA XAA /025410/ KE KONE SE(SU)-YA-N-NOI KE DO-YKO (K01-T20) KE DAIKOU-NJA KABU-~NJA KE BOODOO-TO KO-GE-NI {****}.*#
T0U-KA-XX-YI=OB-X-TAR-KA-NEY	K4F	45540000000 KONADA ZJUJUHICI-GACHU-HO NAIU-KA XXX,*#
TOS{=XX-RU-{****})	U2M	53970000000 {****} TOSI-GA XXX,*#
Z1NAM-SAN-XX-RU-KA	K4F	84680000000 HA SO-RE-Y-AB(HHA) XXX#
Z1nBUCU-XX-{****})-DAR-~Y-YYb(YVb)-KEH-~NE	K9M	39462000000 SUCL-JAH(HHA) DAN-NAR HUUN-DE DA SON-NAR-NI KE KUROO SE(SU)-Y-A-N- DEHO he(hn)-E(1) nIG(IGC)-SUOGAI SON-NAR KUROO SE(SU)-Y-A-N-DEHO he(hn)-E(1)-TE-hJA-NAR XXX {****}. #
ZJUJUTOO-XX-RU-NAR	K4F	100690000000 HA KA RE-M-JAT(HHA) XXX,*#
ZJUU-ZI=HAn-XX-RU-{****}	K8F	36280000000 XXX,*#
ZJUU-ZI=HAn-XX-RU-HHA	K9H	36270000000 XXX HIMA,#
ZJUCHI-GH(CU)=XX-RU-GA	U1F	95890000000 {****} XXX,*#
DGH0-{****}-DAH-XX	K4F	92260000000 XXX HE-EU KOTO-HNA 2G-~KA-SAN {****},#
UZH(K6F	K4F	59500000000 XXX DAIGAKU-DO RJIO-NEN DE-YI=OB-TE-JORg-RU-DAF-DOKO /0059560/ NAN -DAI CJNATO SHIKEN SE(SU)-YA-NA nIKE-~YA-N-GEN- {****},#
U2M(K5F	K4F	69280000000 XXX {****} hJO-ZI-HAN=GORO(KORD)-KARA HJAKU=TEN HJAKU={****} HOSO DA=SAN-GA RIIDO SU(SU)-YI=OB-~AR {****},#
U1F	K4F	65940000000 XXX#
U1F-K4F	K4F	60942000000 {****} /0060950/ SAKANA-~JUR-~YI=DE nISOGASI=KAR-~YI=OB-TAR-KEN XY

(3) MAS

KAH	{+++++}=>RAREH=>Y-XX-RU-DE	
K5F	U1F/75F	2664000000000 XXX #
K5F	{+++++}=>Y-OB-TE-JORC=Y-XX-RU-DAR-KEN	
K5F	U1F	26200000000 HUCL-AJACT-JAC(UWA) HANOO XXX /0026210/Y-NA-GE-NI {+++++}=>Y-OB-TAR
	=>JAK-NWA KOTO-YKA /0026220/Y-NA-HE-N-THA,#	
K5F	{+++++}=>Y-OB-TE-JORC=Y-XX-RU-DE	
K5F	U1F/K4F	2304000000000 XXX #
	{+++++}=>Y-XX-{+++++}	
K9H	U1F	37100000000 {+++++} JIREK=>Y-OB-TE XXX #
KAH	{+++++}=>Y-XX=RU-{+++++}=NEE	
KAH	K4F	4906000000000 SOO XXX #
	{+++++}=>Y-XX=RU-{+++++}	
KAH	U2H	54900000000 {+++++} XXX #
	{+++++}=>Y-XX=RU-DE	
K9H	U2H	36140000000 HMASI-JAC(UWA) HOO XXX HANOO NAN-DES-RU-KEN {+++++} KIT(KU)=>Y-OB-T
	E-JG(KB-YI-OB-TE)IO HE(HI)=TE HUJ(HI)=RU KOTO-NI {+++++},#	
	{+++++}=>Y-XX-RU-hJO	
KAH	U2H	4925000000000 {+++++} XXX #
	{+++++}=>Y-XX=RU-HWA	
K5F	K4F	23760000000 XXX #
	{+++++}=>Y-XX-RU-hHA-HE	
U1F	K4F	14730000000 {+++++} 20HOU=>RAREK=Y-RUA HOO /0014740/Y-HAA:DOOMO HA DIKE-YA-N-K
	EN-TE D1a-X-OB-TE XXX #	
K0F	U2H	63070000000 hO-TOD-CJAN SIRAHUJO XXX #
	{+++++}=>Y-XX=RU-KA-NE	

K9H	U2K	377900000000 MA / 0037860 / {***} なごひら - SAN - DE KABU - KAR - TA - R (NA) HAR - YA - N - TE D17 - YI - OB - TE HOCIDE - RU - TE XXX, #
	{***}-YI-XX-RU-KEN	
K8F	Y4F	168900000000 なごひら XXX, #
	{***}-YI-XX-RU-NE	
KAN	U2M	447700000000 {***} XXX {***}-DA, #
	{***}-YI-XX-RU-NE-A	
U1F	K4F	307600000000 {***} XXX / 003070 / {***}-NEE, #
	{***}-YI-XX-YI-TAR	
K4F	K5F	285000000000 HARA HARA XXX, #
	{***}-YI-XX-YI-TAR-GA	
K5F	U4F/K4F	289300000000 なごひら - HO - NEE / 0028940 / NI - KODOKAI XXX DAIKO - DC, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-{***}	
K5F	U4F/Y5F	267500000000 {***} / 0028760 / XXX, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-KEN-{***}	
KAN	U2H	532500000000 {***}-DA MOO XXX, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-{***}	
KCF/R6F	K6F/KCF	1002200000000 XXX, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-NEE	
KDF	K4F	923300000000 {***} XXX, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-DIA-NE	
KDF	K4F	966000000000 {***} KONAI DA {***}-GA DENSHA KAKE-{***} XXX, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-NE-TE	
KFF	U4F	984600000000 {***} XXX なごひら - YI - OB - TE {***}, #
	{***}-YI-XX-YI-OB-X-TAR-DIA-NE	
U1F	K4F	787300000000 なごひら - SAN KONAI DA {***} / 0078740 : SARDN P ASU HAR - YA - O
	B-TE XXX, #	
	CigA - YI - OB - TE - 10 (n) - YI - XX - RU - DA - NEE	
KAH	X4F	454900000000 {***}-GA RJC RJCGHOO - TOMO XXX, #
	CigA - YI - XX - RU - DA - A	

K4F	K5F	217400000000 (+++) なNTA-N(nho) TOKO-NO /0024750/ KABU-DAKA ひRO-DAKA XXX, #
U1F	K4F	139800000000 だMA HEE なJAGPA だZI-DA XXX, #
U1F	K4F	C10Ab-#I-XK-RU-KA
U1F	K4F	774340000000 XXX-#
U1F	K4F	CJODAI-S(SU)-#I-XX-#I-00*-TE-^A
K4F	U2H	774500000000 KO-KC-DAKA (+++) XXX-#
K4F	D5E-RU-(+++) .#	361900000000 だIWAJA /0038500/ MAIDO MAIDO ひI-MONO XXX /0038510/ GOC1500-SAN-#
CUKAH-#I-XX-RU	CUKAH-#I-XX-RU	261300000000 ひRO-KO-DAJARA /0026140/ HATA CJOGTO KAHM-I-ZAI-DOKO XXX, #
K5F	U1F/K4F	CUE-#I-XX-RU
K4F	K5F	257400000000 DE ぬCI-NO DAIKON-DO ひUW CUNE-#I-OB-TARI* S((U))-#I-OB-TE-NE /002
CUE-#I-XX-RU-DAR-KEN	5/50/	5/50/ SO-REX-KARA まNNO SJOGODA1N-BRKA XXX, #
CUE-#I-XX-RU-DAR-KEN	U1F/K5F	260900000000 (+++) HOS-#I-OB-TAR-GA ぬJO(ha)I-VVB GOZAIN-RI-DAR-DONO-NE-A /002
.K5F	6100/	6100/ たHMA-HI-GA /0026140/ (+++) HAH-ZUKE(CUKE)-#I-DAHA ZHAKI-KARA XXX -DAZI-DO-NE-A, #
CUE-#I-XX-RU-DA-NEE	K5F	CUE-#I-XX-RU-DA-NEE
K4F	K5F	26300000000 HAZINE-KARA まNOD KONA-MITAI-NAR まON(HONO) びFEK-#I-OB-TE SO-RE-K
CUE-#I-XX-RU-DAH	ARA XXX, #	ARA XXX, #
U1F	K5F	224100000000 SG-RE-DE CJOGTO KARA-I BUN-TO /0022420/ たHMA-I BUN-TO HUTA-DAKE-N
CUKUR-#I-OB-TE-JORb-#I-XX-RU-DE-^A	I XXX, #	CUKUR-#I-OB-TE-JORb-#I-XX-RU-DE-^A
K4F	K4F	227000000000 SJOGODA1N-DAKA XXX, #
CUKUR-#I-#HSAR-1b(#I)-XX-RU-NEE	K5F	CUKUR-#I-#HSAR-1b(#I)-XX-RU-NEE
.K4F	K5F	290600000000 TAISITA XXX, #
DA-#I-OB-TE-JDRb-#I-XX-RU-DAR-KEN-NEE	K4F	187900000000 だA ひO NI-DO-10 XXX /0018800/ NAN-TOKA HENZI-GA ひAR-#I-SOO-NAR-H
U1F	K4F	ON(HONO)-DAR-DOKO MADA KO(KU)-YA-N-DAKA-NE, #
DA-#I-XX-RU-KEN		DA-#I-XX-RU-KEN

KAH /U2H DE=XX-FARE=YY-XX-YI-OB-TAR;#-KJ0
 K4F DE=XX-YI-OB-E-JORI-YI-XX-RU-DA-IE
 U1F DE=XYI-OB-XX-YI-OB-TAR U2H 120100000000 KESA-DHA-NEE /0012020/ GOHAI; TABE-YA-N-KO-NI XXX, #
 K9H DE=XYI-OB-XX-YI-OB-TAR U5F 405900000000 (***) /0040600/ DIMA (***) MOO XXX D:R*1-0G-TE (***) , #
 U1F DE=XYI-OB-XX-YI-OB-TAR K5F 215300000000 KANDO-DHA XXX, #
 K4F DE=XYI-XX-(****) KSH E /0036670/ NO=EGAMI-TOKO PAS-YI-OB-(****) /0035650/ HAKOTO-NI SICUREMI DITAS-YI-YAS-XI-OB-A-IE, #
 DE=XYI-XX-ILU-(****)
 K5F DE=XYI-XX-RU-HA KF 242400000000 SO-GF SI(SU)-YI-MAS-RU-TO-NE-A /0024250/ SUGU SIRU*-GA XXX, #
 KBF DE=XYI-XX-RU-PEN U2H 589210000000 KONDO-AC(DHA) HACUD-EI DEEGA MI-YI-NI XXX, #
 K5F DE=XYI-XX-RU-HA KF 11500000000 MATA RAINER-NO HARU-NI (****) MATA XXX DG-NEC(A,-!r(Y))-SI(SU)-YI
 ~Y-S-RU, #
 K5F DE=XYI-XX-YI-OB-TAR-DOHO U1F 272300000000 (***) NATA CIKA-I TOKG-TOKC-I XXX (***) , #
 K5F DE=XYI-XX-YI-OB-TAR-KOH KF 21430000000 KJOO-DHA-NE-A /0024410/ DAIKO-O-DJA SIRO-KABU-D-HE-A /0024450/ HA
 KUSA-I-DJA MOT-;I-OB-TE XXX /002446n/ HOO HAI(HAJA) I#
 DE=XYI-XX-YI-OB-K-TAR KEF /U2H 51700000000 MOO XXX KONAIDA-KARA, #
 U1F DE=XYI-XX-YI-OB-K-TAR KF 121400000000 MATA HADJA-HADJA-DE MA HAA JO-KUTABIRE-#-I-GA XXX, #
 U1F DE=XYI-XX-YI-OB-K-TAR KEF 352210000000 MATA HADJA-HADJA-DE MA HAA JO-KUTABIRE-#-I-GA XXX, #
 KDF DE-KAE-YI-XX-YI-OB-K-TAR KF 824400000000 DANTA /0082450/ CJOCPD DANTA XXX KJC01#
 U1F DE-KAE-YI-XX-YI-OB-K-TAR KF 15760000000 XXX, #

K5F	DEKI-YY-IE-JORD-YY-XX-RU-GA U.F K'5F	233400000000 (+++) 7IMA ZUUGO KE DE SUINO-GA XXX /002335C/GESUI-NO (+++) / 02335L/ HA-SUKO(KO)-KARA OONN-TO S:TA-1 JORDS-YY-OB-TE-NE KURUMA-DO, #
U1F	DEKI-YY-XX-HU-GA K4F	195300000000 HA-NO-HEN-HATARI-K-RHA DJAGRARI * HANOO DORO-GA HE(h)I-E(h)I-SDO-OE HJG(1)~VtB XXX /0019540/ HINN, #
U1F	DEKI-YY-XX-HI-OB-TAR-DE U2H	44500000000 HOD XXX, #
K4F	DEKI-YY-XX-HI-OB-TAR-DAR-KEN-NEY K5F	25720000000 CIKA-GORO(KORO)-A(DHA) DAIKOH-DHA HUCI-NI CITEG-DATE HANOO DEKI-RE * XXX, #
K5F	DEKI-YY-XX-HI-OB-TAR-#-NEY-A K5F	28410000000 HAAN /0028420/ KO-TOSI-HHA HJOTHII-VtB XXX, #
K4F	GOPEN-KUDASAB-It(YY)-XX-#-RE K6F	35161000000 DOOHO XXX, #
K4F	KAH	55070000000 DOOHO XXX, #
KAH	U2H	41800000000 XXX, #
KCF	IND	7600000000 XXX, #
K4F	GOPEN-NASAR-It(YY)-XX-#-RE K6F	45050000000 HARA XXX, #
KBF	IND	44890000000 XXX, #
K5F	GOPEN-NASAR-YY-XX-#-RE K5F	21250000000 HARA XXX, #
K3F	HAI-DAR-#-YY-XX-RU U.F	11360000000 XXX, #
KDF	HADJAR-YY-XX-RU-DAR-KEN-NEY-A K4F	83200000000 HJOPARIK (+++) XOTD-GA XXX, #
KDF	HANAS-#-RRE-YY-XX-RU-NEY-A HFS-Y-RRE-YY-XX-#U-DE	85930000000 HA MINNA HA XXX, #

KOF K4F 1094300000000 7100 XXX, #
 HEEKIN-SI(SU)-YI-XX-YI-OB*-TE-(****)-NEE
 U2H K4F 71880000000 {****}-HO /0071690/ MA XXXI#
 HUNNI-NEE21KE-*YI-XX-YI-OB*-TEHO
 K4F K5F 26700000000 {****} XXX SUKOSI {****}. #
 HOS-YI-OB-TMKI(KU)-YI-XX-RU-KEN
 U1F K4F 13550000000 huci niwa {****} SENTAKU SI(SU)-YI-OB-(****) >00 XXX, #
 HUTOR-YI-XX-*YI-OB*-TAR-HNA
 K8F K4F 98830000000 huj(hi)-VVT XXX, #
 HUTOR-YI-XX-*YI-OB*-TAR-{****}
 K8F K4F 98860000000 hujkee huj(hi)-VVT XXX, #
 HABAK-YI-XX-RU-HAI-{****}
 K4F K5F 27160000000 hanta~N(ND) TOKO~HJACI~JAT(DHA) BAKUTAI CUKUR~YI~NASAR~RUT~DAR~K
 EN /0027170/ DNN KANE-GA DER-YI-OB-TE XXX,
 DAGAR-YI-NASAR-IC(yi)-XX-YI-RE
 K4F K9H 36220000000 XXX, #
 DAGAR-YI-XX-YI-RE
 K4F K4F 94350000000 ho-BAA-CJAN {****} GOHAN XXX HADJAJ-V(YB), #
 DAGE-YI-XX-{****}
 KFF U1F 95720000000 HON(SON)-NA(NARA) NA KCRD-YI-OB-TE K1(KU)-YI-OB-TE XXX, #
 DAGE-YI-XX-RU
 KSF K4F 28160000000 HA KABU-THA HON(SON)-NARA /0328190/ DAIO HATA JIMA HADE-GA /00262
 00/ HAK-YI-HAS-YI-OB*-TAR /0089210/ DATOUREM-NI /0028220/ HATA HUK-YI-OB-TE XXX, #
 U1F K8F 84380000000 HAA XXX HAI.
 DAGE-YI-XX-RU-DE
 KSF K4F 23550000000 HAA XXX NANBO-DAI,
 KSF K4F 28660000000 HATA HAA DO-KO-DJA TANOH-YI-OB-DE(TE) hOK-YI-CB-TE {****} XXX {**}
 DAGE-YI-XX-RU-DHA
 KSF K4F 23670000000 HAA HOS-YI-OB-TE XXX, #

K5F	K4F N1C1)-NO {****}.#	23830000000 シOKANO-SAN-NO-TO ハIGSJU-NI NUK-¥1-OB-TE XXX /0023840/ NI-SAN-NC1{
K6F	U1F	67170000000 ハINHJA XXX.#
K5F	U1F/K4F 6660-0026670/{****})	26650000000 ハANOO DAKEHI-CJOO-NO KOCJOO-SENSE I-N(No) TOKC-FAC1-DHA-NE-A /002 DAK-¥1-XX-RU={****})
K5F	K4F NBO ね(No)-E(1) KABU-DEHO NOKE NAKA-DE SU-GA XXX {****}.#	25080000000 50-RE-DE NOHOSt-GA KARUK-KAR-¥1-OB-IA(TAA)-DJJA NANKA SU-RU#-TO NA
K5F	K4F 00/ XXX /0028210/ HATOZURE-NI /0028220/ HATA NUK-¥1-OB-TE HAGE-¥1-HA3-RU.#	20180000000 ハA KABU-DAHA HON(SON)-NARA /0028190/ ハNO HATA ハHA HADE-GA /00282
U1F	KDF DAH-¥1-XX-RU	10246000000 ハA SO-KO {****} KAHA-HO XXX.#
U1F	K4F DAH-¥1-XX-RU={****}-NE-E	19400000000 {****} {****}-NO HOD-DE MAN(HAN1)-KA 2JOO-GA XXX.#
U1F	K4F PAR-¥1-XX-RU=PAR-KEN-NE-A	19970000000 ハINHJA HIRINN-NO DIRE-¥1-OB-TE XXX.#
U1F	K4F PAR-¥1-XX-RU=PAR-KEN-NE-A	13200000000 {****} SAN SANDO-GA XXX.#
U1F	K4F PAR-¥1-XX-RU=PAR-KEN-NE-E	16000000000 ハHN {****} DANTA-TO HATAS1-NO NAKA-DAR-KEN-{****} SON-NAR /0109
U1F	K4F (RE-TE /0016930/. NAK-¥1-OB-TE XXX.#	10/ ハNGO 2ENRJO-NA-KU DAA DE(ha)-E(1)-TOKA DHARU-**-TOKA-DO /0016920/ 2OGSJAR-¥1-OB-TE KUDASAR-¥-lt
U1F	K4F DAH-¥1-XX-RU=PAR-¥1-Vt(Vv)b)-KA	19070000000 DAA HAA XXX.#
U1F	K4F DAH-¥1-XX-RU=GANE-GA-NE-A	15080000000 HOZOHI-GA XXX:#
H5F	K4F CUKE-¥-RARE-#-RU TOKO-GA XXX /0025840/ DO-OCL-KA-TE ハIMA ハNOO DAIKON-DHA NAKA-ZL KE(CUKE)-¥1 S(SU)-	25080000000 SJOGGJUH-DAHA CUKE-¥1-HASE(HMS)-¥A-N-DAR-DOH0-NE-A /0025830/ ハIMA

♪I-MAS-×I-OB*-T-E-NE-A /0025650/ NAHA-ZUKÉ(CUKE)-×I-~GA HADHARAKA-(+**+) /0025660/ (+**+) NAHA-ZUKÉ(C
 UKÉ)-×I SU-RU KOTO-NI SI(SU)-×I-OB-TE-~GRT-×I-HAS-RU /0025670/ HADJAI BUN-NHA (+**+) #
 DAR-×I-XX-RU-KA
 U2H K8F 569100000000 DIROO-KKAI-~GA XXX#
 DAR-×I-XX-RU-KA-HEE
 U3F K4F 175100000000 (+**+) HOO CUGTO DATO-DE HATA XXXX.#
 DAR-×I-XX-RU-KEN
 U3F K4F 154200000000 DARA HON(SON)-DEMO DAA SAIKIN NI-I-KAGEN-NAR, YEGINE-GA XXX DI-I-O
 ES-RU-DNA.#
 DAR-×I-XX-×I=OB*-TAR-KA-(+**+)
 U3F K9H 371700000000 HAA HINNA NANO NANI-SI(SU)=×I-OB-TE XXX.#
 KDF K4F 920600000000 (+**+) DO-KJAKU-SAN TAKUSAN XXX/#
 DAR-×I-XX-×I=OB*-TE-NEE
 K5F K4F/U1F 288400000000 NAHA-MI-~GA XXX TOROS(+**+) /0026850/ DE(NAI)-E(I)-TE NI-D-×I-OB-T
 HINNA KEE (+**+) HOO KEE TUICU=NO DAIKO-DA NI-KER-YA=NJA DO-KJAKU-SAN-GA KE EIKE-YA-N-TE DJDGYI-OB-T
 E NI-K-×-RAREKA-×I-OB-TE,#
 DAR-×I-XX-(+**+)
 K9H U1F 364300000000 NIJJA (+**+) DAND ZUJUDICI=ZI-MADE=NJ NIJK-RU TOKO XXX SUGU KADER-
 ×I-MAS-RU-KEN.#
 DAR-×I-XX-(+**+)KA
 U1F KFF 974900000000 DA=REM-KA SO-TOHODACI=NO KAPMAR-×I-OB-TAR DOSEE-GA XXX#
 KOF K4F 965400000000 SO-KO-HO DEMHHA-~GA XXX.#
 DAR-×I-XX-(+**+)KA
 K4F KAM 487110000000 KADHHA-~GA XXX DAIKO JUCUSANE-HO /0048730/ TOKCRO-NI.#
 DAR-×I-XX-RU
 KFF U1F 971900000000 XXX GOZLUU-~GEN.#
 U1F K4F 564400000000 HAI HAI XXX.#
 DAR-×I-XX-RU-(+**+)
 K3F U1F 112410000000 DAIKH-~NA XXX.#

KAH	U2K/K4F	531200000000 HEP-JA-HO ZJUU-SICI-HACI /0053130/ XXX,#
K4F	KAH O-KO-HI XXX,#	530210000000 (+++) KJODHA-GINNOO-(++) HATA SITEN-CJOO-SAN-NO SJATAKU-DHA K
U2H	DAR-YI-XX-RU-DAR-KEH-NEE K4F -CA XXX,#	DAR-YI-XX-RU-DAR-YA-YV(YVVD)-KEN-HEE 71B300000000 (+++) NO-BAA-CJAN RUOSI-NANTE-HONO-HO-HEE /0071840/ (+++) KOTO
K6F	DAR-YI-XX-RU-KA-HE-A K4F	DAR-YI-XX-RU-KA-HE-A 867900000000 NJAJA MENZUOG-SA XXX-#
K4F	DAR-YI-XX-RU-KA-HEE K5F	DAR-YI-XX-RU-KA-HEE 264910000000 NORIKUN-GAQKOO-NI /0026500/ XXX-#
K6F	DAR-YI-XX-XI-OB-X-TAR U2H	DAR-YI-XX-XI-OB-X-TAR (+++) 589200000000 DA XXX,#
U1F	DAR-YI-XX-RU-GA-HEE K9H	DAR-YI-XX-RU-GA-HEE 370600000000 NJAJA HONTO-NI-NEE MA (+++)-NAR KOTO-GA XXX,#
U1F	DATAR-YI-XX-RU-DAR-(++)-NE K5F	DATAR-YI-XX-RU-DAR-(++)-NE 230100000000 DASI DAS-YI-OB-TE XXX,#
K9H	NI-YI-XX-RU-GA-HEE K4F	NI-YI-XX-RU-GA-HEE 374400000000 NJAJA KAHNAR-YI-OB-YE XXX /0037450/ (+++) MAA JDDNNASI HISE-WHO NAKA-NI DOB-YI-X-MAS-RU-DAR-DHO /0037460/ KONDO NANO KAS-YI-CUSE-YI-HO HOOD-HO DOHOD-NI RJAR-X-RE-HE DJUD(DJU)-RU KOTO-DES-YI-OB*-TE #2NNN,#
K4F	NI-YI-RARE*YI-XX-RU-DHA K5F	NI-YI-RARE*YI-XX-YI-OB*-TE HOO 267200000000 NIRO-SA-NEE DE CUK-YI-OB-TAR-NO-DHA JIKE-YA-N-TE XXX,#
K4F	KAH I* QAOOKO KAHNAR-YI-OB-TE KURRY-Y-REG(RE)-OTE XXX ZJOGAKOO SAN-MEN-DES-YI-OB*-TAR-N(HO)-DE-HEE /004 7610/ SO-RE-KAR-HEE ZJOSI-SIHN-NO NJI-L-NEE-NI KATHAR-YI-MAS-YI-OB*-TAR-(+++) , d	NI-Y-SAOJSJAR-YI-XX-YI-OB*-TAR-(++) 475900000000 SO-RE-KARA MAA TANGO (+++) /0047600/ (+++) YI-DB-TE-NEE NANNHAR
U2H	K6F NI-YI-OB-TE-JORD-Y-RARE-X-XX-RV	NI-YI-OB-TE-JORD-Y-RARE-X-XX-RV 615100000000 NJAA XXX,#

K4F
 K5F
 00-50 S/-RUW-T0 /0024750/
 00-BENT
 00 RONI: NOZO-1-5JA-NAR-[TE XXX, #
 n15-¥1-0B-TE-JORD-¥-XX-2*-AR-(****)
 K4F
 TE MORAD-¥1-OB-[TE (****) XXX, #
 n15-¥1-0B-TE-JORD-¥-RADE(RARE)-i-XX-2*-DB-+TAR-5HA-NE
 U2H
 K4F
 EE /0109530,0109540/
 10952000000 SORE-DE HADA HANCO JUZO-DAN(SAN)-(****) HAE-NAR TOKI-NI-N
 EE HADA KO-RE-NO HITO-A-CU n1E-+D TANDH-RU-KEN-HOO .JOCDAI-KUN-TETE (****) XX
 X, #
 n15-¥1-0B-TE-JORD-¥-1-XX-RU-GA-NE-A
 K5F
 K4F/U1F
 27250000000 (****) HOO SUKOSI GAHAN SI(SU)-¥1-OB-TE HORAII-RU-DAR-5HA-TE XXX H
 UN, #
 n15-¥1-0B-TE-JORD-¥-1-XX-2*-TAR-5HA
 KDF
 K4F
 AR-¥-1B(TE)->J0 n15-¥1-OB-TE-NE-A /0096650/
 n15-¥1-0B-TE-JORD-¥-1-XX-RU-GA
 K4F
 16240900000 2JAQ-CJAN-HOO HU-GII SI(SU)-¥1-TE-JORD-¥1-OB-TE: NADA
 RA DAS-¥A-N XXX (****), #
 n15-¥1-XX-RU-KA-1-NE-A
 K5F
 U1F/K4F
 n15-¥1-XX-RU-KEN-NE
 K4F
 K9H
 -KA-NA DA DE-¥A-N-DE-NE-TE HIO-¥1-OB-TE HAA DINE-5HA DAR-¥1-OB-TEHO-HE HUN XXX, #
 n15-¥1-XX-RU-DE-NE-A
 KCF
 U1F
 CI-MADE /0105670/
 /0105660,0105690/
 n15-72-/ NOHON-¥1-OB-TAR-KEDO HAA /0105730/
 n15-¥1-XX-¥1-OB*-TAR
 K9H
 U2M
 42740000000 n15JA-1 XXX, #

U1F	K4F #	154500000000 DAA DA / 00455000 HJA DJAO-CJAN-GA-NE SENDO DAHO HOI-YI-OB-IE XXX
K4F	K5F KOR-YI-OB-TAR DJACU-GA-NEE DAIKO KONDO TABERU TOKI-NI DJIO-GA KE DHARI-YV-B-NI HAR-YI-OB-TE XXX.#	266000000000 HUN-HANDO HIRO-GA KAHAR-YI-HAS-YI-OB*-TE-NEE / 0026810/ DANDO NO
K1N-Y-RADE(REN-E)-XX-YI-OB*-TAR({**})	KDF KDF	925900000000 {***} XXX.#
K4F	DIN-Y-RARE(XI)-XX-YI-OB*-TAR-DE-A U1F/K4F D1N-YI-XX-YI-OB*-TAR	289700000000 ZOOTBAI-NI CUM-YI-OR-DE(TE)-NE-A / 0026980/ XXX.#
K4F	KDF D1R-YI-XX-RU-DAR-ZHA-NE K4F D1R-YI-XX-RU-KA-TE	853800000000 HUTA-CUDAI TOHAR-YI-OB-TE-HEE / 005390/ 006540/ XXX.#
U1F	K4F)~Y-RATE~Y-A-H-KEN D1R-YI-XX-RU-KA-TE	146700000000 {***} ZIBUN-DE HADA {***} SUGU TA NAHI SI(SL.)-YI-OB-TARI# KO(KU)-Y-RATE~Y-A-H-KEN {***} SAN=DAR-TIE-{***} HENZI=HO TEHA=GA XXX.#
U1F	U2W/K4M D1R-YI-XX-RU	464400000000 HAN-GA XXX#
K4F	K4F D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	914000000000 SEBHA-GA / 0091410/ XXX.#
K4F	K5F D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-Y-RE	285400000000 DARARA DJOG(DI)-KU XXX.#
K4F	K5F K9H D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	291900000000 DJAA TJAA HATA XXX.#
K4F	KAM KCF KOF D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	341500000000 XXX JEO.#
KBF	KAM KCF KOF D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	415800000000 XXX.#
KBF	KCF KOF D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	761500000000 DARA XXX.#
KBF	KAM KCF KOF D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	819700000000 NG-DA=CA=IAN XXX.#
U1F	KBF D1RAOSJAR-1B(YI)-XX-YI-OB*-TAR	449000000000 HA HOKUSAN / 0045000/ XXX GOZATHAS-RU.#

U1F	KFF	953800000000 (****) XXX (****).#
K4F	K8F	351000000000 DAA XXX.#
K4F	K5F	285600000000 SO-REN-DE-JAT(DHA) K4BU-D0 NIZUU-HODO D0-NEGAD-YI XXX.#
KAM	U4F/U2X	549900000000 D0-NEGAD-YI XXX (****) DOCHO.#
K4F	K9H	5111S-YI-XX-RU 365700000000 GO-BUSATA 'XXXX#
K4F	K9H	115U-YI-OB-TE /00366670 366500000000 BHATASI MOO DE-YI-MAS-(****) /0036666/ SO-REN-KARA. HAA SICURENI S
U1F	K9H	115U-YI-OB-TE /00366670 /0-TEAHAI-DOHO DAS-YI-OB-(****) /0036660/ HAKOTO-NI SICUREII XXX.#
KDF	K4F	5111S-YI-XX-RU 431800000000 HAA MA DOORO DAN-NAR MATA CJODAIDHONO XXX DAFUMATO-GOZAIMAS-YI
U1F	K4F	115U-YI-OB-TE /00366670 -CBX-TAR.#
KDF	K4F	100550000000 CIAKO-DDBH-SAN-TOKO-(****) /0100540/ KO-10SI /0100550/ XXX.#
U1F	K4F	115U-YI-OB-TE-AGE(DAGE)-YI-XX-RU-DNA 199310000000 HA RAINEN-DHA DA-GE-HI SJOOCHUU NIREE-RU# KOTC XXX.#
U1F	K8F	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RATE(RARE)-YI-XX-RU-ZE 558600000000 DAA XXX.#
K4F	KDF	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RATE(RARE)-YI-XX-RU-(****)
K4F	KDF	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RARE-XI-XX-RU-(****) 861820000000 HUML-SAN-GA /008619/ KEE JOKOR-YI-OB-TE XXX.#
K4F	KDF	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RARE-XI-XX-RU-(****) 86300000000 HUML-SAN-GA XXX.#
K4F	KDF	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RARE-XI-XX-RU-(****) 916300000000 XXX.#
KCF	K8F/U2	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RARE-XI-XX-(****) 104900000000 DA-NJ /0104500/ T00R1* KAKA-DE-HO NIGIJAKA-NI XXX.#
KFF	U4F	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RARE-XI-XX-(****) 975600000000 BOCUBOCU XXX.#
KFF	U2F	115U-YI-OB-TE-JORD-X-RARE-XI-XX-(****) 989400000000 (****) GENKI-NI XXX.#

hJAH-*y i-GB-TE-JORU-Y-RARE*-Y1-XK-RU-KA-hÉE
 K4F
 DJAH-*y i-OB-TE-JORU-Y1-XK-RU-DHA-hEE*
 U2H
 hJAH-*y i-XX-RU-(****)*
 K4F
 K4F-U/F
 AJ-KEN :E(y1)-DJD-NI:
 hJAH-*y i-XX-RU-DJA-(****)*
 K2F
 K4F-U/F
 AJAH-*i-XX-y1-OB-K-TAR-DAR-KEN*
 K5F
 K4F-U/F
 S1{SU}^z1-OB-TE-JRD-*y i-XX-RU-THA*
 hJJCARE*-Y1-OB-TE-JRD-*y i-XX-RU-THA*
 KCF
 KDF
 hJJCARE*-Y1-XX-RU-(****)
 KSF
 C1F-K1/
 KBF-U/F-U2H
 hJJCARE*-Y1-XX-HU-KA
 K8F
 :ND
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-TAR-THA
 K6F
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-TAR
 K8F
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-TE
 KCF
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-ADE
 KDF
 hJAH-*y i-XX-Y1-OB*-TE*
 K4F
 hC-zAGAR-*y i-XX-Y-RE**

168300000000 HON(SON)-NA(NARA) NADU-CHAN GENKI-DE / 0016840/ XXX HUUN. #
 68190100000 HINRA XXX. #
 27430000000 ZIBURI-GA SEOKEI S1(SU)-Y1-OB-TE / 0027440/ 0027450/ NOR-Y1-MAS-RU-0
 273800000000 JIKAIA MON(HOND)-GA MATA / 0027390/ NANTOKA SI(SU)-Y1-OB-TE XXX. #
 274700000000 ZIBURI-GA SEOKEI S1(SU)-Y1-OB-TE HOO / 0027480/ HE(Y1)-E(Y1)-AJ-NI
 S1(SU)^z1-OB-TE-JRD-*y i-XX-RU-THA*
 101480000000 HAA (****) XXX. #
 23600000000 HAA HON(SON)-NA(NARA) HAA XXX. #
 99420000000 (****) HACU-HONO XXX. #
 69241000000 SA XXX CJONBOO. #
 41170000000 TEHURA S1(SU)-Y1-OB-TE / 004160/ 004190/ XXX. #
 93650000000 HAO HU-SAKI-NI AND93650/ XXX. #
 U1F
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-TAR
 U2H-U/F
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-ADE / 0106190/ XXX. #
 hJJCARE*-Y1-XX-Y1-OB*-TAR-DESSES-*y i-XX-Y1-OB*-TAR-DESSES-*y i-XX-Y1-OB*-TAR-DESSES-**
 K4F
 R8660000000 HAA XXX. #
 36690000000 HATASI-MO MIHAKA-I XXX / 0036700/ KINC014

K8F	K4F		§535000000000 H0-BAA-CJAN XXX.#
U1F	K4F	ند-نIDE-ي-XX-RU-DHA	
U1F	K4F	ند-KAIR-ي-XX-RE	153900000000 HAA HAA KOOTAI-DE DANTA XXX.#
U1F	U2H	ند-NAGAh-ي-س(SU)-ي-XX-RU	45500000000 {***} DE-ي-DR-TE MAGSUSU XXX.#
K4F	K5F	ند-NEGAd-ي-(ي)-س(SU)-ي-XX-RU	25240000000 HON(SON)-NA(NARA) XXX.#
K3F	U1F	ند-NEGAd-ي-س(SU)-ي-XX-RU	15000000000 HATA RAHEN-NO HARUK-NI {***} HATA DE-ي-MAS-RU-KEN XXX.#
K4F	K5F	ند-NEGAd-ي-(ي)-س(SU)-ي-XX-RU	23801000000 XXX.#
K6M	U1F	ند-IDE-ي-XX-RU	29450000000 HAI XXX.#
KEM	U1F	ندC1-ي-XX-ي-OB*-TAR	92370000000 SUH-يA-N-{***} {***} XXX.#
U1F	U2H	ندIDE-ي-XX-RU	12000000000 HJ-O-0t XXX.#
KFF	K8F	ندIDE-ي-XX-RU	97760000000 ZAIGO-TARA-QTE نج-ي-OB-TE DO-KO-NI XXX-1#
K5F	U1F	ندIDE-ي-XX-RU-{***}	22260000000 {***} نج-KJAKU-SAN-DE XXX.#
K5F	U1F/K4F	ندIDE-ي-XX-RU-DAR-{***}	216520000000 هج-KJAKU-SAN-DE XXX-1#
K5F	U1F	ندIDE-ي-XX-ي-RE	95120000000 HAI KO-QC1 XXX.#
K8F	U2H	ندIDE-ي-XX-RU-KEN	
U2H	KCF	ندIDE-ي-XX-ي-OB*-TAR	76040000000 DAA XXX.#
U2H	KCF	ندIDE-ي-XX-RU-KEN	76060000000 هج XXX.#
K3F	U1F	ندKOR-ي-RAD-ي-XX-RU	11420000000 SON-NARA KO-KO-I XXX.#
K9H	U2H	ندKOR-ي-RAD-ي-XX-RU	41061000000 SANQO KAZITA-{***} {***} /0041070/{***} XXX.#

K9M	ノルカレル・ヨリ・XX-・YI-OB-KA- -TE U2H	376500000000 KJDO /0037600/ XXX, #
	-YI-OB-TAR-DONO /0037600/ XXX, #	KO(KU)-YI-(R(E)-TE ハ、UR(ル)ル) -RU KOTO-DAR
K9M	ノルカレル・ヨリ・XX-・YI-OB-KA- -TE K0H	363700000000 CJOO TO XXX, #
	ノドホル-ヨリ-XX-+RU-GA	ZJUU-ZI-NI KO(KU)-YI-(R(E)-TE ハ、UR(ル)ル) -RU KOTO-DAR
K4F	KAH	489400000000 ナドコガネ-DAR-TO XXX, #
	ノドホル-ヨリ-XX-+RU-KEDO-NEE	KA(KU)-YI-(R(E)-TE ハ、UR(ル)ル) -RU KOTO-DAR
U1F	K4F	156600000000 MOO :ODOR-YI-OB-TE KU-RU*-DAR-YA-0DE(YUVB)-TO XXX, #
	ノドホル-ヨリ-XX-+RU-DAH-KEE	KA(KU)-YI-(R(E)-TE ハ、UR(ル)ル) -RU KOTO-DAR
K5F	K4F/U1F	269700000000 DAHO KJOO :NITA-(*****) (**++) KOO HARAJAN-DA-JA KANKA K1(KU)-YI-RAR
	E *-YI-MHS-RU-DAH-YA-#TAKYYVB--KEN	E *-YI-MHS-RU-DAH-YA-#TAKYYVB--KEN /0026980/ SD-FRE-DE KEE MATA DAHO KI-KI-OB-BE(EMC) KARAU-L-KAMHO SIRE
	*-YI-H-100 XXX C10D0-DA1 100-2-JAH-A-JUIN#	
	ノドスJAR-[E(YI)-XX-YI-OB-#]-AR-KEDO-NEE	
KAH	K4F	479800000000 (**++) SHIMANE-SIHAN D10-YI-OB-TE XXX /0047990/ {****} DAIBUN TOSI
	-(*+*)-NAK-TO (**++) NOHD-YI-OB-TE (**++)	
	ノル-ヨ-RADE(RARE)*-YI-XX-RU-DNA-NE	
K4F	K4F	390000000000 NJUCL-NI XXX /0039010/ RUSU-BAN SI(SU)-YI-OB-TE .#
	ノル-ヨ-RADE(RARE)*-YI-XX-RU-DNA	
K4F	KDF	an9800000000 SADHAG-#I-OB-DE(TE) XXX, #
	ノル-ヨ-RADE(RARE)*-YI-XX-RU-DGA	
K4F	KOF	912710000000 (**++) SADHAG-YI-OB-DE(TE) XXX, #
	ノル-ヨ-RADE-#I-XX-YI-OBK-+TAR-#HIA	
K8F	KAH	453700000000 DANO-NEE NUCH-+HACI-+NO TOKOD-CI-GA HUTARI* XXX, #
	ノル-ヨ-RADE-#I-XX-YI-OBK-+TAR-GA	
KBF	KOF	104640000000 NODKJOO-NI /0104650/ XXX, #
	ノル-ヨ-XX-RU-DAR-DONO-NEE	
K9M	U1F	373700000000 NJUJA XXX /0037380/ MI HISIE- I NOR-#I-#AS-RU {****}, #
	ノル-ヨ-XX-RU-DAR-EN	
K5F	K4F/U1F	274300000000 ZIBUN-GA SEOKEI SI(SU)-YI-OB-TE /0027440, 0027450/ XXX DE(B1)-#J

K8F	KF	978100000000 KAKA-HO HOO-NI XXX. #
K8F	KF	979100000000 NANA-MI-NI XXX. #
K9H	UF	373700000000 NANA-DAR-DOHO-NEE / 0037380/ MI.HISE-NI XXX. (****)
	#	
KAH	K4F	530500000000 JUCL-HD S1EN-CJ0D-HD / 0055060/ (****) XXX. #
K9H	K4F	374400000000 JIJA KAFHAR-XI-OB-TE HI-YI-HAS-RU-GA-HEE / 0077450/ (****) HAA GA NISI HISE-NI(NOI) NAKA-NI XXX / 0037460/ KONDODA KANO KAS-YI-CUKE-YI-NO HOO-DO NOHOMA-HI DIAK-Y-RE-TE GA D(11)-RU KOYO-SES-YI-OB*-TE #ANN. #
K4F	KAH	475300000000 SD-REK-KARA HANO KO-QCI=ND ZUGOKOONI XXX. #
KFF	UF/K8F	974600000000 JUANDJA XXX. #
KCF	U2H	106100000000 HATA GECU-#J00-BI-NI-DEMO / 0106410/ XXX. #
K5F	K4F	DHAKAR-YI-OB-TE-#OB*-YI-XX-RU-NEE
K4F	K5F	259100000000 HODIRIN-HARA MARAJ-YI-OB-TE-#ARA / 0025920/ XXX. #
K4F	K5F	JOC-E-YI-XX-YI-OB*-TAR
K4F	K5F	284000000000 JUCL-(****) DAIKON-(****) NUJ-YI-OB-TE-#RARE*-YI-OB-TAR-GA DHAKIMDAI DI-I DAIKON-GA DEKKI-#I-TE XXX. #
K4F	K5F	253200000000 HAN TAOTA HANGO NAME=NG HI-MI XXX / 0025330/ HC(SO)=AE(RE)-KRA DA RA HONNI DHARU*KAR-XI-OB-TAR-HAA-TO DOHOD-RU-KEDDIO / 0025340/ KAH-YI-OB-TAR-HO-GA (****) HA-BADOKRRI-DNA HAA NAN(NANI)-DE-NE-A / 0025350/ KABU-NO TIRO-GA DHARUH-OB-TE / 002560/ DJIBA DHARUH-K ARY-YI-OB-TAR-NAA-TE-DIGTE JIJA-YI-OB-TAR-KEOHD / 0025370/ SON-NAR-NI NJOO TABE-*H-N-DAK-KEN. #

KADER-Y-RARE**YI-YI-OB*-TAR-(****)	U2H	37700000000 HAA SAGKI XXX DIMA DENHA (****).#
KADER-Y-RARE**YI-YI-XX-K-(****)	KOF	98220000000 XXXX.#
KADER-YI-XX-YI-OB*-TAR	KCF	10450000000 SENDO /010460/ MORAD-YI-OB*-TE XXX.#
KADER-YI-XX-EU-KEN	KF	36430000000 HANU ZUUDICI-ZI-MADE-NI NIK-RU TOKO DAR-YI-OB-S-(*)
KAJ-DO-YI-XX-KI-OB*-TAR-(****)	U1F	48941000000 (****) /0048950/ HANU RJD-GA DAR-YI-OB-TE /DA-SUKOKO)-I XXX MAAN
KADER-YI-XX-KI-OB*-TAR-(****)	K9H	36800000000 HOTOJOI XXX.#
KAJ-DO-YI-XX-KI-JCRD-YI-OB*-TAR-LEN-NEE	K4F	15800000000 (****) HCT-YI-OB-TE XXX SO-RE*-DO.#
KAJ-DO-YI-XX-KI-OB*-TAR-KEN-NEE	KAH	48941000000 (****) /0048950/ HANU RJD-GA DAR-YI-OB-TE /DA-SUKOKO)-I XXX MAAN
KAT-JAR-YI-OB-TE-IO(121)-XI-XX-RU-DAR-KEN-NEE	K8F	45100000000 HAA DA-NO HEN-NO TOSI-(N1) HANU RU-TO MA-(****)-DES-RU-DHA-NAA /.
KAT-JAR-YI-XX-KI-OB*-TAR-GENA-NE-A	KAH	04520/ HINA-SAN HJD021-GA XXX.#
KAT-JAR-YI-XX-KI-OB*-TAR-GENA-NE-A	K9H	37340000000 HAA DANTA KONDA KHA-GA XXX.#
KATHAR-YI-XX-RU-NEE	U2H	43250000000 HAA DAIBU XXX KO-HO (****).#
KATHAR-YI-XX-KI-OB*-TAR-NEE	K5F	26800000000 HUN DANU TIRU-GA XXX /0026610/ DANOU NOMOR-YI-OB-TAR HJACU-GA-HE
KATHAR-YI-XX-KI-OB*-TAR-(****)	KAH	E HANU KONDO TABE-RU TOKI-NI HIRO-GA KE DHARU-VVD-NI MAR-YI-OB-TE DIKE*-I-HAS-(****).#
KATHAR-YI-XX-KI-OB*-TAR	K4F	47590000000 SO-RE*-KARA HAA DANOU (****) /0047600/ (****)-YI-OB-TE-NEE DHANHAR I* GAOKOO KATHAR-YI-OB-TE KURE*-YI-OB-TE -DIE HJDU-YI-RAFE*-YI-OB-TE TEMO ZOGADKOO SAH-NEH-DES-X
KAT-YI-DA-S-YI-XX-RD-DAR-KEN-NE	KAH	1-OB*-TAR-(N10)-DE-NEE /0047610/ SO-RE*-KARA-NEE ZJNSI-SIHAN-NO DICTI-NEH-DES-X

K5F	K4F	276500000000 MOO ドルマ-;SAN /0n27660/ MINNA DA-GE S1(SU)-YI-OB-TE XXX, #
K5F	K4F/U1F	218900000000 (***) XXX MA SO-NO HADE-NAR KOTO, #
K5F	K4E-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	KAKE-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-KEN
K5F	U1F	216200000000 ハノ-NE-A NUK-YI-OB-TE ハノ-XXX ハタ ノケ (***) #
K5F	K4E-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-HA	KAKE-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-HA
K5F	U1F/K4F	213100000000 (***) -HAD-E-DHA XXX, #
KCF	K4F	KAKE-YI-XX-YI-OB-K-TAN-(****)
KCF	K4F	965010000000 (***) ノ-TOO-SAN DEKKA XXX 100KJ00-1, #
KCF	K4E-YI-XX-YI-OB-K-TE-NE	KAKE-YI-XX-YI-OB-K-TE-NE
K5F	U1F	260200000000 XXX SO-RE-KARA /0026030/ SO-RE-KARA NAMA-ZUKET(CUKE)-YI S1(SU)-YI
KCF	I-OB-TE, #	KASEG-Y-RARE-YI-XX-(****)
KCF	K4F	763600000000 SEHSE-DHA KATA CJANTO HOIKU-SJO-DJA SCO DJURGRIN)-RU TOKO-NI /007 6390/Y XXX, #
KCF	K4F	KASEG-YI-PADAR-YI-OB-EG-JDRB-YI-XX-RU-DARKE-N-E-A
KBF	K4F	764000000000 SO-6AN TOKORO-DJA-NEE XXX, #
KDF	K4E-Y-RARE-(RARE)-YI-XX-RU-RE-A	KATACKE-E-RANE(RARE)-YI-XX-RU-RE-A
KDF	K4F	860500000000 ZODZU-NI XXX, #
K5F	K4F	KI-YI-XX-SU-(****)
K5F	K4F/U1F	283500000000 ハノ ハト-YI-OB-TE XXX, #
K5F	K4E-Y-RARE-YI-XX-RU-DAR-YA-A(YVY)-KEN	KIK(KU)-YI-RARE-YI-XX-RU-DAR-YA-A(YVY)-KEN
K5F	K4F/U1F	269700000000 ハンド クード ハンタ-(****) (***) KOO HARASAN-ZUA NANKA XXX /0026980 ✓ SO-RE-DE KEE YATA ハノ ニク-YI-OB-TE-MARI-U-KA-HO SIREN-YA-N-TO NOHON-YI-HAS-YI-OB-TE-NEE CIOTO -DAI ハ-ZUMA-DAI#
K5F	K4F	KIK(KU)-YI-OB-TE-(DAI)-YI-XX-YI-OB-TE-KEDO-NEE
KBF	K4F	KIK(KU)-YI-OB-TE-JCRD-YI-XX-RU-HA
KBF	K4F	964600000000 ハンナ XXX, #
K5F	K4E-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-(****)	KIK(KU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-(****)
KBF	K4F	761700000000 HATA (***)-GA XXX, #

U1F	K4F	158300000000 SAKURAI-SAN-NO KODOMO-GA XXX.#
K1F	K1(KU)-*I-XX-(****)	105250000000 SO-RE*-KARA SENDO KN-KO-I K1(KU)-*I=OB-TAR TOKI-NI DANO {****} / 0
KCF	U1F 105260/ XXX.#	
K1H	K1(KU)-*I-XX-RU	
K6H	U1F K1(KU)-*I-XX-RU-{****}	294330000000 HON(SON)-NARA MASITA XXX.#
U1F	K4F K1(KU)-*I-XX-RU-D10	108100000000 HA NENNAI-NI=HO XXX HON(SON)-NARA MAIA.#
K2H	U1F K1(KU)-*I-XX-RU-D1A	
U1F	K4F K1(KU)-*I-XX-RU-D10	9920000000 {****} HATA XXX.#
K4F	U1F K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR	2985000000 HO HOODOR=I-OB-TE XXX DAA.#
K4F	U1F K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-DHA-TE-E-DITE	13460000000 {****} DANO DICIRIMKODO-NO NO-KHASI MOT=I-OB-TE XXX.#
K4F	U1F A DAN JOSIKAKE-XI-OB-TE XXX KOKKU)-*X-RARE-*I-OB-TAR / 00127200/ SO-RE*-KARA HUKO-SAN-6	1791000000 SO-RE*-KARA KISUKI-DHA "TOSIKO-TO / 00127200/ SO-RE*-KARA HUKO-SAN-6
K8F	KAH NNAI-OA XXX.#	K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-DHA-NE K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-KA 45500000000 HAA HA TZUUDIC-GACU-NO TOS-KA-NI-NEE DAR-RUM D1=XI=OB=TE-NEE DA
KAH	U2H K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-KA	
KCF	U1F K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-KA	44420000000 DANO {****}-GA XXX TEGAMI-GA-#
KFF	U1F K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-GA	94860000000 DINBJA BHATASI-DHA MOO SUM=I=OB=DELETE) XXX.#
KGH	U2H-U1F K1(KU)-*I-XX-XI-OB*-TAR-TO	95420000000 DANO KOHADA /0092450/ JUDENO-SAN-KARA HAGAKI-GA XXX#
U1F	K4F	10380000000 {****} XXX.# 13930000000 HAQ {****} NAN(NANI)-KA SAN NO SONOO RANDORI;* XARA-NEE /0013960/ n

K1K5	A:00	ハレルヤ1-03-TE XXX.
K1F/K2F	K1F	666510000000 SIBIREN-ヤ1-DA XXX HA1.#
K3F	K1E-#-Y1-X1-03-#-TAR	
K4F	K1F	579600000000 ハラ SOHAN1 TOOHA XXX.#
K5F	KO(YU)-#-RARE-#1-YX-RU-DESE (DE) -YA-VVVC	57930n00000 FON(SUN)-NA(NARA) HATA XXX4#
K6F	KAH	
K7F	RC(U)-#-RARE-#1-XX-RU-KA	:24100000000 HURAKOSI-#-NO DOZI-SAN-THA XXX4#
K8F	K4F	:24300000000 (***)-SAN (****) XXX4#
K9F	K05-AR-Y1-XX-RU-D, A	54530000000 DIBA HAA DANHARI HIR0-1 TOKO-HO XXX.#
K10F	K2M/YA"	
K11F	KC:00LKE-#1-XX-Y1-0B*-#-TAR-CEN-#HF	15471000000 DA DANOO NAN-DAI DANOO NASU-DAI-DAKA XXX.#
K12F	K4F	
K13F	KURAS-#1-XX-RU-D, #HA-NE	\$9730000000 (****) HONKI-#1 S1(SU)-#1-0J-TE K00-S1(SU)-#1-0B-TE XXX.#
K14F	K9H	
K15F	K4T-#1-XX-#1-0B*-#-TAR-#Hn	:04000000000 DJK-Y1-0B(0B)-TE XXX.#
K16F	K1F / #H	
K17F	KAT-#AR-#1-XX-#1-0B*-#-TAR-#Hn	
K18F	K1F/H5:	23460000000 (****) HUSASIBURI-#-NI TOHO1,4-#-NO HADE K00 /0C23470/ XXX.#
K19F	HAI-#1-0B-TE-#-JORD-#-RARE-#-Y1-XX-#-1-0B*-#-TAR-#IO	205200000000 XXX HIR-#1-0B-TE HIR-#1-0B-TE JORD-#-RARE-#-Y1-0B-#-TAR-#
K20F	KOF	
K21F	HAE-#1-XX-Y1-0B*-#-TE	
K22F	K4F	234100000000 S1D0-N1 /0026420/ NUKA-#TO SO-#KO HIR0-KO-TO /0C26430/ K00 XXX /002
K23F	6410 / S1D0-#0 /:1026450 / SD-#RE-KARA CUKE-(****),#	
K24F	K5F	235400000000 HOSI DANOO HIR-#1-0B-DE(TE) KIK-#1-0B-TE XXX1#
K25F	E1DE-#1-XX-(****)-KA	
K26F	K4F	136100000000 XXX (****) NEGANE-DE-#KA
K27F	KOCIR-#1-XX-RU-(****)	

K5F	K4F - -E-(*****) / 0024650/ (*****) SUE-¥-OB-TE DANDO (*****)-IN(HO) TO-DE DENDENHUSI (*****) / 0024640/ SUT	24610000000 KIBU-DO-NE-A / 0024620/ 'DAGE-;I BANO HA-DO NAKA-GATHA-NI SIK-¥-I-OB
K6F	E-¥I-OB-TE POTO-I XXX.#	
K7F	MORAD-¥-RARE-¥I-XX-RU-(*****)	MORAD-¥-RARE-¥I-XX-RU-(*****)
K8F	K9M	38180000000 HON(SON)-NA(NARA) KONDA KAKE-¥I-OB-TE XXX.#
K9F	KORAD-¥I-XX-RU	KORAD-¥I-XX-RU
U5F	U1/K5F	22210000000 MAA HONNI CJONBO DATAR-¥-SASE-¥I-OB-TE XXX.#
U6F	K5F	22240000000 HITA SA DAIKO-DHA-NE-A DANDO SICIZUJU-HODO XXX.#
U7F	U3/U1F	6990000000 MATA (*****) SI(SU)-¥I-OB-TE (*****)-¥I-OB-TE XXX.#
K5F	MORAD-¥I-XX-RU-(*****)	MORAD-¥I-XX-RU-(*****)
K6F	K4F/U1F	27290000000 HA TEHAI-NI KI-GA DAR-RU-DAR-KEN (*****) DODJA-KO-ZUREN(GURE) SI(SU)-¥I-OB-TE XXX.#
K7F	SU)-¥I-OB-TE KIR-¥I-DAS-¥I-OB-TE / 0027300/ HO(SO)-REM-KARA HATA SEIDAI (*****)-¥I-OB-TE XXX.#	NAGARE-¥I-XX-RU
K8F	K4F	24240000000 HAI DOHOSI-DHA DO-GE-DEMO NJU(NJ)-VVt GOZAINS-RU-(*****) / 0024350/ HUTA SI(SU)-¥I-NASAINS-¥I-OB-TE-KARA HUTA-NO DUDE-KARA (*****) / 0024360/ DANO SI(SU)-¥I-NASAINS-RU-
K9F	K9H	TO 20070 (*****) XXX.#
K6F	K9M	HAH-¥-RARE-¥I-XX-¥I-OB-TE-TAR-NE
K7F	1#	42730000000 DJAHANOTUQ(DJAHANOTUQ)-(CAN(SAN))-DWA-DICU-KARA KAO KAKARI-NI XXX
K8F	K4F	NAH-¥-RARE-¥I-XX-¥I-OB-TE-TAR-NE-A
K9F	K4F	NAH-¥-RARE-¥I-XX-¥I-OB-TE-TAR-DESEIDES-¥I-VVt VVt-(*****)
KDF	K4F	921900001000 HAA MOO DAIBU DOOKI(DOOKI)-(*****) XXX.#
K5F	MAR-¥-HAS-¥I-XX-¥I-OB-TE	MAR-¥-HAS-¥I-XX-¥I-OB-TE
K6F	U1/K5F	28550000000 (*****) XXX.#
K7F	MAR-¥I-OB-TE-JORT-¥I-XX-RU-(*****)	MAR-¥I-OB-TE-JORT-¥I-XX-RU-(*****)
K8F	K4P/U1F	27930000000 SJOTOKU-ZEE-NI KHANKEE SI(SU)-¥I-OB-TE SO-RE-TE SO-GE-NAR-BUNKEE-¥I-JA-YANKA TATE-RU DAII: KANE-GA NA-I RIKUCU-NI XXX.#
K9F	K4P/U1F	MAR-¥I-OB-TE-JORT-¥I-XX-RU-DAR-KEN
K6F	K4P/U1F	27961000000 KIKAI SITO-GU KAB-RU-TETE NANJ SITO-CU KAP-RU-TETE / 0027970/ (*****)

+) SO-QE-NAR DO-KANE-GA SONO AJOBURI-HO TO-O-KANE-GA NA-I-HAZU-NI /0027980/ XXX,#
 NAR~XI~TE~JORC~*I~XX~RU~KEN~HE
 K5F
 GA NIQPAI~N1 XXX,#
 NAR~XI~XX~RU~KEN
 K4F
 NAR~XI~XX~*I~MAS~*I~OB~*I~TG
 U1F/K4F
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TE~NE~A
 K4F
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TE~NE~A
 A /0024070/ HAN~HANARU~VU XXX,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TE~NE~A
 K4F
 240500000000 NOKA~TO~NE~A /0024060/ HANHARI~HOKKEE DIRE~*~*~I~NASAINS~RU~TO~HE~
 RA~00t(VWD) GOZAINS~RU~NE~A,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TA~DOHO
 U1F
 967200000000 KO~KO~NO MADE~DNA /0096730/ HERA~I HI~I GUDAI~NI XXX /0096740/ HE
 RA~00t(VWD) GOZAINS~RU~NE~A,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TA~DOHO
 KAH
 551000000000 GO~KUROO~SAN~NI XXX,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TE
 U1F
 373300000000 KO~NO~GOROKURO~HATASIHNA~DE~Y~RARE~*~Y~A~N~IE~JAA~NI XXX,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TAR
 KAH
 937600000000 HINJA~HINJA~HO~SEHMA~SAN~NI XXX,#
 NAR~XI~XX~RU~BAR~DHA~NE
 K4F
 252100000000 KOGIN~SJCOBAI~DNA HINJU~HINJU~HE~NE /0039690/ IKI~*~Y~A~N~H~JOO~NI /0
 NAR~XI~XX~RU~GA
 K9H
 039700/ XXX /0039710/ XXX,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TAR
 IND
 U2M/U1F/K4F/KBF
 413700000000 SAHU XXX,#
 NAR~XI~XX~*I~OB~*I~TAR
 S)~Y~A~N~#

K5F	U1F / K4F	27070000000 HA GOC1500-SANHA-NI XXX #
K2H	U2H	43660000000 000MO GOC1500-SAN-NI XXX #
U1F	K4F	11990000000 HAA HA GCHAN-HO SUD-#1-OB-DE (TE)-NE HINA-SAN-#O /D-DEKAHE-#Y1-HI X
	XX, #	
NAR-#Y1*-XX-#Y1-OB*-TE-NE-A.		
K3F	U1F	NAR-#Y1*-XX-#Y1-OB*-TE-NE-E
K5F	U1F / K4F	11550000000 HJUZU-NE-A /0011560/ (***) SUKOSI XXXI #
NAR-#Y1*-XX-#Y1-OB*-TE-E		
K5F	U1F	28600000000 DJADJA (***)-SAN-NI XXX DARIAGATO-GOZAIHAS-RU, #
NAR-#Y1*-XX-#Y1-OB*-TE-E		
K9H	U1F	43170000000 ZUA DOOMO TAIHEN GOC1500-SAN-NI XXX DARIAGATO-GOZAIHAS-#Y1-OB*-TA
	R, #	
NAR-#Y1*-XX-#Y1-OB*-TE-NEE		
KAH	K9H	42520000000 HAA SITEK-CJ00-TO ZICJ00-#O siQsJ0-KI XXX (***) #
NAR-#Y1*-XX-#Y1-OB*-TE		
U1F	K4F	11050000000 HAA TJUUBB-BHAA DOOMO GCT1500-SAN-NI XXX /0011660/ HANIKATA01#
U1F	K4F	12060000000 HAA (***)-HO DJUUBE-pjA HOSO-KU GOC1500-SAN-NI XXX /0012070/ DAR
I*GAT00-GOZAIHAS-#Y1-OB*-TAR, #		
U2H	K9H	43131000000 DIROIRO DOJ-SENHA-SAN-NI XXX /0043140/ SUH-#Y1-ASE(HAS)-#A-DAR-#Y1-
OB-TAR DOOMO DOOMO, #		
HARE-#Y1-XX-#Y1-OB*-TAR-DJO		
K8F	KCF	104050000000 KAKA-HO KOTOBA-MO DAIBUN XXX. #
NASAR-It(Y1)-XX-#Y1-OB*-TE-NEE		
K5F	K4F	2853nannan HAA MA 20-STZUKA-NI XXX HAA, #
NOH-#-RARE-#Y1-XX-RU-DAR-NEE		
KDF	K4F	93381000000 (***) SO-RE-DAHO HI-TORI*-Df KUSURI XXX, #
HUK-#Y1-XX-#Y1-OB-TAR		
K5F	U1F	21540000000 (***) KANDO-SAN-NO (***)-NE-A /0021550/ KABL XXX, #
NURG-#-Y1-OB-TE-JORT-#Y1-XX-RU-KA		
U1F	U2H	46200000000 XXXI #
SAS1bAGE-#Y1-XX-RU-(***)		

K5F	K4F	SE(SU)-Y-RARE(X)-XX-YI-OB-TE HOSYI-OB-TE XXX.#	236900000000 A10 HOS-YI-OB-TE HOSYI-OB-TE XXX.#
K6F	KCF	SE(SU)-Y-RARE(X)-XX-YI-OB-TE XXX.#	933400000000 {****} /009350/ XXX.#
KDF	K4F	SE(SU)-Y-RARE(X)-XX-YI-OB-TE XXX.#	103700000000 ZHN TAISOKU XXX.#
U1F	K4F	SE(SU)-Y-RARE(X)-XX-YI-OB-TE XXX.#	298600000000 NOBA-SAN-TOKO-NJAD-JAK(DNA) TOTEMO-ZHE(WI)-E(1) MOKE-YI XXX.#
K6F	K4F	SE(SU)-Y-RARE(X)-XX-YI-OB-TE XXX.#	904200000000 SO-RE-JAT(HA) NI-KOIO XXX.#
K7F	K4F	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-Y-RARE(X)-XX-RU-GA	807500000000 KENKA XXX KOGOTO-BAGKAA NI-OB-TE.#
K4F	K8F	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-YI-OB-TE	891000000000 NHOQ CIOTO-DAI ZOBA-SAN-DHA CIKA-GOROKORO) -E-Y-RARE(YA-N-TE)
K4F	KDF	SI(SU)-YI-OB-TE JUNNASH XXXR{****} ZHATAS-T-GA ZHIN-YI-OB-TARA-HEE /0089420/ DANDO DJOC CIKA-GOROKORO MA A-DE-YI-N-DE-DOKO /0089430/ SECO HORN {****} NANI SU-RUM-DAR-I-OB-TAI-DOHO NI-HAKA-NI DANOC KO-KO-I HJOG-YI-IA-OB-TE HJOG-YI-OB-TAR-E NI-OB-TE.#	
K4F	KDF	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-OB-TE XXX-RU-GA	896800000000 {****} /0089690/ SOTO-I DE-Y-RARE(YA-N-TE) HJOG-YI-OB-TE /0089700,
K4F	KDF	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	0089710/ DANDO /0089720/ DANDA XXX /0089730/ {****},#
K4F	KDF	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	914100000000 {****} NAN-DAI KAN-DAI-NEE /0091420/ {****} HATA TAR-YA-N HONO-DAI
K4F	KDF	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	A-KAT-YI-OB-TE-JOKb-YI-OB-TE-HEE /0091430/ {****} HATE-YI-OB-TARI*-HEE /0091440/ XXX.#
K5F	K4F	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	258200000000 SJ00G01N-HHA CUKE-YI-HASE(HAS)=YA-N-DAR-DOMO-NE-A /0025830/ DIMA CUKE-Y-RARE(X)-RU-KA TAR-YI-HAS-RU-GANE-RA-NE-A /0025840/ DO-OCT-KA-E DIMA irANO DAIKON-THA NAM A-ZUK-E CUKE-YI-SI(SU)-YI-HAS-YI-OB-TE-HEE /0025850/ NAMA-ZUKE(CUKE)-YI-SI(SU)-KOTO-ONI XXX /0025870/ HADAYI BUN-nia {****}.#
U2H	K4F	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	860/ {****} NAMA-ZUKE(CUKE)-YI-SI(SU)-KOTO-ONI XXX /0025870/ HADAYI BUN-nia {****}.#
U2H	K4F	SI(SU)-YI-OB-TE-JORI-YI-XX-RU-GA	651200000000 DINDJA /0065130/ DANDO KINJ00-NEE KISJA-KAIKEN XXX /0066140/ {****}),#

K4F	SI(SU)-YI-XX-RU	
K5F	K5F	K5F
K4F	K4F	K4F
K4F	ANKEI XXX.#	ANKEI XXX.#
K4F	U1F/U2-	U1F/U2-
K4F	28050000000 HAI 51(HA SO-GE SI(SU)-YI-MASE (HAS)-YI-NJA-NEE /0028050/-{****}	28050000000 HAI 51(HA SO-GE SI(SU)-YI-MASE (HAS)-YI-NJA-NEE /0028050/-{****}
K4F	43100000000 HATA DO-ZJAHKA XXX.#	43210000000 HATA DO-ZJAHKA XXX.#
K4F	43100000000 HATA DO-ZJAHKA XXX.#	43100000000 HATA DO-ZJAHKA XXX.#
K4F	K5F	K5F
K4F	U-NI HOR-DI-OB-TAA(TARI)-NAHKKA XXX.#	0024760/-JOO MINNA-GA KEE BANG /0024760/-TABE-YA-Z
K4F	K4F	K4F
K4F	HOO-NI.*#	26350000000 HAJOPA SO-GE SI(SU)-YI-MASE (HAS)-YI-NTO ZEEKIN-NI KHANKEI XXX.#
K4F	K4F/UR	K4F
K4F	KDF	KDF
K4F	SI(SU)-YI-XX-RU-{****}-NE	24750000000 HAJOPA SO-GE SI(SU)-YI-MASE (HAS)-YI-NTO ZEEKIN-NI KHANKEI XXX.#
K4F	KBF	KBF
K4F	KAH	KAH
K4F	KAH	27600000000 HAMO HIMA {****} GOCISQO XXX.#
K4F	KDF	KDF
K4F	KDF	87371000000 HAMO HIMA {****} GOCISQO XXX.#
K4F	KAH	46890000000 DOKUSAN HON(SOH)-NA(NARA) DO-NEGAI-YI XXX {****}.
K4F	KAH	SI(SU)-YI-XX-RU-DAR-CA-NE
K4F	KAH	39770000000 {****} HE(hi)-E(1)-TO XXX HUN.#
K4F	KAH	SI(SU)-YI-XX-RU-DAR-DA-NEE
K4F	KDF	KDF
K4F	KDF	89880000000 {****} MAA /0089890-0089900/-DO-GENKI-DE YUJAR-YI-OB-TE-JORB-Y-RAR
K4F	KDF	E-Y-RJA /0089920/-HE(hi)-E(1)-TO XXX #
K4F	KDF	SI(SU)-YI-XX-RU-GA-TE-nin-YI-OB-TE
K4F	KDF	U1F/KAF 23320000000 SO-GE-N DANOO TOOR-Y-RARE-{****} TOKO TOOR-Y-RJA SIKAR-Y-RARE-RU
K4F	KDF	-HEN DHASI-JAT(HA) HATO-GAJR(KAIRI)-YI XXX DIKA-YI-OB-TERA DE(hi)-E(1)-GA-HE {****} DAR-YI-QB-TARA KO
K4F	KDF	-RA DANOO DOG-CAY(SAN)-GA DANO TOOR-Y-RE*-YI E(1)-GA-HE {****} DAR-YI-QB-TARA-KEN-TE-nin-YI-OB-TE
K4F	KDF	JORB-Y-RJA HE(hi)-E(1)-DHA #
K4F	KDF	SI(SU)-YI-XX-RU-DIA
K4F	KDF	20430000000 DANOO NUR-YI-MU NUR-YI-MU NUR-YI-GA XXX NE=A.#
K4F	KDF	SI(SU)-YI-XX-RU-Y-OB-A
K4F	KDF	24240000000 SO-GE XXX /0024250/-SUGU SJIRU-GA DE-YI-HAS-RI-{****}.

U1F	K8F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-KEN	57930000000 XXX, #
K4F	K5F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-KEN	25560000000 BHATASI KONAIIDA-NEE DIO(DICI)-SUUKKAN-HODO RUSU XXX, #
K5F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-KEN	25620000000 SJOGGOKIN-BHA CUIKE-*I-MASE((I:S))-YA-N-DAB-DOHO-NE-A /0025810/ DIHA CUIKE-*I-RAREH-RU TOKO-GA TAR-*I-MAS-RU-GANE-GA-NE-A /0025840/ DO-OC1-YA-TE BIHA itANOO DAIKON-FHA NAM A-ZUKKE(CUIKE)-*I XXX /0025850/ NAMA-ZUKKE(CUIKE)-*I-GA BIADARAKKA-(****) /0025860/ (**++) NANA-ZUKKE(CUK E)-*I-SU-RU KOTO-NI SI(SU)-*I-OB*-TAR-KEN-E /0025870/ HAJJA-I BUN-BHA (****), #
K5F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-KEN-NE	28570000000 HAI NANO SJ00C1 XXX (****), #
K6F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-QHA	86210000000 HAIREN XXX /0066220/ 0086230/ HAI, #
K6F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TE-NE-A	98831000000 BJ00K1 XXX#
K6F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TE	35210000000 KONAIIDA (****) /0035220/ DO-ZJANA XXX DARI*GAI00-GOZAIHAS-YI-08*-#-
K6F	K4F	TAR, #	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TE-NEE U1F/K4F -70 HI-HEH DO-TONO XXX, #
K9H			37010000000 HADE-NO HI-BHA BHATAS1-DAHANE /0037020/ KASOC-BAAI GOZEN-TQ GOGO
KCF	U2H	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR	106060000000 HAI SJ00C1 XXX HAI, #
U1F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-DHO	16120000000 (****) HANG (****)-NEE /0016130/ HANI XXX (****)-DES-RU-nHA-NE HAI NTA, #
U1F	K4F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR	35040000000 HAA KO-KO-HO (****) JUUSOO XXX, #
U3F	U1F	SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR-JJO	7040000000 DEO XXX, #
SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR			SI(SU)-*I-XX-*I-OB*-TAR

KFF	U1F	S nAb-X1-X-X-RU KFF	§67800000000 {****} XXX, #
K5F	KFF	~1B-TE XXX, #	24360000000 {****} HUA NA-SI-NI DIRE-RU-TO HUKA-DHA KE TUDUH S A-1 nOCT-*
SUH AR-X1-X-X-RU-{****}	KFF	22260000000 HASIRKA-HO K00-I XXX, #	
K5F	U1F/K4F	SUH-X1-X-X-X1-0D-X-T-R-nE KFF	22011000000 {****}-HUA XXX-#
U1F	SUH-X1-X-X-X1-0D-X-T-R-KA-NE K4F	28310000000 HAA DAKINA-Z-YI XXX-#	
K4F	KFF	SUH-X1-X-X-X1-0B-X-T-R-KEN K4F	11970000000 HAA AA 20-S0071-HO XXX D00Z0, #
U1F	KFF	SUH-X1-X-X-X1-0B-X-T-R-KA KFF	21360000000 XXX HA HA, #
U1F	KFF	TABE-Y-RAREK-X1-X-X-X1-0B-X-T-R-Y-A-Yb(YVYVb)-KA KDF	90290000000 DJAA DJAA HA niHJA HA niHJA {****} niCU {****} XXX-#
KDF	KFF	TABE-Y-RAREK-X1-X-X-RU-KA KFF	13491000000 DE XXX-#
U1F	KFF	TABE-Y-X-X-HE U1F	6280000000 MAD XXX, #
KAH	U2H	TADORE-X1-X-X-RU KAH	50550000000 niHJA NOOGJOO-KAI-{****} XXX, #
KAH	U2H	TADORE-X1-X-X-RU-{****} KAH	50640000000 {****} XXX, #
KAH	U2H/K4F/Y8F	TAT-X1-X-X-RU-DAR-KEN-NEE KAH	50660000000 DJNDJK DANATAI {****} NOOGJOO-KAI-{****} XXX, #
KAH	U2H/K4F/Y8F	00(TAIS,OKU)-KIN-NO- SC-NO NAN-hARIK-KA-DE HCO niHE-GA XXX /0054320/{****} HINNA SAKI-I TATE-{****}	
		TAT-X1-X-X-RU-GA	}, #

K5F U1F TOR-¥I-XX-¥A-N-S!
 U1F K4F 12800000000 KARA-A-NO BUN {****} XXX,#
 HASE(HAS)-#
 {****}-¥I-XX-¥A-N-{****}-HEE
 K5F K4F 24840000000 NJADPA {****} HAOPA-HO CUKÉ-{****} / 0024850/-XXX NANA-HI-GA YÉ-¥!
 -OB-TE K(I(U))-¥I-{****},#
 {****}-¥I-XX-¥A-N-{****}
 KCF K8F 103250000000 {****} XXX,#
 {****}-¥I-XX-¥A-N-DE
 K4F KAH 52960000000 NAKANAKA NO-KANE-GA / 0052970/-XXX,#
 {****}-¥I-XX-¥A-N-KA
 U1F K4F 16700000000 XXX,#
 {****}-¥I-XX-¥A-YVY
 K9H U1F 37200000000 XXX,#
 {****}-¥I-XX-¥A-YVY{YVY}
 K5F U1F 26870000000 HAA NJST-HO XXX KO-HO TE NIUKUE-¥I-OB-TE,#
 {****}-¥I-XX-¥A-ZU-NI-NE
 K5F K4F 28160000000 HATA HAA DO-KC-DJA TANOH-¥I-JB-DE(TE) DOKK-YI-CB-TE {****} AGE-¥!
 -HAS-RU-DE XXX,#
 GJODDAI-SITSU-¥I-XX-¥A-YVYD-KA
 K4F U1F 101650000000 XXX,#
 CUK-¥F-XX-¥A-N-DE-A
 K5F K4F 26530000000 HAJ NANO HIS-E-DJA ND-SMTDHA DJIO-SA DJOKE XXX,#
 CUKAD-¥I-XX-¥A-N-DAR-KEN-NE-A
 K5F K4F/15 27270000000 NJADPA SO-GE-N KEE SJOKUNIN-SAN KE MAKASE-¥I-TE DONDON DONDON {**}
 {**} XXX,#
 CURE-¥I-XX-¥A-N-DAR-DJOH-NE-A
 K5F K4F 25620000000 SJOGONIK-NHA XXX / 0025630/-DIIHA CUKÉ-Y-RARE-RU TOKO-GA NAR-¥-H
 AS-RU-GANE-GA-NE-A / 0025640/-DO-SGI-KA-TE DIIHA DAIKON-DHA NANA-ZURE(CURE)-¥I SI(SU)-¥I-H-S-YI-

OB-K-TE-NE-A /0025850/ NAHA-ZUK-E(CUKE)-YI-GA NJAHARAKA-(+**+) /0025860/ (+**+) NAHA-ZUKE(CUKE)-YI SU	
~RU KOTO-NI SI(SU)=YI-OB-TE-JORE-YI-HAS-RU /0025870/ HAJA-JA-1 BUN-DHA (+**+) #	
CUKUR-YI-XX-YA-N	
K4F K5F	24300000000 KON-NAR-1 DJOO NAGA-I DAIKO! XXX, #
K4F	27170000000 (+**+) XXX, #
DAS-YI-XX-YA-N-DAR-DOMO-NEE	
K5F	27690000000 HUCI-RACI-JAT(DHA) KAN-DAI SO-GE-N (+**+) BAR-YI-SI(SU)=YI-NASE(M AS)-YA-N-DAR-KEDO /0027700/ SO-GE-HI ZEEKIN-TE DJB-YI-OB-TE XXX ANOKU-ZEE-DHA TOR-RARE*YI-AS-RU-
DHA /0027710/ DUODE. #	
DE-Y-RARE-N-YI-XX-YA-N-GA	
K4F	26930000000 (+**+) /0027700/ TOSI-GA DJOR-YI-OB-TE NJCKEE XXX, #
DE-YI-XX-YA-N-DES-YI-OB-TAR	
K6F	96460000000 HINNAJAXXX, #
DE-YI-XX-YA-TU	
K6F	45040000000 (+**+) DJ-REI-NI-HO XXX SICURE*I (+**+) #
DE-YI-XX-YA-TU-TE	
K4F	89760000000 CIKA-GOROKORO) KEE NHATASI-DO DJOO XXX (+**+) #
DEKI-YI-XX-YA-N	
K6F	39620000000 (+**+) HI-SEN-NAH-DJOO-DHA :A-KE-NJA DJKE-YA-N-TE NH-VA-OB-TE /0 03930,0039635/ NI-SEN-HAN-DEN-(+**+) SAN-ZEN(SEN)-HAN-ZEN /0039640,0039650/ (+**+) SO-RE-DAM-E-NI n AKAHAKA /0039660,0039680/ (+**+) KAH-E-DHA XXX, #
DEKI-YI-XX-YA-N-SI-(+**+)	
K4F	40130000000 HADA SOOKO-(+**+) XXX, #
HAKKE-YI-E(DHA)-SI(SU)-YI-XX-YA-N-DHA-NIE	
U2H	63160000000 KO-OCL-1 KG-RE-E-DAKE-DHA XXX, #
DAKE-YI-XX-YA-YV(YV) -KA	
K6F	96560000000 DJ-KAA-CIAN DJ-CJA XXX#
U1F	10100000000 NAKURA XXX#
DAKE-1W-XX-YA-N-KA-IE	
K4F	22670000000 SJOGOGOHIN-DHA XXX#

K0F	ナル-ヨ-イ-エ-(THAI)-シ(SU)-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-KEN-NEE K4F	KAH- ナル-ヨ-イ-エ-(SU)-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-D-R-KEDO	898200000000 ハA DE-ヨ-RARE-ヨ-RJA DAITAI ROKU-NAR MOTO XXX,#
K5F	ナル-ヨ-イ-エ-(SU)-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-D-R-KEDO ERIN-TE bin-ヨ-OB-TE DAS-ヨ-1-HASE(HAS)-ヨ-ニ-DAR-DONI-NEE KAZOKU-ヨ-FE-BHA TOR-ヨ-RARE-ヨ-1-MAS-RU-DHA -D	246900000000 NUCI-RACI-AT(THA) NAN-DAI SO-GE-N (***) XXX /0027700/ ソ-GEN 2 226200000000 HAA minja ナ-クル-サ-ナ-ダ XXX,#	
U1F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DAR-KEN K4F	K5F K5F	02710/ ハJOKE,#
K5F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE K4F	K4F ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	285200000000 nihE hine NAN-DAI ド-カ-カ-ク-サ-ナ-DA XXX,# 222700000000 HAA minja ナ-クル-サ-ナ-ダ XXX,#
K5F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	K4F	276300000000 (***) SO-GE-NAR DAITAI KANE-GA ナ-ル-RU-HAZU-D: XXX /0027640/ NOOK A-DAH-NE-A:#
U1F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE K4F	K4F ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	074900000000 (***) SO-GEN ハナタシ-モ (***) XXX,#
K5F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE U1F	K4F ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	118910000000 SO-RE-DEDO KES-ト-NA LO-RE-DEDO THARI-ニ-リ シ-ル-ト-KOTO XXX,#
K5F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE U1F	K4F ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	262000000000 NUCI-ハ-JACI-ハ(THA) NANOO (***)-ヨ-OB-TE-JORD-ヨ-1-MAS-RU-DAR-KEN /0026210/ ナ-ゲ-エ-ニ (***)-ヨ-OB-TAR-ハ-ル KOTO-ハ(THA) /0026220/ XXX,#
K6F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE U2H	K4F ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	353100000000 (***) NAN-DAI ド-ミ-タ-GE-ハ(THA) XXX,# 718600000000 HAA NAKANAKA SO-GE-NI HENJASO-12(1) KOTO-DA(THA) XXX,#
K4F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE U1F	K5F K5F	256100000000 NANTA-R(THA) TOKO-(***) CURE-ヨ-1-NA-SAR-RU* TOKC XXX-4# 373410000000 (***) KANO HI-ヨ-RARE-ヨ-1-NA-DA XXX-1#
K4F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE U1F	KAH- ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE	188400000000 ハN HUNDIE ハ-NO TOKI-NI /0016850/ ZENZEN ハ-AN-ハR HIKE-ヨ-NAI-NAHA -DAR-ヨ-1-OB-TARA /0016860/ DENRDO-NA-SI-KI HOGSJAN-ヨ-OB-TE /0016870/ KUDASAR-ヨ-IT(THA)-TE ハ-UN-ハ(THA)-R U KOTO-DA /0018880/ KHA-ヨ-1-OB-TE XXX /0018890/ HNN #
K8F	ナル-ヨ-イ-XX-ヤ-ニ-DE KCF		9769CC000000 NAN-DAI XXX,#

K4F	KAM	471600000000 GEOKJUU- {+***}-DHA SISUJ-`I:-HJD0-GA XXX, #
KCF	K8F	101600000000 GEOKJUU- {+***} XXX, #
K4F	K9H	393800000000 {+***} /0039390/ HUCI-RA-HO /0039400/ HA DIMA B-SIC-KO NA-1-KEBO {+***} SI(SU)-YA-YVY-E-TD HOKO-SE-OB-TE-HO /0039410/ 0039411/ 20-`NE-GA XXX, #
K4F	KAH	475500000000 SD-`I: {+***}-RI NATA FANDO GAKOKO-GA {+***} HA IR-RUK MONO-GA XXX /0047560/ HAKANAKA, #
K4F	K5F	223300000000 SHINJA CIOTONO SON-`I:MAR KOTO-`I:MINA /0021310/ XXX, #
K4F	K9H/12F	376200000000 KENEDII-SAN-DE KABU-EN-SAGAR-`I-OB-TAR-OTEITEI RUJUN(HA) -RU-DE-JA D(HA) XXX {+***}, #
K4F	KOF	951800000000 {+***} THATASI-MO HAA SHANOO SO-GE-NAR SHANGA-DE {+***} /0095190/ DHAKAR-YA-`I-HJD0-NAR /0095200/ KI-GA SI(SU)-`I-OB-TE-NEE /0095210/ MA HABA-DO(VW) DIK-YA {+***} /0095220/ 0095221/ {+***} HAN-NICU-HI /0095230/ SHIK-FU NAN-NICU-NI /0095240/ SHIK-FU /0095250/ SHIN-1- OB-TE /0095260/ 0095270/ NAKANAKA /0095280/ 0095290/ XXX, #
K4F	K8F	581400000000 JIOOKO-CJAN-HA MADA NADA SO-GE-NAR SHARE=NI XXX, #
U1F	KAM	455800000000 HAA SHANOO ZICHIN HOS-YA-HA XXX NOOII#
K5F	KF/U1F	254900000000 SU-REF=NI KE /0025460/ {+***} HA-GA JAHNA DEKI-`I-SUGI-`I-OB-TE-N E-A /0025490/ XXX, #
KCF	KBF/U1F	995800000000 {+***} XXX {+***}, #
U1F	KCF	769200000000 SHINJA SHANOO TENKI-DE-DUA-NEE /0076930/ HATA XXX HAA, #

K4F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-キ-ツ-ア-ヒ- {+***+}	KAH	529400000000 {+***+} / 00052920/ ハヤシウダ-サン-デホ {+***+} ケエ {+***+} XXX. #
K5F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-ダ-ル-ヤ- {+***+}	K4F	239900000000 KABU-GA KARA-F-HUA XXX. #
K5F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ケン	K4F/U1F	280000000000 HO(SO)-RE-DAR-KEN ハヤクアシ シ-GE-NAR HOD-KAA(KAHAY) KANE KARI-#-I-#
	ナセ(ハス)-ヤ-ナ-ト-NE-A / 0028010/ XXX {+***+}, #		
U1F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-ダ-ル-ケン	K4F	199510000000 SJOC-UU {+***+} XXX. #
KCF	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DF	U2H	914500000000 HO-TO-SAN {+***+} HAGE-YA-NA / 0009444/ XXX. #
K4F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA	KFF	239810000000 ハヤシウダ KARA-I-10 XXX ハグウ-DO フuke-{+***+}, #
U1F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA	K4F	#1200000000 XXX, #
K8F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA	KCF	982300000000 HAA / 009320/ KATE-YA-NA XXX. #
K5F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA-HE	K4F/U1F	290700000000 NAN-7-EN(SEN) CUKUR-YA-NA XXX. #
KCF	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA-HE-A	U1F	7888000000 SAHU-1 KAZE-GA HOK-#-A-NA-TO KO-NO KAHUA-RJOO-#-A XXX. #
K9H	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-HEE	KAH	4250000000 HAA XXX {+***+}-GA DHARU-KU-TE, #
U1F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-HEE	K4F	1370000000 DANTA HEALE-DA NAKE-YA-NA XXX. #
K4F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-HEE	KSF	227610000000 ハヨKE XXX. #
K5F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA-HEE	K4F/U1F	273100000000 ハ-SOKO(KO)-I KI-GA XXX / 0027320/ {+***+}, #
K4F	ナリケ-ヤ-リ-ニ-ダ-ル-ヤ-ナ-DA-HEE	KAH	475700000000 GUNBU-KARA-DEHO-NEE MAA TATEI SA ハヨオタ-RA-KA GO-NIN-KURAI DANNOO ZYOGAKOO-NANKA-NI-HA DE-#-OB-TE XXX. #

KDF	IND	944000000000 《+++》-NE-A 《+++》 XXX.#
KCF	DHAKAR-¥1-XX-YA-N-(+++)	105400000000 SO-RE-DE DHAKASI 《+++》 / 0155650/ 《+++》-KE-A / 0155650/ 《+++》-KA U1F CI-HADE /0105670/ JIK-¥1-MHS-RU-DE-NE-A /0105680,0105690/ 《+++》-NE-A /0105700,0105710/ 《+++》-AGE- RU-TO H1-]-DHA-T0 /0105720/ HODOR-¥1-OB-TAH-KEDO HAA /0105730/ 《+++》-DA NA-KE-NA XXX.#
KDF	KAKE-¥1-XX-YA-N-DE-NEE	KAKE-¥1-XX-YA-N-DE-NEE
K4F	K5F	216200000000 HJOO XXX.#
K4F	K5F	266300000000 HA-NO KI-IRU(DHOR)-I-NU-DHA NIRO-SA XXX.#
KDF	K4F	83500000000 《+++》 SONO DAHO NAKANAKA SO-RE-SA DJAKU-SE(SU)-Y-RA BREK-YA-DE-N EE /00326010083270/ HENZI-GA XXX.#
K5F	K4F/U-F	KARI-¥1-XX-YA-N-TO-NE-A KIKE-¥1-HASE(HAS)-Y-A-N-DAR-KEN 《+++》 ;# 0,0/Y JIKE-¥1-HASE(HAS)-Y-A-N-DAR-KEN 《+++》 ;# K1((U)-¥1-XX-YA-N-TO-NE-A K1((U)-¥1-XX-YA-N-H-HA-(+++)) 0-N1 DE-¥1-OB-YE HADA KADER-¥1-DE-TE XXX.#
U1F	K9H	36310000000 CJDONO DINA HJU-IND-SAN /0036320/ HADA KESA ZASR-GOHAN TABE-YA-N-K K1((U)-¥1-XX-YA-N-H-HA-(+++)) K1((U)-¥1-XX-YA-N-H-HA-(+++)) K1((U)-¥1-XX-YA-N-H-HA-(+++)) K1((U)-¥1-XX-YA-N-H-HA-(+++))
U1F	K4F	15660000000 KAHN-1 DE-¥1-OB-TE-HEE HADA KASA-KARA KATEER-¥1-OB-TE XXX.#
U1F	K4F	30500000000 GUTAI-TER1 《+++》 XXX HAA.#
U1F	K4F	KO((U))-¥-RAFE-¥1-XX-YA-YV(YV) 《+++》 .#
U1F	K4F	12040000000 HINA YMO KAHEN-¥1-0BA-TE XXX.#
K8F	U2H	HAIR-¥-RAFE-¥1-XX-YA-N-GA-HE HORH-¥1-XX-YA-YV(YV) -KA-NA 66010000000 NAN-DE-TE HISOGASI-1-DAR-KEN XXX 50-GJAN KOTO.#
K5F	U1F/K/F	220500010000 DJAJA DJAJA SON-NARA CGNB00 NATAR-Y-SASE-Y-CB-TE XXX.#
K5F	HORH-¥1-XX-YA-N-(+++)	HORH-¥1-XX-YA-N-(+++)

K8F	KDF	073500000000 HADA GOHAN-GA TARE-`YI-OB-`TE XXX.#
K4F	U1F	NAP-`YI-XX-`YA-DAR-`YI-OB-TAI-`DHA-`TE
		177510000000 SO-RE-DE HATA MOT-`YI-OB-TE DJUKK(DIK)-`Y-A-N(NA) XXX `DIN-`YI-OB-`TE JO
		R2-`Y-RARE-`YI-OB-TAR HUN.#
K4F	U1F	NAR-`YI-XX-`YA-N-(****)
		-RARE-`YI-OB-TAR /0017960/ HUN.#
		NAR-`YI-XX-`YA-`I-(****)
U1F	K4F	179500000000 DINJA HIO(nigici)-PENHEN NURAGAB-`Y-A-N(NA) XXX DIN-`YI-OB-`TE-`MUN-`Y
K4F	K9M	NAR-`YI-XX-`YA-NI-NEE
		152400000000 SONOO DAN-NAR-NI XXX GOJG0-KIK-`YI-`GA KU-`RU-`EDO-`HE-A.#
		366300000000 HUCI-HO COQTC HUKAGAB-`Y-A-N(NA) XXX.#
K5F	K4F	HUK-`YI-XX-`YA-ZI-`NI
		238100000000 SU-KU-NO HADA DOKANO-SAN-NO-`YI XXX.#
		S((SU))-`YI-`HJA-SI(SU)-`YI-XX-`YA-`I
JF	K8F	783800000000 DAR-KEN (****) HIAKUSUJO XXX.#
		S((SU))-`YI-XX-`H-DAR-`YA-YV((YV))-(****)
K5F	K4F	252300000000 HARIO (****) XXX.#
		S((SU))-`YI-XX-`YA-N-DAR-`YA-YV((YV))-KEI
U2H	KCF	763200000000 DINJA KEE YOO JIHE NGO THASUREK-`YI-`DJA(OHA) XXX.#
		S((SU))-`YI-XX-`Y-`H-TO
K5F	K4F/U1F	276000000000 HJACPA SC-GE XXX ZEEKIH-NI K ANKEI SI(SU)-`YI-`AS-`RU-(****).#
		S((SU))-`YI-XX-`YA-NJA-NEE
K5F	K4F	280500000000 HAI DINMA SO-GE XXX /002BD60/ (****) KHANEKI S((SU))-`YI-`MAS-`RU.#
		S((SU))-`YI-XX-`Y-`Y-VT
U1F	KCF	791100000000 HAA ZA SON-NA(NARA) SOQ XXX.#
U1F	KCF	791300000000 HAI HAI SOO XXX.#
		S(YN-`Y-RARE-`YI-ED(OHA)-SI(SU))-`YI-XX-`Y-`NDAR-KEN-`HE
KDF	K4F	935600000000 DINJA (****) NAN-20 SWAZURAH-`Y-A-N(XA) XXX.#
		S(YI-`YI-XX-`YA-N-DAR-(****))
KDF	K4F	855670000000 (****) MATCHAH-`YI-OB-TAR KOT-O-`DJA-NANKA XXX.#

SIREN=¥1-XX-¥A-N-DAr-DOHO
 K4F K4F 26380000000 HONNI KADEFIE NAA-NØ HOC-GA ñi-i-KA-HO XXX /t022350/ HON-2UKE(OU
 KE)×YI-NØ HOO-NI {****}.#
 SUH-¥1-XX-¥A-IND
 KBF KBF 45001000000 HAA KONAIDA-RHIA {****} HONTO-NI XXX.#
 SUH-¥1-XX-¥A-DAr-¥1-OB-TAr
 KSF KSF 26620000000 Ñ-KAJAKU-SAH-DE GOZAI{S-RU-{****}}'0028530/ XXX.<#
 U1F/K4F
 KSF U1F/K4F 29410000000 {****} XXX {****}.#
 K9H 43131000000 NIROIRO ÑO-SENA-SAN-NI HAR-¥1-M-HAS-¥1-OBK+TE /0043140/ XXX DOHO
 DOHO.#

SUH-¥1-XX-¥A-N
 K4F K4F 29480000000 XXX HAA {****}.#
 KAH U2H/U2F/N4F/K4F 54870000000 DOOMQ KO-REK-JAT(DHA) GOCTSUQ-SAN-NI HAR-YIN-HAS-YI-OBH-{****}.#
 0548010/ XXX.#

KCF U1F 10353000000 XXX {****} THATASI-HADE HJOBARE-{****}.#
 KCF U1F/K4F 10080000000 XXX {****}.#
 KFF K4F 99210000000 HA DOOHO XXX.#
 KFF U1F 99480000000 ÐJAJZA XXX.#
 KFF U1F/K4F 97470000000 ÐJARA MARA XXX.#
 KGH U2H/U1F 10353000000 XXX DOOHO.#
 KFF U1F 99291000000 DOOHO XXX.#
 U2H KCF 29660000000 ÐJAJA ÑJAJA XXX.#
 SUH-¥1-XX-¥A-HE
 K4F K4F K4F 36200000000 DE TAHEN MA ÑO-SOSIKI-ÑI-HO /0036830/ SICUREÑI SI(SU)=¥1-OB-TE
 HAKUTO-NI XXX /0036640/ GOZAIHAS-¥1-OB*-TAR.#

KCF SUH-¥1-XX-¥A-N-DES-¥1-OB*-TAR-{****}.#
 KSF U1F/K4F 10552000000 XXX /0105330/ GOZAIHAS-¥1-OB*-TAR.#

SUH-¥1-XX-¥A-N-DES-¥1-OB*-TAR-NE-
 K4F K4F 104890000000 XXX.#

K9H	SUH-Ý-I-XX-ÝA-N-DES-ÝI-OB-K-TAR-	U2H	436800000000 XXX, #
KCF	SUH-Ý-I-XX-ÝA-N-DES-ÝI-OB-K-TAR-NEE	U1F	1054100000000 HJAA XXX ÐANTA-GA (****), #
KGH	SUH-Ý-I-XX-ÝA-N-DES-ÝI-OB-K-TAR	U2H/U1F	1039200000000 DOHO XXX, #
U1F	KCF		1061700000000 XXX, #
U1F	SUH-Ý-I-XX-ÝA-N-ÐHA-NEE	:KFF	992500000000 ÑO-KOTOZUKE-ÝI (****) XXX DOCHO, #
U1F	SUH-Ý-I-XX-ÝA-N-KEDO-NEE		460900000000 (****) HON(SON)-NARA /0046100/ XXX /0046100/ (****), #
KAH	SUH-Ý-I-XX-ÝA-N-NE	U2H	
K3F	TABE-Ý-I-XX-ÝA-N-(****)-NEE	U1F	112800000000 XXX CJ0010 (****), #
K4F	TABE-Ý-I-XX-ÝA-N-DAR-KEN-NEE	K5F	237400000000 HJOO ÑJOKÉ XXX ZJUGO-KA /0023750/ HAA NTZUU-DE HJOO(HI)-Vyb GOZA
K5F	TATE-Ý-RARE*Ý-(XX-ÝA-DE	I1S-U,	
K5F	TODOR-Ý-RARE*Ý-(XX-ÝA-N-KA	K4F	272100000000 HICU-KOSO TATE-Ý-MAS-RUNJARA ÑOKUSAN NAKANAKA XXX, #
K4F	TODOR-Ý-RARE*Ý-(XX-ÝA-N-ÐHA-NE	K5F	287000000000 SO-KO-ÑHA XXX-#
U1F	N-	K4F	152261000000 XXX, #
KBF	{****}-HE(SU)-ÝA-XX-GA	U2H	601510000000 XXX, #
KDF	{****}-Ý-RATEH-ÝA-XX-KEN	U1F	904600000000 MOO ÑUCI-HO ÑIHA (****) ÑANO /0090470/ (****) /0090480/ ÑANO XXX,

(4) RAE. RARE

R&DE (RAE)-	KO ((KU)-*~XX~*I~OB~TE~NEE	
K4F	KDF	883900000000 HAWATASI-TO HIOSUO-NI /0088400/ HAWATASI-GA /0088410/ SUKOSI HADJA-
	NI (*+*+*)-NEE /0088420/ HO(SO)-RF*-KARA XXX.#	
R&DE (RAE#)	NIK-XX~*I~OB~TAR-(*+*+*)	
K4F	UIF	126100000000 HINOHUOE-KARA NIK-XYI XXX.#
	DJAR-YI~OB~TE~JORT~*~XX~*I~MAS~RU-(*+*+*)	
K4F	KDF	881820000000 HURI-SAN-GA /0088190/ KEE HOKOR-XI~OB~TE XXX.#
	DOR~*~XX~*I~MAS~RU~GA	
K4F	KDF	912710000000 (*+*+) SADHAG~*I~OB~DE(TE) XXX.#
	DOR~*~XX~*I~MAS~RU~DHA~NE	
K4F	KDF	390000000000 HUCI-NI XXX /0039010/ RUSU-BAN SIC(SU)-*I~OB~TE .#
	DOR~*~XX~*I~MAS~RU~DHA	
K4F	KDF	909800000000 SAHAG~*I~OB~DE(TE) XXX.#
	DOR~*~XX~*I~OB~TAR~OTE~DIN~*I~OB~TE	
K4F	UIF	125500000000 SO-REM-KARA ZIBUN-MO /0012560/ NAN-DAI DANTEI-SJO-DAI NAN-DAI NIK
	-I~OB(OB)-TARA /0012570/ CJANTO DANTEI-SJO-NI XXX.#	
KAM		KASE~*~XX~*I~ED(DHA)-HE(SU)-*I~OB~DE(TE) XXX.#
	U2M	539010000000 (*+*+) /0053910/ (*+*+) XXX.#
	KASE~*~XX~*I~ED(DHA)-HE(SU)-*A-N	
U2H	KAM	539200000000 HAA XXX SO-RE-*~JAB(DHA) HOO.#
	KATAKE-E~*~XX~*I~MAS~RU~NE~A	
KDF	K4F	860500000000 ZJ007U~H! XXX.#
	KO ((KU)-*~XX~*I~OB~TAR~DJO	
K4F	KDF	852300040000 SO-REM-KARA DANQ /0085240/ (*+*+) TOKO MADHAR~*I~OB~TE~NEE /0085
	250~0085260/ HUKO-SAN-MO /0085270/ KO-QCI- /0085280/ XXX.#	
	\$1(SU)-*I~OB~TE~JORT~*~XX~*I~MAS~RU~GA	

K4F	KUF	9141000000000 (**++) NAN-DAI KAN-DAI-NEE /0091420/ (****) MATA TAR-XX-N HONO-HON-
	A KAK-YI-00E(08)-TE-JOK-YI-OB-TE-HEE /0091430/ (****) DAGE-YI-OB-TARI-N-NEE /0091440/ XXX.#	
KDF	K4F	TATE-XX-YI-00E(08)-TE-XX-YV(YVYV)-KA
	U1F	9027000000000 5JAA 5JA MA DJUA (****) DJCU (****) XXX#
K2F	U1F	6631000000000 CJOOTI SANTA SIBIRE-XI-GA KIRE-XI-OB-TE MATA TASI XXX.#
	K0F	TOOR-XX-YA-N-DAR-KEN
U2H	K0F	7281000000000 (****) XXX.#
K5F	K4F/U1F	TOK-XX-YI-00E(08)-DAR-(****)
	RAGSAR-	2791000000000 SJOTOKU-ZEE-DE KE NJOK E XXX.#
K8F	K4F/U2H/U1F	5751000000000 5JIK-RU-NA-BJ0 MATA KASE-Y-E0(RE)-TE XXX (****);#
RARE-		SIVAR-XX-RU-KEN
K5F	U1F/K4F	2332000000000 SD-DE-N DANDO TOOR-Y-RA(E)(****) TOKO TOKR-Y-RA XXX NMHSI-JA(HA) DA(TO-GAI)(KAIIR)-XI SISU-XI-NA-SRU-GA-TE-5J1-OB-TE DJB-Z-1-OB-TARA DE{D1}-NE (****) AR-YI-OB-TARA KO-NA DJAO NOO-DAN(SRN)-GA DANDO TOOR-Y-RE*-TE DJB-Z-RARE-#-1-OB-TAR-KEN-TE-5J1-OB-TE DJB-Z-1-OB-TE-UDB-Y-RA {D1}-E1)-DJH-.#
	RARE#-	(****)-Y-XX-YI-HAS-RU-DE
K5F	U1F/K5F	266100000000 XXX.#
KDF	U1F	(****)-Y-XX-YI-OB-TAR-KEN
U1F	K5F	CUKA-5-Y-XX-(****)
	CURE-XX-(****)	812400000000 5JASJ0-N1 XXX.#
KCF	U2H	782800000000 (****) KO-RE* (****)-N(NO) NAKA-I SAKANA XXX.#
K5F	K4F	258200000000 SJOGOGIN-DNA CURE-YI-MASE(HS)-YA-N-DAR-DONO-NE-A /0025830/ DJMA

XXX TUKO-GA DAK-KA-YI-MAS-QU-GANE-GA-K-E-A / 0025640 / DO-OC-I-KA-TIE HINA DAIKOU-DHA NAHA-ZUKUE (CUIKE)
 -YI SI(SU)-YI-MAS-QU-TE-N-E-A / 0025650 / NAMA-ZUKE (CUIE) 1-YI-GA TUSAHARA-KA-(+**+) / 0025660 / (+**+)
 NAMA-ZUKUE (CUIKE)-YI SU-BI KOTO-NI SI(SU)-XI-OB-TE-JORO-X-MA-SRU / 0025670 / HARAJA-JI BIN-DHA (+**+), #
 CUIKE-YI-XX-HA-N-TE
 K4F U/F 198100000000 SO-RE-KARA DNN HUMIKO-SAN RUIC-DA(HNA) KIRAI-DE-NEE / 0019820 / (+**+)
 +**+ DEKI-YA-H-(+**+) CILOTO-DAI XXX / 0019830 / HNN, #
 CUIHAG-YI-OO-DE(TE)-JOKb-Y-XX-RU*(+**+) E
 K6F KDF 102900000000 DHIN DO-KO-DEMO XXX, #
 DE-Y-XX-(+**+)
 K4F KDF 050900000000 (+**+) XXX, #
 DE-Y-XX-RU
 KDF K4F 596400000000 (+**+) NO HOO-NO HITO-GA XXX / 0008980 / (+**+) NANTOKA-DES-RU-KEN-
 HEE, #
 DE-Y-XX-RU-(+**+)
 K4F KDF 661300000000 HAA HJ0(HI)-YVC-HI MAR-YI-OB-TE GUNHAI-GA HJ0(HI)-YVB-NI NAR-YI-0
 O-TE SO-GEN KOTO-DEMO MINNA DHAKA-; -SJI-NI MAKASE-; -OB-TE-NEE / 0008140 / HUN XXX (+**+) -YI-OB-TAR, #
 DE-Y-XX-Y-RJA
 KDF K4F 092200000000 HA XXX DAIITAI ROKU-NIN KOTO HAR-YI-EG(DHA)-SI(SU)-YI-HASE (KAS)-Y-A
 -H-KEN-(N)E-#
 DE-Y-XX-YA-N-MAJA-HI
 K9M U/F 373300000000 KO-HG-BOROKORO) DHAFASI-DHA XXX NAR-YI-HAS-YI-OB*-TE, #
 DE-Y-XX-YA-N-KA-NE
 K4F U/F 154600000000 (+**+) -C-SAN-TOKO-KARA KO-IEG-AB(HNA) XXX #
 DE-Y-XX-Y-H-TIE
 K4F KDF 094100000000 DANDO CIGC-DAI MOBA-SAN-DH CIRA-GONO(KORO),XXX HIN-YI-OB-; E HUN
 NASA SI(SU)-YI-OB-TE-JORO-YI-MAS-; -OB-TE-JORO DF (+**+) BHATASI-GA JIB-YI-GH-TARA-TEE / 0009420 / YAMO0
 DJOC CIRKA-GORO(KORO) MAA DE-YA-N-BAR-DHO / 0009430 / SENDO HONNI (+**+) NAHI SU-RU-M-DAR-YI-OB-TAR-DON
 O NIHINAKA-HI DAICO KO-KO-I HJ0R-XI-TA-YI-OB-TE JI0-YI-OB-TE #
 KDF X 096600000000 (+**+) / 0009699 / SOTO-1 XXX JIB-YI-OB-TE / 0009700, 0009710 / YAMO0
 / 0009720 / JUDHASA SI(SU)-YI-OB-TE-JORO-YI-HAS-RU-GA / 0009730 / (+**+), #

K4F	KOF DE-YY-XX-YI-E (HWA)-HE (SU)-Y-A-N-{+*+}	907700000000 000000000000 000 XXX HIN-YI-OB-YE-NEE /0090780/{+*+}.#
K8F	U1F DE-YY-XX-YI-HAS-YI-OBSTAR-SJD	530000000000 000000000000 000 XXX HIN-YI-OB-YE-NEE /0090780/{+*+}.#
U1F	KAF DE-YY-XX-YI-HASE (HAS)-Y-A-N-GA	120100000000 KESA-DHAL-HIEE /0012020/{+*+} GOHAN TABE-YA-H-KO-HI XXX.#
K4F	KSF DE-YY-XX-YI-OB-TAR	269900000000 000000000000 000 XXX HIN-YI-OB-YE-NEE /0090780/{+*+}.#
KAH	KBF GOS-YY-XX-RU	515600000000 000000000000 000 XXX TOKI-NI-{+*+} HJOR-YI-OB-TE {+*+}.#
KDF	KDF GOS-YY-XX-RU	1080500000000 HINJA {+*+}-{+*+}-CAN(SAN)-TE HJUB(DID)-RU-DAB-KA-I-NE HICU-HO HJ
U1F	KDF GOS-YY-XX-RU-{+*+}	0(DI)-KU XXX TOKO.#
K4F	KDF GOS-YY-XX-YI-OB-TAR	814310000000 000000000000 000 XXX HIN-YI-OB-TE HJUB(DID)-RU-DAB-KA-I-NE HICU-HO HJ
KDF	KDF GOS-YY-XX-YI-OB-TAR-{+*+}	105220000000 KEE(KO-O-SAN)-HHA HICU SD-GE HIN-YI-OB-TE XXX-#
K4F	UAF GOS-YY-XX-YI-OB-TAR-{+*+}	165000000000 HUUN KOHII-HJARA /0016510/ NANI-HJAH 12000GR-YI-OB-TE XXX.#
KDF	KAF DABO NINHA-NO 400-GA RASI-GA JAA-KAR-YY-OB-DE {+*+} REJASU KOTO-DAR-O HONOH-YY-B-TE SO-RE-KARA HAA	280500000000 000000000000 000 XXX HIN-YI-OB-TE HJUB(DID)-RU-DAB-KA-I-NE HICU-HO HJ
K4F	KDF GOS-YY-XX-YI-OB-TAR-{+*+}	A1-DE-NE-A /00800070/ SD-RE-DE K1(KU)-YY-OB-TE GOS-YY-OB-TE {+*+} HIN-YI-OB-TE {+*+} XXX
K4F	KDF R-YI-OB-TE GOS-{+*+}	GOS-YY-XX-YI-OB-TAR-{+*+} SU-{+*+}.#
K5F	U1F/K4F HANR-YY-XX-YI-OB-TE	998500000000 000000000000 000 NAN-ZO HAGE-Y-R-JA HATA XXX HUKO-D-KARA /0099870/ H000
K5F	U4F/K4F	233700000000 SINEGO-HI SI(SU)-YY-OB-TE-H-E-A /0023380/ XXX1#
K5F	U4F/K4F	230800000000 MAA YO-KO-N(No) TOKO XXX {+*+}.#

K5F	HAI-R-Y-XX-YA-N-DESE (DES) -Y-A-YV-V-A#	23110000000 XXX1#
U5F	HAI-R-Y-XX-YI-E0105_A-HE(E5U)-Y-A~240	61270000000 AJOQH09G-MG CUTE-GA 'A-KE-(****) XXX.M
U24H	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61231000000 XXX:#
J2N	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 DAR-HONO n1=1 TORQ X'X HUTI-SINKOO-NAHKA {****}.#
KEF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 DAR-HONO n1=1 TORQ X'X HUTI-SINKOO-NAHKA {****}.#
KBF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 DAR-HONO REIKO-S: N-(****) XXX:#
U5F	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 HA NANO REIKO-S: N-(****) XXX:#
KBF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 HA NANO REIKO-S: N-(****) XXX:#
KDF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 HA NANO REIKO-S: N-(****) XXX:#
KDF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 HA NANO REIKO-S: N-(****) XXX:#
KGF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	61160000000 HA NANO REIKO-S: N-(****) XXX:#
OB-TG-NFE	00052870/	59860000000 {****} GOKOHO-HICHO-HIA TATE-E1-OB-TE-JOKO-YA-N HIK-E-YA-N DII-YI-OB-TG-NFE /00052870/ 00059880/ {****} KXO /00059890/ {****} KXO
XXX.#		
HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE		
KDF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	05930000000 DA N:NNA HK XXX.#
KDF	HAI-R-Y-XX-YI-03-TAR-NHA-NE	109430000000 NJ00 XXX.#
K4F	HUTOR-S1-OB-IE-JC0-E-Y-XX-{****}	62670000000 {****} NJKGPART1# XXX.#
K4F	DAAK(HARUSK)-S-X-K-N-BJJA-NI	87630000000 SO-RE-GA KJU-U-NI TAORE-E-YI-OB-TE {****} XXX .KAR-E-YI-OB-{****}.#
K4F	DAAK(HARUSK)-S-X-K-N-BJJA-NI	87610000000 DAHOO XXX.#
K4F	DAACUHAR-E-XX-RU-TG-NE	75200000000 DA-SOKOL(KO)-E MA XXX ZEN-KORU-NO {****}.#
U5F	DAACUHAR-E-XX-RU-TG-NE	76260000000 NAKAHANA DANTA-(****) SIGOTO-HA ŠAHU-1 HE-M1 XXX .KRE-YA-N-N-KEN /
U5F	DAACUHAR-E-XX-RU-TG-NE	8767570/ AJOKEE KOSE-I-NO TAKE-HI .NARU-1-DES-RU-HA #

K4F	KDF	10/ MIRAI-TO XXX-SU-RUM-SI-NEE.#	884810000000 NAKURU-KI-HI /0088500V KEE 7KAS-1-KD 7IK-YI-OBX-(+**+) HATA /00885
K5F	KDF	103280000000 (+++) SJOGCUU XXX.#	856200000000 KEE XXX.#
U1F	KDF	11BAR-YI-OB-TE-JORI-Y-XX-7I-OR-TE-HEE	80Q100000000 XXX.#
K4F	KDF	11EAR-YI-OB-TE-JORI-Y-XX-7I-OR-TE-HEE	80Q200000000 XXX.#
K8F	KDF	11D-Y-RAREM-XI-OB-TE-JORI-Y-XX-7I-OB-TAR-DPMO-HEE-IE	949300000000 (+++) 7KX-YA-NA 7IKE-YA-NA XXX 7JH-YI-OB-TE /0094940/ (+**+) #
K4F	KDF	11D-Y-XX-(+**+) #	854300000000 HUKO-Q-NO-HOO-DE-HO JAHOO DO-TOO-SAN-(+**+) 7D-KAA-SAN-QA-NEE /008
K4F	KDF	5440/ H1-YI-OB-TE HONNIN-DO H1-YI-N3-TE-NEE /0085450/ JAHOO DOHAI-MI-DHA HOOTAIN-(+**+) XXX #	88610000000 DE HAA SURU SON-NAR NAM-DNA H1-YI-TE 7D1B-YI-OB-TE 7D-1SA/7ISJA-
K4F	KDF	5440/ H1-YI-OB-TE HONNIN-DO H1-YI-N3-TE-NEE /0085450/ JAHOO DOHAI-MI-DHA HOOTAIN-(+**+) XXX #	GA XXX.#
KDF	KDF	109120000000 (+++) 7JUJUBE-NE SAKURAI-NO YANOO HUKO-SAN-TO-NE-A /0109130/01091	U1F/KBF/K4F
KDF	KDF	40/ DANDO 7OKUSAN-TO K1((KU)-YI-OB-TE-NE-A /0109250/0109160/ SD-REK-KARA DHATASICJA 7IREK-YI-CG-TARA	40/ DANDO 7OKUSAN-TO K1((KU)-YI-OB-TE-NE-A /0109250/0109160/ SD-REK-KARA DHATASICJA 7IREK-YI-CG-TARA
K4F	KDF	71H-Y-XX-RU	7NE-A /0109170/ DANDO DHATASAN KUDASAR-YI-1B(RE)-TE XXX.#
K4F	KDF	911400000000 SO-RE*-KARA HOO SAA 7ICI-7I-SUGI-YI-DAR-YI-OB-TAR-0AR-YA-YBYVV	7-A-NA-NA /0091150/ HOO DANDO NIZU KUH-YI-OB-DE(TE) KO((KU)-YI-1(NE)-TE XXX.#
KDF	KDF	71H-Y-XX-RU-(+**+) #	892000000000 HARA-DAR-TE XXX.#
K4F	KDF	71H-Y-XX-RU-DAR-KEN	80890000000 NAN-DAI KAN-DAI 7O-BABA (+++) KOGOTO XXX.#
K4F	KDF	71H-Y-XX-RU-DAR-YI-OB(YVVB)-GA	814681000000 SOO SU-RUN-TO DHATASI-GA ZENEN DANO SA1700-G6 NAI-DJ00-KARA-NE
K4F	ULF	E /0014690/ (+**) XXX /0014700/ 7WUR7H7D-YI-OB-TARI* SI(SU)-YI-OB-TE (+**+) -DAR-YON(HONO)-NEE.#	146810000000 SOO SU-RUN-TO DHATASI-GA ZENEN DANO SA1700-G6 NAI-DJ00-KARA-NE

K4F	KDF	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE DAR-YY-YY(YVYU)-KEN-DFE /0064720/ KO-O`I-`I KURE-`E-EO(HE)-OTE(IE) XXX,#	04700000000 ZINAH-SAH-`GA YODA-`EE /005710/ (***) HJOSI-`NI SONOO SIKHA-`HJ-`I
K4F	KDF	R (***) SJCOBEH-DDR-`DE-TE XXX HJA-X-RARE-NUR-`DHAA-NE, # HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE	53600000000 (***) SJODDEN-DHO-`NEE /0093610/ (***) HATASI-GA HJK-YI=OBH=TA
K4F	KDF	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE OK1-DR-KEN-`TE HJA-`I-OB-`TE XXX, #	53300000000 KUSURIK-`GA HJA-`I-`TE XXX, #
K4F	KDF	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE OK1-DR-KEN-`TE HJA-`I-OB-`TE XXX, #	53270000000 DE KUSURIK-`GA HJA-`I-`TE XXX, #
K4F	KDF	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE R (***) SJODDEN-DR-`HE-`TE HJA-`I-OB-`TE XXX, #	53600000000 (***) SJODDEN-DHO-`NEE /0093610/ (***) HATASI-GA HJK-YI=OBH=TA
K4F	U1F	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE AR-MEDOMO /0014060/ DHN SO-REK-`DAR-DONo HAK-DAI TAISITA BECUA-`NO HANNA-`HJA HAA SDO HJUVA(HJIN)-RU K	14850000000 KONGI-`I MORAH-`RU-OTE HJU SUA HANOO HICIDOO KENSEU SI(SU)-`HJ-`DR-`T
K4F	K5F	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE HTD-YY-XX-`I-HJS-`HJ-`HJA	070-HJA-`HEE /0014820/ XXX (***) HUN, #
K4F	K5F	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE HTD-YY-XX-`I-HJS-`HJ-`HJA	26720000000 MIRO-GA-HEE HE CUK-`YI=OB-`TAR-`NG-`HJA HJK-`E-A-N-`TE XXX, #
K4F	KAH	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE IN GAKKOO KAJHAR-`I-OB-`TE KURE-`E-X-REO(HE)-OTE XXX ZJOSAKOO SAH-`NEH-`DES-YI=OBX-TAR-N(THO)-DE-`HEE /004	47500000000 SO-HEK-KARA HJA HANOO (***) /0047600/ (***) HJ-`E-HEE DANHAR
K4F	KAH	HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE 7610/ SG-REK-KAH-`HEE Z-JOSI-SIHAA-`HJ-`HJA HJK-`E-A-N-`TE XXX (***) H	7610/ SG-REK-KAH-`HEE Z-JOSI-SIHAA-`HJ-`HJA HJK-`E-A-N-`TE XXX (***) H
K8F		HTD-YY-XX-NU-GEHA-`E-HEE SU-`YA-`HJ-`HJA	57490000000 (***) HJA-`I HJA-`I HJA-`I HJA-`I HJA-`I (***) KQ(KU)-`Y-FANE*+ `! E`G(JH)H-`HJ-`I

K8F	K4F /U1F /U2H	" 708900000000 {+***}-N1 SJONBE SI(SU)-YI-H1-DAI XXX /007090C/{+***},#
K4F	KDF JNAKAR-YA-H1-OB-NAR /0095220/ K1-GA SI(SU)-YI-OB-TE-HEE /0095220/ MAA HAA-JA-OOC(VVE) JIK-YA-{+**+}	95100000000 {+***} JHATISI-HO HAA NANOO SO-GE-NAR DANBAI-DE {+***} /0095190/
K6F	OB-TE /0095220/ 0095221/ {+***} NAM-NIC1-H1 /0095220/ JIK-RU NAN-NIC1-H1 /0095224H/ JIK-FU /0095250/ JIK-YI=	/0095220.0095221/ {+***} NAM-NIC1-H1 /0095220/ JIK-RU NAN-NIC1-H1 /0095224H/ JIK-FU /0095250/ JIK-YI=
K6F	U2H	JIK-YI=OB*-TE-JORB-Y-XX-YI=OB-TAR-NE
K6F	U2H	" 739400000000 SAKURAI-SAN-JHA KUDHEN DO-KO-I XXX-#
K6F	U2H	JIK-YI=OB*-TE-JORB-Y-XX-YI=OB-TAR-NE
K6F	U2H	" 739600000000 ZUOTO HINNA TOOKJOO-XXX, #
K6F	K4F	JIK-YI=OB*-TE-JORB-Y-XX-YI=OB-TAR-NE
K6F	K4F	" 965240000000 {+***}-HIO NI-BAHIE-HIO no-n2JDD-SAN-{+***} XXX 'TOKORD-NEE' /0096530/
K6F	K4F	JENHHA {+***},#
K6F	K4F	JIK-YI=OB(OBJ)-TE=JORB-Y-XX-YI=OB-TAR-KEN-NEE
K6F	K4F	" 159900000000 DAA 'HO-BAA-SAN-GA XXX, #
K6F	K4F	JIN-Y-XX-YI=HAS-XI-OBK-TAR-DE-A
K6F	K4F	" 289700000000 HODOTBAI-NI CUGH-YI-OB-DE(TE)-NE-A /0028980/ XXX, #
K6F	K4F	JIN-Y-XX-YI=OB-TAR-NE
K6F	K4F	" 637700000000 HANKANT1-DE XXX-#
K6F	K4F	JUHE-Y-XX-YA-N-TAR-NEE
K6F	K4F	" 718700000000 XXX 'O-GE-NAR KO-O-HC JAR-RU-DAR-KEN, #
K6F	K4F	JJAHE-Y-XX-YI-MAS-{+***}-KEH-{+***}-KA
K6F	K4F	" 100550000000 CIKAKO-20BA-SAN-YDKO-{+***} /0105540/ KO-TOSI /0100550/ XXX, #
K6F	K4F	JJAHE-Y-XX-YI=OB-{+***}-NEE
K6F	K4F	" 100340000000 {+***} MAA NANOO /0100350/ GOKOO /0100360/ TEENEN-DE /0100370/ X
K6F	K4F	" XX, #
K6F	K4F	JJAHE-YI=OB-TE-JORB-Y-XX-YI=HAS-{+***}
K6F	K4F	" KDF 88300000000 HUNI-SAN-GA XXX, #
K6F	K4F	JJAHE-YI=OB-TE-JORB-Y-XX-YI=HAS-RJ-{+***}
K6F	K4F	" KDF 91630000000 XXX, #

K4F	U1F	hJAR-YI-OB-TE-JORt-YY-XX-RUY-NE 295000000000 JA-SiUKO(KO)-DE XXX, #
KCF	K8F / ZHN	hJAR-YI-OB-TE-JORt-YY-XX-YI-HAS-(****+) 104900000000 JA-HN / 01045000 TORII KAKA-DE-HO NIGIJAKA-NI XXX, #
KDF	K4F	hJAR-YI-OB-TE-JORt-YY-XX-YI-HAS-(****+) 898000000000 HAN / 0089800-008900 / h-GENKI-DE XXX / 0089910/ hE(r1)-E(1)-TO S1(SU)-YI-HAS-RU-DAR-DNA-NEE, #
K4F	K4F	hJAR-YI-OB-TE-JORt-YY-XX-YI-HAS-RU-KA-HEE 16630000000 HON(SON)-HAT(HARA) NANO-CJAN GENKI-DE / 0016840/ XXX HUNN, #
U1F	K4F	hJOB-YY-XX-YI-OB-TAR-HJO 40040000000 DO-KYA-CJAN SENDI-DHA-NEE hIRIO-KAI-OA hAR-YY-OB-TE-NE-A / 0040050
K4F	U1F	hJOB-YY-XX-YI-OB-TAR-HJO 40040000000 DO-KYA-CJAN SENDI-DHA-NEE hIRIO-KAI-OA hAR-YY-OB-TE-NE-A / 0040050
K4F	U1F	hJOB-YY-XX-YI-OB-TE 176600000000 HOSOI-REN-KARA HANO KUNIHO-HO XXX hON-YY-OB-TAR-DONO / 001767
K4F	N1 #	or hJUK(DIK)-YA-ZU-NEE DNNN, #
K4F	U1F / H2H	hJOR-YY-XX-YI-OB-HJA 59010000000 DAR-KEDO KOND-DA(DHA) HOKO-1 XXX / 0059020/ HITO-YO hIOSJO-DAR-RE
K4F	N1 #	hJOROKOB-YY-XX-YI-KAS-YI-OB-1-TAR-DESE(LDES)-YY-YVBR-GA-HE-1 88660000000 HAA XXX, #
KDF	K4F	hJUK-YY-XX-RU-HKA 18330000000 SJOD-GAKKO-DEHO HOO DAIGAKU DE-YY-OB-TE-JORt-RU-DAR-KEN / 0018340
K4F	U1F	hJUKTOD-GAKKO-DEHO / 0018350/ DO-KO-DEHO H1 HAA XXX, #
K4F	U1F	hJUK-YY-XX-RU# 17031000000 hJAR-YY-OB-TE XXX, #
K4F	U2H / H8F	hOC1-YY-XX-YI-OB-TAR 69261000000 XXX {****}, #
X8F	K4F	hOC1-YY-XX-YI-OB-TAR-HJO 69290000000 HAA XXX, #
X8F	K4F	hOK-YY-XX-YI-HASE(VAS)-YK-H-DR-YA-YV(YV) -KA 69290000000 HAA XXX, #

K5F	K4F/U1F	273400000000 BA-SOKO(KO)-I KI-GA XXX /0027320/ {****} ;#
U1F	U2H	479K-YI-QB-TE-JOBRE-X-XX-X-1-E(YHNA)-HE(SU)-KA-HI-{****}
U5F	U3F	265100000000 NIJUWU-KUNCI(NIC1)-NO GOZEN-ZUU-ZI-KARA HAULE-SI HAGENOGI-CJO0 OKURISGU-STHANE-RJOC07100-SJO-DE-HO ZONIZIKU SJOOKA-NO HINAN-KUNIE *N-GA XXX ;#
K4F	KDF	2DROH-Y-XX-{****}
U1F	U2H	2DUFUR-Z-XX-{****}-HE
K4F	U1F	2DURR-XX*Y1-00-TAR-GA
U1F	U2H	312HA SHINDO-BIN-DE #
K4F	KDF	2DUMON-Y-XX-Z-RJA
U1F	K4F	317300000000 {****} XXX MOO /0014740/ 5AA DOOMO 5A SINE-YA-N-REN-TE HIN-YI-OB- TIG {****}-YI-HAS-RI-RIU-HE ;#
U1F	KDF	2DUMON-Y-XX-Y1-QB-TAR-DAR-DAH-NE
K4F	KDF	304600000000 ZIBUH-GA {****} /0080470/ {****}-BA-TG 'HONOR-YI-OB-TE HIK-YA-YV YVBT)7D XXX ;#
K4F	KDF	2DUR-Y-XX-{****}
K4F	KAH	169920000000 DE KJUURJOO-HO HJASU-I-TETE /0017000/ TE HJH-YI-OB-TE XXX ;#
KCF	KDF	454500000000 ZUN HUTARI* XXX ;#
KCF	KDF	104540000000 RA KO-KO-NI XXX ;#
KOR-Y-XX-{****}-HON(HONO)-DESE(DES)-&Y(YWU-7JO		
U1F	K4F	147600000000 RHH {****} HAA HENZI-DWA SCR-NAR NOBINOB1-DEHC TE(01)-E(11)-I0 H0H Ob-YI-OB-TE-DWA XXX ;#
K4F	KDF	2DUR-Y-XX-RH-{****}
K4F	KDF	830100000000 YENKJUU-TE H12-X-REBA KHA HOSEE-NO /0083820/ NI XXX DAIGAKU-{***} +1 {++83830/ {****}-YI-OB-TE-NHEE /0083840/ KENCHIKU-KNA-NO MANTAN1)-DE ;#
U1F	KDF	850100000000 TOHARI-NI XXX ;#

K4F	ノリ-ヤ-XX-RU-DE-NEE U2H/KBF	597000000000 {****} ハナ ハナ00 {****} / 0059710/ HORI-YA-NO NEE / 0059720/ GA HA
	Y A HINSHIN-DE ハニシニ-DE	
K4F	ノリ-ヤ-XX-RU-KEN KDF	913500000000 {****} ハナ-RE-GA XXX {****},#
K4F	ノリ-ヤ-XX-RU-KEN-{****} KDF	913100000000 {****} ハナ-BABA-HO XXX, #
K4F	ノリ-ヤ-XX-RU-TO-NEE KDF	939100000000 MOD SUM-ヤ-OB-DAR(TAH)-TEIE ハナ-ヤ-OB-TE-NEE / 0093920/ {****} XXX #0093910/ 0093940/ HATIA / 0093950/ ANDIO / 0093960/ SONO / 0093970/ NAKANAKA / 0093980/ ZUOTO MASUSU GE HUKI-HI-NEE, #
K4F	ノリ-ヤ-XX-RU-# U1F	169400000000 DAR-KEN ハナ(ハ)ーE(1) TOKO-I DE-YA-OB-TE XXX, # U2H 2851000000 XXX-1#
K4F	ノリ-ヤ-XX-RU*-{****} KDF	846100000000 ハナ(ハ)ーRU-NODE KO-QCI-I DE-YA-OB-TE DINA SINCIKU SI(SU)-YA-OB-TE XXX, #
K4F	ノリ-ヤ-XX-RU-KAKO TE XXX, #	ノリ-ヤ-XX-RU-KAKO KAKO 189500000000 DANO {****} ハナ-トヨタ SAGAS-YA-DB-TE XXX SIR-YA-N-KEDO ZHAKAR- YA-N-{****}, #
K4F	ノリ-ヤ-XX-2-RE#BA KDF	920300000000 {****} HOO DATAMI-DAJAHAI-DAR-KEN-NEE / 0092840/ HICU KHAQ-TO SI(SU) ヤ-ヤ-OB-TE ハナ オ-ガ ハガル-ル*イ-DAI / 0092850/ DO-GF SU-FUM-DAI / HAKARA-ヤ-ル-DOMO-NEE / 0092860/ {****} KO-NO-HAKA SI(ZUKA)-NI CIANTO SI(SU)-YA-OB-TE XXX / 0092870/ 0092880/ DAHO SD-QE K, UU-NI D00-OTETE, # UJUT(1)I-RU KOTO-HANA HA-1-DA / 0092910/ HA-1-HA-TO RUMON-ヤ-DB-TE {****}, #
U2H	ノリ-ヤ-XX-YA-H-SENA U1F/KBF	71500000000 {****} / 0071510/ XXX, #
K8F	ノリ-ヤ-XX-YI-HAS-YI-OB*-TAK-GA KAM	453700000000 DANO-NEE HUCI-ハジCI-ヒ-DO TDHODACI-GA HUTARIK XXX, #

K8F	KCF	104640000000 NOKJOO-HI / 0104650 / XXX, #
KDF	K8F/K4F/UAF	83640000000 SO-RE-DE SENSE-DHA DATGAKU DUKE- {***} NAR-YI-OB-TARA HUCUU-KHA-I HAI-RY-E-RJA ဂျိုလ်မှ-KAR-YI-OB- TAR-HI-HAA-TE နို-၏-OB-TE XXX {***} DAIGAKU ဗီ-၏-EGUCHA)-HE(SU)-Y-A- N- {***} {***}-KEN, #
K4F	KDF	NOK-Y-XX-YI-OB-TAR-SOO-DAR-KEDO UAF
K4F	KDF	14880000000 ဒေါ် NAKA-I DANO SO-HO HANAS-YI-ARBY-YY1-OB-TAR KATA-HO / 0014890 / H ADA နားနှင့်YI-OB-TE DOR-YA-NKARA / 0014900 / CJOODA ဟာ DAKURU-IT-GA SJUOCJO-DE-HE / 0014910 / MADA DAB-AYI-OB-TE DOR-YA-N-KARA DANO HATA ဗား-၏-OB-TE (OB)-TE HI-RUA-TOKA ဗား-၏-OB-TE XXX, #
K4F	KDF	NOK-Y-XX-YI-OB-TE-A KDF
K4F	KDF	64180000000 HUN SO-RE-DE-DOH-NEE / 0084190 / NANDO-SO-HO NOK-HITO-DHA NIISAN - {***} HOOSSE {***} / 0084200 / 0084210 / 0084220 / SO-RE-DE-KARA XXX / 0084230 / S - REH-KARA DOTOTO-SAH-NA-HEE / 0084240 / TODDAI DAR-TO-NE, #
U1F	KOF	NOSINE-Y-XX-RU-DHA KOF
U1F	KOF	62980000000 ဘေး အEGG-BAKARI-KA-HE XXX #DAR-YI-OB-TAR-JKA-NE-1# NOSIH-Y-XX-{***} KAF
U2H	KAF	64450000000 SEKAI-KARA XXXII NOSIH-Y-XX-YI-OB-TE
K4F	K2H/K8F	64440000000 SEKAI-KARA / 0064450 / ZEN-SEKAI-KARA XXX {***} # NOSIN-Y-XX-YI-OB-TE-NEE U2H/K8F
K4F	KAF	64420000000 ZENKOKU-KARA XXX, # NOSIH-Y-XX-YI-OB-TE-NEE
K8F	KAF	64390000000 XXX ဗိုလ်-KARA, # NUCUS-Y-XX-YI-OB-TAR UAF
K4F	KOF	17410000000 SO-RC-DE ဗုံ-MIIJJA-SAN-DA ဘယ်-1-DAR-KEN-NE {***} HOKA, Hooto Si HO-1 XXX, # NUGOK-Y-XX-YA-NA-D5-TE-NEE
K4F	KOF	005010/ XXX / 005050 / TAHEN {***}, # NUH-Y-XX-NU-DAR-KA-NE
		85031000000 (***), # NANDO ဗုံ-KAA-SAH-GA {***}, # ဗုံ-NUC UK-YI-OB-TE / - JORT-YI-OB-TE /

K8F	K9H	KARI*~*YI~OB~TE~JGRB~*~XX~*YI~OB~TAR~NO Y~*YVVE~#	427800000000 SENDO SHATASI~NO NAMADEE~DE XXX KADESH~Y~RAREH~YI~OB~TAR~DESE (DES)~
K8F	K9H	KARI*~*YI~OB~TE~JGRB~*~XX~*YI~OB~TAR~NE~A	428000000000 XXX /0042810/ KAKA~NO HITO~GA~#
K9H	K8F	KARI*~*YI~OB~TE~JGRB~*~XX~*YI~OB~TAR	429400000000 HINJA SHINA DANOO XXX SITO~HUA~#
K5F	K4F,U1F	KI((KU))~*~XX~*YI~MAS~RU~DAR~X~*~UYVD~KEN / SO~RE~DE KEE HATA DAN DIK~YI~OBH~TERO. DHARU~I~KA~HD SIRE~*~K~N~TO SHOND~YI~MAS~YI~OB~TERHEE CIOTO ~DAI JO~ZANA~DOS~#	{***} KOO HARASAN~HUA NANKA XXX /0026980
K8F	U1F	KI((KU))~*YI~OB~TE~JGRB~*~XX~*RU~NE~A	436000000000 MAIA HICU~HO XXX. #
K8F	K1H~SE(SU)~*~XX~*YI~OB~TERO	KIHU~SE(SU)~*~XX~*YI~OB~TERO	303400000000 SHIDE JO~KANE KIHU~SI(SU)~*YI~OB~TERO /0030350/ DA DA NA~I SINAHONO
K4F	U1F	XXX {***} /0030350/ {***}, MAIA HARIO HURUSKI~GA {***}. #	
K4F	U1F	KIK~Y~XX~*YI~OB~TAR	445900000000 DON~HAR KOTO~DO XXX DIRIDIRO KEE HIO(hi)~VVB {***}. #
K4F	K4F	KIK~Y~XX~*YI~OB~TAR~DESE(DES)~*~A~VVB~KA	145800000000 SHIDE DON~HAR KOTO~DO XXX#
U1F	K4F	KO~Y~XX~*YI~OB~TE~YEE	636810000000 {***} XXX. #
K4F	K8F	KO((KU))~*~XX~{***}	
K4F	KDF	KO((KU))~*~XX~*YI~OB~TAR~DESE(DES)~*~A~VVB~KA	921000000000 BANHO~GA~NEE /0052210/ KO((KU))~*~RARE~*~A~N~HAZU~DAR~YI~OB~TAR~OD~
U1F	O NAN~DAI	O NAN~DAI {***}~HUA NAN~DAI~{***} /0092220/ XXX. #	
K4F	U1F	KO((KU))~*~XX~*YI~OB~TAR~DESE(DES)~*~A~VVB~KA	171900000000 HON(HON)~DE DANOO XXX. #
K8F	U1F	KO((KU))~*~XX~*YI~OB~TAR~DESE(DES)~*~A~VVB~KA	679200000000 NANJ SI(SU)~*YI~NI XXX. #
U2H	K8F	KO((KU))~*~XX~*YI~OB~TAR~DESE(DES)~*~A~VVB~KA	739200000000 SHIMA SAKURAI~SAN~GAN~GO /0073930/ NINA MATORA~I~OB~TE XXX. #

K8F	KOKUJ-#-XX-RUE-NE	U1F/YKDF	107831000000 HATA NUR-#I-#I XXX, #
K8F	KOKUJ-#-XX-RUE-NE	U2F/U1F	67880000000 KANBA-NO DINKJO-SAN NANI SI(SU)-#I-OB-#I XXX, #
U1F	KOKUJ-#-XX-RUE-NE	K8F	74120000000 (****) HIN-#I-OB-DE(YE)-DHA HATA XXX, #
K4F	KOKUJ-#-XX-N-HAZU-DAR-#I-OB-TAR-DON	K8F	92100000000 BANNO-GA-NEE /009210/ XXX PAN-DAI (****)-DJA NAN-DAI-(****) /009
U1F	KOKUJ-#-XX-N-KEN	K1F	212V KOKUJ-#-RAREN-(****), #
U1F	KOKUJ-#-XX-N-KEN	K4F	(****) SAKI-DAR-TE-(****) HEIZI-HO TEHA-GA DIR-XI-HAS-RU-DR-#H-NE, #
U1F	KOKUJ-#-XX-N-K-TE	K4F	14670000000 (****) ZIBUN-DE HADA (****) SUGU HA NANI SI(SL)-#I-OB-TARI XXX {
K8F	KOKUJ-#-XX-XI-E-O(DHA)-HE(SU)	K1F	15940000000 HOKU-SAN-GA TOOK-JOO-I MIK-YI-QB(08)-TE #I-XI-CB-TE HADA KADER-#I-
K8F	KOKUJ-#-XX-XI-E-O(DHA)-HE(SU)	K4F	OB-TE XXX, #
K8F	KOKUJ-#-XX-XI-MAS-RU-DES(DES)-#X-H-YU/F	K1F	57490000000 (****) HA-#I HA-#I TE HIN-#X-RARE-#I-OB-#I-#UC1-(****) #UC1-(****) XXX, #
K8F	KOKUJ-#-XX-XI-MAS-RU-KA	K4F	54130000000 HON(SON)-N(HARA) HATA XXX, #
U1F	KOKUJ-#-XX-XI-MAS-RU-KA	K4F	12410000000 HUNAKOSI-HIO HAZI-SAN-#H-#I XXX, #
U1F	KOKUJ-#-XX-XI-MAS-RU-KA	K4F	12430000000 (****)-SAN (****), #
U1F	KOKUJ-#-XX-XI-MAS-RU-KA	K4F	12040000000 HINA HOO KADER-#I-OB-#I-TE XXX, #
K8F	KOKUJ-#-XX-XI-HO	U1F	60500000000 HAA DJOKI-#I NAR-#I-OB-#I XXX SE(SU)-#A-DAR-#I-OB-TAR-NEE 20-KAA -CIAH, #
K8F	KOKUJ-#-XX-SI-OB-(****)	U1F	107230000000 HOKA-KA-SUJIN (****) KONO DOUR-YI-#I XXX, #
K4F	KOKUJ-#-XX-#I-OB-TAR	U1F	17191000000 SO-RE-KARA KISUKI-DHA TOSIKO-TQ /0017200/ SO-RE-KARA HUKO-SAN-G

K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-TAR-GA	A HAN 2OSIKAKE-#I-OB-TE K1(KU)-#I-HAS-#I-OB-X-TAR-#HIA-TE-#IOTE XXX /0017210/ #HN:#
K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-TAR-{****}	889000000000 HAN0 K0-K0-I MADORESU /0086910/ #UR-#I-NI XXX:#
K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-TAR-{****}-A	360700000000 GOHEN-KUDASAR-#-#(RE)-TE S1#-GA XXX:#
K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-TAR-MNA	1072310000000 {****} JUR-#I-K XXX:#
K0F	J1F-K0T	1078100000000 SO-RE-DAR-DOHO {****} #UR-#I-NI XXX KONDÔ-#HIA DO-GE {****}-D
	A1-#E-A:#	
K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-TAR-DES-#H-KA	
K0F	U2H/K0F /U1F	797900000000 SENS-#HIA KJ00 XXX:#
K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-TAR	1030200000000 SAKI XXX ha-#O HOKUSAN DO-HO {****}:#
K0F	K0(KU)-#-XX-#I-OB-#E-A	026600000000 BH-#I-#E-A {****} SUIGE-#HIA #HAN0 SENSE-#O-H-E-A {****} HUHUH-ZUR
K0F	K0F/U1F	E#CURE#-#I-{****} XXX /0082690/ SO-#EN-KARA HOCU-#I haGAR-#I-KOH-#I-OB-DE(TE)-NE-A:#
K0F	K0(KU)-#X-#I-OB-#E-A	129200000000 {****} RUSSU-CJUU-NI XXX /0012930/ SO-RE-GA #HATSI-GA KAHE-#HUX H
K0F	A#E-#H-#D#-#I-#Y-#O-#TAR-SOO-{****}	KOSTRAHE-#-XX-#RU-DAR-KEN
K0F	K0F	62000000000 {****} DE(KI)-E(I)-DAR-DOHO /0062010/ HURO-Ba-#HIA NANCHAN1)-#H TA
K0F	T-RU-DAR-KEN-HEE	#0062020/ DECU-HI XXX /0062030/ NAN-DAI WIGEN-GA ZHARUK-#-(****);#
K0F	KUP-#-XX-{****}	KUP-#-XX-{****}
U2H	K1F	1022300000000 {****} XXX NANBO-DEHO:#
U1F	KUP-#-XX-#A-N-#HIA	11750000000 {****} XXX:#
K4F	KUP-#-XX-#A-N-#HKA-{****}	U2H/K0F
K4F	HAI-R-Y-#A-N-(****)-KA	102220000000 {****} SO-GEN KO-GEN XXX:#

U1F	KBF	659200000000 SAN-NEN-KAN XXX#
K8F	HAIR-Y-XX-YA-N-TO U.F	657910000000 SO-RE-DE SAN-NEN-KAN-({***}) XXX'KO-TOSI HAIR-YI-OB-TE-JOKO-YI-NA- TE.#
K8F	HAIR-Y-XX-YI-HASE (HAS)-YI-NA-NE U2H	661000000000 NAN-DE-TE HISOGASI-I-DAR-KEN XXX SO-GJAN :KOTO.#
K4F	HAIR-Y-XX-YI-OB-TAR-GENA-KEN-NEE KBF/U1F	60/ SD-RE-KARA HANA HAIR-YA-N(MA) NAR-YA-N-TO HIN-YI-OR-TE XXX {***},#
K4F	NAKURE-#-Y-XX-YI-OB-ITAR U2H	415600000000 HAA SONOO XXX TOKI-N'Y0041690/ HISI-GA DIMA-YADE HUGOK-YI-OB-TE- JOKT-YI-OB-TE HUGOK-YA-N-({***}) /0041700/ 000-SAHAG-YI SE(SU)*Y-RADHEN-YI-OB-TAR-{***} /0041710/ {***}
K4F	NAI-YI-OB-TE-JOKC-YI-HAS-YI-OB-ITAR-BJ0 KDF	1050200000000 XXX HIN-YI-OB-TE HIN-YI-OB-TE-JOKC-YI-OB-TAR,#
K8F	HI-Y-XX-YA-N U5F	103400000000 HOG-HI-YA-NAI HI-YA-NAI XXX#
U1F	HI-Y-XX-YA-N-DEE K4F	373410000000 {***} KAOI XXX nAR-YI-HASE(NMAS)-Y-A-N-NKA#
U1F	HI-Y-XX-YA-N-DEE U1F/U2H/K8F	663600000000 TERE#BI-HD XXX, #
K6F	KODOS-Y-XX-YI-OB-AR-TE KPH/U2H	426600000000 HJDONJAKU XXX, #
K4F	HOMAJ-Y-XX-RU-DAR-DJA U1F	184300000000 {***} HADA HENZJO-GA XXX DO-GE=DAR=DA HnHAKAR-YA-N-{***} {***} > /0018440/ DNN, #
K4F	HOMAJ-Y-XX-RU-DAR-KEN-NEE K8F	014320000000 DO-GR-DAI ISO-RE-HODO ZHISAN-GA THR-YI-OB-TE XXX, #
K8F	KOHAN-Y-XX-Y-MAS-RU-{***} K2H	351800000000 HOM(SON)-MA(NARA) KOHDA KAKE-YI-OB-TE XXX, #

K4F	KAHAD-YY-XX-YI-OB-TAR-GA U2MK8F	597500000000 (((+*+))-NO NAN(NANI)-GA KEEN((KEENIC))-(CAN(SAN))-NO NJOSI XXX.#
U4F	NAHOS-YY-XX-YI-OB-TAR K8F 1.#	620700000000 NAME-NO HURO-GA BAR-RUKEN XXX (((+*+))/0062000/GASU-BURO(HURO)-N
U1F	NAKHAR-YY-XX-YI-OB-TE-NEE KDFK8F	103150000000 (((+*+)) SO-NO HA-HO-SAN-NO DAINA-SAHI-DHA TOO-HI XXX;#
U4F	NAH-YY-XX-((+*+)) KCF #	105470000000 (((+*+))-NEE /0105480.0105490/ GO-hJG0Z1-NI noise=YY-NI XXX (((+*+)).
KFF	NAH-YY-XX-FU* U1F	98190000000 HOO CJUGAKU-SEE-NI XXX;#
K6F	NAH-YY-XX-YY-MASS-YY-OBH-TAR-NE K9H 1#	42730000000 DJAMANDUQ(CHAHAONUCI)-(CAN(SAN))-DHA MIGU-KARA KAO KAKARI-NI XXX
K0F	NAH-YY-XX-YY-MASS-YY-OBH-TAR-NE-A K4F	80370000000 DANO (((+*+))-SAH-DHA NAME-KURAI-NI XXX-1#
K0F	NAH-YY-XX-YY-OB-TAR KDFU2F 1#	82080000000 DO-KO-DE M10SJO-HI XX:#
K0F	NAH-YY-XX-YY-OB-TE-A U2MK67U1F	61330000000 C:0CH0 hATA zJATANDUQ(DJA-THONUCI)-(CAN(SAN))-TO M10SJO-NI XXX;#
K4F	NAH-YY-OB-TE-JORD-YY-XX-NU-NEE K8FKU* HE-YY-XX-RH-MA-HE K47	82630000000 MURON-GA M10SJO(K) M1 XXX;# 756001000000 ((-T,-O,-C';H, H, H, MPO-HI) XXX;#
K6F	HE-YY-XX-YY-((+*+))-HEE K8F	109090000000 SH-GLH: (((+*+)) XXX;#
K4F	NUH-YY-XX-#1,MAS-NU-DIA-NEE K4F	93361000000 (((+*+)) SO-RE-UAKHU HI-TORIK-DE KUSURI# XXX;#
KFF	NUK-YY-02-TE-JORD-YY-XX-YI-OB-TAR-GA K4F	93361000000 (((+*+)) SO-RE-UAKHU HI-TORIK-DE KUSURI# XXX;#

/00200000/ SO-R-EK-KARA DA-SNOOK(+) NO NANDO KARACU-JA-I-O SAN-GEN(KEN)-ME-DAI-NI-HG HODOKI-I MU MISE
 KA1200-S1(SU)-YI-OB-TIE-HEE /002009/ C3000 SUHOU-ND-MISE-HO-HJOO-NI XXX /002010/ DNN, #
 S1(SU)-YI-OB-TIE-JRb-Y-XX-nU-DHd-Ht
 621500000000 DJIMA BEON-JG-GA HADJAR-RU-DA? -KEH /00202160/ SO-GE-NAR DA KANGABE-D
 K4F
 E HUKUD-DAKA XXX, #
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-y1-HAS-RU-GA
 K8F
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-nUH-(****)
 K8F
 DHA HANTA (+**+) DAHAR-21-OB-TE DAHAR-21-OB-TE SIR-YA-N-KAO XXX, #
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-nUH-DAR-KEH-NEE
 KDF
 808400000000 BHAGA (+**+) NORAD-YI-OB-TE /0080850/ SD-RE-KARA CIKA-GOROFKORO) -
 DHA HANTA (+**+) DAHAR-21-OB-TE DAHAR-21-OB-TE SIR-YA-N-KAO XXX, #
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-nUH-DAR-KEH-NEE
 KDF
 910800000000 SO-GE S1(SU)-YI-OB-TRA MOU SJIGAN CJOGO NI-31-OB-TE-NEE /009109
 O/ 20-2JUJUAN-HO (+**+) -DAT-REN-NEE /009110/ DA KO-BHJAJ(HADAJ)-NI TABE-21-OB-TE /009110/ HO(SD)-R
 EA-KARA NE-YI-0H-TE DOKI-(****) NE-YI-0H-TARIK DOKI-YI-0H-TARIK /009120/ XXX, #
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-(****)
 K4F
 U2b/YQF/YUF
 K4F
 389910000000 KA NOBA-C-JAN-ZHA DIMA P00 NANI XXX-#
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-nUH-Ht
 KDF
 105500000000 (+**+) JAJAKUBA-ND KOTOKUKAI-SA4 XXX DJIMA, #
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-nUH-DAR-KEH
 KEF
 U1F/K4F
 809400000000 20-2JONHE-SAN-NO SA HE(?) -E(1)-DJAH-NI XXX (+**+) , #
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-(****)
 K4F
 U2b/U1F/K4F
 745300000000 (+**+) KATA DANNA-SAN-DA(DNA) NANI XXX-#
 KCF
 U1F
 S1(SU)-YI-OB-TE-JORb-Y-XX-YI-OB-TAR
 +*) S1(SU)-YI-OB-TE
 S1(SU)-YI-XX-nU-Ht
 K4F
 KDF
 885600000000 SO-RE-HADE-NI HKK-XA-00P((WV)) -O 20-2JONHE-YI-OB-TAR-DORD /0086570/
 MA XXX DJKE-XA-N-GA-YO DOKOHD-YI-OB-TAR-DOJO-NEE /0088550/ DHAKIKHAI SINZO-GA TAKIKA-NAR-KEH-(****)
 /0086570/ SO-GEN TAISITA NAN(NAN1)-DA IKA-I-(****) (+**). #

K8F	SIN-¥-XX-¥1-E0 {N!A}-HE {SU}-¥A-ÑJO K4F	73400000000 HIZNAZ-¥1 SE {SU}-¥A-ÑJA ÑO-BÅ-A-CJAN XXX.#		
KDF	SIN-¥-XX-¥1-E0 {N!A}-SI {SU}-¥1-HASE{MAS}-¥A-N-DAR-KEN-NEE K4F	93560000000 HIZNAZ-¥1 NAN-ZO DHAZURAD-¥A-ÑA XXX.#		
KEF	SIN-¥-XX-¥1-E0 {N!A}-SI {SU}-¥1-HASE{MAS}-¥A-N-DAR-KEN-NEE K4F	08940000000 HAA DA-NO 'HOO-CMITSAM /#0088950/ XXX.#		
SIR-¥-XX-¥A-N-DAR-DHO-NAA K4F	U1F	30740000000 {***} ÑOTTO-CAN(SAN)-ÑHA XXX.#		
SIR-¥-XX-¥A-N-DAR-KEN-NEE U1F	K4F	13510000000 HIZNAZ-¥1-OB-TE-JOKO-¥A-ÑA XXX.#		
SABE-¥-XX-RO-51 K4F	K4F	38980000000 SABE-RU# KOTO-HD XXX /#038990/ TABE-RU KOTO-HD#		
TABE-¥-XX-RU-ÑJA-N(N!) K5F	K4F	25191000000 ZIKI XXX NAR-¥1-HAS-TU-KEN.#		
TABE-¥-XX-RU-TORO K4F	U1F	13500000000 HAA XXX RANBO-DEMO ,#		
TABE-¥-XX-¥1-MAS-RU-KA U1F	K4F	13491000000 DE XXX-1#		
TABE-¥1-03-TE-JORG-¥-XX-¥1-OB-TAR-GENA K4F	U1F	30700000000 BAKUTAI KANE XXX.#		
TANOH-¥-XX-¥1-OB-TAR-TOKO-1 K3F	U1F	"HON{MONO}-DAR-KEN-NE-A.# TANOH-¥-XX-¥1-OB-TAR K5F	11560000000 SD-RE-DE SITO-CU-ÑJA HUTA-CU {***} XXX POT-¥1-OB-TE-1-KO{ñIKI}-RU TATE-¥-XX-RU-SI-TE-NE-A K4F	22560000000 PAN-ÑJA-SAñ {***} CG1HOTQ-ÐAN-ÑJA {***} XXX .#
TATE-¥-XX-¥1-HASE{MAS}-¥A-DE K5F	K4F	59950000000 HIZNE-ÑJA-NARAKA-NARA ZATO-DE-DEHO XXXIX# TATE-¥1-03-TE-JORG-¥-XX-RU-DAR-ÑOU(HØPØ)	27210000000 HICU-KOSO TATE-¥1-MAS-ÐUNJAJA ÑOKUSAN NAKANAKA XXX.#	

K4F	KAH	540900000000 HINNA HIE XXX.#
U1F	TODOR-#-XX-DE-NE-A	286400000000 DA XXX.#
K5F	K5F	286500000000 NAA KE KO-KO-GA XXX#
K4F	TODOR-#-XX-#-N-KA	287000000000 SO-KO-DHA XXX#
K6F	TODOR-#-XX-#-A-DE	723500000000 DATA: XXX.#
K5F	UIF/K4F	233200000000 SO-QI-N ANAO XXX TOKO TORR-X-RJA SIKAR-X-RARE-FU-KEN DHASI-JAT#
K5F	HAI HAT-O-GAIR(KAIR)-#-I S1(S1)-#-I-K-NS-RU-DA-TE-#-I-QB-TARA DE(D1)-E(I)-G-A-HE (+++)#	AR-X-I-OB-TIRA KO-HI-OO NOHO-SAN(SAN)-GA HANOO TORR-X-RE-#-TE HIA-X-RARE-X-I-OB-TAR-KEN-E-MIN-#-I-OB-
K6F	TODOR-#-XX-#-A-DE	TE HIA-X-I-OB-TE-#-JORD-X-RJA AE(H1)-E(H1)-DHA.#
K5F	UIF/K4F	231800000000 (+++) HI-X-I-OB-TE-JORD-X-I-QB-TARA HOTO-QA TORR-X-RARE-X-I-OB-TAR
	-NOHO(TONO)-DAR-(++)#	-NOHO(X-I-OB-TE-JORD-X-I-QB-TARA HOTO-QA TORR-X-RARE-X-I-OB-TAR)
U1F	KE HONNI XXX /0023390-0023200 (+++)#	/0023210/ KE HONNI TORR-X-RARE-X-I-OB-TAR-NE-A /0023190-0023200/
K5F	TODOR-#-XX-#-A-DE	-RU-DAR-DHA-TO NOHO(X-I-OB-TE-JORD-X-I-QB-TARA HOTO-QA TORR-X-RARE-X-I-OB-TAR)
K4F	UIF	152700000000 XXX.#
K4F	TODOR-#-XX-#-I-WASE(HAS)-#-A-H-DHA-HE	152610000000 DATA-(++)#
U1F	K4F	231600000000 (+++) HI-X-I-OB-TE-JORD-X-I-QB-TARA HOTO-QA XXX /0023390-0023200/
K5F	UIF	(++)#-TO NOHO(X-I-OB-TE-JORD-X-I-QB-TARA-NE-A /0023210/ KE HONNI TORR-X-RARE-X-I-OB-TAR-NE-A /0023200/ SO-KO HONSON) HARA HATO-GAIR(KAIR)-#-I SIKUSI-#-I-QB-TE HANOO (+++)# HANMAR-ZIDOSAJA#
K4F	TOH-#-XX-(++)#	710300000000 (+++) ROKUDON-DHA XXX.#

U2H	TOR-YY-XX-RU-DAN-YA-AAA	26790000000 ROKU-DE-N-KURAI XXX. #
U5F	TOR-YY-XX-YY-MA-S-RU	27770000000 SO-RE-DE NJOKE XXX. #
K5F	TOR-YY-XX-YY-MA-S-RU-BJ0	27790000000 HUN XXX. #
K4F	TOR-YY-XX-YY-MA-S-RU-BNA	
K5F	K4F/U5F AS1-N-DAR-KEDO /0022770/ -ZEE-TIA XXX /0027710/ NJOKE. #,	27690000000 HUCI-RAC1-JBT(BNA) MAH-DAI SO-GE-N {***} DAR-MI-S1(SU)-#-I-NASE{H AS1-N-DAR-KEDO /0022770/ -ZEE-TIA XXX /0027710/ NJOKE. #,
K4F	TOR-YY-XX-YY-MA-S-RU-DESE(DES)-#-A-YY#	27690000000 ZEEKIN-GA ZUIBUN NANOO NAN(NANI)-DESE(DES)-#-A-YVB-NEE HAA XXX. #
K4F	TOR-YY-OB-TE-JOKU-#-XX-RU-TO-NEE	86840000000 ZIMA-GUNO(KORD) XXX /008685/ HE(71)-E(1)-NI-#EE HUOCIDEN-NANKA- DNA-NEE. #
Q,DREK-		
KDF	BAJAKU-SE(SU)-#-XX-#-DE-NEE	83250000000 {***} SONO NANOO NAKANAKA SO-RE-GA XXX /0083260,0003270/ HENZI-G K4F A KANE-#-I-NASE(MAS)-#-A-N-DAI-#-E-A. #
KDF	BAJAKU-SE(SU)-#-XX-#-N	
KDF	U1F/K5F/K4F	83130000000 {***} HAA SO-RE-GA NAKANAKA XXX D15-YI-#OB-TE-NE-#-A. #
KBF	SE(SU)-#-XX-RU-DA	85290000000 DO-KD-DE XXX SIR-YA-N-GA. #
KBF	SE(SU)-#-XX-RU-TO	
U5F	IND	74560000000 HARA SOODAN XXX. #
U5F	SE(SU)-#-XX-RU-TO	74700000000 KAHI-SAH-OA DJOR-YI-#OB-TE SOODAN XXX. #
KBF	SE(SU)-#-XX-Y-#-I-#-O2-TAR	52790000000 TAGTA KJUUZUWUGO-#EN-#IKA BHATASI-NI {***} XXX {***}. #
KBF	U2H	
SE(SU)-#-XX-Y-#-I-#-O2-TAR		

U1F	K4F SE(SU)-*XX-#I-HAS-#I-OB*-#I-AR-#E	298600000000 HOB-A-SAN-TOKO-#I-ACT-I-AE(#HA) TOTENO HE(HI)-E(I) HOOK-E-YI XXX, #
KDF	K4F SE(SU)-*XX-#I-OB-TAR-#***	103700000000 HNN TAISOKU XXX, #
K4F	U2H A-HADE HUGOK-#I-OB-TE-JORD-#I-OB-TE JUGOK-#I-OB-TE JUGOK-#I-OB-TE /0041700/ HAR-YI-#B-#AR-#E	416800000000 HAA SONOO HAKURE-#I-RARE-#I-OB-TAR TOKI-NI /0041690/ HOB-SAHAG-YI XXX /0041740/ {***} KO
	RARE(X)(RARE*)-	
	SE(SU)-*XX-RU-NE	
K6F	K4F/U2H/U1H SE(SU)-*XX-#I-OB-TAR-#I-OB-#I-AR-#E	681500000000 NAN-SITE HA-#E-{***} KOTO {***} HIHAR XXX-#
K6F	K4F/U1H/K4F SE(SU)-*XX-#I-HAS-#I-OB-#I-AR-#E	930800000000 {***} XXX, #
KDF	K4F SE(SU)-*XX-#I-NAR-RU-DAR-XEN-#EF	906200000000 SO-RE-JA(#HA) HI-I KOTO XXX, #
KDF	K4F SE(SU)-*XX-#I-OB-TAR-#JO	932210000000 NAN-{***} ZAJZA XXX, #
K6F	K4F/U1F Ri-	866500000000 HAO-NEE CJANTO HE-YI-OB-TE-{***}-TAISACU XXX, #
U2H	K4F RU-	703-#-SAOSUAR-XX-#A {***}-DAR-YI-OB-#I-AR-MON(HONO)-DES-XX-KEN {***}-DES-XX-{***}
KCF	U2H KAM	766800000000 KINOU KOTOZURE-#I-#JO /0076690/ KINOO XXX, # {***}-DES-X#-DAR-#HA-NE
KSF	K4F/U1F {***}-DES-XX-#A	463400000000 SO-#N HITO-HO XXX, # 227800000000 HAAH XXX, #
KFF	U1F	97520000000 MINNA GENKI XXX, #

3.3.2. 65 MATUE 7 B。

リクエストした諸項目のうち、DAR, DES, MAS, NASAIMAS, NASA-INS, NASAR, RARE, SAN についての処理結果の中から、U1F(主婦)を話し手とし、K5F(野菜売りの婦人2), K8F(長女), K9M(山陰合同銀行員), U2M(主人)を聞き手とした、四つの場合を例として示す。0. 4. 2. Ⅲ—5, 2. 3. 3. 7) (⇒参照。ただしここでは、印刷の都合で、ラインプリンタからの output の形式そのままではなく、同じ内容を組みかえて示した。

U1F : K5F

DAR-		
× ×-KEN		00228700000000
カATAR-¥I-MAS-RU-× ×-(+++)-NE		00230110000000
NAMA-ZUKE(CUKE)-¥I-× ×-GA-NE		00261500000000
カAN-NAR-× ×-KEN		00287300000000
カE(カI)-E(I)-× ×-カWA-NE		00288800000000
DES-		
SO-GE-× ×-¥I-OB-TAR-KA-I-NE-A		00215800000000
SO-GE-× ×-RU-KA		00219200000000
SOO-× ×-RU-(+++)		00230700000000
カJO(カI)-KAR-¥I-OB-TAR-× ×-RU-GA-NE		00234300000000
SOO-× ×-¥I-OB*-TAR-KA		00254200000000
カI-I-× ×-RU-KA		00260700000000
KIRAI-× ×-RU-GA		00265700000000
MAS-		
SUM-¥I-× ×-¥I-OB*-TAR-KA		00213800000000
DE-¥I-OB-× ×-¥I-OB-TAR		00215300000000
SUM-¥I-× ×-¥I-OB-TAR-NE		00220110000000
MORAカ-¥I-× ×-RU		00223400000000
CUKE-¥I-× ×-RU-カWA		00224100000000
カATAR-¥I-× ×-RU-DAR-(+++)-NE		00230110000000
MASE (MAS)-		
カAR-¥I-× ×-¥A-N		00222700000000
NASAINS-		
カATAR-¥I-× ×-¥-RE		00216320000000
NASAR-		
カAGAR-¥I-× ×-¥-I セ (RE)		00212300000000
カATAR-¥I-× ×-¥-I セ (RE)		00215110000000
HII-¥I-× ×-RU-カWA-NE		00220700000000
カATAR-¥I-× ×-¥-I セ (RE)		00221900000000
カATAR-¥I-× ×-¥-I セ (RE)		00222410000000
カATAR-¥I-× ×-¥-I セ (RE)		00226300000000
DE-¥I-× ×-RU-TO		00231200000000
TABE-¥I-× ×-¥-I セ (RE)		00270800000000
SAN-		

カOBA-× ×	00211000000000
カO-KJAKU-× ×-(+++)	00216500000000
カO-KJAKU-× ×-DA	00222700000000
NAN-DAI-× ×	00224800000000
MACUBABA-× ×	00225400000000
カOBA-× ×	00230100000000
カOBA-× ×	00235700000000
カOBA-× ×	00254500000000
カOBA-× ×	00268600000000
カOBA-× ×	00269100000000
カOBA-× ×	00281100000000
カOBA-× ×	00282400000000

U1F : K8F

DAR-

(+++)-× ×-カWA-NE	00354100000000
SUTEKI-× ×-カWA	00357300000000
カWAKAR-RU-× ×-DOMO	0043000000000C
KIRE*E-× ×	00437800000000
SOO-× ×	00440300000000
SU-RU*-× ×	00441300000000
NAN-PONDO-× ×-NE	00443000000000
NAN-× ×-カWA-NE	00527400000000
カIQSJO-× ×-KEN-NE	00590300000000
(+++)-× ×-KEN	00601110000000
KOTO-× ×-カWA-NE	00607000000000
GO-ROKU-× ×-カJO	00609600000000
MON(MONO)-× ×-(+++)	00609610000000
DO-KO-× ×-¥I-YV七(YVV七)-KA-NA	00611310000000
TOKUBECU-BANGUMI-× ×-カWA	00652200000000
TAKUSAN-× ×	00669110000000
KOTO-× ×-カWA	00669500000000
DE-¥I-OB-TE-JOR七-RU*-× ×-KEN	00679300000000
(+++)-× ×	00740800000000
カOMOカ-¥I-RARE*-¥I-OB-TAR-× ×-カWA-NE	00804600000000
SUKI-× ×-NE	00817200000000
GOS-RU-× ×-カWA	00897200000000
NANBO-× ×-NE	01072700000000
ZJUU-カEN-GURAI(KURAI)-× ×-¥I-OB-TARA	01073200000000
(+++)-× ×-DOMO-NEE	01082600000000

MAS-

DE-¥I-× ×-¥I-OB*-TAR-(+++)	00352210000000
カJAR-¥I-OB-TE-AGE七(カAGE)-¥I-× ×-RU-ZE	00553600000000
SI(SU)-¥I-× ×-RU-ZE	00579300000000
カAGE-¥I-× ×-RU	00843800000000

NASAR-

SUカWAR-¥I-× ×-¥I七(RE)	00440330000000
SI(SU)-¥I-× ×-¥I七(RE)	00440910000000
KI(KU)-¥I-× ×-¥I七(RE)	01014500000000

RARE*-

NAカOS-¥-× ×-¥I-OB-TAR	00620700000000
-----------------------	----------------

MAIR-×-×-×-A-N-(+++)-KA	00659200000000
KO-(KU)-×-×-RU*	00741200000000
カOMOカ-×-×-×-I-OB-TAR-DAR-カWA-NE	00804600000000
SAN-	
SIZU-× ×-NEE	00356200000000
NEE-× ×	00356600000000
NOBOO-× ×-NO	00356600000000
SECUKO-× ×	00396000000000
SECUKO-× ×	00394110000000
カO-TOO-× ×-カWA	00396310000000
KEN-× ×	00397100000000
HIRO-× ×	00399000000000
カO-BAA-× ×-TOKO-MO	00412000000000
カOMAI-× ×	00430000000000
SAKURAI-× ×-(+++)	00435900000000
カOMAI-× ×	00474200000000
カOMAI-× ×	00474200000000
KANDA-× ×-NO	00547400000000
カJACIカJOKO-× ×-TO	00564800000000
CJABO-× ×-(+++)-NI	00600800000000
カOMAI-× ×	00607000000000
MOTOME-× ×-TOKO-NO	00633700000000
HUZIHARA-MOTOME-× ×-TE	00634100000000
× ×-NEN-KAN	00659200000000
× ×-KA-GECU	00740810000000
カOMAI-× ×	00829700000000
カO-TOO-× ×	00852500000000
SECUKO-× ×	00875500000000

41 F : K 9 M

DES-	
SO-GE-× ×-RU-KA-(+++)	00363600000000
カAR-×-I-OB-TAR-MON(MONO)-× ×-RU-NEE	00369200000000
SO-GE-× ×-RU(+++)	00370300000000
SOO-× ×-RU-KA	00371900000000
HOO-× ×-RUKA	00373600000000
SO-GE-× ×-RU-KA-NE	00373900000000
MAS-	
カAR-×-I-×-×-I-OB*-TAR-(+++)	00370600000000
カAR-×-I-×-×-RU-KEN	00371700000000
KAカWAR-×-I-×-×-I-OB*-TAR-GENA-NE-A	00373400000000
カITAS-×-I-×-×-I-OB*-TE	00431800000000
MASE (MAS)-	
KI(U)-×-I-×-×-A-N-(+++)	00363100000000
カAR-×-I-×-×-A-N-KA	00373410000000
NASAINS-	
NAR-×-I-×-×-I-OB*-TAR-NE-A	00369900000000
SAN-	
カO-TOO-× ×	00363100000000
TAMURA-× ×-TO	00368500000000

U 1 F : U 2 M

DAR-

(+ + +)-NO-カJA-×	00001700000000
カIカ-¥I-OB-TE-JORセ-RU-×	00025900000000
DE-RU-×	00044300000000
MODOR-RU-×	00048500000000
NAN-×	00048900000000
(+ + +)-×	00495600000000
NAR-¥A-N-×	00496810000000

DES-

DO-GE-×	00014000000000
---------	----------------

MAS-

カOCI-¥I-×	00001200000000
DEKI-¥I-×	00044900000000
カO-KAIR-¥I-×	00045500000000
NURE*-¥I-OB-TE-JORセ-¥I-×	00046200000000

NASAR-

カJAME-¥I-×	00562500000000
------------	----------------

RARE*-

カOR-¥I-*	00028510000000
カIカ-¥I-*	00413210000000
カOK-¥I-OB-TE-JORセ-¥I-Eウ(カWA)-HE(SU)-	
¥A-N-(+ + +)	00495200000000
カOKUR-¥I-*	00631000000000

SAN-

MINA-×	00048900000000
NOBOO-×	00495200000000
SITEN-CJOO-*	00534000000000
SITENCJOO-*	00534600000000
カOMAI-*	00663410000000

3.4. 松江調査関係文献。

石綿敏雄

- 1965 「外来語の普及度—松江市での調査から—」
(『言語生活』No. 161, 1965-2)

国立国語研究所

- 1965 a 「国民各層の言語生活の実態調査（B）（松江調査の概要）」(『国立国語研究所年報』15)
1965 b 「松江調査の結果」(1965年2月に松江市で行なわれた報告講演会の際の配布資料)
1967 「電子計算機による話しことば資料の分析・処理の研究」(『国立国語研究所年報』18)
1969 「言語情報処理に関する基礎的研究」(『国立国語研究所年報』19)

齋賀秀夫, 松本昭ほか

- 1965 「座談会, 敬語調査法をたしかめる」(『言語生活』No. 162, 1965-3)

林四郎

- 1966 「言語行動のタイプ」(『文体論入門』三省堂)
1967 「私たちの生活とメモ」(『言語生活』No. 192, 1967-9)

南不二男

- 1965 「この人の敬語行動—松江24時間調査から—」(『言語生活』No. 162, 1965-3, 講座「ことばの生活」第3巻, 筑摩書房, 1967に再収)
1969 a Some Remarks on Honorific Expressions in Modern Japanese (1969年2月, オーストラリア, パースの西オーストラリア

- 大学で行なわれた, Australian Universities Language and Literature Association の第12回大会における発表の際の配布資料)
- 1969 b 「形態音韻論」(『数理科学』 7—11, 1969—11)
- 1970 「松江 24 時間調査における『談話』について」(LDP <国語研究所第一資料研究室, 第三資料研究室, 言語計量調査室月報別冊> No. 7, 1970—11)
- 渡辺友左
- 1965 a 「言語生活研究覚え書き」(『国立国語研究所論集ことばの研究』第 2 集)
- 1965 b 「マス・メディアと市民——長岡市と松江市の市民の場合——」(『新聞研究』 No. 166, 1965—5)
- 1968 『家庭における子どものコミュニケーション意識』(国立国語研究所報告 33)

3.5. 索引。

項目は以下のように分類してあげた。

- (1) 会話・談話・待遇表現関係事項
- (2) 待遇表現関係要素・言語形式
- (3) 言語単位・文法用語その他
- (4) 資料・テクストの種類・表記その他
- (5) プログラム関係
- (6) レコード形式
- (7) 作表形式

それぞれにおける項目の並べ方は五十音順。ただし、ローマ字表記のものはそれだけまとめてアルファベット順であげた。なお、あげてあるページは、それぞれの事項についてとくに重要と思われる箇所だけである。

〔会話・談話・待遇表現関係事項〕		聞き手	5, 15, 16, 34, 76
あいさつ	35~40, 73~74	きまり文句	36, 38
相手	36~37, 56~57	くだけ	35~36, 38
遊び	36~37	けんか	36~38
悪口・非難・不平	36	個人うわさ	36, 39
あらたまり	35~36, 38~39	ことばの調子	35~38
おこり	36, 38, 81	参加者	34, 106~117
教え・さしづ	36~37, 81	～の種類	42~46
おしつけ	36, 38	思考	36~37
おしゃべり	35~37, 39, 74~ 75	しらせ・用談	36~39, 74~75
会話	5~8, 78~79	親せき	42
会話（談話の集りと しての）	34	事務・用事	36
～の構造	73~75	世間・時事	36
感覚・感情	36, 38	尊敬表現	13, 30, 52~57, 71~72, 75~76,
関係者	56~57, 70~71, 76		119~120
感謝・賞讃	36	待遇表現の意味	75~76
感情の直接表現	36	（内容）	
		第三者	56~57, 70~71

談話	15, 33~41, 72~73, 79~81	[待遇表現関係要素・言語形式]
～の種類	35~39	親族称呼だけ 62~72, 123~124
～の認定	34~35, 80~81	親族称呼+CJAN 62~72, 123~124
～の分類	35~39	親族称呼+SAN 62~72, 123~124
つくり話・うそ	36	姓だけ 62~72, 123~124
ていねい表現	13, 30, 46~52, 73~75, 118~119	姓+SAN 62~72, 123~124
同居家族	6, 8, 12, 42~46	姓+名だけ 62~72, 123~124
泣き	36	姓+名+SAN 62~72, 123~124
日常・身辺・家庭	36, 39	姓+名(略)+SAN 62~72, 123~124
発話者	6, 8~10	名だけ 62~72, 123~124
話し手	5, 14~16, 34, 76, 78	名+CJAN 62~72, 123~124
話し手, 聞き手の組	50~52, 60~61,	名+SAN 62~72, 81, 123
み合わせ	74~75	～124
非親せき	42	名(略)+CJAN 62~72, 123~124
ひとり	36, 38	名+親族称呼+SAN 62~72, 123~124
皮肉	36~38	ANATA 62~72, 125~126
ふつう(ことばの調子)	36~39	ANOSAN 62~72, 125~126
文章	5, 15, 28	ANTA 62~72, 81, 125
へりくだり	36, 38	～126
訪問者	3, 5~6, 8, 12, 25	BOKU 62~72, 125~126
みうち	45~46, 51~52, 60~61, 74	CJOODAI 31~32, 57~61
昔話	36, 38	cjoodai 31~32, 57~61, 121~122
要求表現	13, 30, 57~61, 121~122	DAR 30~33, 46~52, 78, 81, 118~119, 219~220, 222
呼び名	13, 62~72, 75~76, 123~126	DARESAN 62~72, 125~126
話題	35~36, 38	dawa 31~32, 121~122
communication 上の	14, 35~37, 79	DONATA 62~72, 125~126
function	～80	DES 30~33, 46~52, 78, 81, 118~119, 131~155, 219~222
discourse	15, 28	GOS 31~32, 57~61
		gosinai 31~32, 57~61, 121~122
		gosudawa 31~32, 57~61, 121~122

GOZAIMAS	30~32, 46~52, 127~129	194
GOZAINS	30~32, 46~52, 127~130	30~32, 52~57, 119~120, 193~ 218, 220~222
kudasai	30~32, 57~61, 121~122	RE 30~33, 57~61
KUDASAIMAS	30~32, 57~61	SAQSJAR 30~32, 52~57, 119~120
kudasaimase	30~32, 57~61, 121~122	UCI 62~72, 125~126
KUDASAINS	30~32, 57~61,	WASI 62~72, 125~126
kudasaiNse	30~32, 57~61 121~122	WATAKUSI 62~72, 125~126
KUDASAR	30~32, 57~61	WATASI 62~72, 125~126
MAS	30~32, 46~52, 156~192, 220~223	[言語単位, 文法用語その他]
nai	30~32, 57~61, 121~122	音素 15
NAR	30~32, 52~61, 119~120	間接助詞 33
nasai	30~32, 57~61, 121~122	疑問文 11, 27
NASAIMAS	30~32, 52~61, 119~120	形態音素 11
nasaimase	30~32, 57~61, 121~122	形態素 13, 15, 16, 30~ 33
NASAAINS	30~32, 52~61, 119~120, 220, 222	～の段階（処理の 18~20, 96~104 過程における）
nasaiNse	30~32, 57~61, 121~122	～の連続 13
NASAR	30~32, 52~61, 119~120, 220 ~ 221, 223	接続助詞 33
OMAI	62~72, 125~126	終助詞 33
OMAISAN	62~72, 125~126	単語 15
RAE	30~32, 52~57, 119~120, 193~	短語 (形態素を見よ)
		中断文 11, 27
		長語 (文節を見よ)
		発話 7 ~ 8, 12
		普通文 11, 27
		文 5 ~ 6, 11, 15, 16, 28~29
		～の種類 11, 27
		～の段階（処理の 17~18, 83~90 過程における）
		文節 5 ~ 6, 16
		～の段階（処理の 18, 90~96

過程における)		65 MATSUE 6	18, 82, 90~91
命令形	33	65 MATSUE 6A	18, 82, 93~95, 127~130
[資料・テクストの種類・表記その他]		65 MATSUE 6B	18, 82, 95~96
音韻表記	11, 26	65 MATSUE 7	19, 83, 96~97
~テクスト	10~11, 76~77, 85	65 MATSUE 7A	19, 83, 101~103, 127~143
音声表記テクスト	10, 76~77	65 MATSUE 7B	20, 83, 103~104, 219~222
形式不明の表記	26	65 MATSUE 8	18, 83, 91~93
形態音韻表記	11, 25~26	65 MATSUE 90~91	19, 83, 97~99
~テクスト	11, 76~77, 83~85	65 MATSUE 9A	19, 83, 99~101
形態素の切れ目	11, 26	65 MATSUE PLT	82~83
形態素の表記	25~26		
形態素の連続の表記	26		
促音(ッ)(の表記)	26	[レコード形式]	
談話番号	40	形態素(短語)段階	96~97
長母音にあたる母音	26	マスターファイル	
音素の連続の(表記)		のレコード形式	
撥音(ン)(の表記)	26	<2.3 3.1>(ニ)	
発話なしの表記	26	の出力M/Tに同 じ>	
話し手:聞き手コード	11, 25, 84	原始入力紙テープの	83~85
付加情報	10~11, 16~19	レコード形式	
文節の切れ目	11, 26	短語リストM/Tの	98~99
文の切れ目	11, 26	レコード形式	
文番号	11, 27, 40, 84	長語リストM/Tの	92
文字化資料	10~12, 76~77	レコード形式	
ヤ行音, 拗音の半母音	26	文節(長語)段階マ スター ファイルの	91
にあたるもの(の表記)		レコード形式	
録音資料	10	文段階マスター フ ァイルのレコード形 式	89
[プログラム関係]			
フローチャート	20~24		
65 MATSUE	16~17		
65 MATSUE 1	17, 82, 85~87		
65 MATSUE 2	17, 82, 87~89		
65 MATSUE 3	17, 82, 89~90		
65 MATSUE 5	18, 82, 90	[作表形式]	
		度数付短語リストの	99
		作表形式	

度数付長語リストの 作表形式	92~93	65 MATSUE 7A の 作表形式	102, 127~143
65 MATSUE 6A の 作表形式	95, 127~130	65 MATSUE 7B の 作表形式	103~104, 219~ 222
65 MATSUE 6B の 作表形式	96		

3.6. Summary

The purpose of this report is to show some of the results of an investigation into honorific expressions spoken in a local community in Japan. Since the analysis of the data is not complete, definite conclusions in all respects have not been reached. Only some facts about the system of honorific expressions and outlines of the processing of the materials are presented here.

The present study is based on the materials obtained by a so-called "one-day investigation of verbal behavior" carried out in Matsue (population about 110,000), the capital of Shimane-prefecture in western Japan. The investigation was a part of the research project on "linguistic life" (this term covers various aspects of language use in daily life) in a local community conducted by the National Language Research Institute in 1963.

Two points might be mentioned as the characteristics of the present study: first, the analysis of honorific expressions in the materials was consistently made from the point of view of discourse. Since every actual use of honorific expressions in the materials is always found in a discourse, many of the conditions relating to the selection of the elements of honorific expressions should be revealed by the analysis of discourse. In this study, all discourses in the materials were classified into several categories according to their functions in verbal communication (greetings, conversation for business, chatting etc.), tone of speech (neutral, joking, ironical, complaining etc.) and topics (matters in daily life, business, gossip etc.). And every actual use of the honorific expressions including polite expressions, exalted expressions, demand expressions and personal names as well as pronouns were examined in each category of the discourse. For example, a definite difference among the morphemes used in exalted expressions was found in examining the discourses in which they appeared; -RARE- appeared, in most cases, in the discourses of gossip and was used for the third person 194 times out of a total of 201. On the

other hand, -NASAR- mainly appeared in the discourses of topics related to daily life or business matters and was used for the addressee 54 times out of a total of 60. Secondly, the computer system of the institute was used for the processing of the materials. The institute has been carrying out a large-scale investigation into the vocabulary in newspapers since 1965, using the computer. However, the present study is the first attempt at the institute in processing colloquial language-materials. Lists of morphemes and words with their frequencies and other lists with contexts in KWOC form were made for further linguistic analysis. Although co-operative relationships between the linguistic analysis and the processing by computer remain to be improved in many respects, the attempt will suggest some clues for the development of study in this field.

In this study, Fujio Minami was mainly in charge of linguistic analysis and Akira Matsumoto in charge of processing of materials.

昭和46年3月

国立国語研究所

東京都北区稻付西山町
電話東京(900)3111(代表)

UDC 809.56-085.5-093.16 : 681.3

NDC 810.9

本書の市販品発行所

東京都新宿区市谷加賀町2の30 (260) 5281

株式会社 秀英出版

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版刊	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 —白河市および付近の農村における—	"	"
3	現 代 語 の 助 詞 ・ 助 動 詞 —用法と実例—	"	700円
4	婦 人 雜 誌 の 用 語 —現代語の語彙調査—	"	500円
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 —鶴岡における実態調査—	"	600円
6	少 年 と 新 聞 —小学生・中学生の新聞への接近と理解—	"	180円
7	入 門 期 の 言 語 能 力	"	200円
8	談 話 語 の 実 態	"	品切れ
9	読 み の 実 驗 的 研 究 —音読にあらわれた読みあやまりの分析—	"	"
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	"	"
11	敬 語 と 敬 語 意 識	"	"
12	総 合 雜 誌 の 用 語 (前編) —現代語の語彙調査—	"	"
13	総 合 雜 誌 の 用 語 (後編) —現代語の語彙調査—	"	"
14	中 学 年 の 読 み 書 き 能 力	"	400円
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	"	品切れ
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	"
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	"
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) —対話資料による研究—	"	800円
19	総 合 雜 誌 の 用 字	"	品切れ
20	同 音 語 の 研 究	"	550円
21	現 代 雜 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) —総記および語彙表—	"	1,000円
22	現 代 雜 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) —漢 字 表—	"	1,000円

23	話しことばの文型(2)	"	550円
——独語資料による研究——			
24	横組みの字形に関する研究	"	350円
25	現代雑誌九十種の用語用字(3) ——分 析——	"	1,000円
26	小学生の言語能力の発達	明治図書刊	2,100円
27	共通語化の過程	秀英出版刊	品切れ
28	類義語の研究	"	750円
29	戦後の国民各層の文字生活	"	400円
30-1	日本言語地図(1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日本言語地図(2)	"	"
30-3	日本言語地図(3)	"	8,000円
30-4	日本言語地図(4)	"	8,000円
31	電子計算機による国語研究	秀英出版刊	450円
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	"	250円
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	"	350円
34	電子計算機による国語研究(Ⅱ)	"	450円
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	"	450円
36	中学生の漢字習得に関する研究	"	5,000円
37	電子計算機による新聞の語彙調査	"	1,300円
38	電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)	"	2,800円
39	電子計算機による国語研究(Ⅲ)	"	700円
40	送りがな意識の調査	"	1,500円
41	待遇表現の実態 ——松江24時間調査資料から——	"	900円

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目(昭和17~24年)	秀英出版刊	品切れ
——			
2	語彙調査 ——現代新聞用語の一例——	"	"
3	送り仮名法資料集	"	"
4	明治以降国語関係刊行書目	"	300円
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	3,000円

6	分類語彙表	秀英出版刊	1,100円
7	動詞・形容詞問題語用例集	"	1,700円
8	現代新聞の漢字調査(中間報告)	"	500円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	"	750円
3	ことばの研究 第3集	"	800円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭和24年度	品切れ	12	昭和35年度	350円
2	昭和25年度	"	13	昭和36年度	160円
3	昭和26年度	160円	14	昭和37年度	220円
4	昭和27年度	品切れ	15	昭和38年度	250円
5	昭和28年度	240円	16	昭和39年度	250円
6	昭和29年度	200円	17	昭和40年度	250円
7	昭和30年度	品切れ	18	昭和41年度	300円
8	昭和31年度	220円	19	昭和42年度	300円
9	昭和32年度	200円	20	昭和43年度	350円
10	昭和33年度	品切れ	21	昭和44年度	400円
11	昭和34年度	220円			

国語年鑑 秀英出版刊

昭和29年版	450円	昭和38年版	950円
昭和30年版	600円	昭和39年版	品切れ
昭和31年版	品切れ	昭和40年版	1,100円
昭和32年版	"	昭和41年版	1,100円
昭和33年版	"	昭和42年版	1,100円
昭和34年版	"	昭和43年版	1,200円
昭和35年版	550円	昭和44年版	1,500円
昭和36年版	800円	昭和45年版	1,500円
昭和37年版	品切れ		

高 校 生 と 新 聞 国立国語研究所共編
日本新聞協会

秀英出版刊 280円

青年とマス・コミュニケーション 日本新聞協会共著
国立国語研究所

金沢書店刊 品切れ

SOME ASPECTS OF HONORIFIC EXPRESSIONS

— in special reference to discourse —

Foreword

0. Introduction
 - 0.1. Purpose of the report
 - 0.2. Outline of the Matsue investigation
 - 0.3. One-day investigation of verbal behavior
 - 0.4. Linguistic analysis and processing of materials
 - 0.5. Explanatory notes
1. Analysis
 - 1.0. Structure of honorific expressions in the Matsue dialect
 - 1.1. Discourse
 - 1.2. Kinds of discourses and kinds of speakers
 - 1.3. Polite expressions
 - 1.4. Exalted expressions
 - 1.5. Demand expressions
 - 1.6. Personal names and pronouns
 - 1.7. Remarks on further studies
2. Processing of materials
 - 2.1. Purpose of the processing
 - 2.2. 65 MATSUE PLT (program library tape)
 - 2.3. Outline of the actual method of processing
 - 2.4. Remarks on some problems in the processing
3. Appendices
 - 3.1. Tables of numbers of discourses and sentences according to kinds of speakers
 - 3.2. Tables of numbers of elements of honorific expressions according to kinds of discourses
 - 3.3. Samples of output
 - 3.4. Bibliography
 - 3.5. Index
 - 3.6. Summary

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

TOKYO 1971